

成田市  
健康増進計画策定に向けた  
健康意識調査

報告書

平成28年12月  
成田市



# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査実施の目的 .....	3
2. 調査方法と回収状況 .....	3
3. 調査結果を見る上での注意事項 .....	3
<b>第2章 調査結果／一般</b> .....	5
1. 回答者属性 .....	7
(1) 性別と年齢 .....	7
(2) 職業 .....	8
(3) 加入医療保険 .....	8
(4) 家族構成 .....	9
(5) 同居人数 .....	9
(6) 最終学歴 .....	10
(7) 世帯年収 .....	10
(8) 現在の暮らし向き .....	11
(9) 居住地区 .....	11
2. からだの健康に関する意識 .....	12
(1) 健康状態 .....	12
(2) かかりつけ医の有無 .....	16
(3) 受診するための移動時間 .....	19
(4) 受診するための移動手手段 .....	19
(5) かかりつけ薬局の有無 .....	20
(6) 健康上の問題による日常生活への影響の有無 .....	22
(7) 影響がある生活動作 .....	25
(8) がん検診の受診状況 .....	26
(9) 受診しているがん検診 .....	29
(10) がん検診を受けていない理由 .....	30
(11) がん検診受診の条件 .....	31
(12) 健康診断の受診状況 .....	32
(13) 受診している健康診断 .....	35
(14) 健康診断を受けていない理由 .....	36
(15) 健康診断受診の条件 .....	37
3. 運動 .....	38
(1) 健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすこと .....	38
(2) 身体を動かしている内容 .....	40
(3) 身体を動かす頻度 .....	41
(4) 身体を動かすことができる条件 .....	43
(5) 一日の平均的な歩数 .....	44

(6) 健康の面から見た、ふだんの生活習慣	45
(7) ロコモティブシンドロームの認知状況	47
(8) 身長・体重とBMI	50
(9) 体重の適正評価	53
4. 心の健康に関する意識	56
(1) 趣味や楽しみの有無	56
(2) この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等を感じたこと	59
(3) 不満、悩み、イライラ、ストレス等の原因	62
(4) 不満、悩み、イライラ、ストレス等の解消	65
(5) 十分な睡眠	68
(6) 身の回りに、困ったことや悩み事等の相談相手の有無	70
5. 歯の健康に関する意識	72
(1) この1年間の歯科医院等の受診有無	72
(2) 歯科医院等の受診理由	74
(3) 歯科医院等に受診できなかった理由	75
(4) かかりつけ歯科医の有無	76
(5) かかりつけ歯科医とは	78
6. 食生活	80
(1) 朝食の摂取状況	80
(2) バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況	82
(3) 1日の野菜摂取量	85
(4) 減塩への取り組み状況	87
7. 喫煙	90
(1) 喫煙経験	90
(2) 現在（この1か月間）の喫煙状況	92
(3) 禁煙意向	93
(4) 医療機関での禁煙指導（禁煙外来）の受診意向	94
(5) この1か月間の受動喫煙経験	95
(6) 分煙への意識	96
(7) 周囲の分煙化	99
(8) COPDの認知状況	102
8. 飲酒	104
(1) 飲酒頻度	104
(2) 1日あたりの飲酒量	106
(3) 飲酒が原因で迷惑をかけたたり失敗したことの有無	108
9. 性教育	110
(1) 生まれた時の話を本人にしたこと	110
(2) 性について話をしたこと	111
(3) 性教育の授業を受けたと聞いたこと	112
(4) 性教育をするための学習機会への参加意向	113
(5) 性教育について意識	114

1 0. 情報	116
(1) 健康に関する情報源	116
(2) 健康づくりを実践していくために必要な情報	119
1 1. 健康なまちづくりにつながる社会環境の整備	121
(1) 主観的健康感	121
(2) 健康に関するボランティア活動経験の有無	125
(3) 健康に関するボランティア活動に参加している最大の理由	126
(4) 健康に関するボランティア活動への参加意向	127
(5) 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、取り組む主体	129
(6) 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、行政が注力すべき取り組み	131
(7) 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、市民が注力すべき取り組み	134
1 2. 在宅医療の推進	136
(1) 往診と訪問診療の違いの認知	136
(2) 将来、あなたが在宅での治療が必要になった時に希望するサービス	138
(3) 希望するサービスに対する理由（自由記述）	140
(4) 通院困難時の、薬局の訪問による薬の相談や管理サービスの利用意向	143
(5) 薬局への相談や管理サービスの利用意向に対する理由（自由記述）	145

### 第3章 調査結果／保護者 149

1. 妊娠・出産・産後	151
(1) 今回健診を受けた子ども	151
(2) 定期的な妊婦健診の受診	151
(3) 健診を受けなかった理由	152
(4) 妊婦健診時、医師や助産師などから日常生活の指導を受けたこと	152
(5) 指導内容	153
(6) 妊娠中の歯科健診の受診	153
(7) 歯科健診を受けなかった理由	154
(8) 妊娠中、特に気をつけたこと	154
(9) 妊娠中の朝食の摂取状況	155
(10) 妊娠していることがわかったときの気持ち	155
(11) マタニティマーク利用の有無	156
(12) マタニティマークを利用してよかったこと	156
(13) 妊娠中の悩みや不安	157
(14) 妊娠中の悩みや不安の相談相手、手段の有無	158
(15) 妊娠中の悩みや不安の相談相手、手段	159
(16) はじめてお子さんと対面したときの気持ち	160
(17) 出産後の里帰り	160
(18) 里帰りの期間	161
(19) 里帰りをしなかった理由	161
(20) 産後の不安や負担感	162
(21) 産後に感じた不安や負担	163

(2 2) もっとも不安や負担を感じた時期	164
(2 3) 産後1か月までの時期に、家事・育児に協力してくれた人の有無	165
(2 4) 産後1か月までの時期に、家事・育児に協力してくれた人	165
2. 育児に関すること	166
(1) 市の保健師、栄養士などへの健康や育児の個別相談可能の認知	166
(2) 育児についての相談相手の有無	166
(3) 育児についての相談相手、手段	167
(4) 配偶者やパートナーの家事や育児への関わり方	168
(5) 配偶者やパートナーの協力の仕方への満足度	169
(6) 現在の気持ち	170
(7) 虐待と感じるもの	177
(8) 虐待について、身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待があることの認知	178
(9) 子どもへの関わり方	179
(10) 子どものスマートフォンやタブレット等の使用の有無	179
(11) 子どものスマートフォンやタブレット等の使用目的	180
(12) 子どものスマートフォンやタブレット等の使用開始時期	180
(13) 子どものスマートフォンやタブレット等の1日の使用時間	181
(14) スマートフォンやタブレット等の子どもの生活への役立ち	183
3. 子どもの健康管理	184
(1) かかりつけ医の有無	184
(2) かかりつけ医がいる医療機関の場所	184
(3) かかりつけ歯科医の有無	185
(4) かかりつけ歯科医がいる歯科医院の場所	185
(5) 子どもにとって、かかりつけ歯科医とは	186
(6) 成田市急病診療所の認知	186
(7) 子どもの休日や夜間の医療機関受診の有無	187
(8) 休日や夜間に直近で受診した医療機関	187
4. 回答者属性	188
(1) 年齢	188
(2) 職業	188
(3) 居住地区	189
(4) 同居家族	189
(5) 世帯年収	190
(6) 現在の暮らし向き	190
(7) 健康状態	191
(8) 朝食の摂取状況	191
(9) バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況	192
(10) 1日の野菜摂取量	192
(11) 減塩の取り組み状況	193
(12) 子どもとの食事の頻度	193
(13) 健診対象区分	194

第4章 保健サービス等に関する自由回答 .....	195
使用した調査票 .....	201





# 第1章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

本調査は、成田市健康増進計画を策定するにあたり、市民の健康づくりに関する意識・生活習慣・健康状態等について、策定のための基礎資料を得ることを目的として、実施しました。

## 2. 調査方法と回収状況

### 【一般調査】

調査地域：成田市全域

調査対象：市内在住の満20歳以上の男女

抽出数：2,000件

調査方法：郵送配付－郵送回収

調査期間：平成27年10月～11月

<回収状況>

有効回収数1,047 有効回収率52.4%

### 【保護者調査】

調査地域：成田市全域

調査対象：10か月赤ちゃん相談、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査を受ける**子ども**の保護者

抽出数：417件

調査方法：郵送配付－相談、健康診査時受け取りによる直接回収

調査期間：平成27年11月～12月

<回収状況>

有効回収数259 有効回収率62.1%

## 3. 調査結果を見る上での注意事項

- ・グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入したものです。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。



## 第2章 調査結果／一般

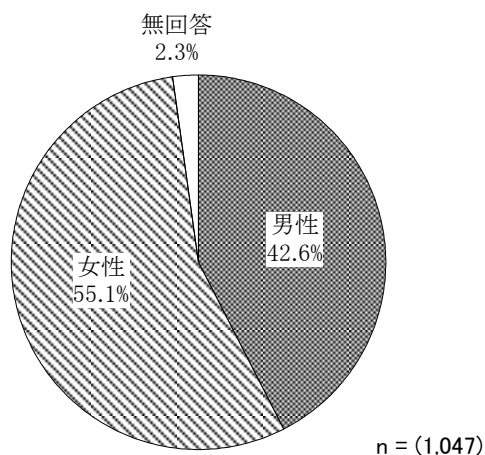


## 1. 回答者属性

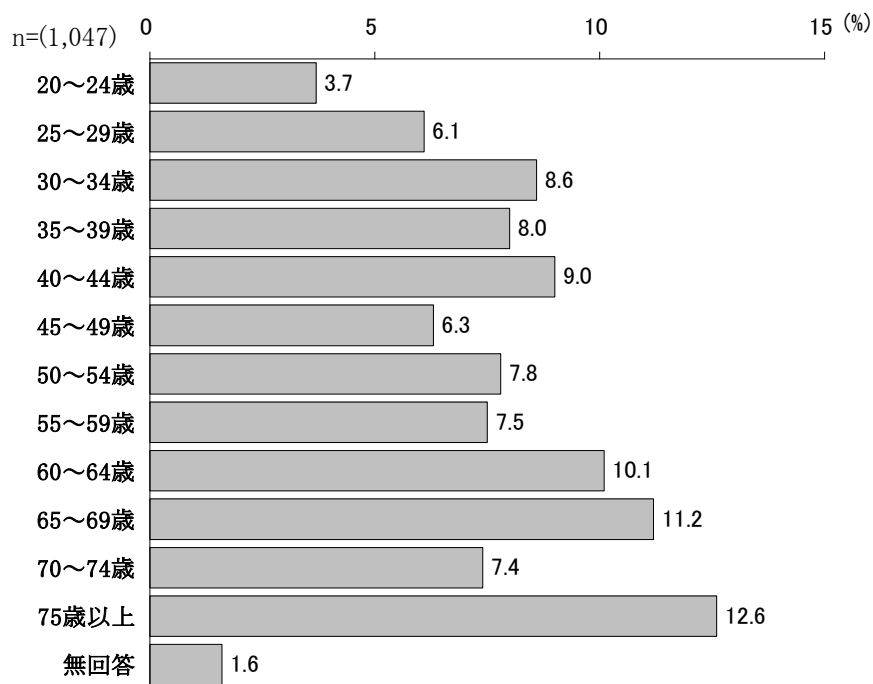
## (1) 性別と年齢

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

## ■性別



## ■年齢

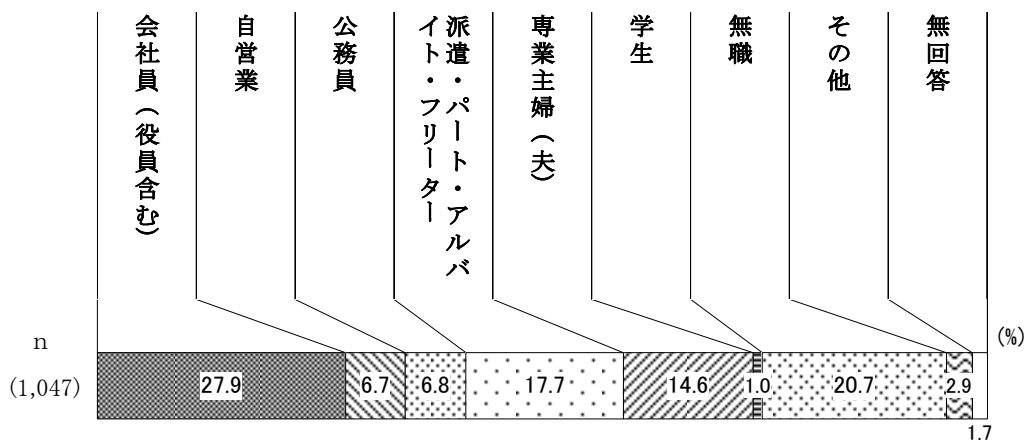


回答者の性別は、男性42.6%、女性55.1%となっています。

また、年齢は、75歳以上が12.6%、65～69歳が11.2%、60～64歳が10.1%と、75歳以上が最も高くなっています。

(2) 職業

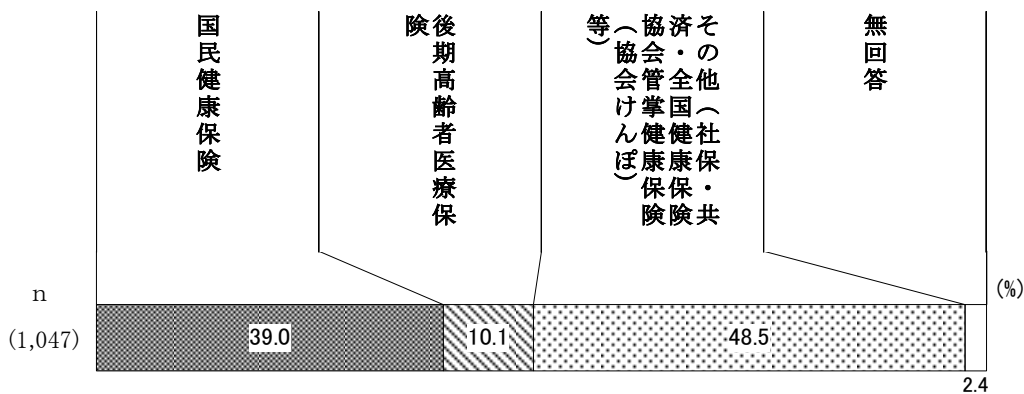
問2 あなたの職業は、以下のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)



回答者の職業は、「会社員 (役員含む)」が27.9%で最も高くなっています。

(3) 加入医療保険

問3 あなたが加入している医療保険はどれですか。(○は1つだけ)

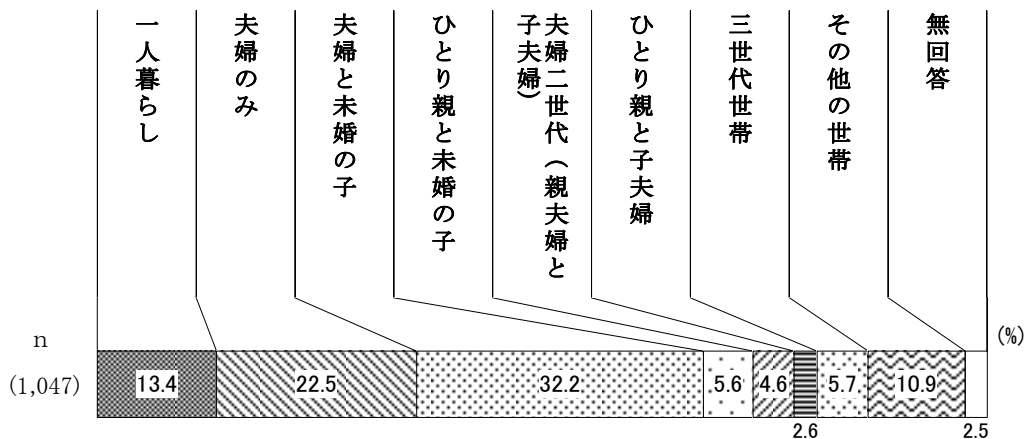


回答者の加入医療保険は、「その他 (社保・共済・全国健康保険協会管掌健康保険 (協会けんぽ) 等)」が48.5%で最も高く、「国民健康保険」が39.0%となっています。



(4) 家族構成

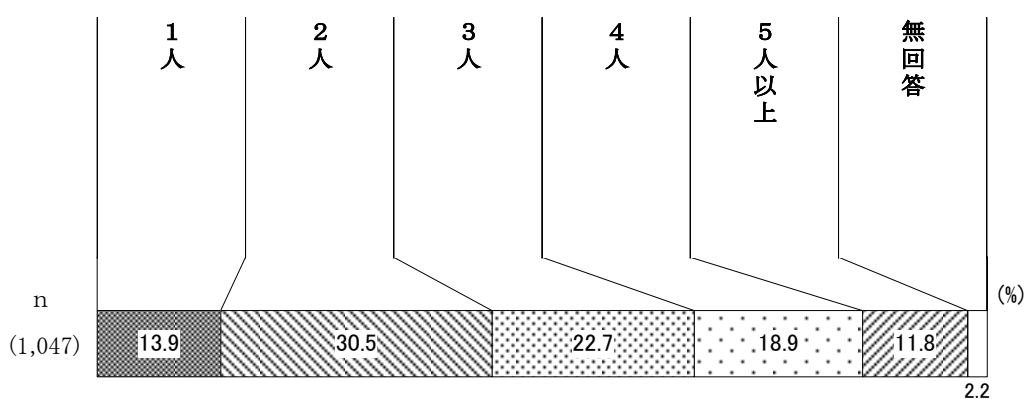
問4 あなたを中心として見た時、現在一緒に住んでいる（生活している）家族構成は、どのようになっていますか。（○は1つだけ）



回答者の家族構成は、「夫婦と未婚の子」が32.2%で最も高く、次いで「夫婦のみ」が22.5%となっています。

(5) 同居人数

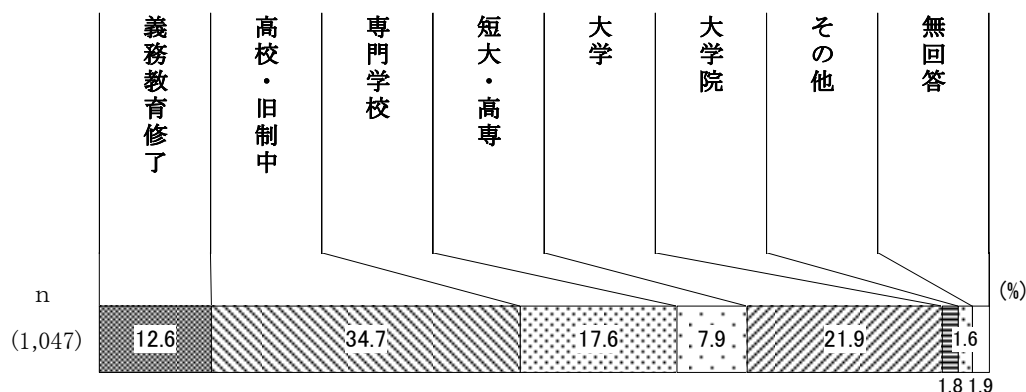
問5 あなたと生計を共にしている世帯の人数は、何人ですか。



回答者の同居人数は、「2人」が30.5%で最も高く、次いで「3人」(22.7%)、「4人」(18.9%)となっています。

(6) 最終学歴

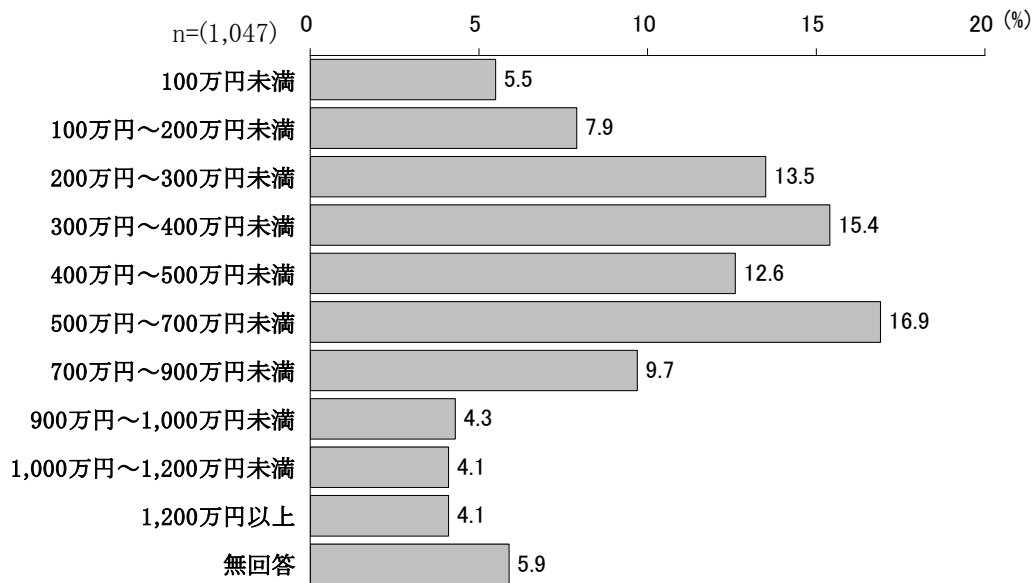
問6 あなたの最終卒業学校（中途退学の場合は、その前の学校）について、あてはまるものを選んでください。（○は1つだけ）



回答者の最終学歴は、「高校・旧制中」が34.7%で最も高く、次いで「大学」(21.9%)、「専門学校」(17.6%)となっています。

(7) 世帯年収

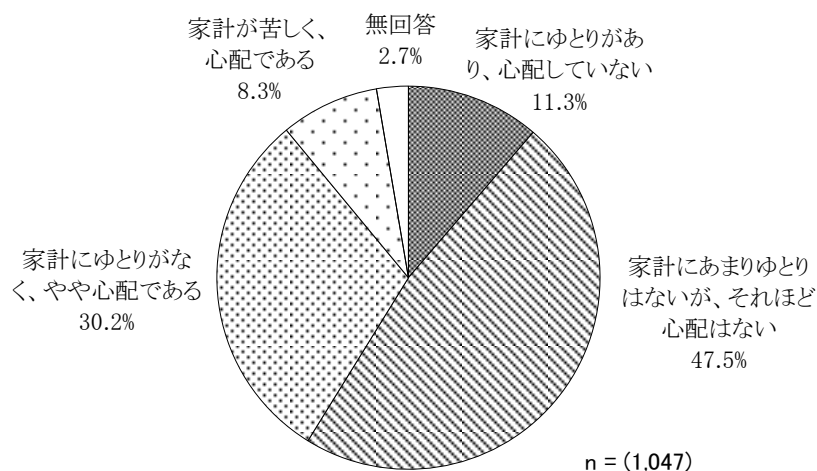
問7 問5の世帯全員の昨年1年間の税引前の合計収入額（年金・手当等を含みます）について、あてはまるものを選んでください。（○は1つだけ）



回答者の昨年の世帯収入は、「500万円～700万円未満」が16.9%で最も高く、次いで「300万円～400万円未満」(15.4%)、「200万円～300万円未満」(13.5%)となっています。

## (8) 現在の暮らし向き

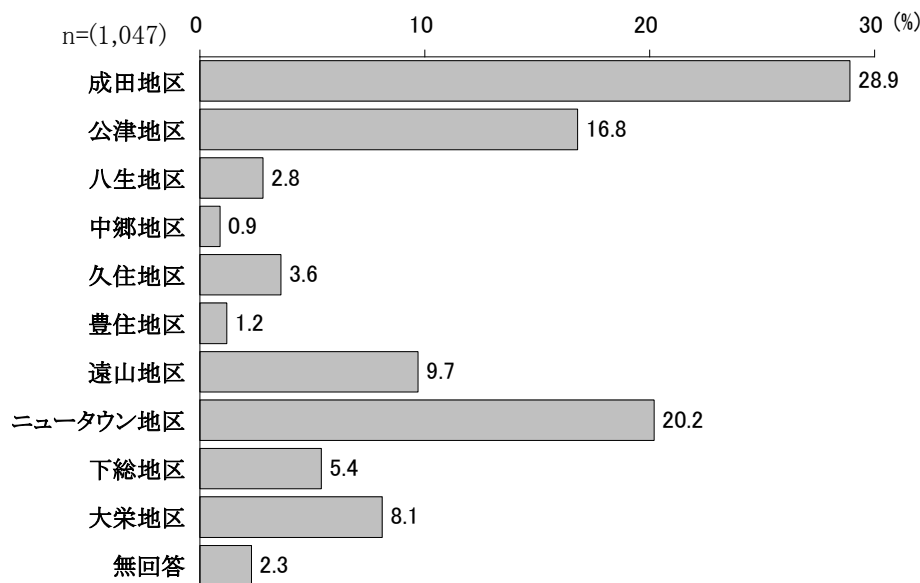
問8 現在の暮らし向きについて、お答えください。(○は1つだけ)



回答者の現在の暮らし向きは、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配はない」が47.5%で最も高く、約半数となっています。また、「家計にゆとりがなく、やや心配である」が30.2%となっています。

## (9) 居住地区

問9 現在お住まいの地区はどこですか。(○は1つだけ) 地区名がわからない場合は、ご住所(番地は結構です)をお書きください。

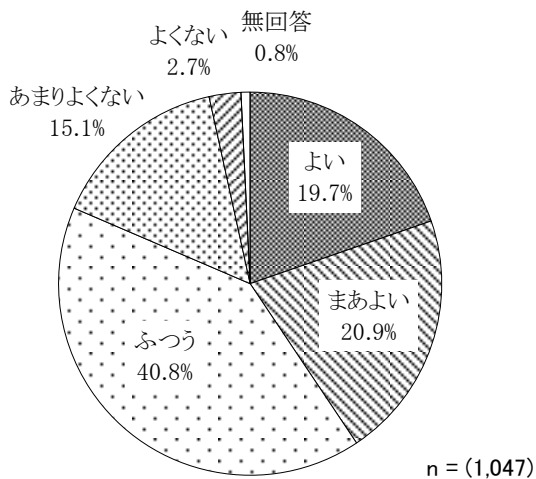


回答者の居住地区は、「成田地区」が28.9%で最も高く、次いで「ニュータウン地区」(20.2%)、「公津地区」(16.8%)となっています。

## 2. からだの健康に関する意識

### (1) 健康状態

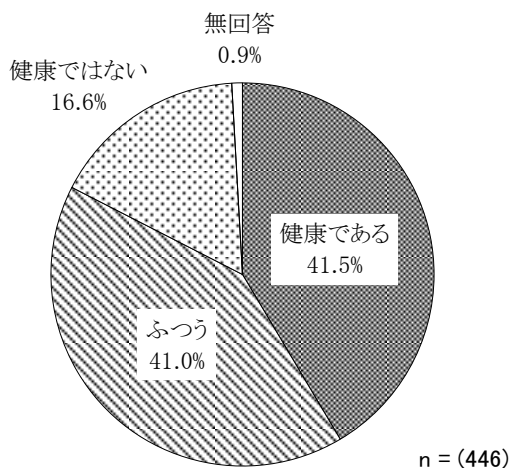
問10 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)



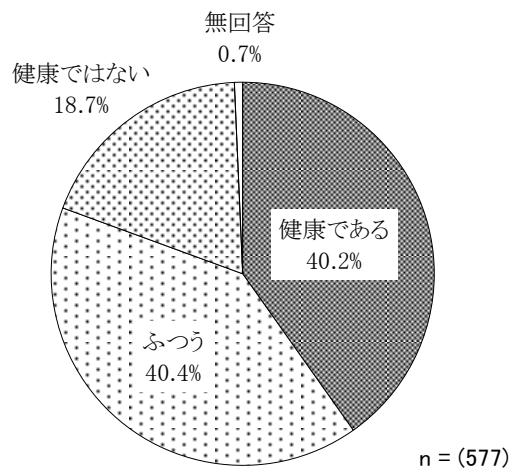
現在の健康状態については、「健康である」が40.6%であり、「ふつう」は40.8%となっています。一方、「健康ではない」は17.8%となっています。

### 〈 性別／健康状態 〉

#### ■ 男性

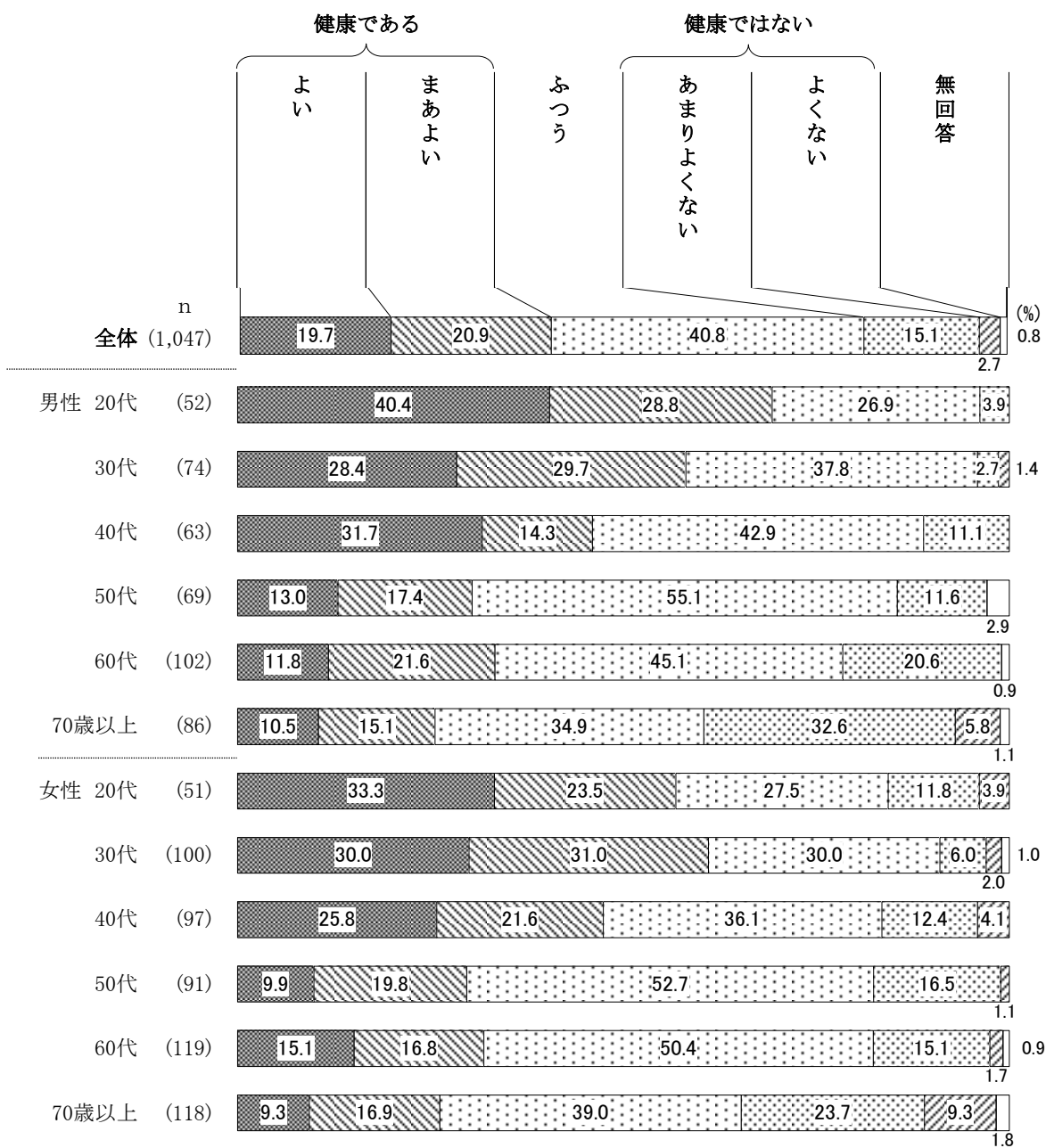


#### ■ 女性



性別でみると、「健康である」が男性41.5%、女性40.2%となっています。

〈 性・年代別／健康状態 〉



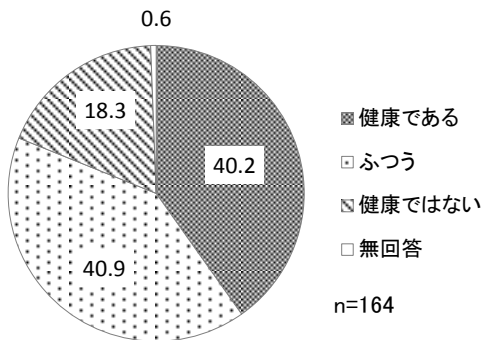
性・年代別でみると、男性では、加齢とともに「健康である」は減少し、70歳以上では《健康ではない》が38.4%と、4割近くになっています。

女性では、40代以降「健康である」は低下傾向を示しており、70歳以上では「健康ではない」が33.0%となっています。

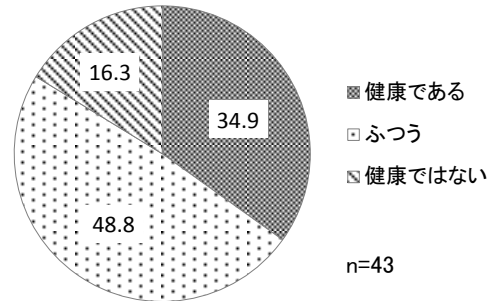
〈 主観的健康感別／健康状態 〉

※《健康である》は「よい」「まあよい」、《健康ではない》は「あまりよくない」「よくない」の合計

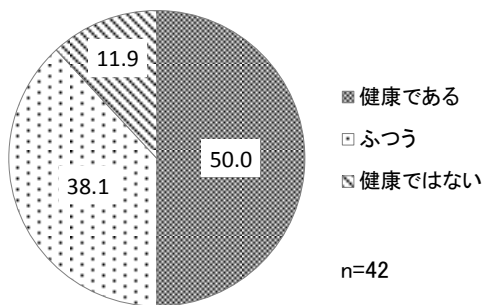
■幸福なこと



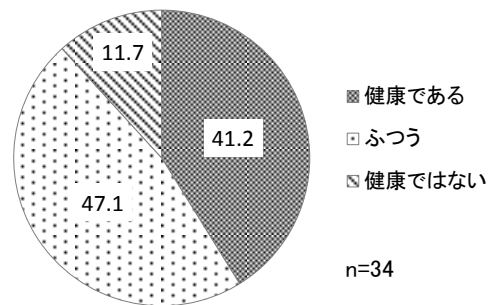
■仕事ができること



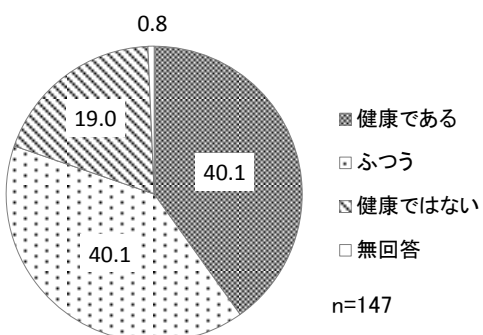
■生きがいがあること



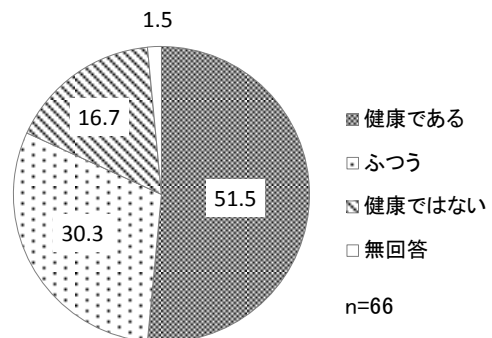
■健康を意識しないこと



■病気でないこと

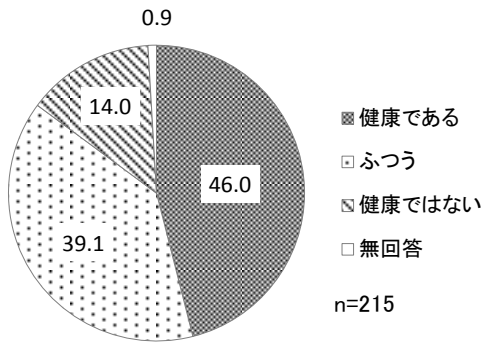


■快食・快眠・快便

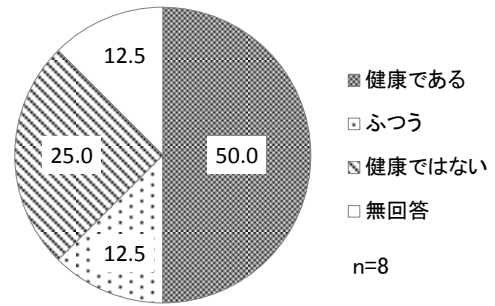


主観的健康感別でみると、快食・快眠・快便という層では「健康である」が51.5%と最も高く、これに生きがいがあることという層が50.0%となっています。

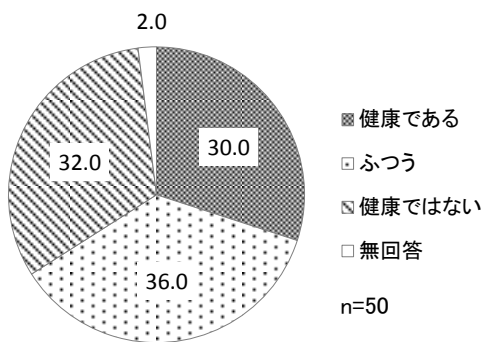
■身体の丈夫で元気がよく、調子が良いこと



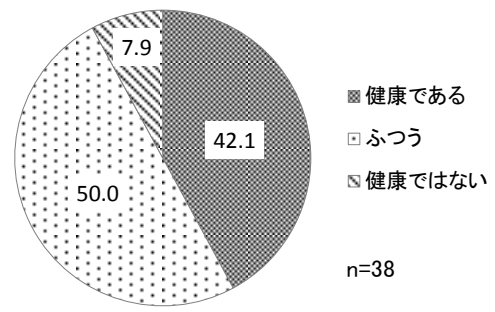
■人間関係がうまくいっていること



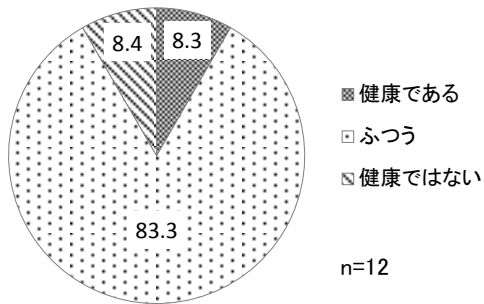
■家庭円満であること



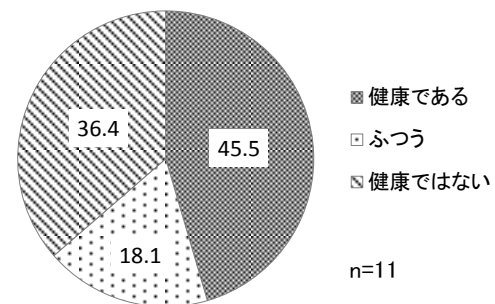
■規則正しい生活ができること



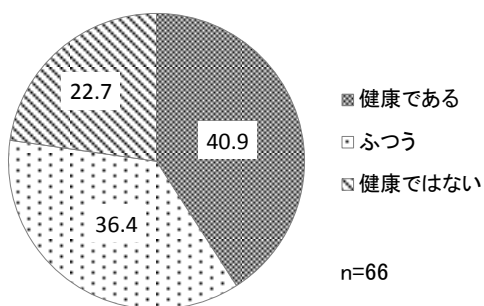
■長生きできること



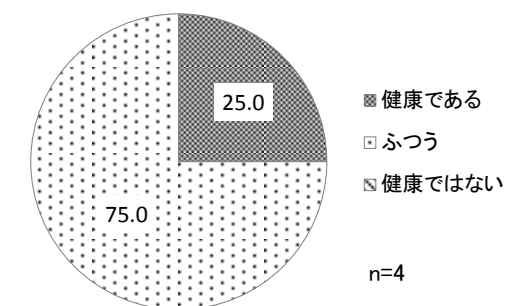
■人を愛することができること



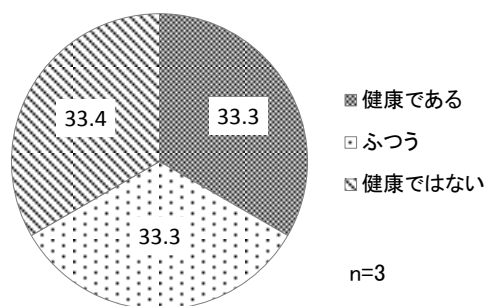
■前向きに生きられること



■差別やいじめがないこと

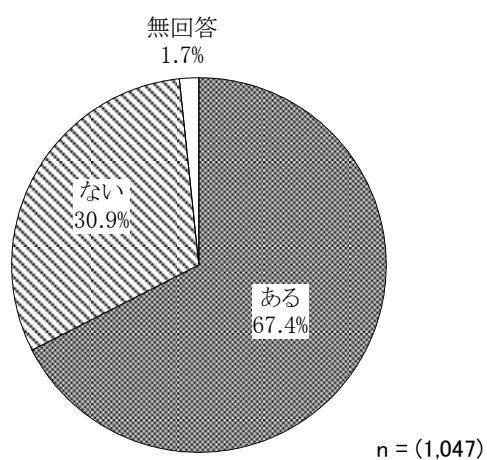


■その他



(2) かかりつけ医の有無

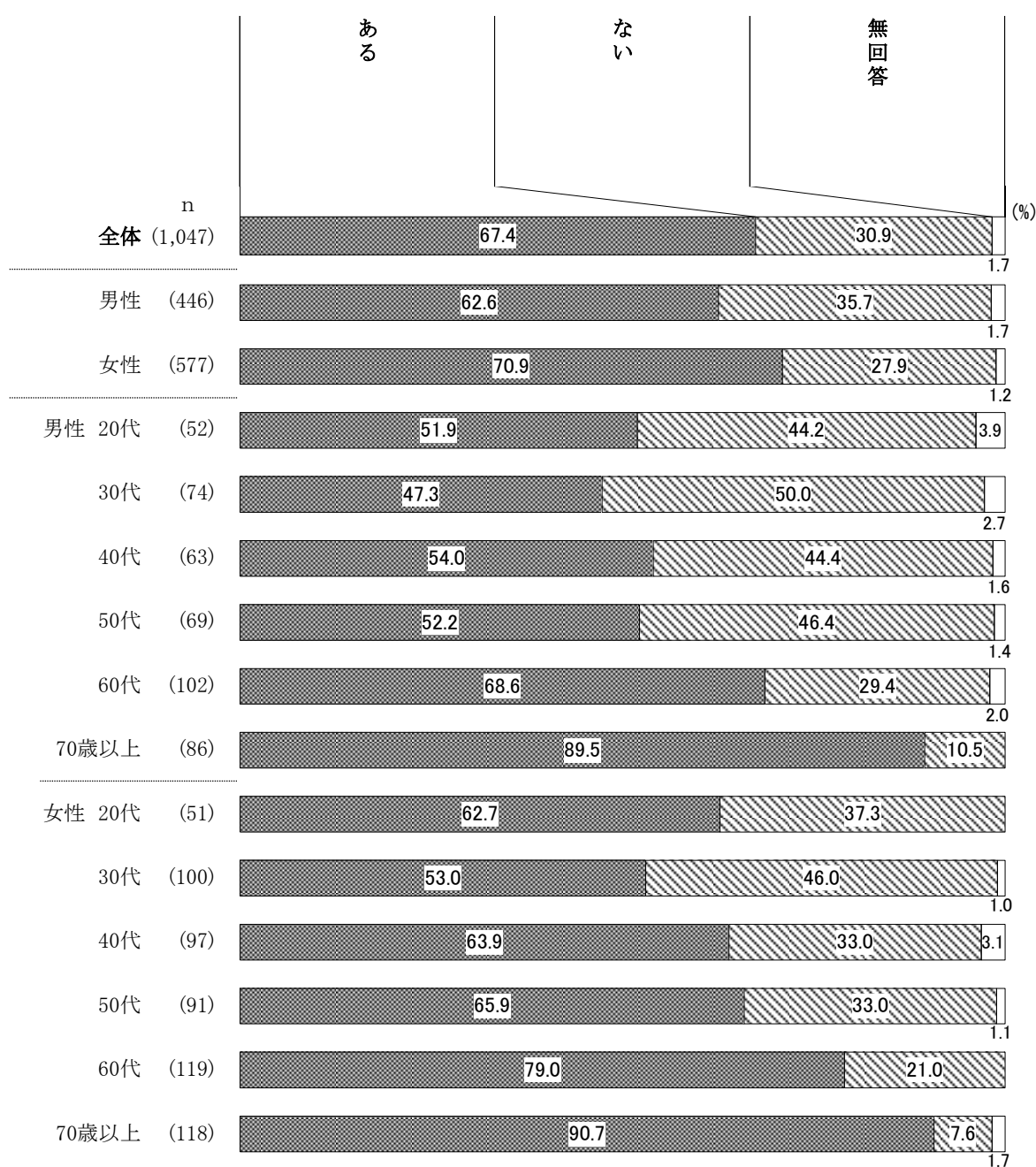
問11 体調が悪い時、受診・相談ができる、かかりつけ医がありますか。(○は1つだけ)



かかりつけ医の有無については「ある」が67.4%、「ない」が30.9%となっています。



## 〈 性別、性・年代別／かかりつけ医の有無 〉

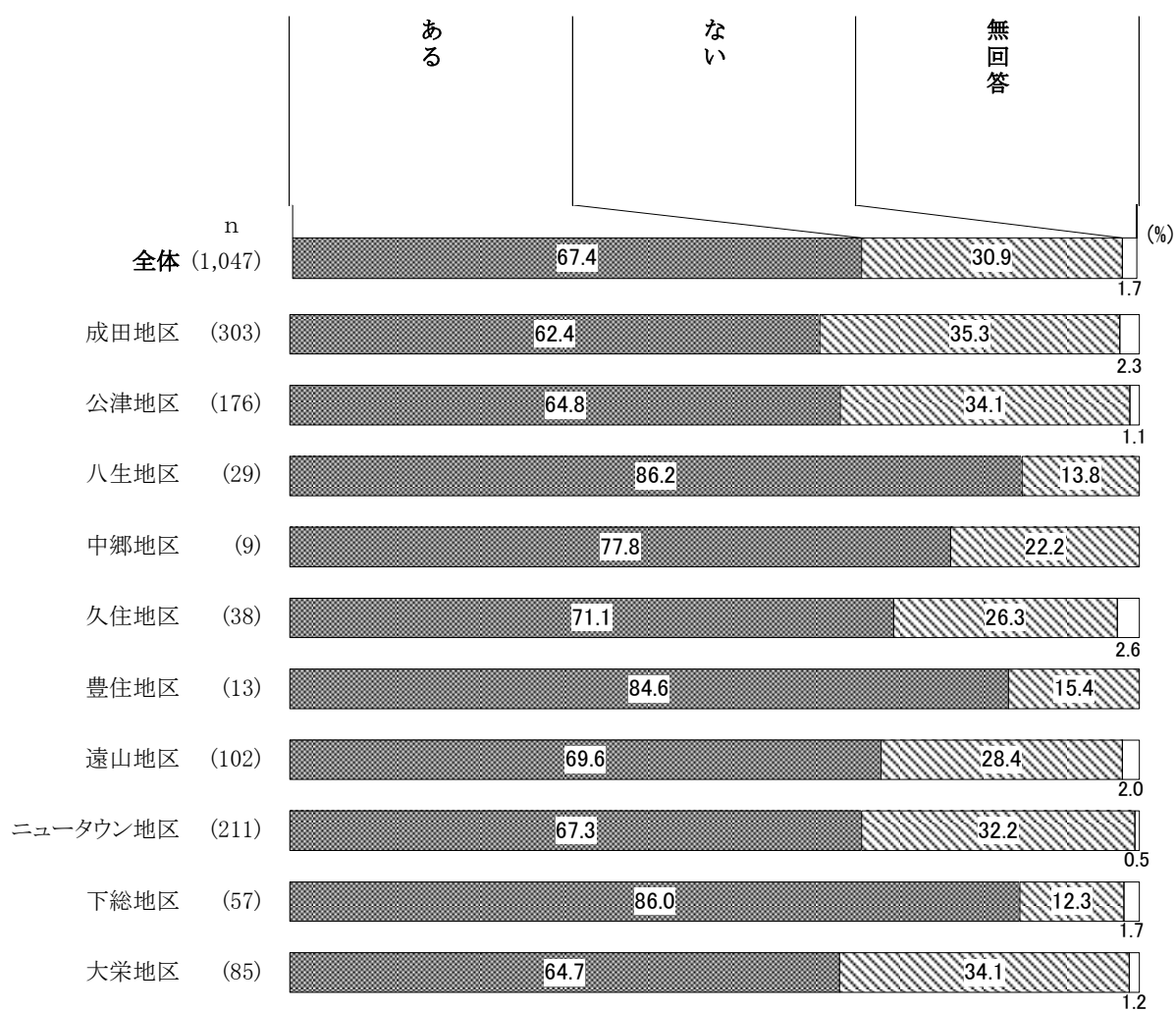


性別で見ると、「ある」が女性70.9%と、男性62.6%より高くなっています。

性・年代別で見ると、男性では、60代以上で「ある」が増加し、70歳以上では89.5%となっています。

女性でも、60歳以上で「ある」が増加し、70歳以上では90.7%となっています。

〈 居住地区別／かかりつけ医の有無 〉

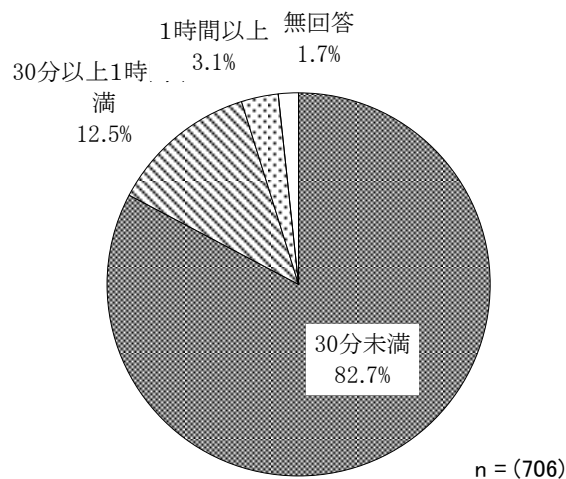


居住地区別で見ると、八生地区では「ある」が86.2%、下総地区では86.0%、豊住地区が84.6%と高くなっています。

### (3) 受診するための移動時間

問11で「1. ある」とお答えの方に

問11-1 受診するための移動の時間はどのくらいですか。(○は1つだけ)

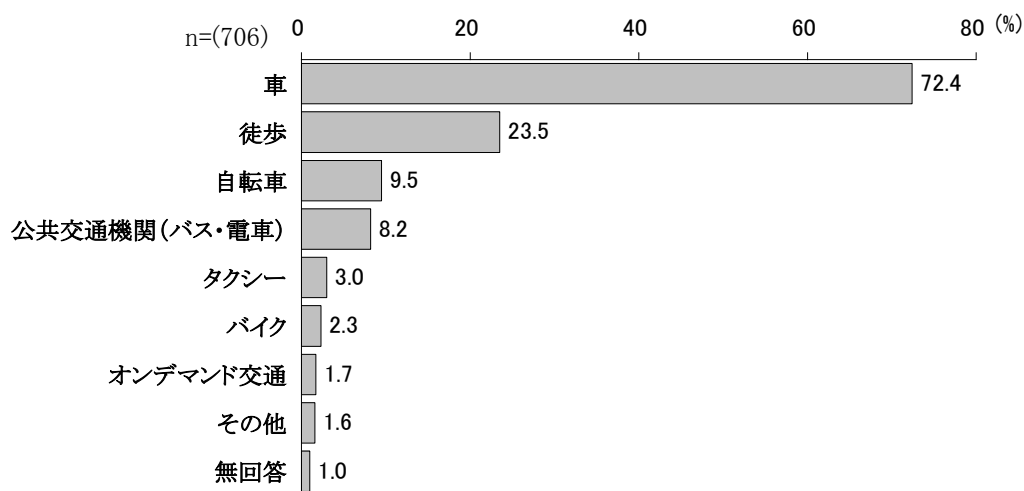


かかりつけ医が「ある」という人の受診時の移動時間は、「30分未満」が82.7%で最も高くなっています。

### (4) 受診するための移動手段

問11で「1. ある」とお答えの方に

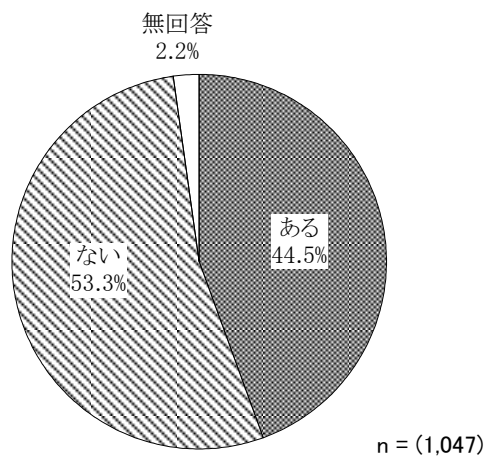
問11-2 受診するための移動手段は何ですか。(○はあてはまるものすべて)



かかりつけ医が「ある」という人の受診時の移動手段は、「車」が72.4%で最も高く、次いで「徒歩」が23.5%となっています。

(5) かかりつけ薬局の有無

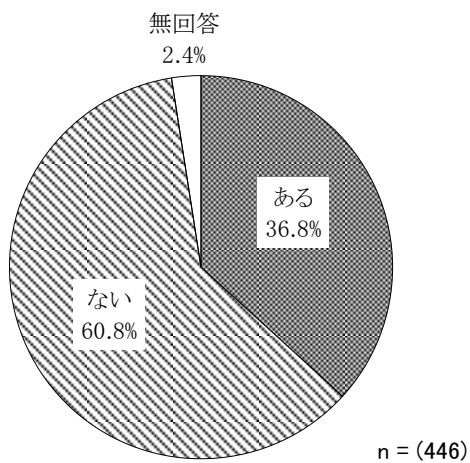
問12 薬に関する相談ができる、かかりつけ薬局がありますか。(○は1つだけ)



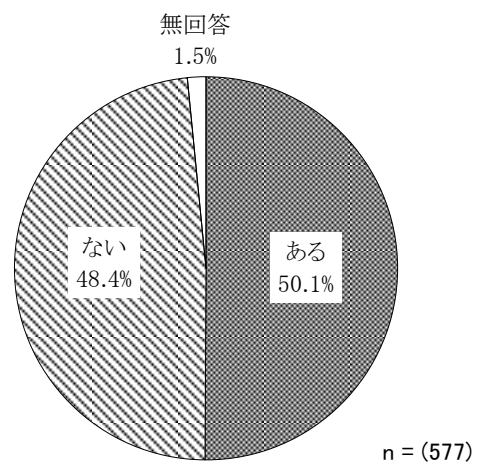
かかりつけ薬局の有無については、「ある」が44.5%、「ない」が53.3%となっています。

〈 性別／かかりつけ薬局の有無 〉

■ 男性

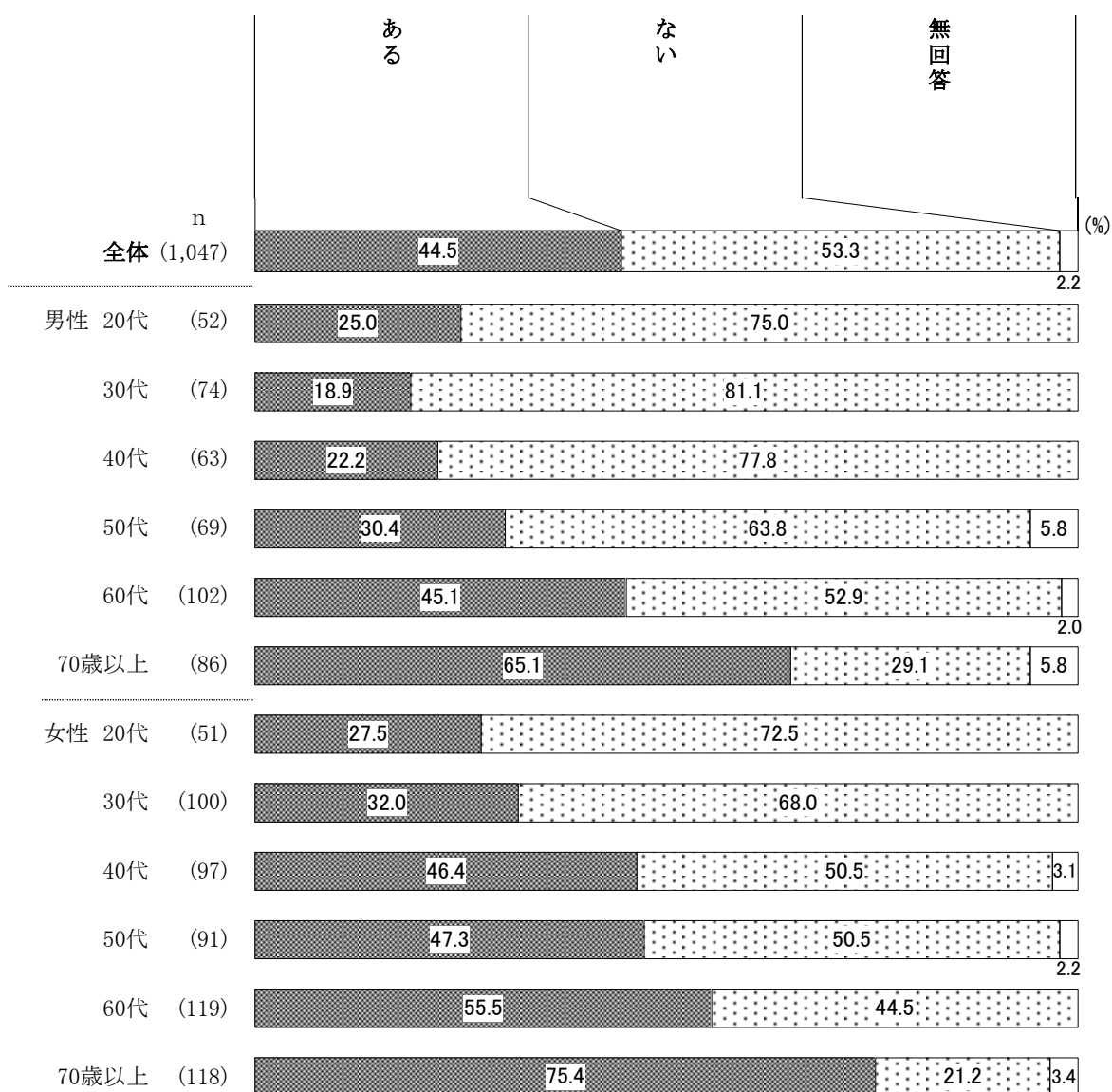


■ 女性



性別で見ると、「ある」が女性50.1%と、男性36.8%より高くなっています。

〈 性・年代別／かかりつけ薬局の有無 〉

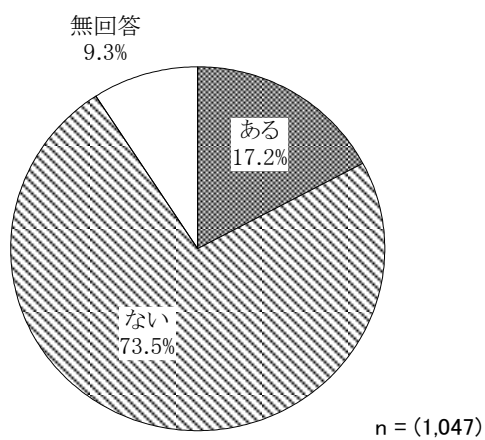


性・年代別で見ると、男性では、40代以降「ある」が増加し、70歳以上では65.1%となっています。

女性では、加齢につれて、「ある」が増加し、70歳以上では75.4%となっています。

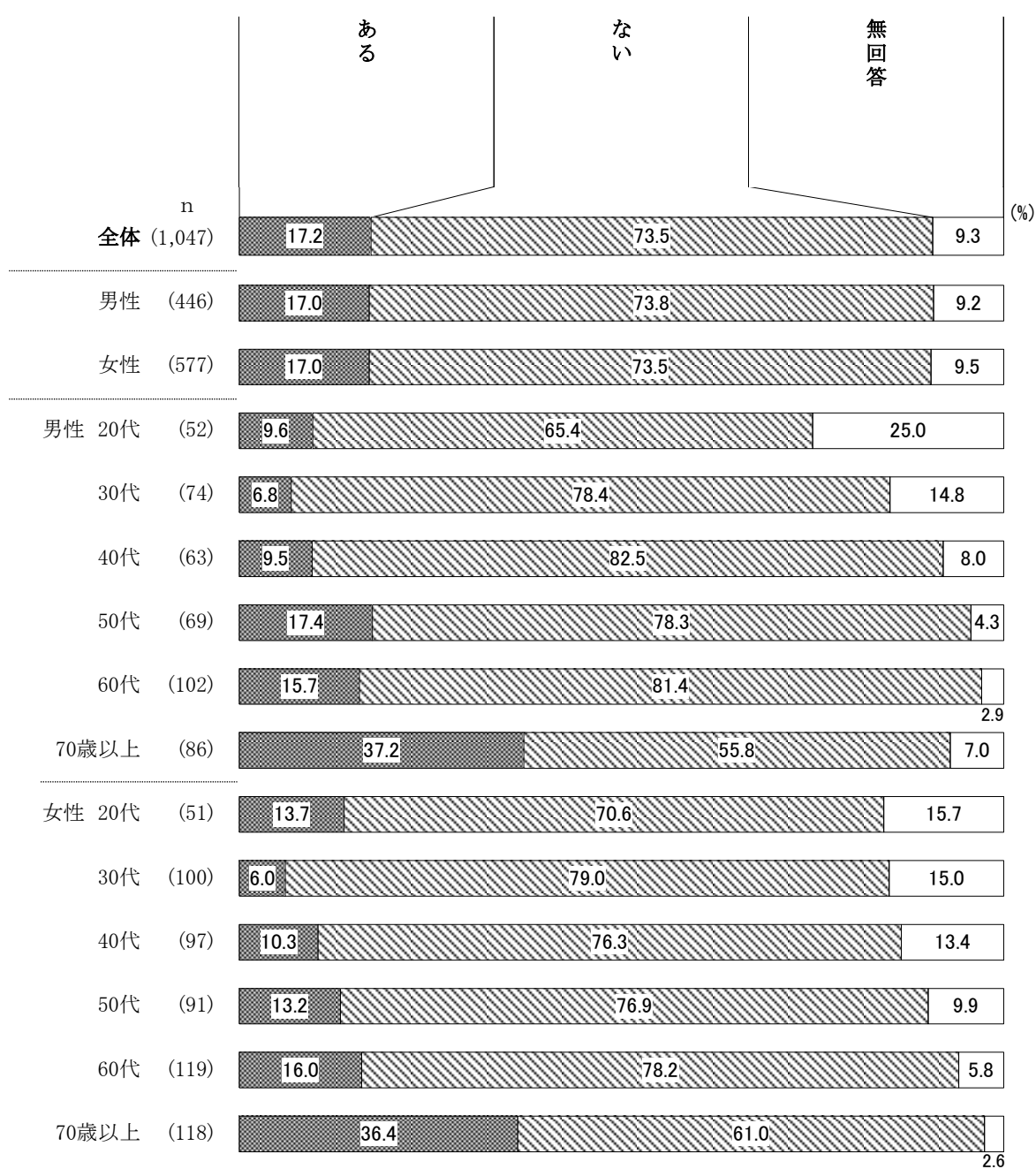
(6) 健康上の問題による日常生活への影響の有無

問13 現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(○は1つだけ)



現在、健康上の問題で日常生活に影響が「ある」は17.2%、「ない」は73.5%となっています。

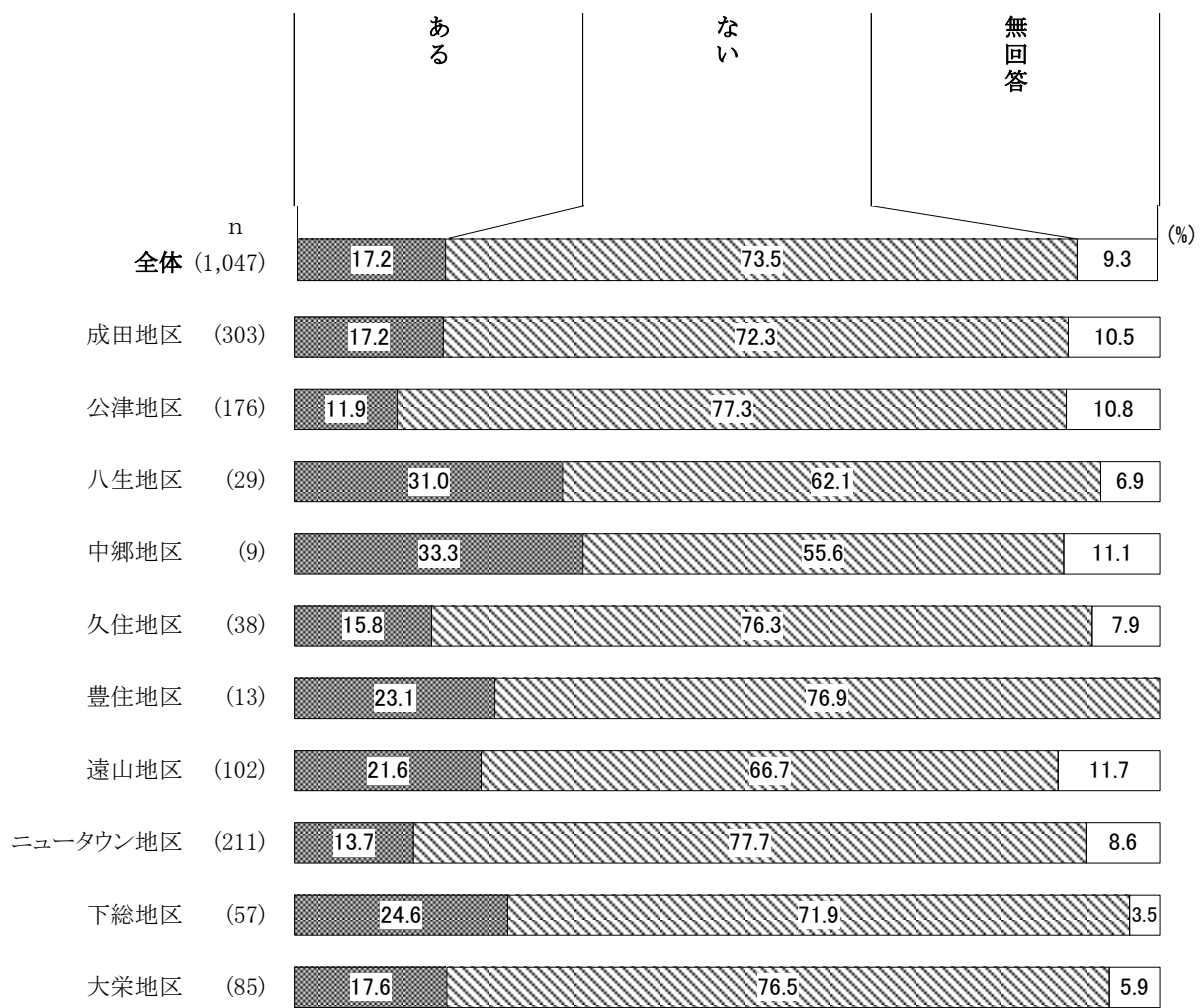
## 〈 性別、性・年代別／健康上の問題による日常生活への影響の有無 〉



性別で見ると、「ある」は男性17.0%、女性17.0%となっています。

性・年代別で見ると、男性では、70歳以上で「ある」が37.2%、女性でも、70歳以上で「ある」が36.4%と、他の年代より高くなっています。

〈 居住地区別／健康上の問題による日常生活への影響の有無 〉



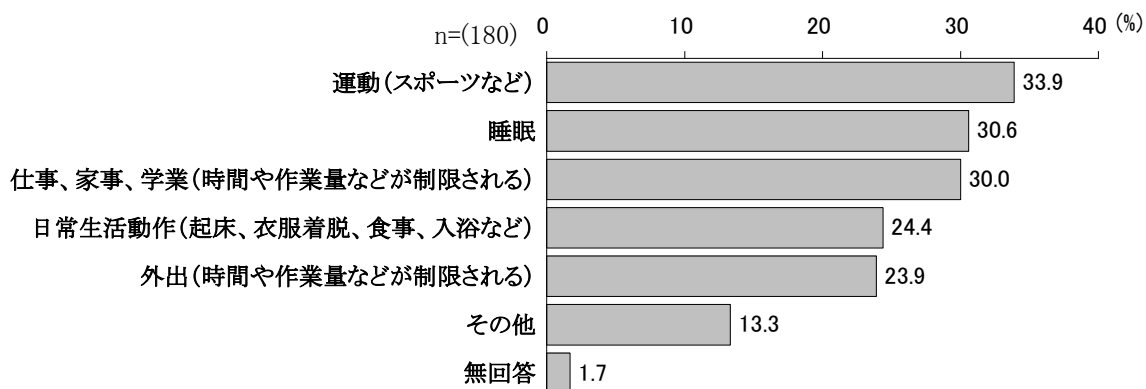
居住地区別で見ると、中郷地区で「ある」が33.3%、八生地区が31.0%、下総地区が24.6%と高くなっています。



## (7) 影響がある生活動作

問13で「1. ある」とお答えの方に

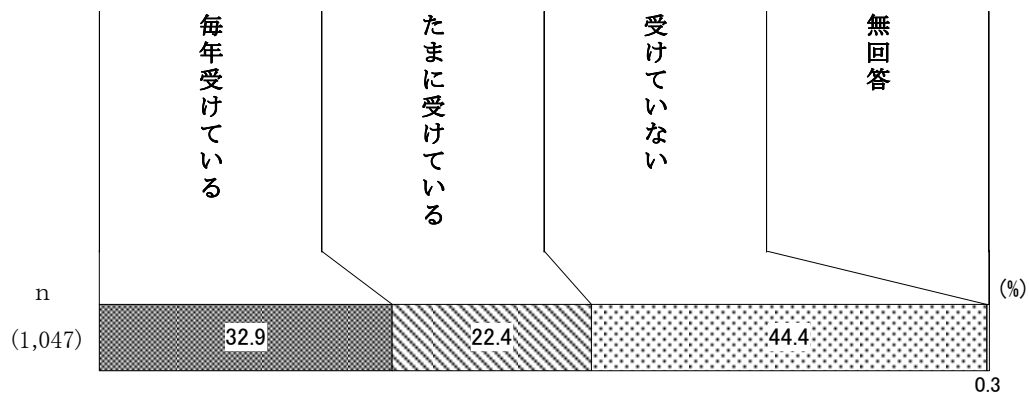
問13-1 影響があるものを選んでください。(○はあてはまるものすべて)



現在、健康上の問題で日常生活に影響が「ある」という人に、その内容を聞いたところ、「運動(スポーツなど)」3.9%、「睡眠」30.6%、「仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)」30.0%の3項目が、いずれも高くなっています。

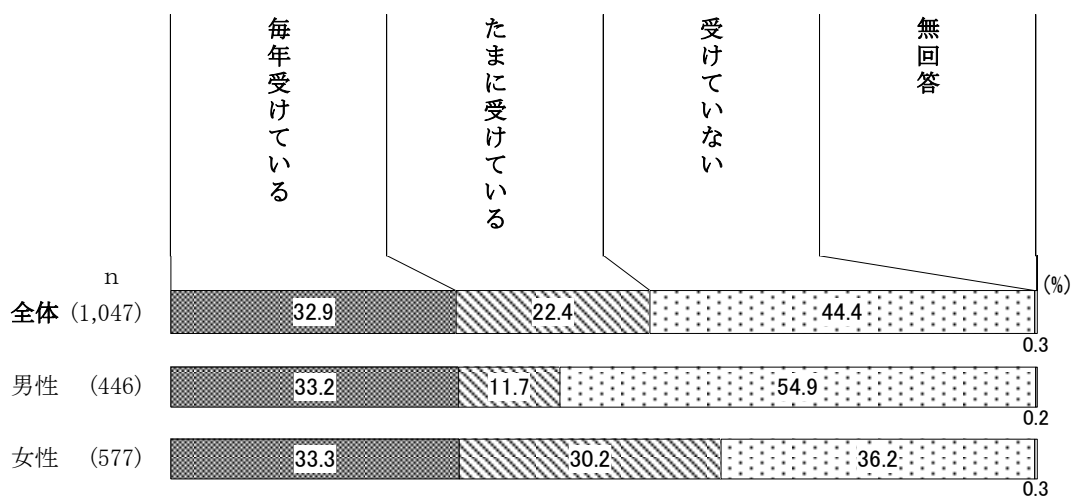
(8) がん検診の受診状況

問14 あなたはがん検診を受けていますか。(○は1つだけ)



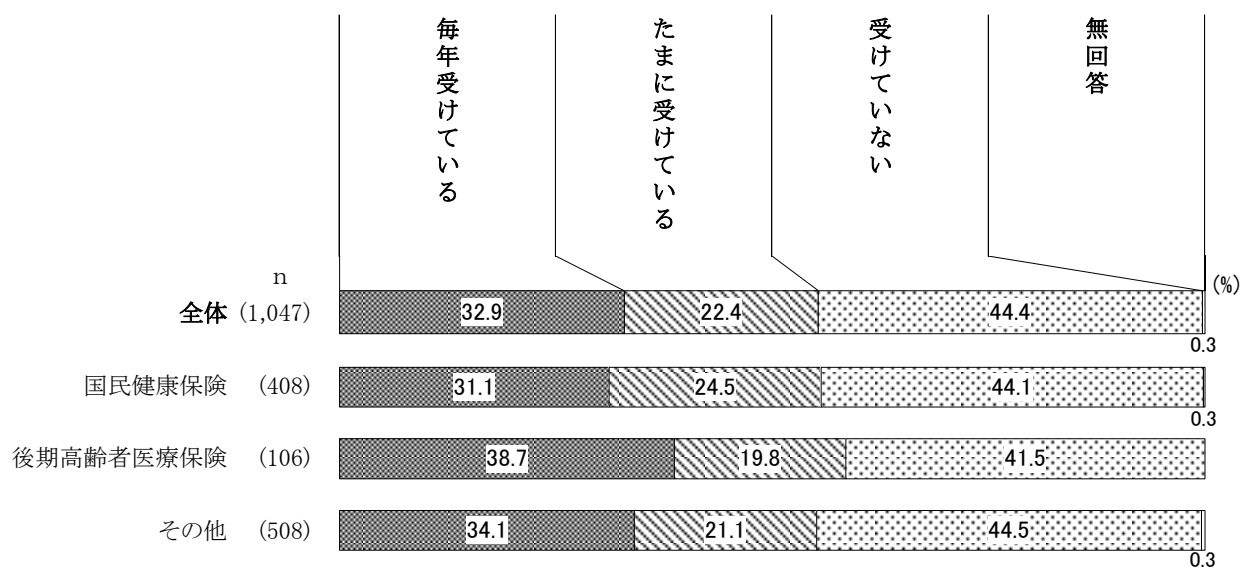
がん検診の受診状況については、「毎年受けている」が32.9%、「たまに受けている」が22.4%、「受けていない」は44.4%となっています。

〈 性別／がん検診の受診状況 〉



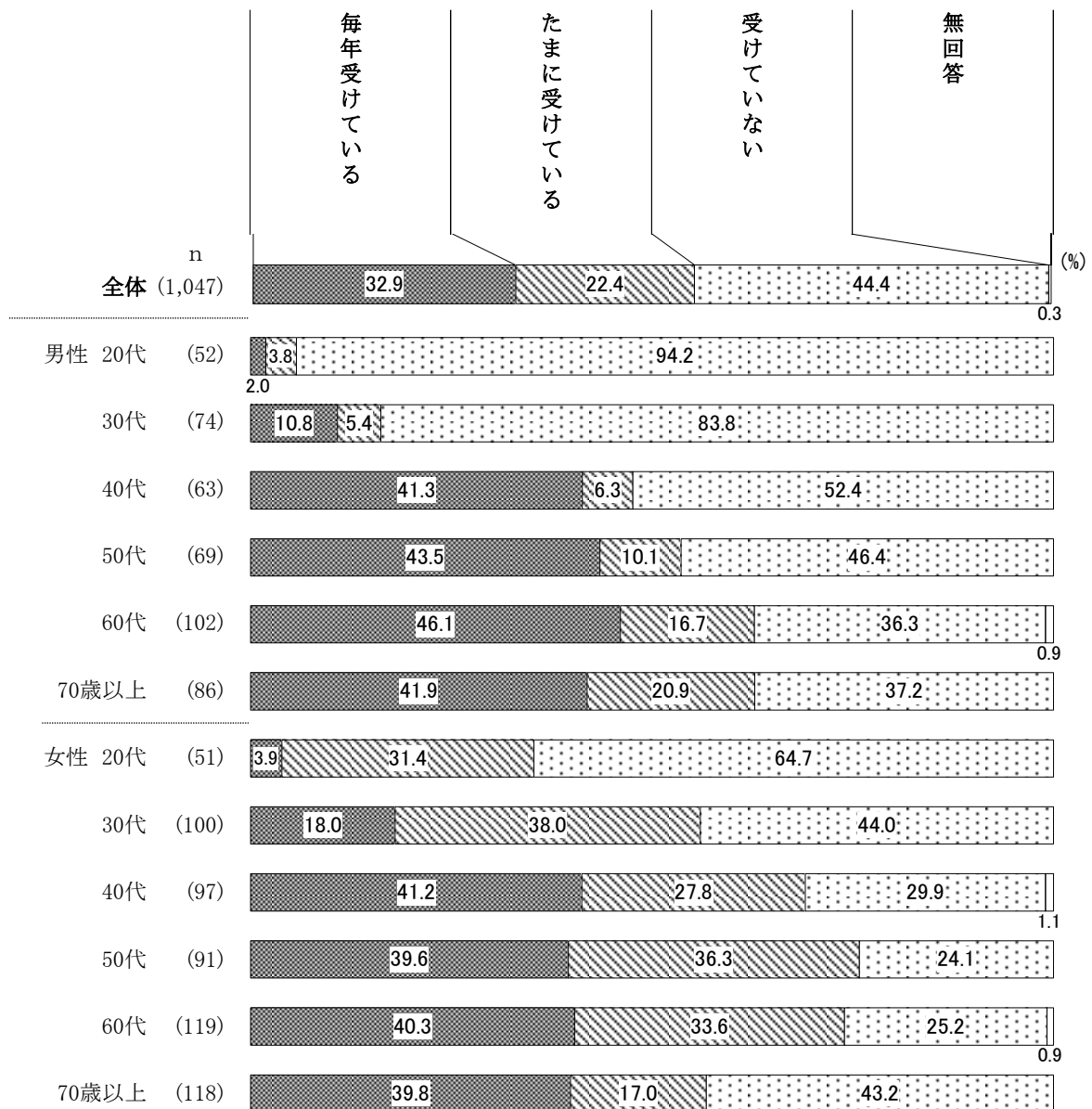
性別でみると、「毎年受けている」は男性33.2%、女性33.3%となっています。

〈 加入医療保険別／がん検診の受診状況 〉



加入医療保険別で見ると、「毎年受けている」は後期高齢者医療保険が38.7%、国民健康保険が31.1%となっています。

〈 性別、性・年代別／がん検診の受診状況 〉



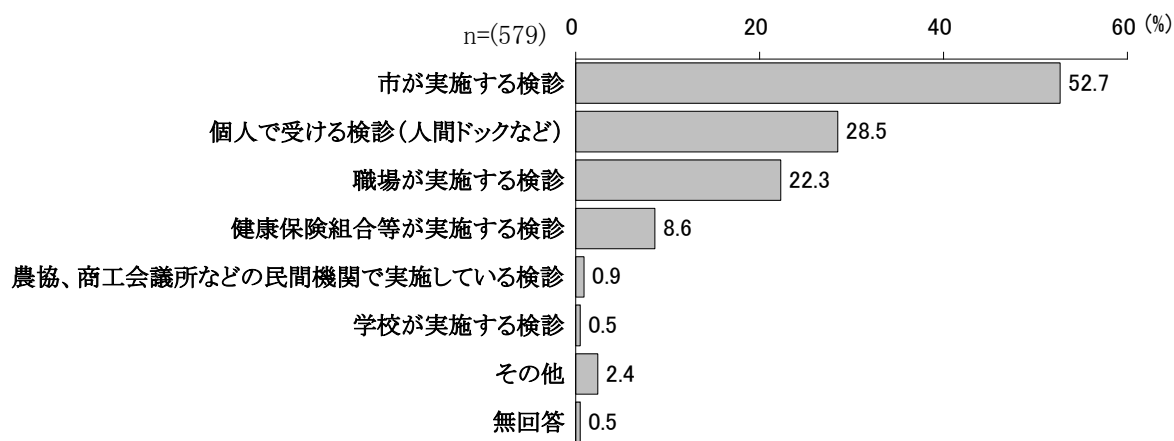
性・年代別で見ると、がん検診を「毎年受けている」人のうち、男性は60代が46.1%と最も高く、女性は40代が41.2%と最も高くなっています。

## (9) 受診しているがん検診

問14で「1. 毎年受けている」、または「2. たまに受けている」とお答えの方に

問14-1 あなたが受けているがん検診は次の中のどれですか。

(○はあてはまるものすべて)

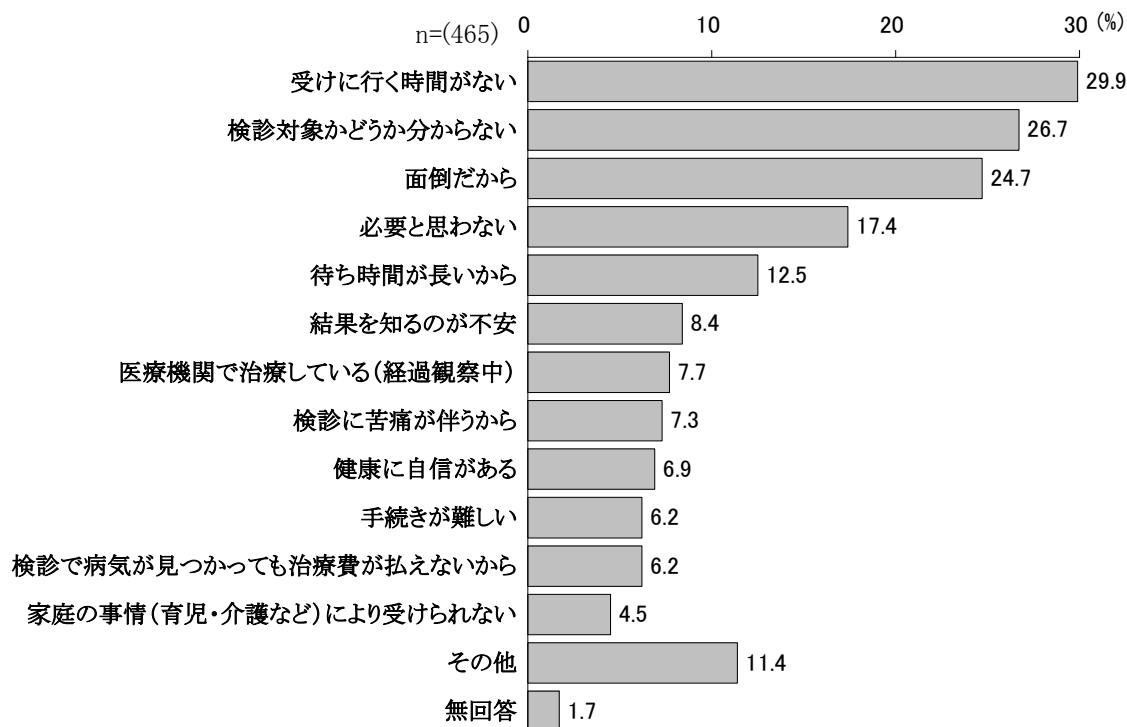


がん検診を「毎年受けている」「たまに受けている」という人が受診したがん検診の実施主体として、「市が実施する検診」が52.7%で最も高く、次いで「個人で受ける検診(人間ドックなど)」が28.5%、「職場が実施する検診」が22.3%となっています。

(10) がん検診を受けていない理由

問14で「3. 受けていない」とお答えの方に

問14-2 検診を受けていない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

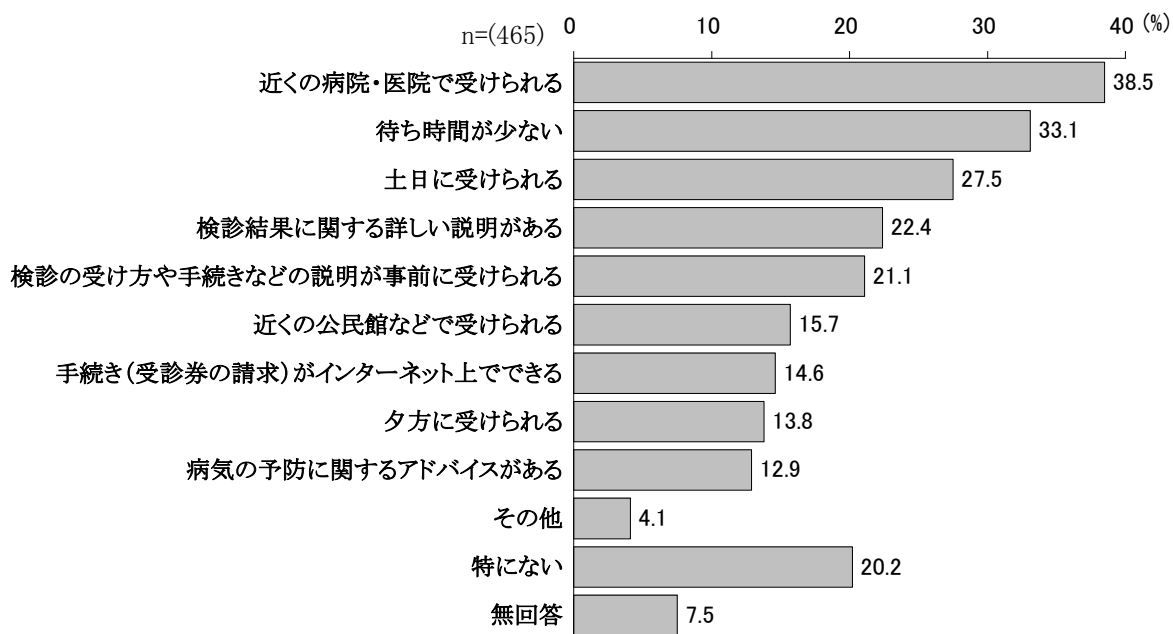


がん検診を「受けていない」という人に、その理由を聞いたところ、「受けに行く時間がない」が29.9%で最も高く、次いで「検診対象かどうか分からない」が26.7%、「面倒だから」が24.7%となっています。

## (11) がん検診受診の条件

問14で「3. 受けていない」とお答えの方に

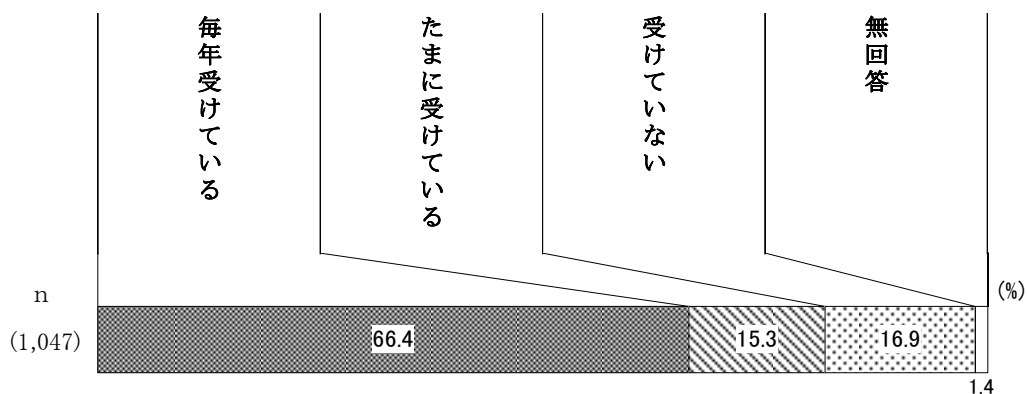
問14-3 どのような検診であれば受けようと思いますか。(○はあてはまるものすべて)



がん検診を「受けていない」という人に、受診するための条件を聞いたところ、「近くの病院・医院で受けられる」が38.5%で最も高く、次いで「待ち時間が少ない」(33.1%)、「土日に受けられる」(27.5%)となっています。

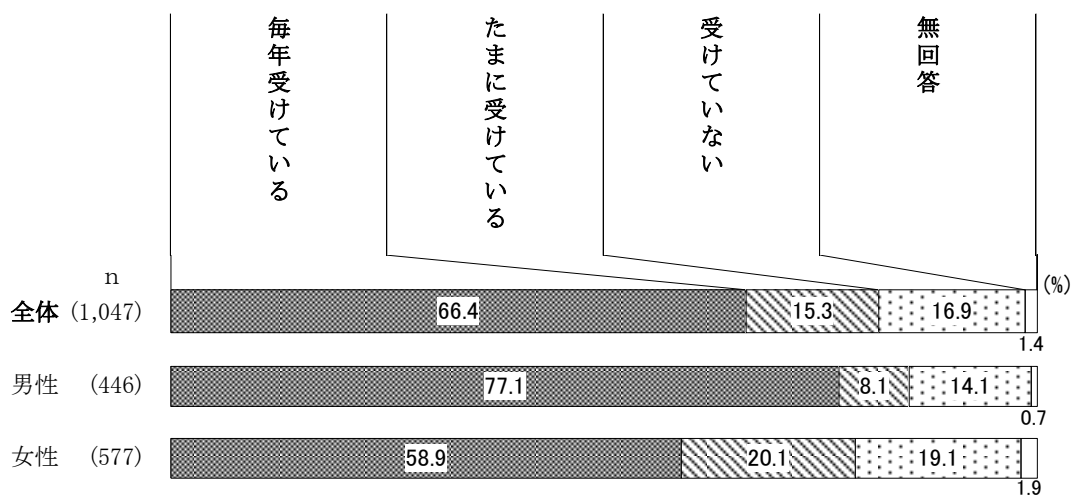
(12) 健康診断の受診状況

問15 あなたは健康診断を受けていますか。(○は1つだけ)



健康診断については、「毎年受けている」が66.4%、「たまに受けている」が15.3%となっています。一方、「受けていない」は16.9%となっています。

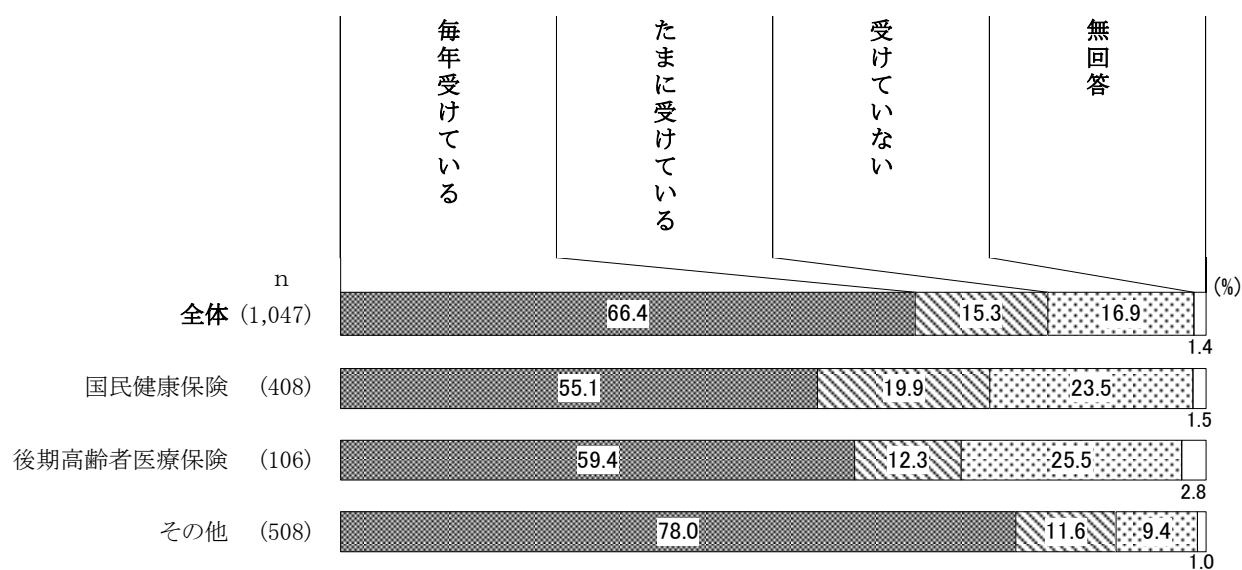
〈 性別／健康診断の受診状況 〉



性別で見ると、男性では「毎年受けている」が77.1%と、女性（58.9%）より高くなっています。



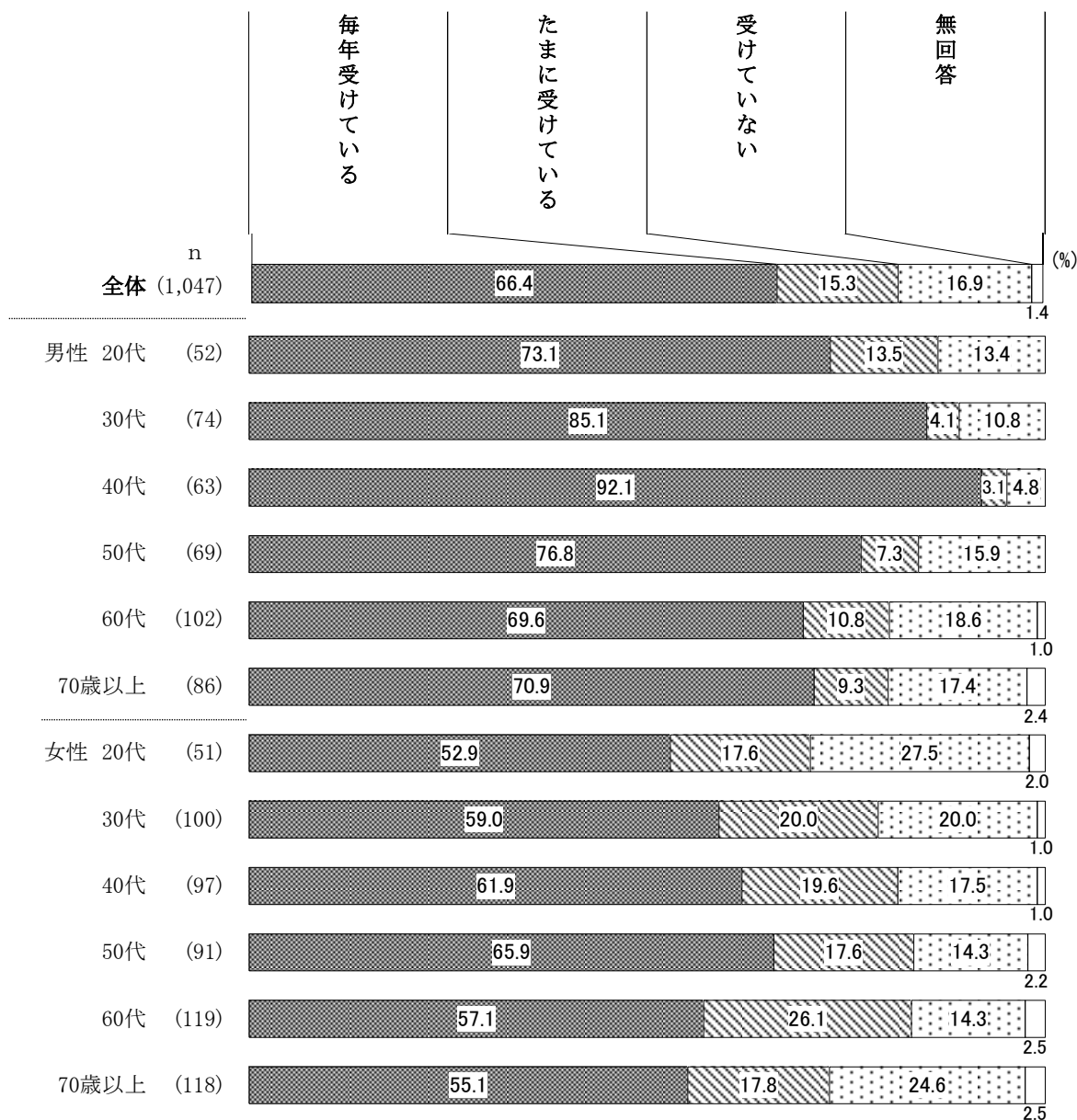
〈 加入医療保険別／健康診断の受診状況 〉



加入医療保険別で見ると、「毎年受けている」は後期高齢者医療保険が59.4%、国民健康保険が55.1%となっています。

また、その他の層では78.0%となっています。

〈 性・年代別／健康診断の受診状況 〉



性・年代別でみると、男性では、40代では「毎年受けている」が92.1%と高くなっているが、60代、70歳以上では7割前後となっています。

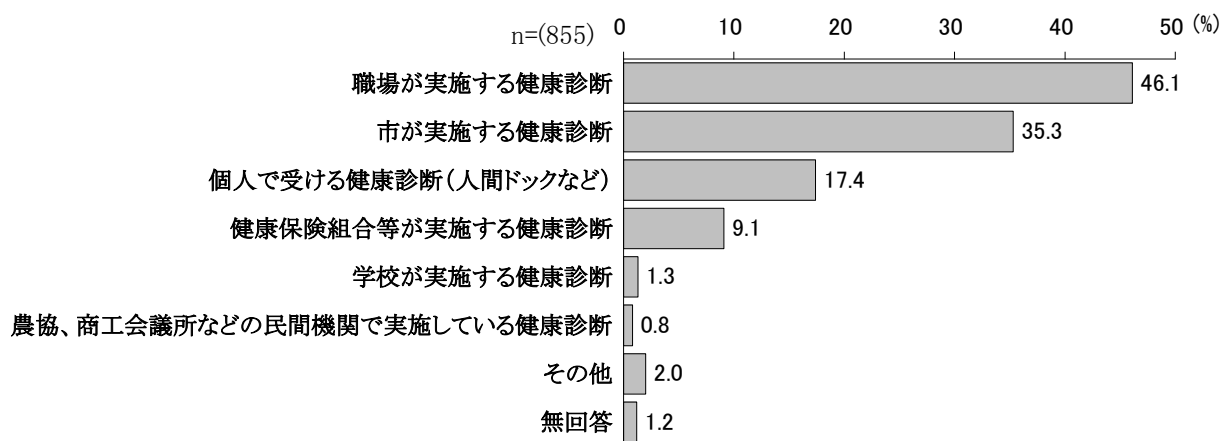
女性では、50代で「毎年受けている」が65.9%を占めているほか、30代、40代でも6割前後となっています。

## (13) 受診している健康診断

問15で「1. 毎年受けている」、または「2. たまに受けている」とお答えの方に

問15-1 あなたが普段受ける健康診断は、次の中のどれですか。

(○はあてはまるものすべて)

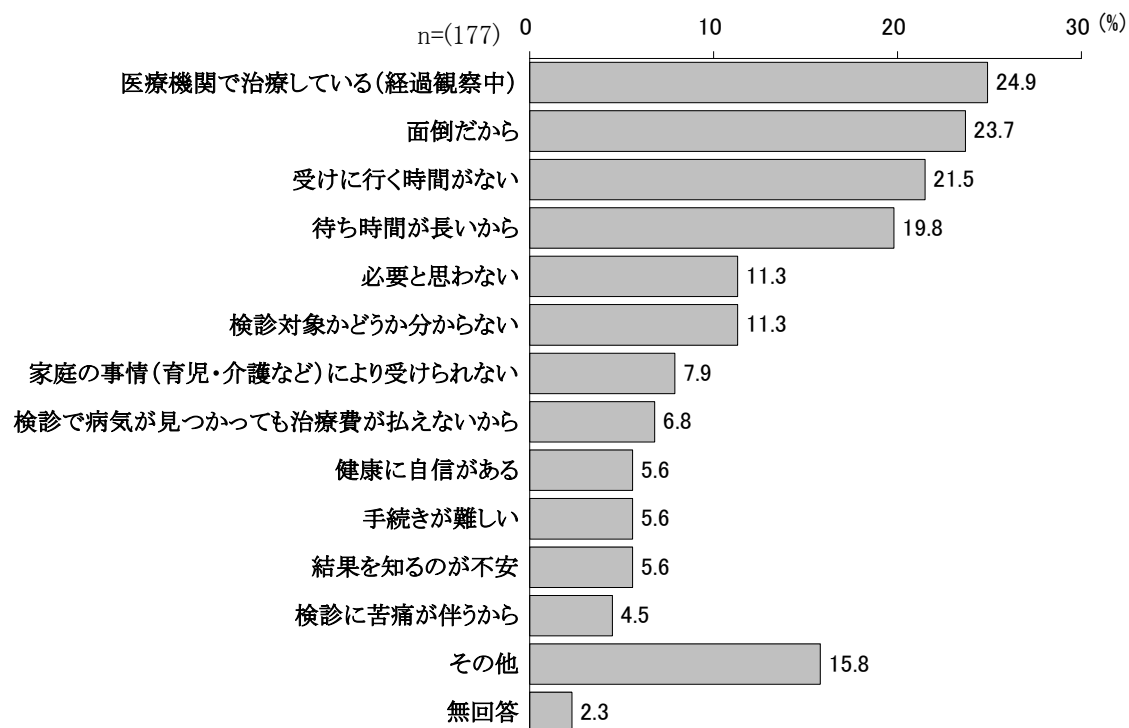


健康診断を「毎年受けている」「たまに受けている」という人が受診した健康診断の実施主体として、「職場が実施する健康診断」が46.1%で最も高く、次いで「市が実施する健康診断」(35.3%)、「個人で受ける健康診断(人間ドックなど)」(17.4%)となっています。

(14) 健康診断を受けていない理由

問15で「3. 受けていない」とお答えの方に

問15-2 健診を受けていない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

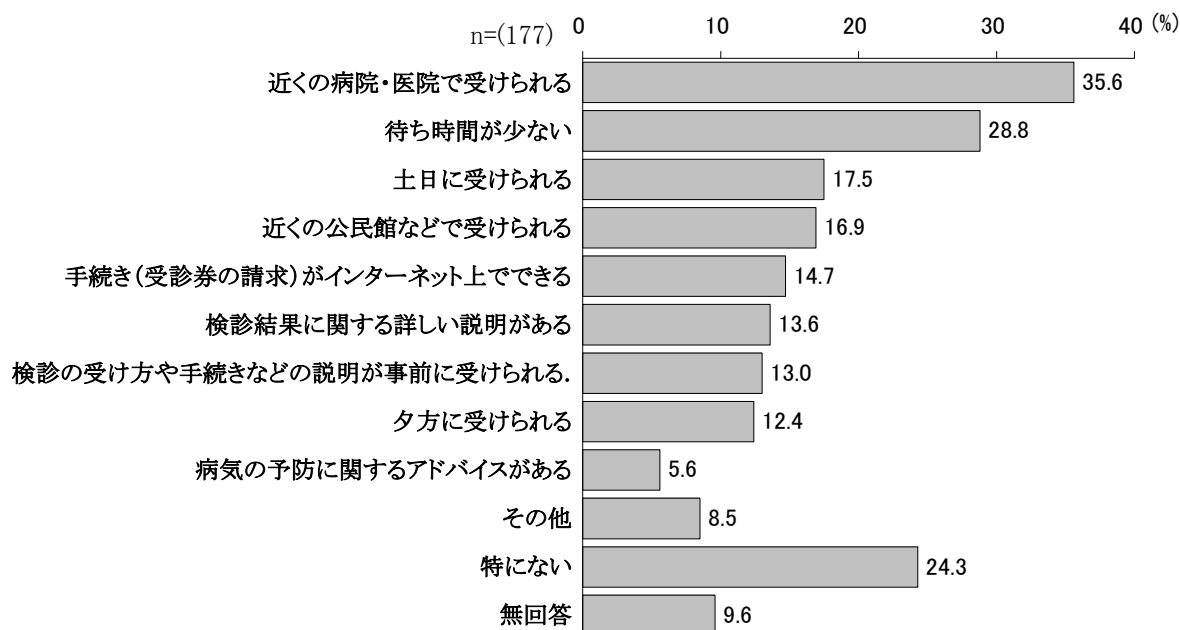


健康診断を「受けていない」人の理由は、「医療機関で治療している（経過観察中）」が24.9%で最も高く、次いで「面倒だから」（23.7%）、「受けに行く時間がない」（21.5%）となっています。

## (15) 健康診断受診の条件

問15で「3. 受けていない」とお答えの方に

問15-3 どのような健診であれば受けようと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

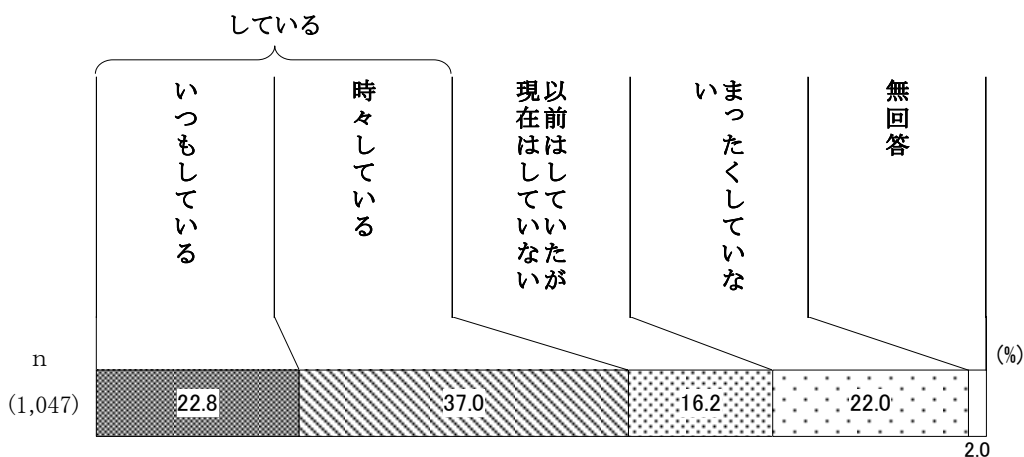


健康診断を受けていない人に受診するための条件を聞いたところ、「近くの病院・医院で受けられる」が35.6%で最も高く、次いで「待ち時間が少ない」が28.8%、「土日に受けられる」が17.5%となっています。

### 3. 運動

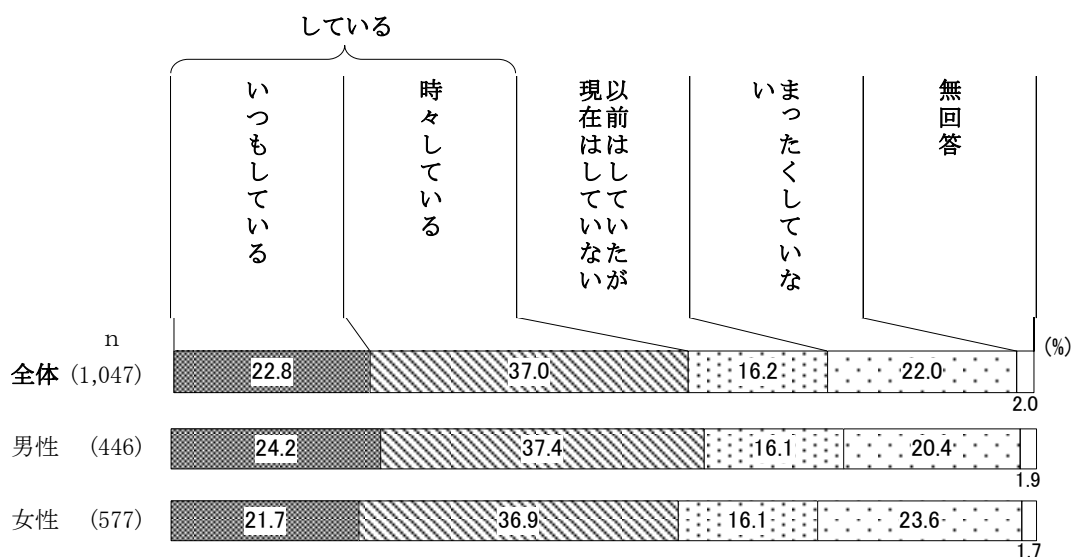
#### (1) 健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすこと

問16 日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために、意識的に身体を動かしていますか。(○は1つだけ)



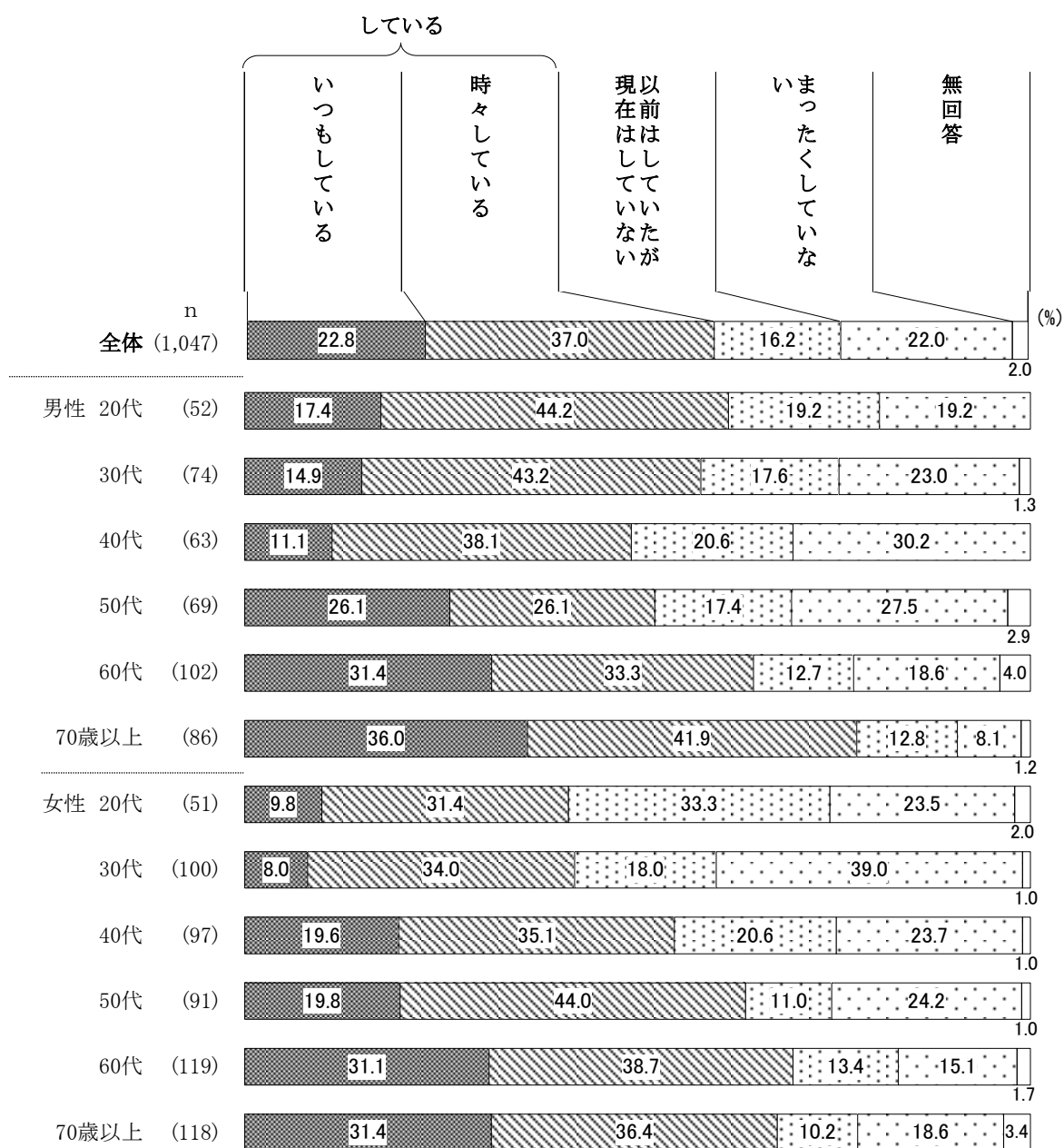
日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に身体を動かすことについては、「している」が59.8%であり、「以前はしていたが、現在はしていない」が16.2%、「まったくしていない」が22.0%となっています。

#### 〈 性別／健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすこと 〉



性別でみると、「している」は男性61.6%、女性58.6%となっています。

〈 性・年代別／健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすこと 〉

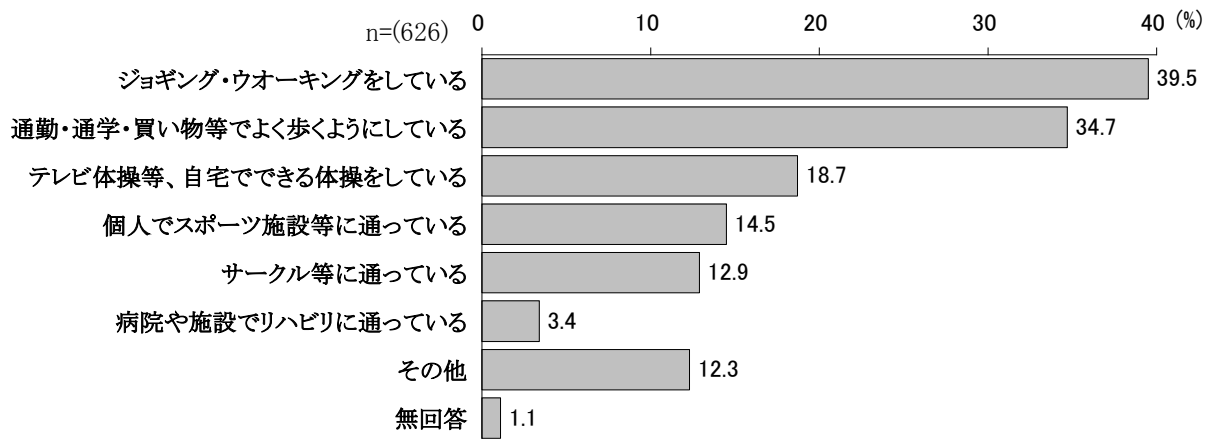


性・年代別で見ると、男性では、50代以上で「している」が増加しており、70歳以上では77.9%となっています。

女性では、40代以上で「している」が増加しており、60代が最も多く、69.8%となっています。

(2) 身体を動かしている内容

問16で「1. いつもしている」、または「2. 時々している」とお答えの方に  
問16-1 どのように身体を動かしていますか。(〇はあてはまるものすべて)



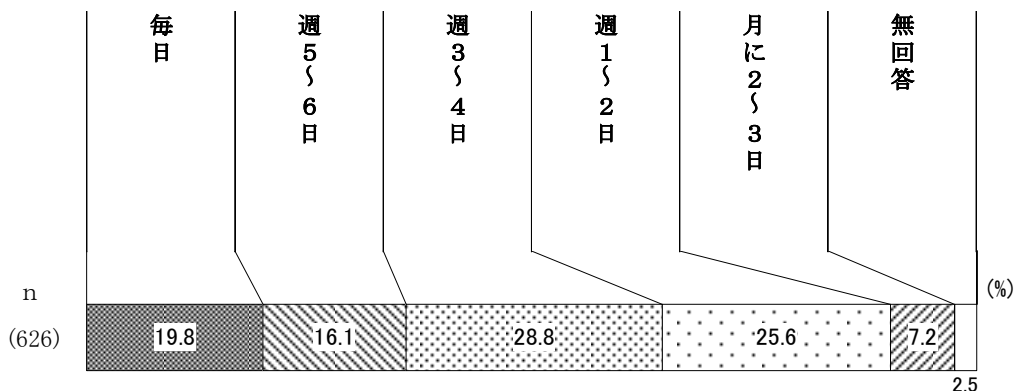
日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に身体を動かすことを「いつもしている」「時々している」という人に、その内容を聞いたところ、「ジョギング・ウォーキングをしている」が39.5%で最も高く、次いで「通勤・通学・買い物等によく歩くようにしている」が34.7%、「テレビ体操等、自宅でできる体操をしている」が18.7%となっています。



(3) 身体を動かす頻度

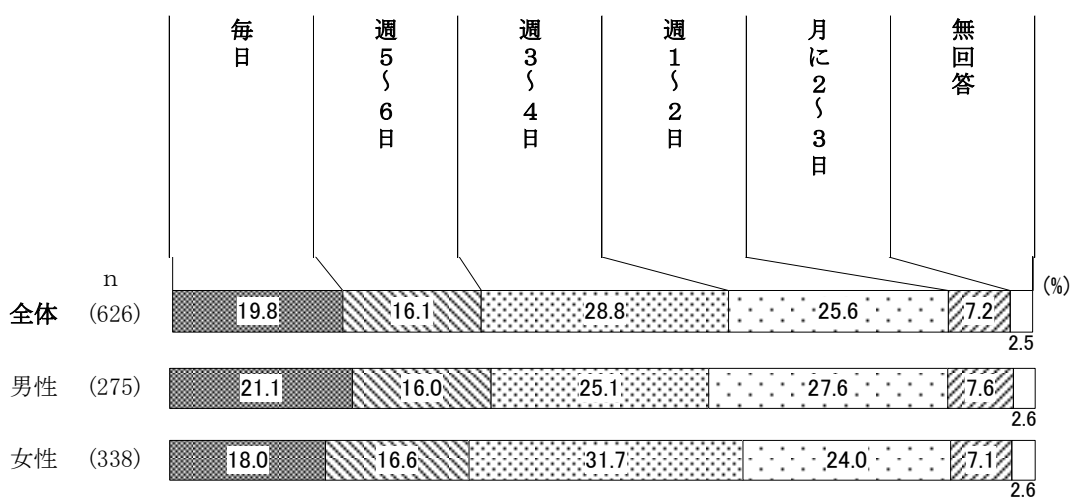
問16で「1. いつもしている」、または「2. 時々している」とお答えの方に

問16-2 頻度は、どれくらいですか。(○はもっとも近い頻度1つだけ)



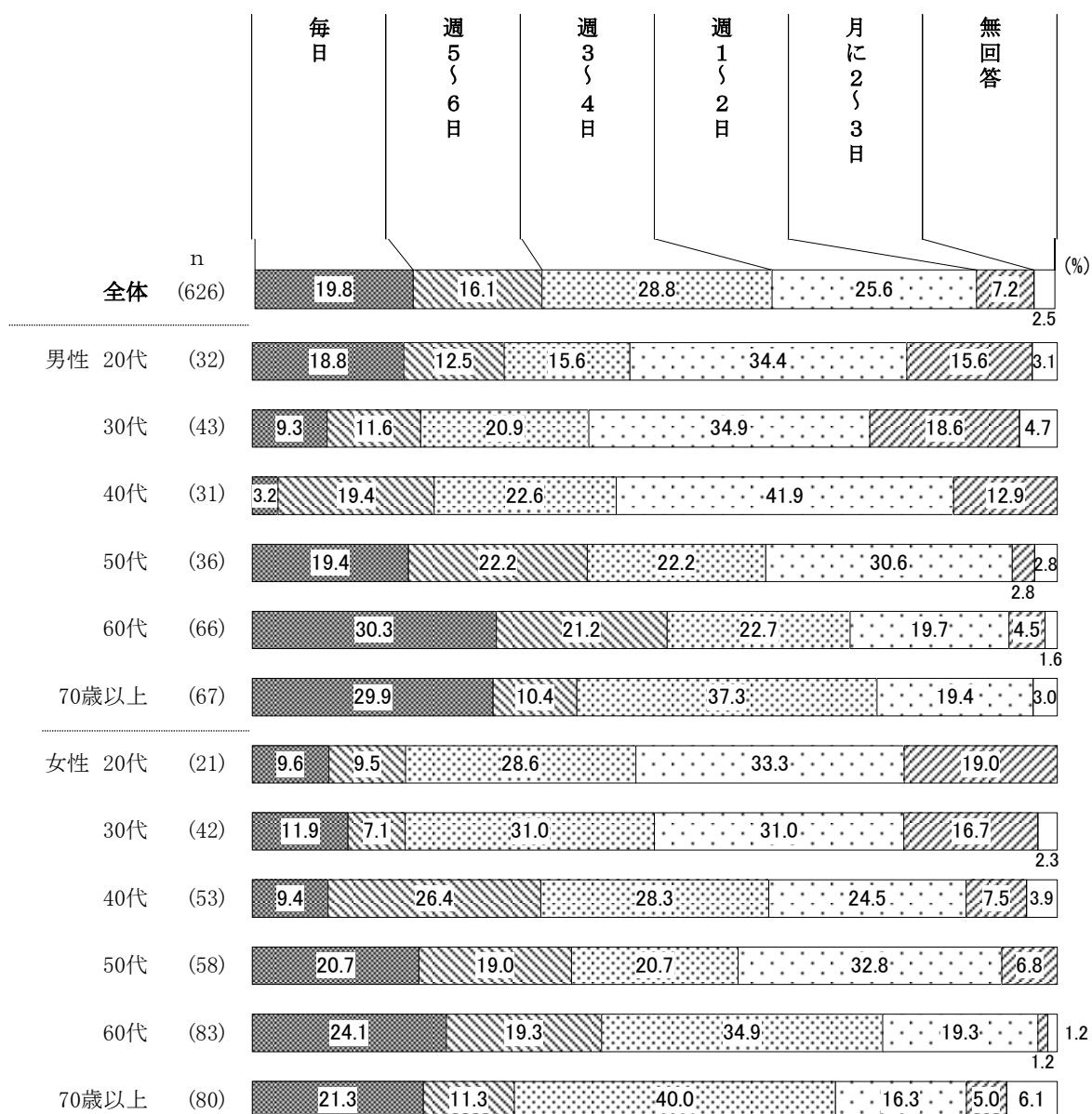
日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に身体を動かすことを「いつもしている」「時々している」という人の頻度は、「週3～4日」が28.8%、「週1～2日」が25.6%となっています。

〈 性別／身体を動かす頻度 〉



性別で見ると、女性では「週3～4日」(31.7%)が男性より高くなっています。

〈 性・年代別／身体を動かす頻度 〉

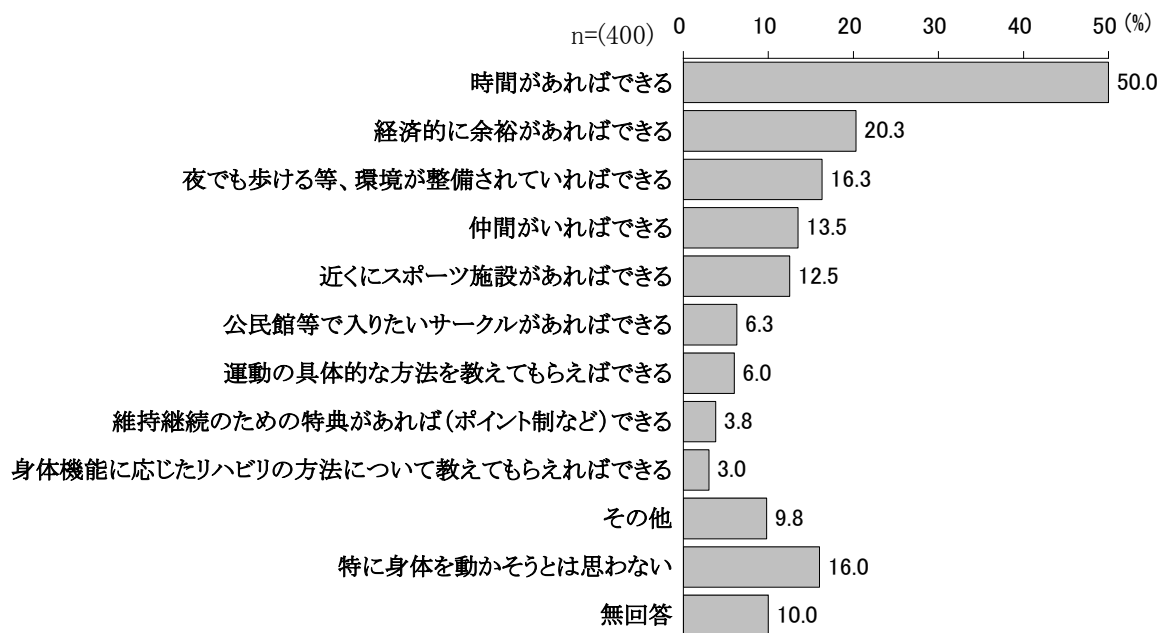


性・年代別で見ると、男性では、「毎日」が、60代で30.2%、70歳以上で29.9%と、他の年代より高くなっています。

女性では、「毎日」が、50代で20.7%、60代で24.1%、70歳以上で21.3%と、他の年代より高くなっています。

## (4) 身体を動かすことができる条件

問16で「3. 以前はしていたが～」、または「4. まったくしていない」とお答えの方に  
 問16-3 身体を動かすことができる条件は何ですか。(○はあてはまるものすべて)



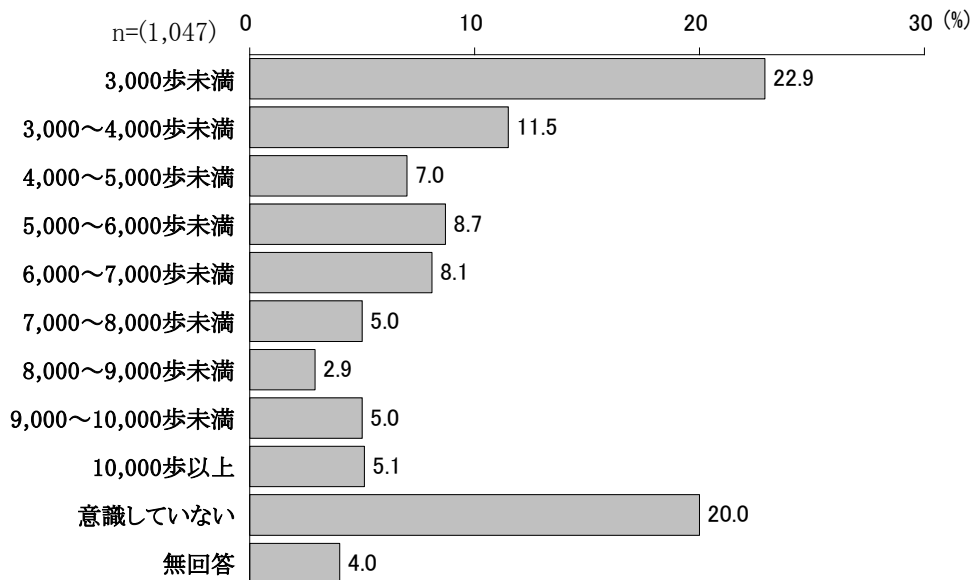
意識的に身体を動かすことを「以前していたが、今はしていない」「まったくしていない」という人に、身体を動かす条件を聞いたところ、「時間があればできる」が50.0%で最も高く、次いで「経済的に余裕があればできる」が20.3%、「夜でも歩ける等、環境が整備されていればできる」が16.3%、「仲間がいればできる」が13.5%となっています。

(5) 一日の平均的な歩数

問17 一日の平均的な歩数はどれくらいですか。

(いちばんあてはまると思うところに○をつけてください)

例) 体重60Kgの人が、時速4km(分速70m)、歩幅70cm、10分歩くと700m、1000歩になります。

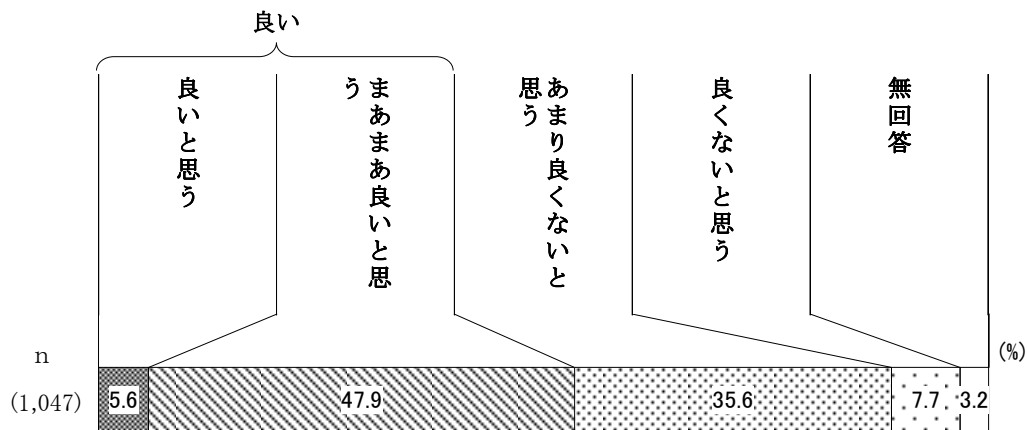


1日の平均的な歩数については、「3,000歩未満」が22.9%で最も高く、次いで「3,000～4,000歩未満」が11.5%となっています。

また、「意識していない」は20.0%となっています。

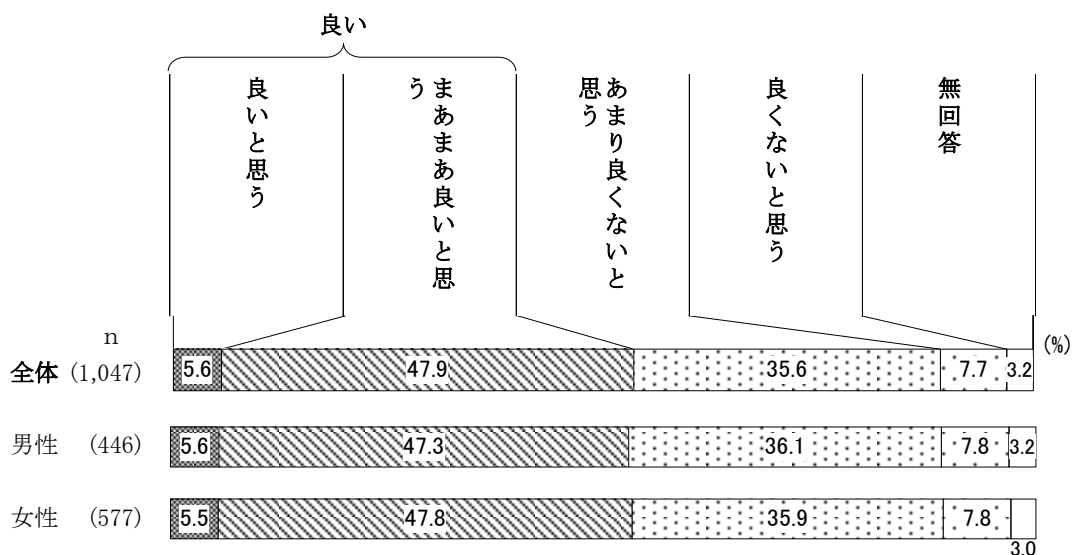
(6) 健康の面から見た、ふだんの生活習慣

問18 あなたは、健康の面から見て、ご自身のふだんの生活習慣をどう思いますか。  
(○は1つだけ)



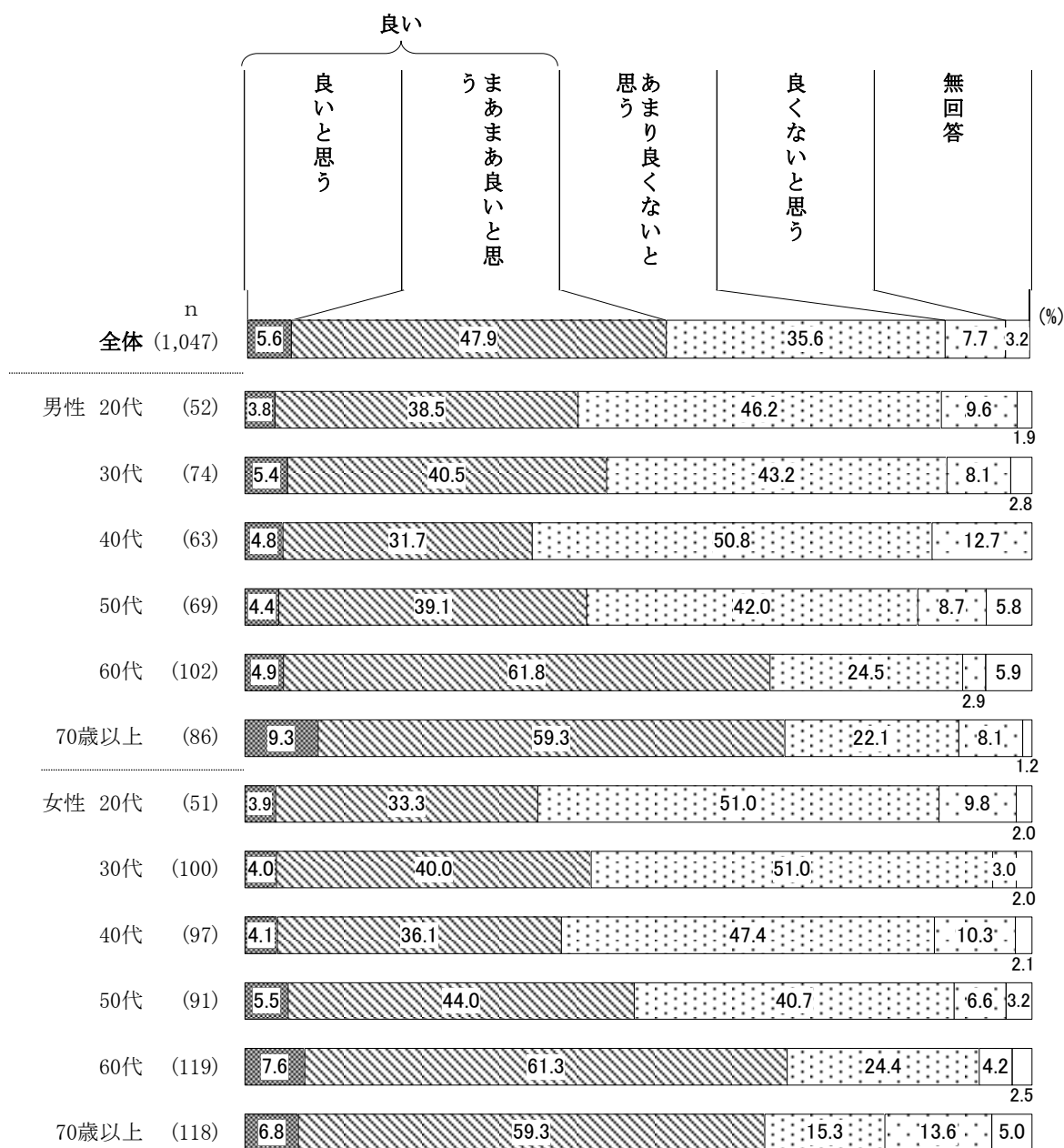
健康面から見たふだんの生活習慣については、「良い」が53.5%であり、「あまり良くないと思う」が35.6%、「良くないと思う」が7.7%となっています。

〈 性別／健康の面から見た、ふだんの生活習慣 〉



性別でみると、「良い」は男性52.9%、女性53.3%となっています。

〈 性別、性・年代別／健康の面から見た、ふだんの生活習慣 〉



性・年代別でみると、男性の場合、「良い」が、60代で66.7%、70歳以上で68.5%と、他の年代より高くなっています。

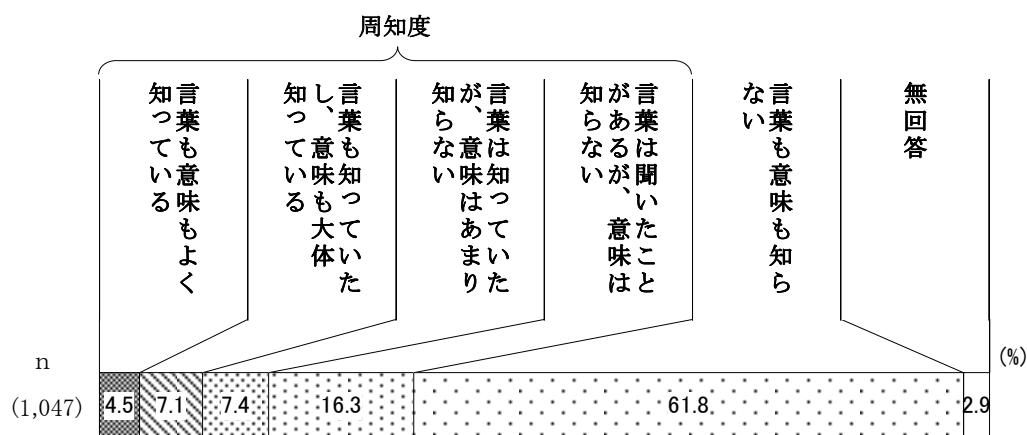
女性の場合、「良い」が、60代で68.9%、70歳以上で66.1%と高くなっています。

(7) ロコモティブシンドロームの認知状況

問19 ロコモティブシンドロームという言葉と、その意味を知っていますか。

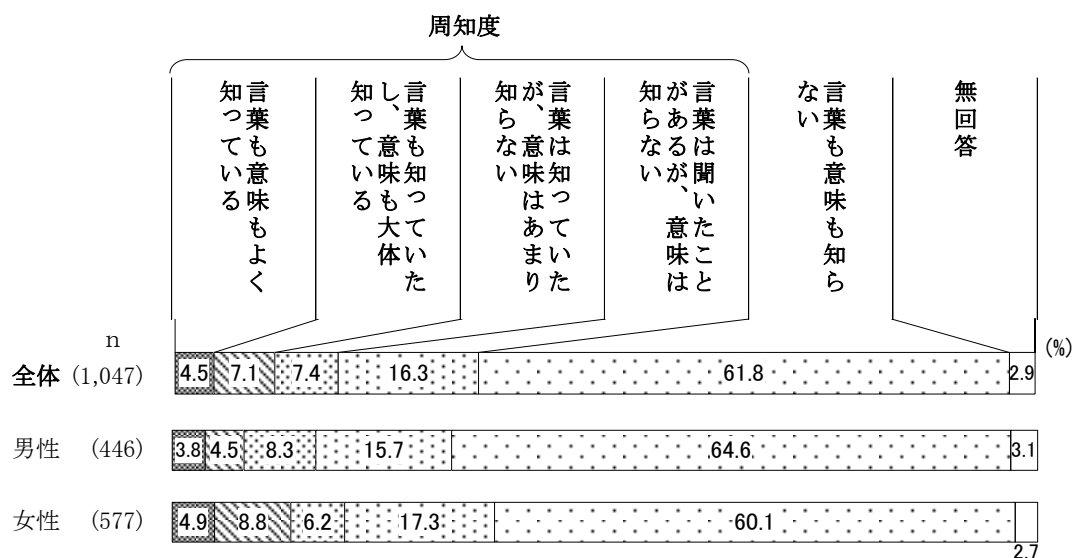
(○は1つだけ)

※**ロコモティブシンドローム**とは、運動器（身体運動に関わる骨、筋肉、関節、神経などの総称）の障害による要介護の状態や要介護リスクの高い状態を表す新しい言葉で、「運動器症候群」ともいいます。



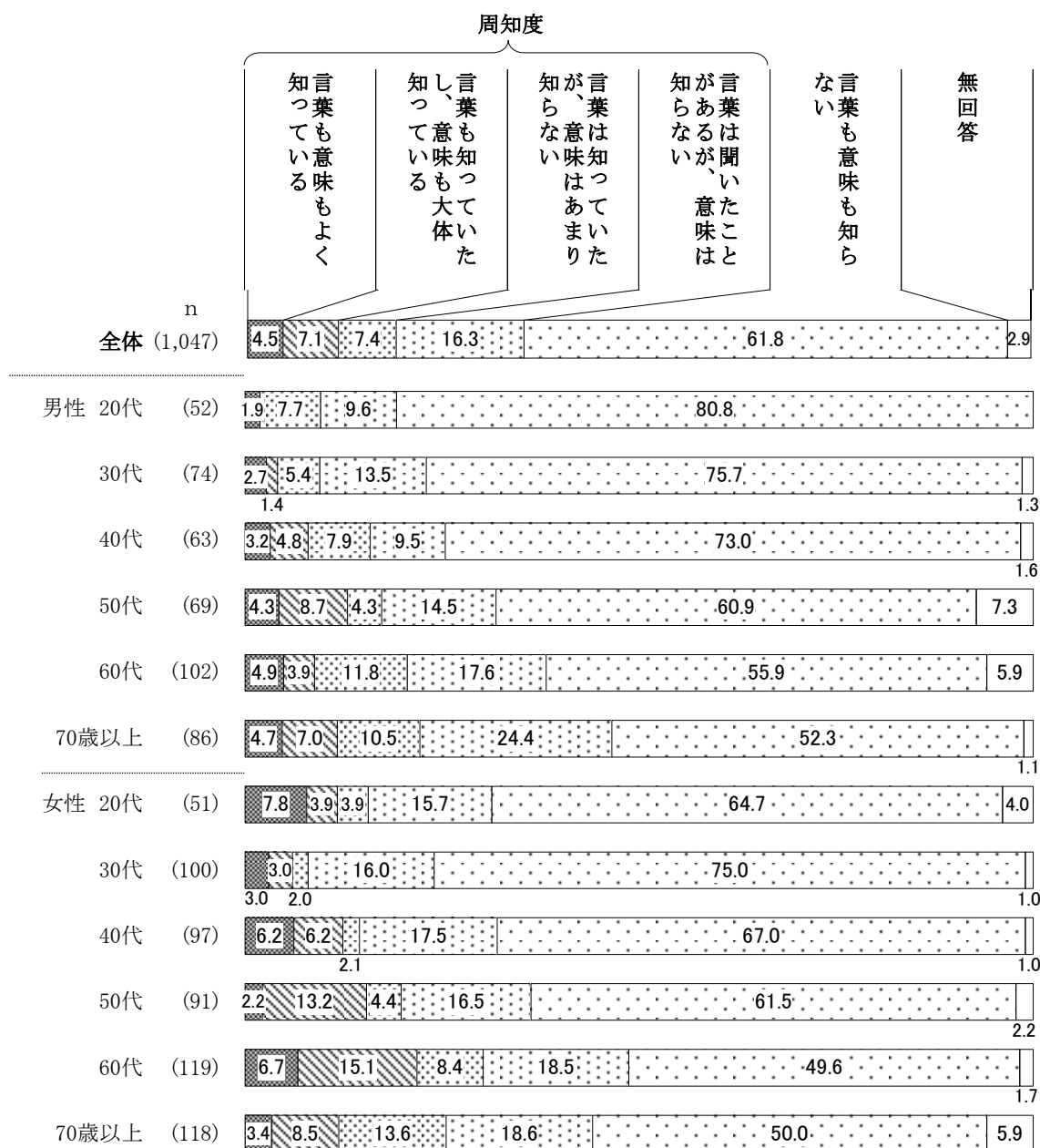
ロコモティブシンドロームの認知状況について、「言葉も意味もよく知っている」「言葉も知っていたし、意味も大体知っている」人は11.6%となっており、「言葉も意味も知らない」人は61.8%となっています。

〈 性別、性・年代別／ロコモティブシンドロームの認知状況 〉



性別で見ると、「言葉も意味もよく知っている」「言葉も知っていたし、意味も大体知っている」人は男性8.3%、女性13.7%となっています。

〈 性別、性・年代別／ロコモティブシンドロームの認知状況 〉

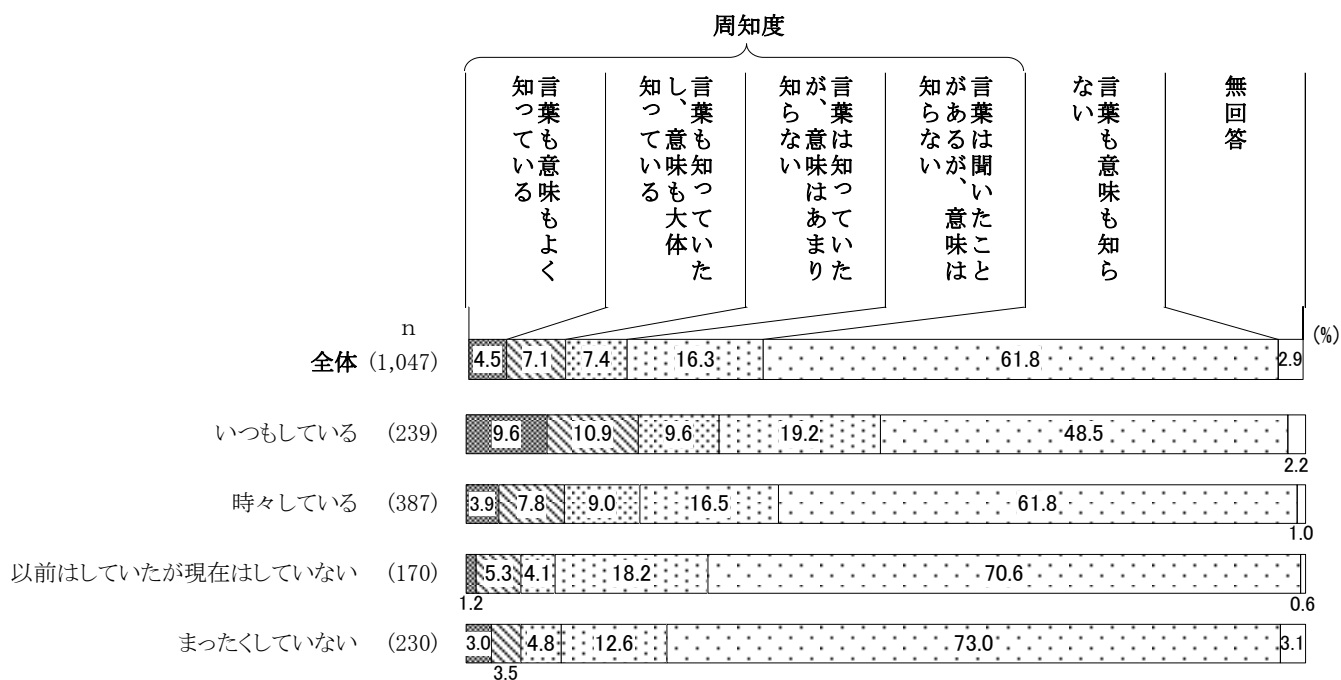


性・年代別でみると、男性では、「言葉も意味もよく知っている」「言葉も知っていたし、意味も大体知っている」人が、50代で13.0%、70歳以上で11.7%となっています。

また、女性では、すべての年代で男性より高くなっており、とくに60代では21.8%と、最も高くなっています。



〈 健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすこと別／ロコモティブシンドロームの認知状況 〉

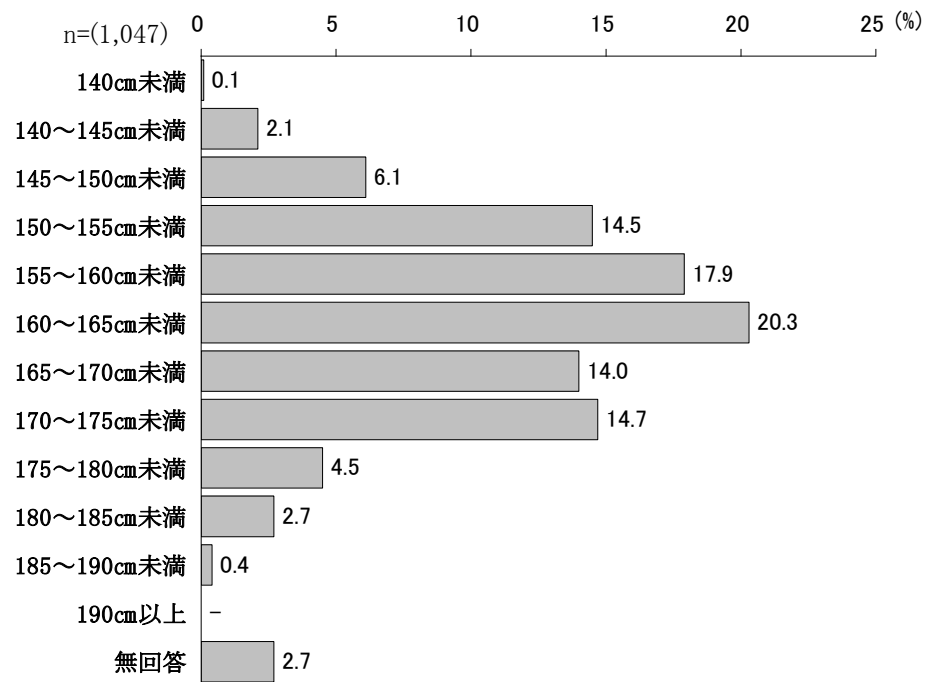


健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすこと別でみると、している層ほど「言葉も意味もよく知っている」「言葉も知っていたし、意味も大体知っている」人が増加し、いつもしているでは20.5%となっています。

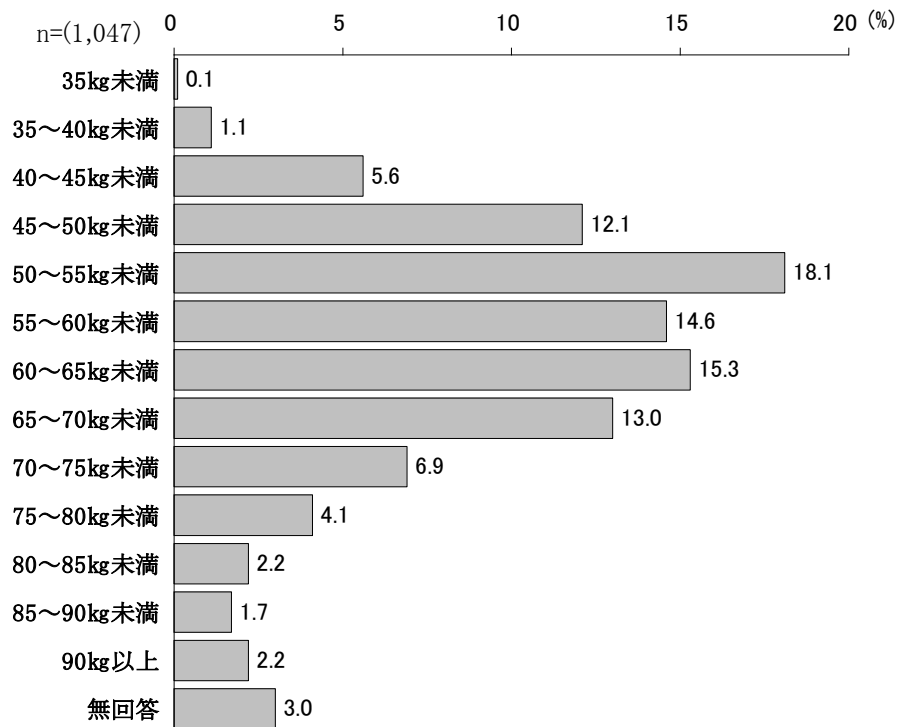
(8) 身長・体重とBMI

問20 あなたの身長・体重はどのくらいですか。(数字を記入してください)

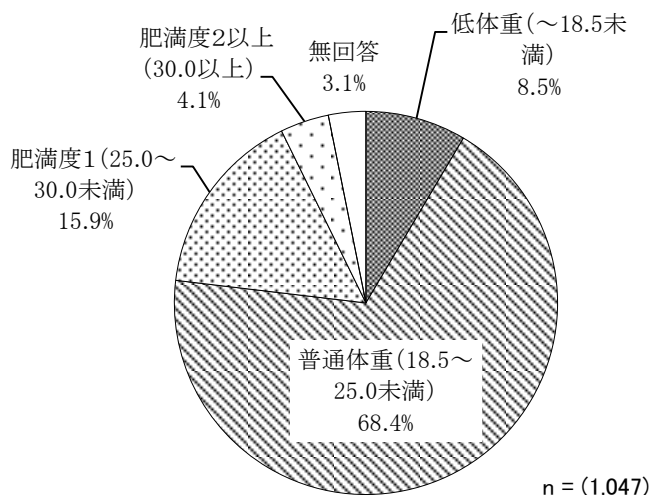
■身長



■体重



■ BMI



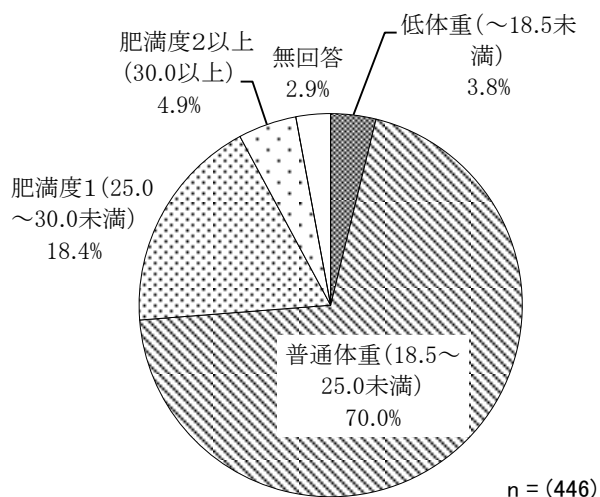
身長については、「160～165cm未満」が20.3%で最も高く、次いで「155～160cm」が17.9%、「170～175cm」が14.7%となっています。

体重については、「50～55kg未満」が18.1%で最も高く、次いで「60～65kg未満」が15.3%、「55～60kg未満」が14.6%となっています。

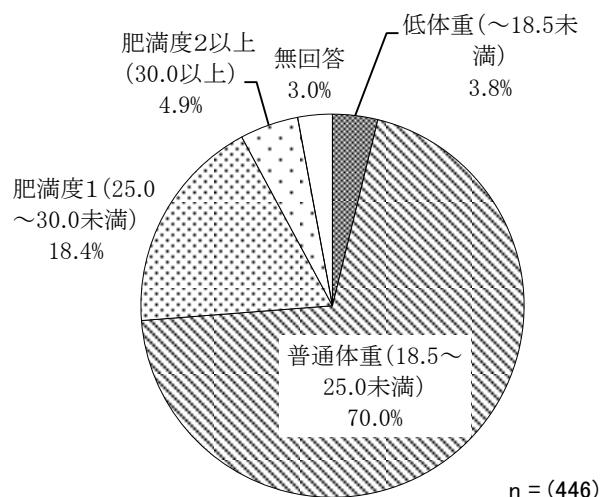
また、BMIを計算すると、「普通体重 (18.5～25.0未満)」が68.4%で最も高く、次いで「肥満 (肥満度1と肥満度2の計) (25.0以上)」が20.0%、「低体重 (～18.5未満)」が8.5%となっています。

〈 性別／BMI 〉

■ 男性



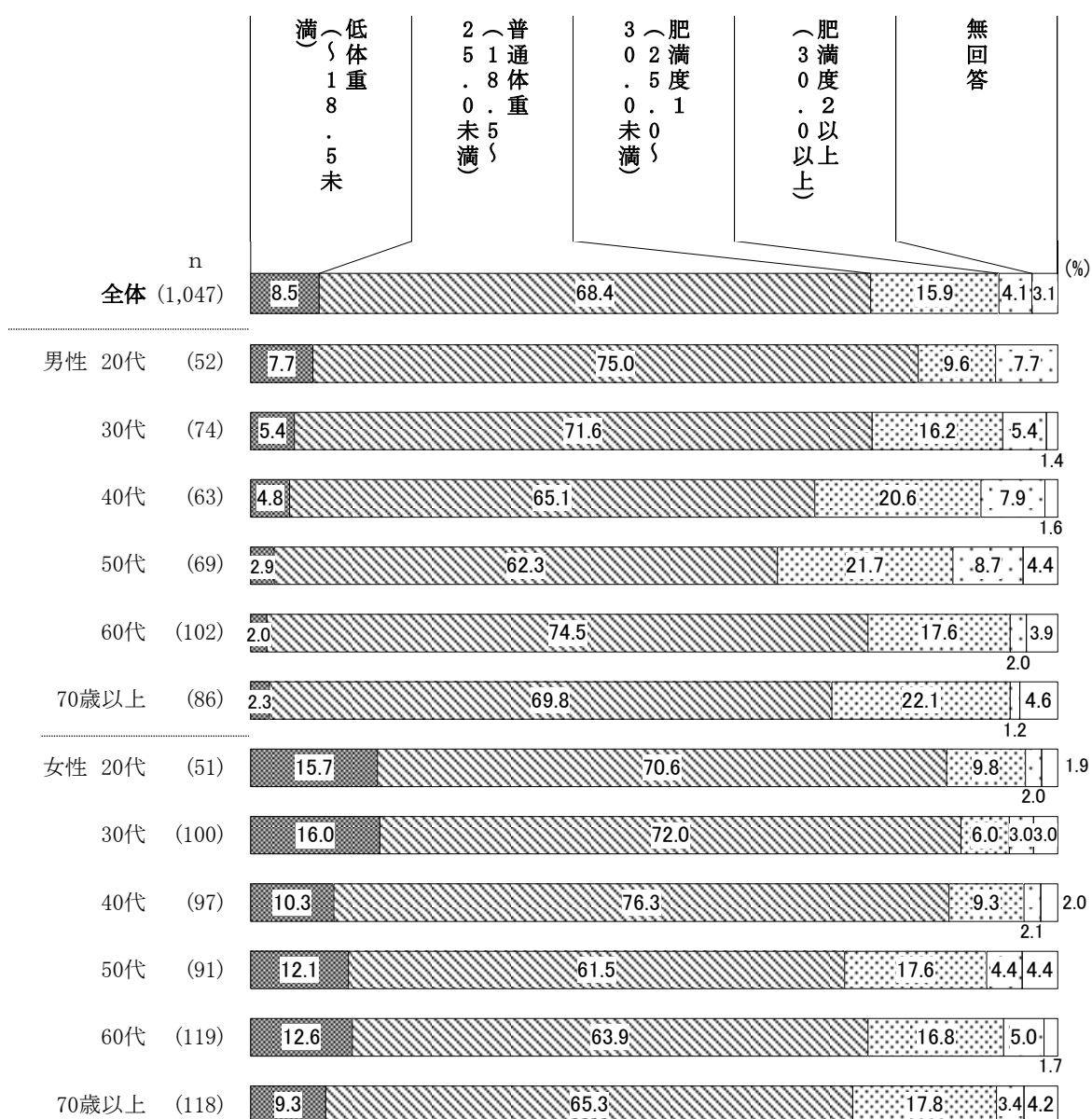
■ 女性



性別でみると、女性では「低体重 (～18.5未満)」は12.3%と、男性 (3.8%) より高くなっています。

一方、男性では、「肥満 (肥満度1と肥満度2の計) (25.0以上)」が23.3%と、女性 (16.8%) より高くなっています。

〈 性・年代別／BMI 〉

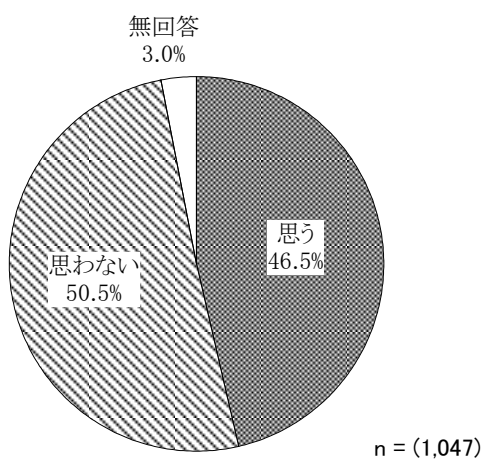


性・年代別で見ると、男性では「肥満（肥満度1と肥満度2の計）（25.0以上）」が、40代で28.5%、50代で30.4%と、他の年代より高くなっています。

一方、女性では、「低体重（～18.5未満）」が、20代で15.7%、30代で16.0%と、他の年代よりやや高くなっています。

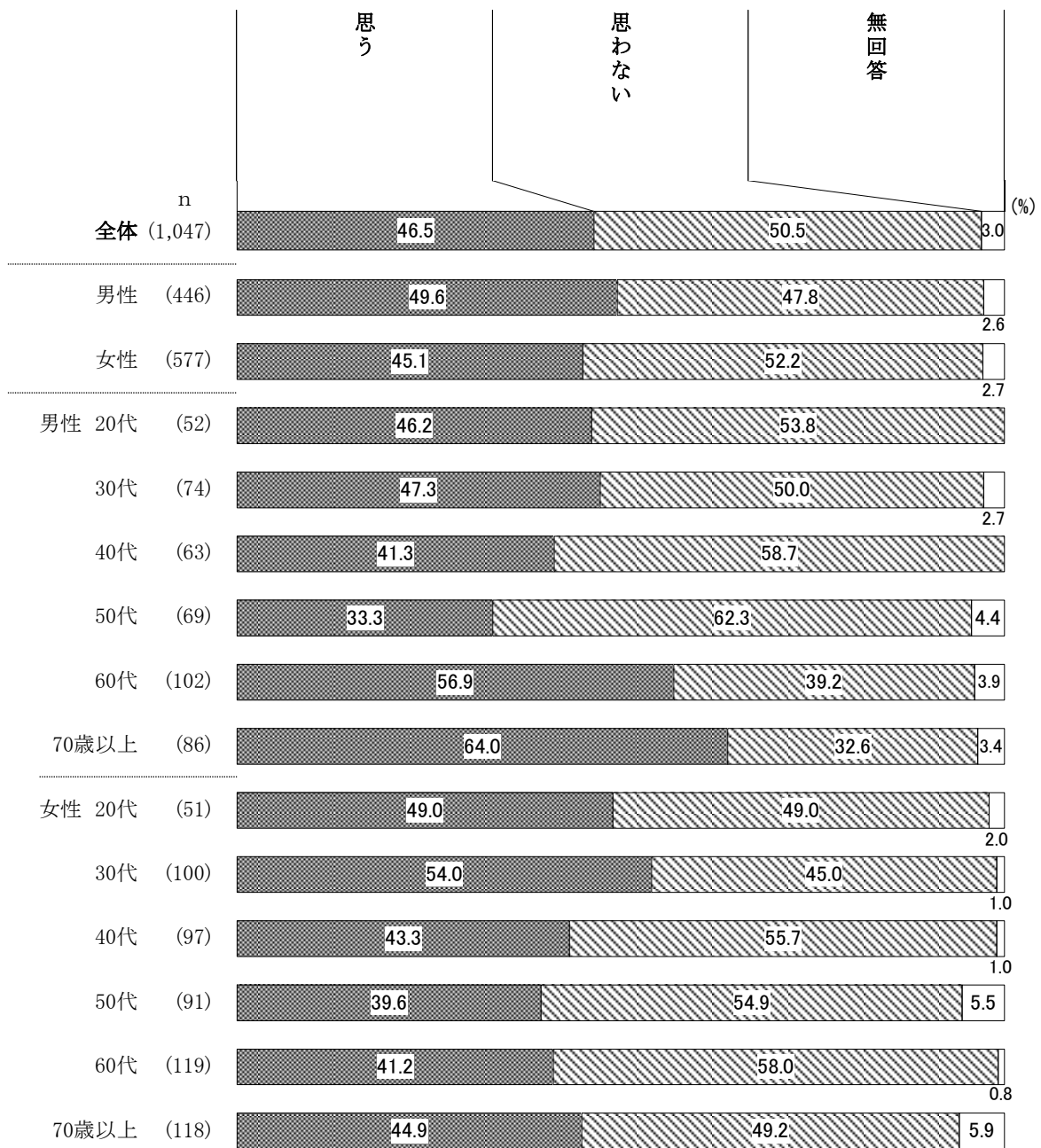
## (9) 体重の適正評価

問21 あなたの体重は、適正体重だと思いますか。(○は1つだけ)



体重を適正と考えるかについては、「思う」が46.5%、「思わない」が50.5%となっています。

〈 性別、性・年代別／体重の適正評価 〉

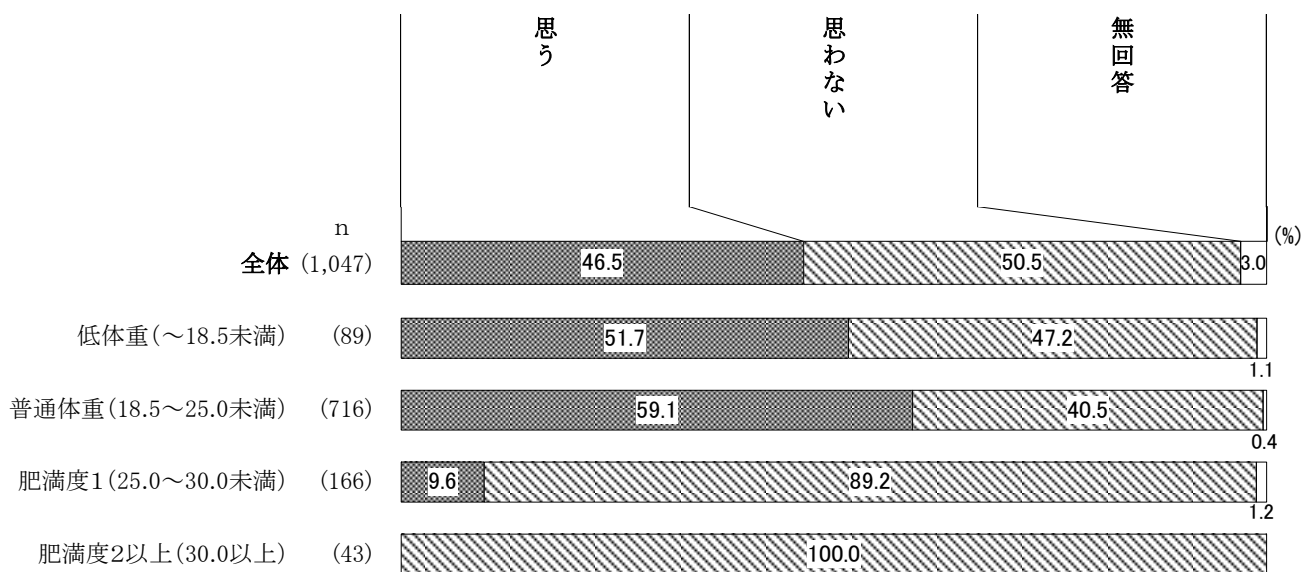


性別で見ると、「思う」は男性49.6%、女性45.1%となっています。

性・年代別で見ると、男性では、「思う」が、60代で56.9%、70歳以上で64.0%と、他の年代より高くなっています。

女性では、「思う」が30代で54.0%と、最も高くなっています。

〈 BMI 別／体重の適正評価 〉

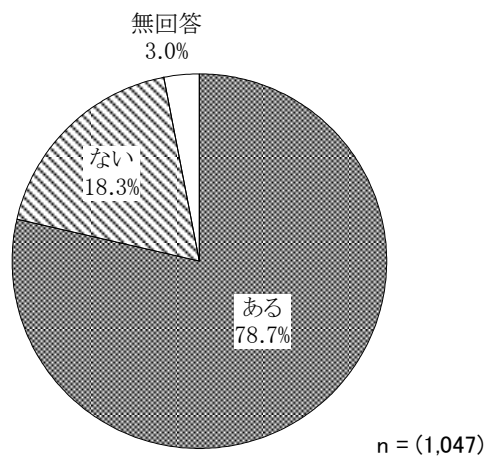


BMI 別でみると、普通体重（18.5～25.0未満）の層では「思う」が59.1%と高くなっています。一方、肥満度1（25.0～30.0未満）の層では9.6%、肥満度2以上（30.0以上）の層では0%となっています。

## 4. 心の健康に関する意識

### (1) 趣味や楽しみの有無

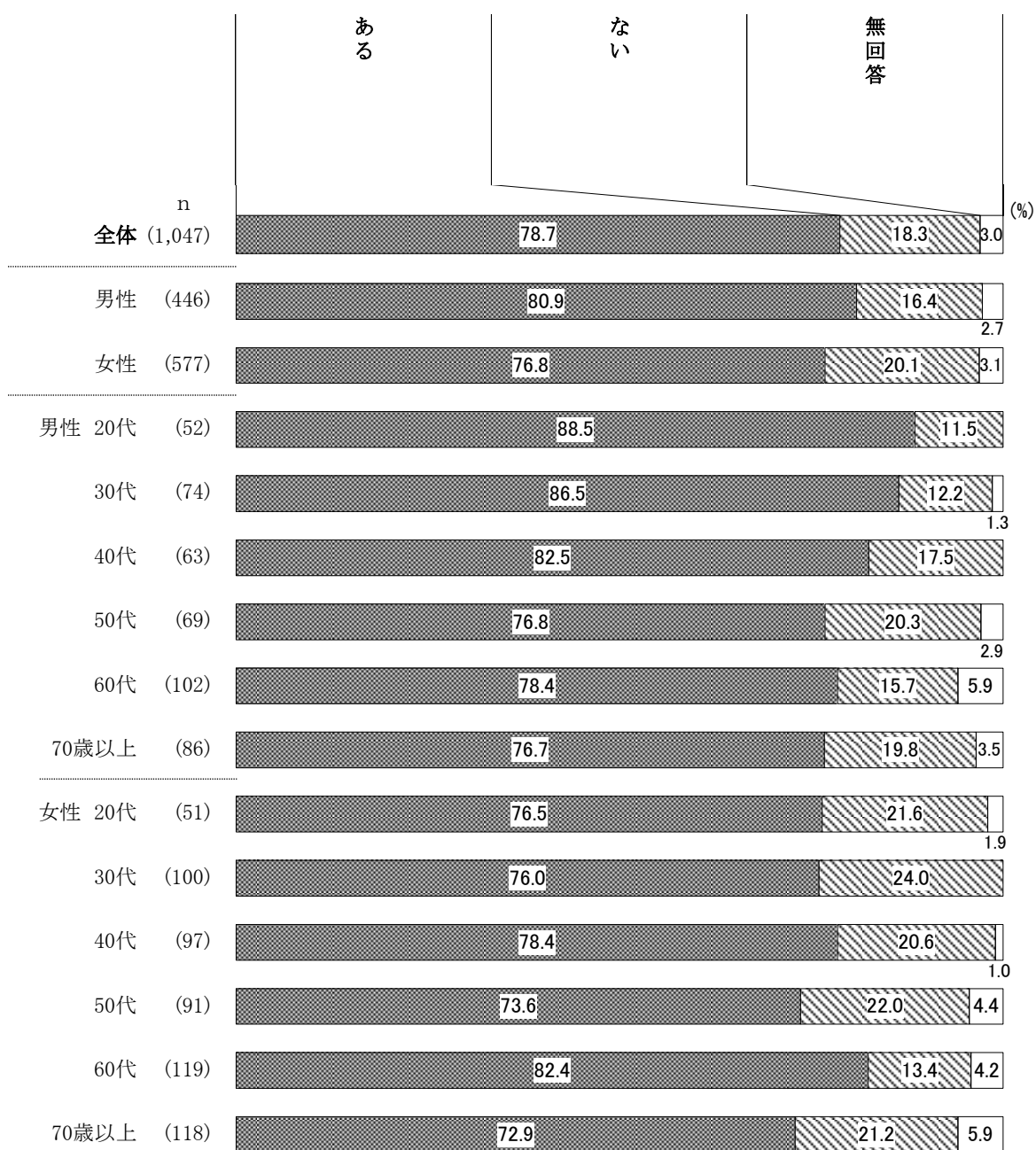
問22 趣味や楽しみがありますか。(○は1つだけ)



趣味や楽しみが「ある」が78.7%、「ない」は18.3%となっています。



## 〈 性別、性・年代別／趣味や楽しみ 〉

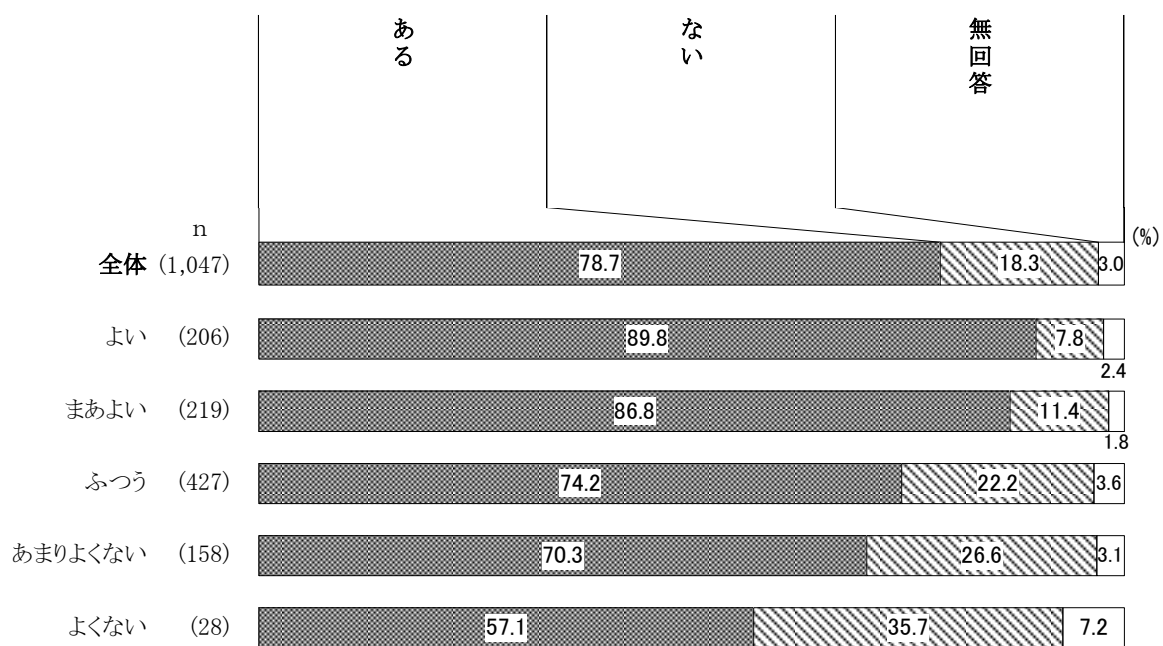


性別でみると、「ある」は男性80.9%、女性76.8%となっています。

性・年代別でみると、男性では、20代から40代で「ある」が他の年代より高くなっています。

女性では、60代で「ある」が82.4%と、他の年代より高くなっています。

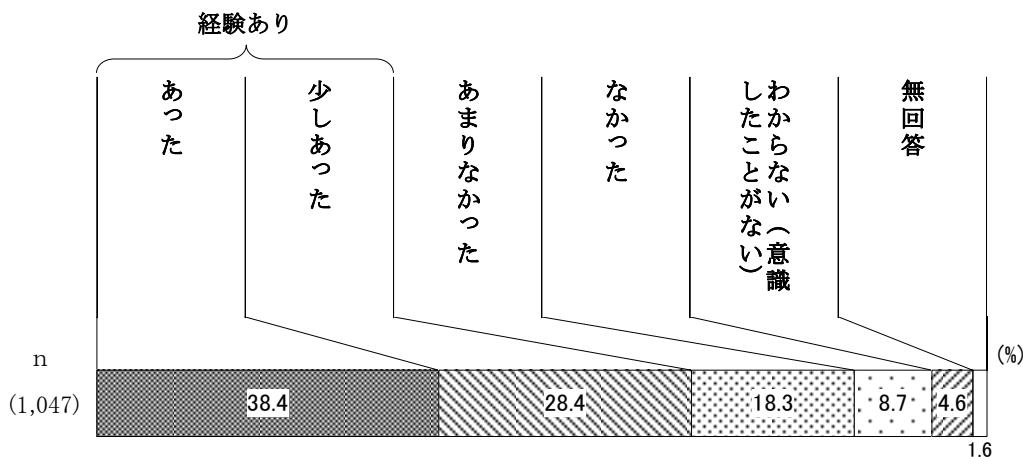
〈 健康状態別／趣味や楽しみ 〉



健康状態別でみると、よいという人ほど、「ある」が増加しており、よい層では89.8%となっています。

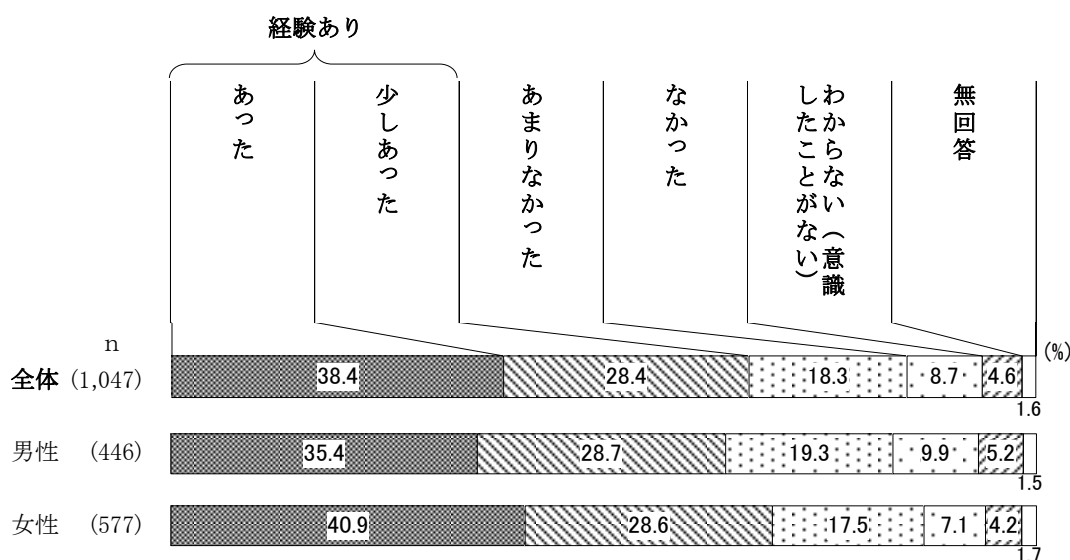
(2) この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等を感じたこと

問23 この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等を感じたことがありましたか。  
(○は1つだけ)



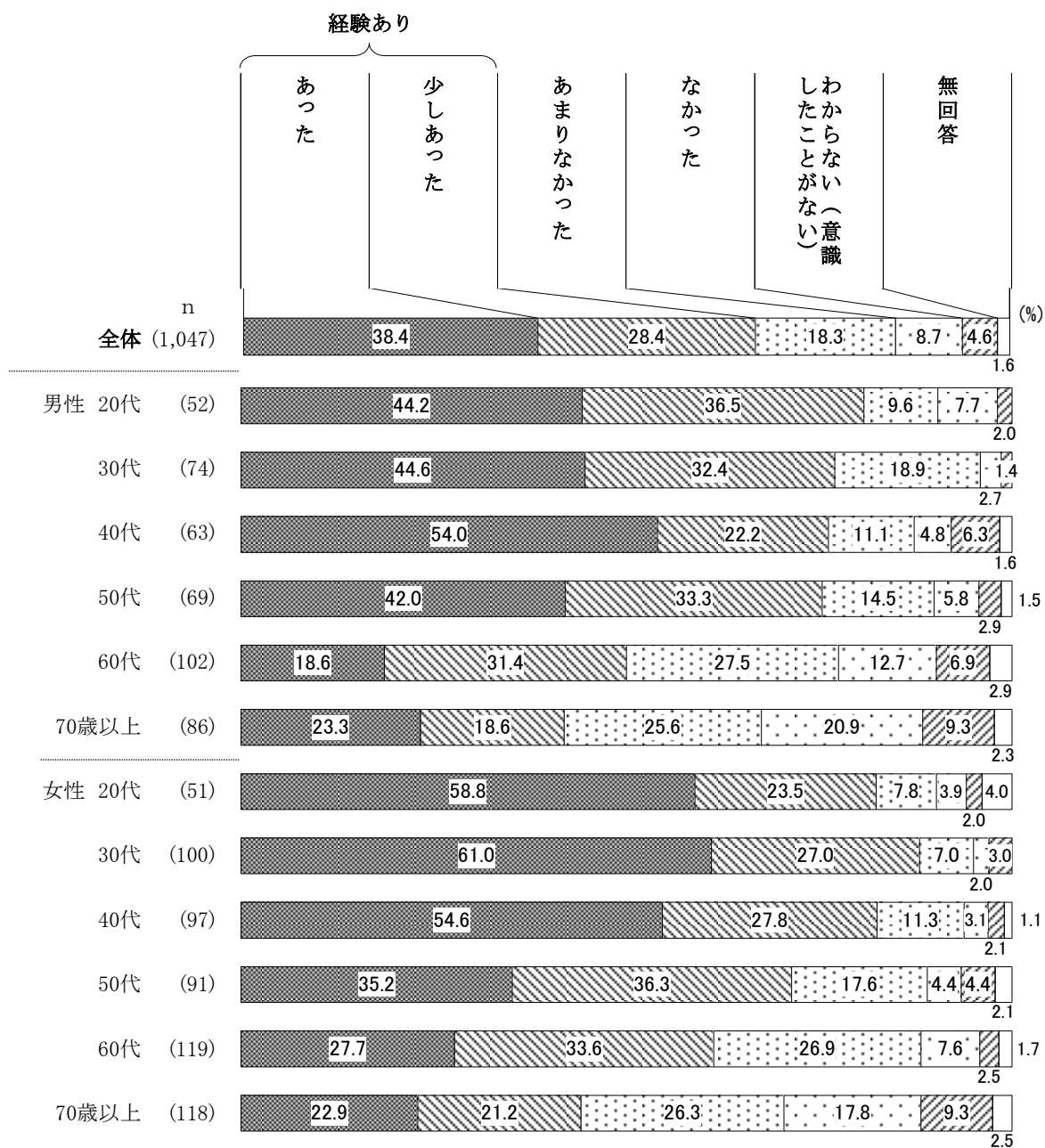
この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等が「あった」「少しあった」人は66.8%となっています。

〈 性別／この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等を感じたこと 〉



性別でみると、「あった」「少しあった」人は男性64.1%、女性69.5%となっています。

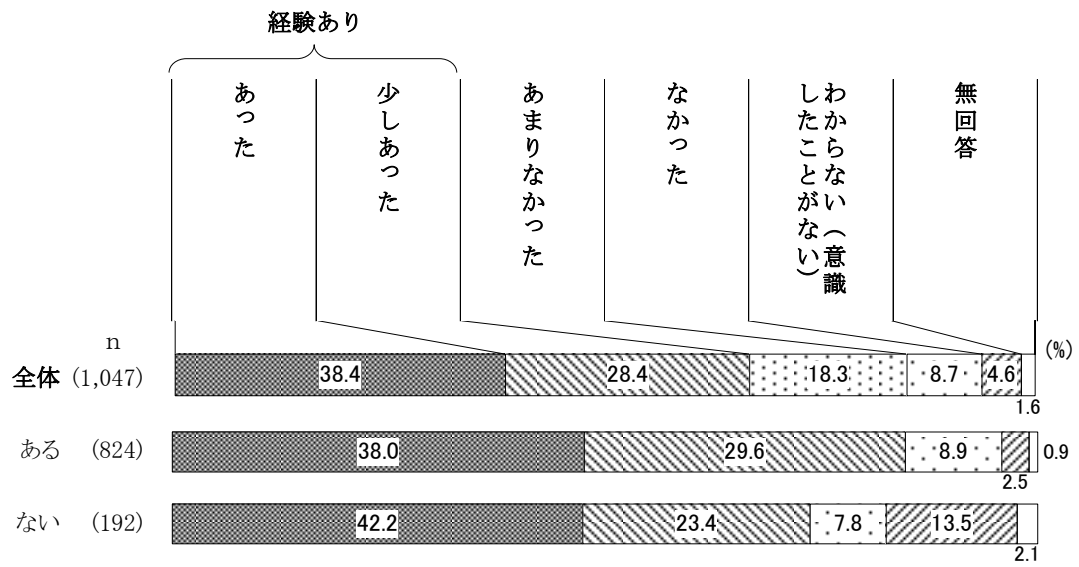
〈 性・年代別／この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等を感じたこと 〉



性・年代別で見ると、男性では「あった」「少しあった」人が20代で80.6%と最も高く、次いで30代で77.6%、40代で76.2%となっています。

女性では、「あった」「少しあった」人が30代で88.0%と最も高く、次いで20代で82.3%、40代で82.4%となっています。

〈 趣味や楽しみの有無別／この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等を感じたこと 〉



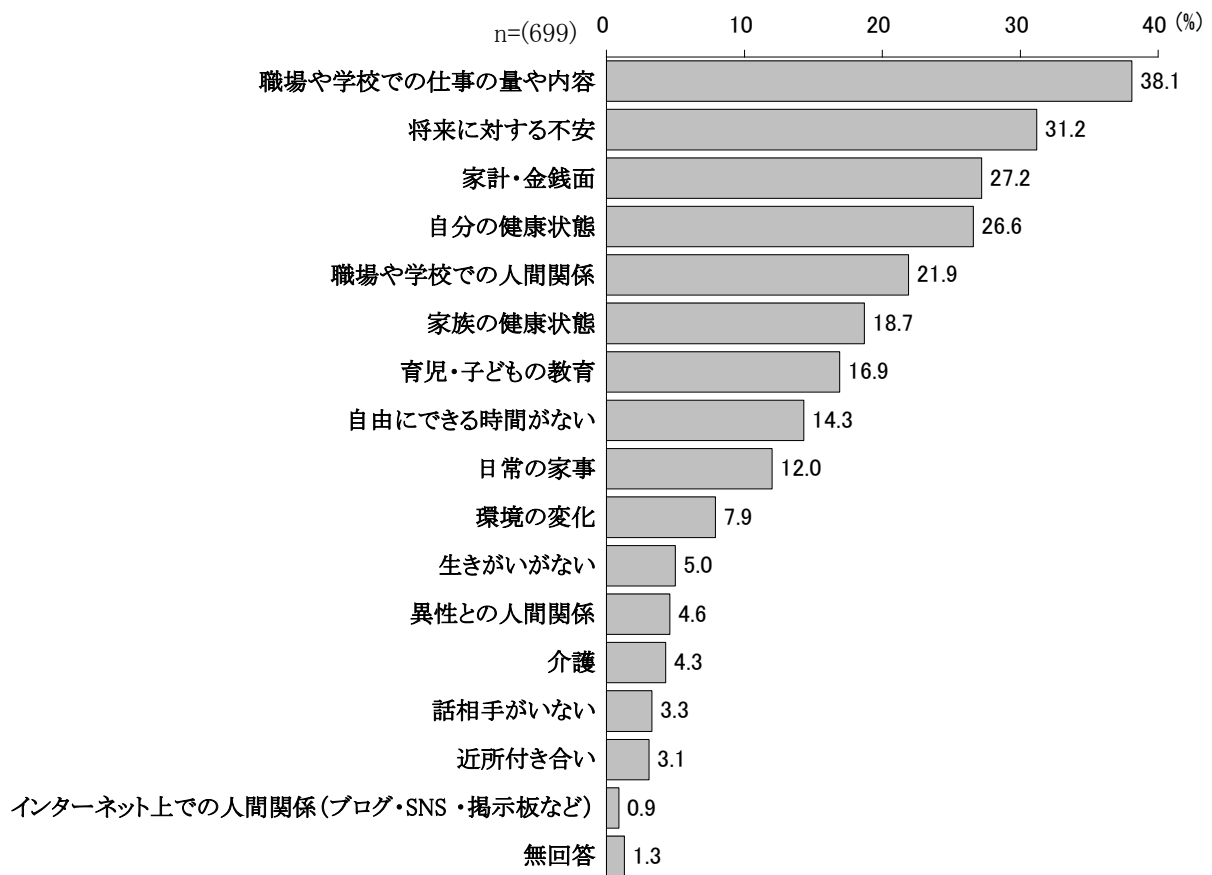
趣味や楽しみの有無別で見ると、「あった」「少しあった」人については、有無による大きな差はみられません。

(3) 不満、悩み、イライラ、ストレス等の原因

問23で「1. あった」、または「2. 少しあった」とお答えの方に

問23-1 不満、悩み、イライラ、ストレスの原因はなんですか

(○はあてはまるものすべて)

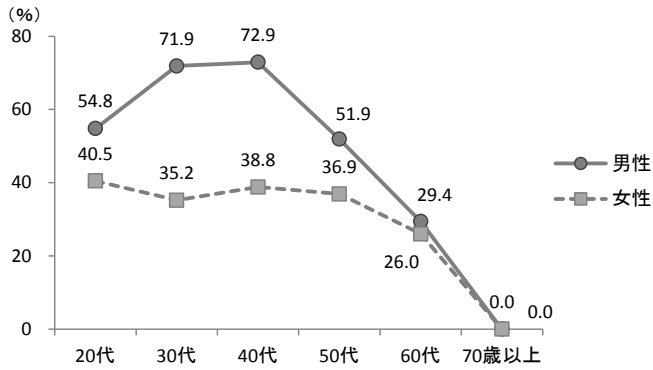


この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等が「あった」「少しあった」という人の原因は、「職場や学校での仕事の量や内容」が38.1%で最も高く、次いで「将来に対する不安」が31.2%、「家計・金銭面」が27.2%、「自分の健康状態」が26.6%となっています。

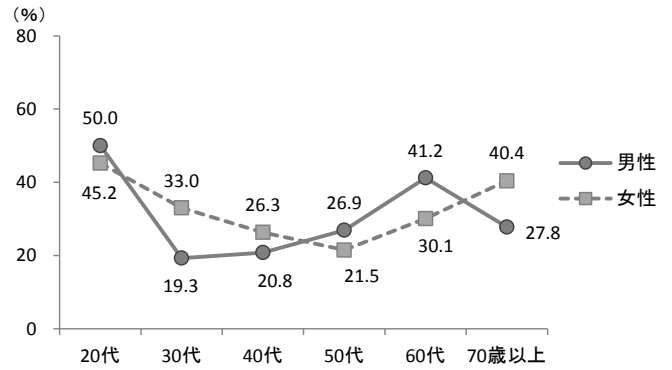
〈 性・年代別／不満、悩み、イライラ、ストレスの原因／上位8項目 〉

男性20代 n=(42)、30代 n=(57)、40代 n=(48)、50代 n=(52)、60代 n=(51)、70歳以上 n=(36)  
 女性20代 n=(42)、30代 n=(88)、40代 n=(80)、50代 n=(65)、60代 n=(73)、70歳以上 n=(52)

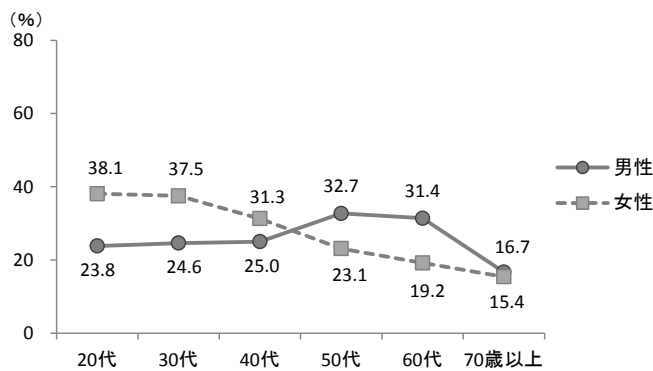
□職場や学校での仕事の量や内容



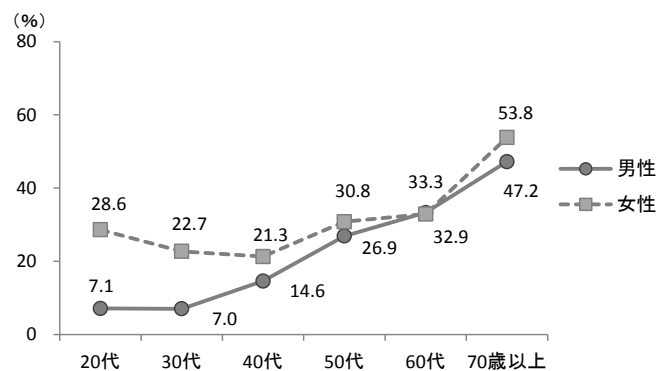
□将来に対する不安



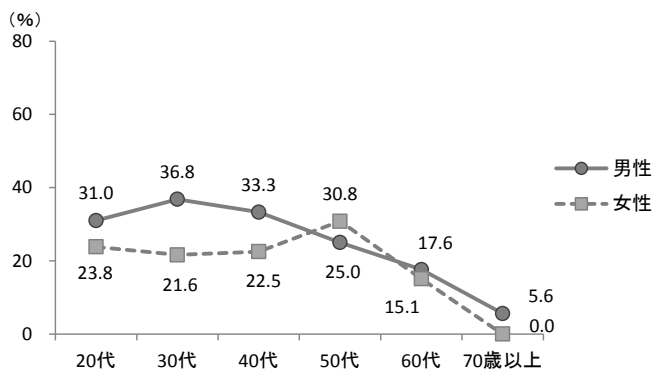
□家計・金銭面



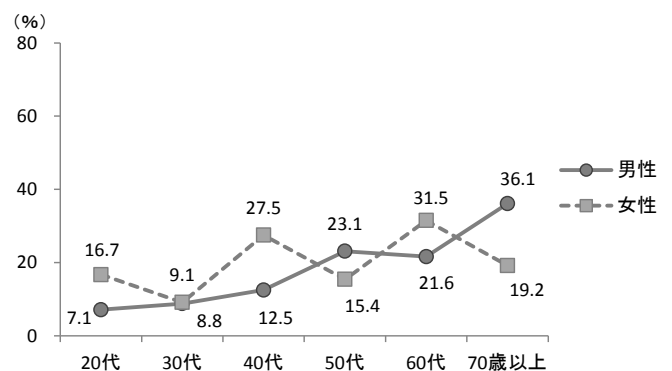
□自分の健康状態



□職場や学校での人間関係

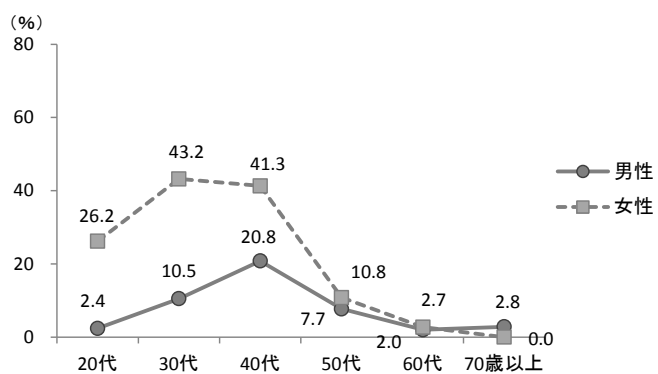


□家族の健康状態

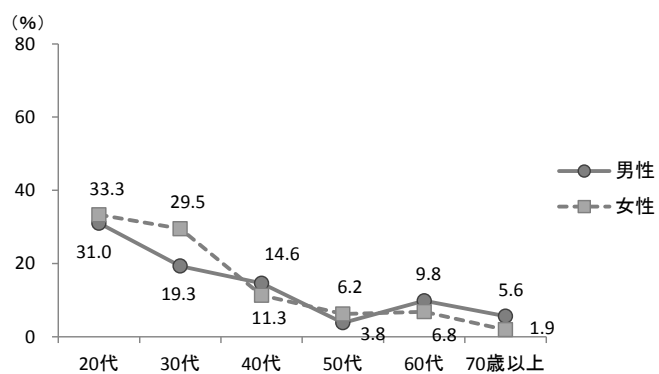


第2章 調査結果／一般

□育児・子どもの教育



□自由にできる時間がない

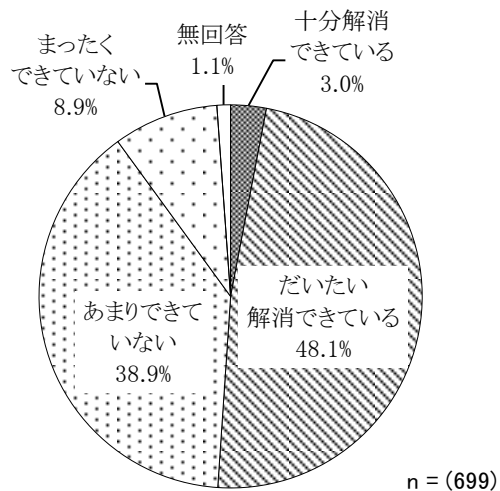




## (4) 不満、悩み、イライラ、ストレス等の解消

問23で「1. あった」、または「2. 少しあった」とお答えの方に

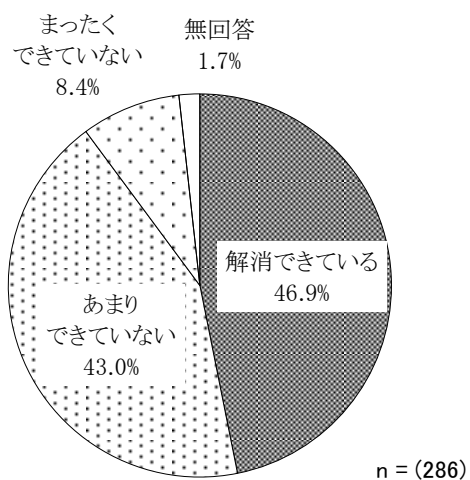
問23-2 不満、悩み、イライラ、ストレス等が解消できていますか。(○は1つだけ)



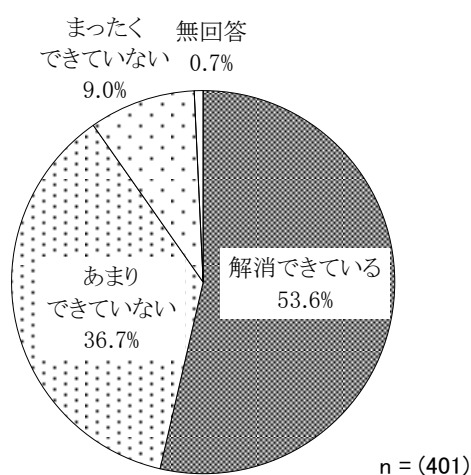
この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等が「あった」「少しあった」という人に、それが解消できているか聞いたところ、「十分に解消できている」「だいたい解消できている」人は51.1%となっています。一方、「あまりできていない」は38.9%、「まったくできていない」は8.9%となっています。

## 〈 性別／不満、悩み、イライラ、ストレス等の解消 〉

## ■ 男性

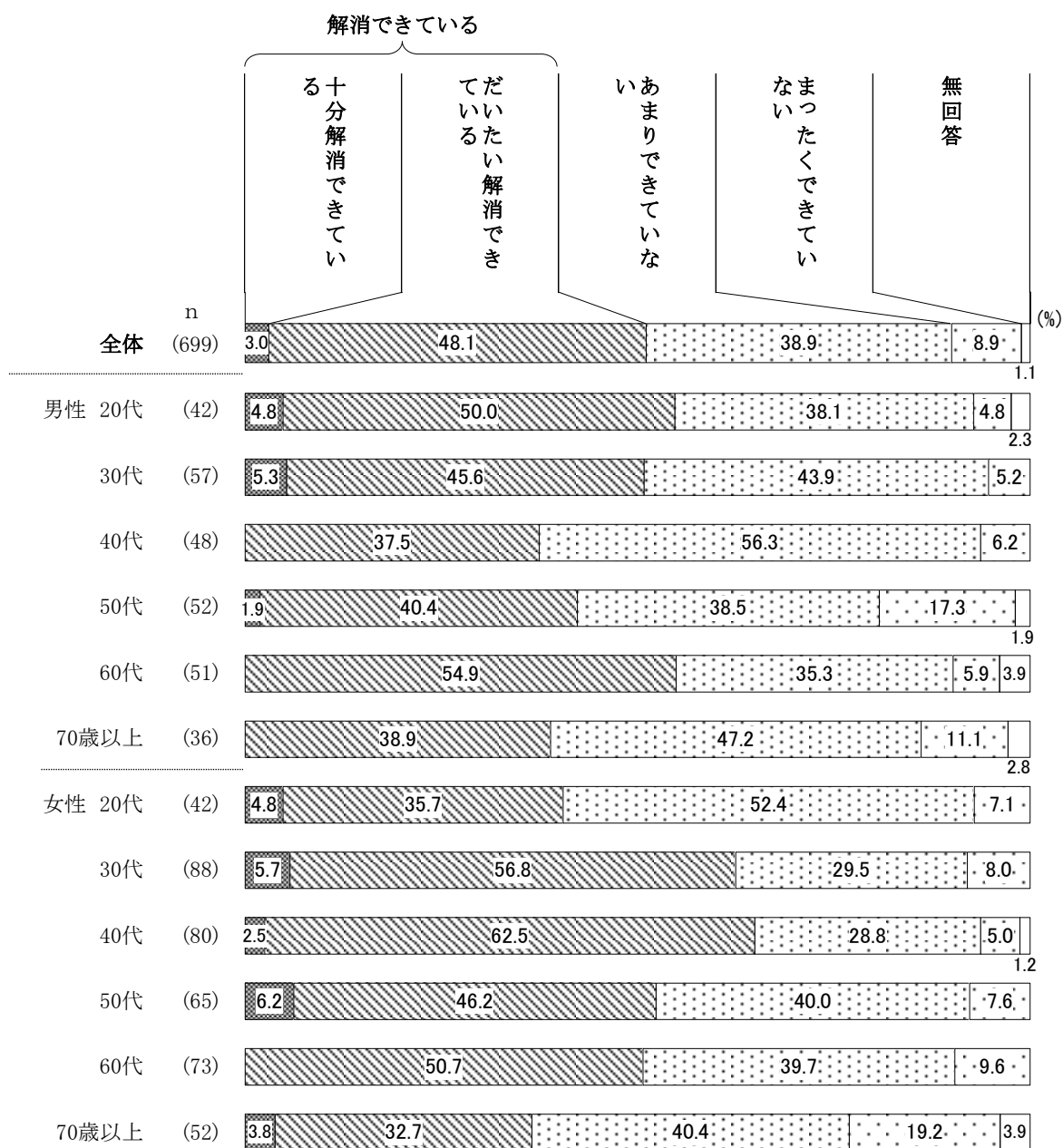


## ■ 女性



性別で見ると、「十分に解消できている」「だいたい解消できている」人は男性46.9%、女性53.6%となっています。

〈 性・年代別／不満、悩み、イライラ、ストレス等の解消 〉



性・年代別でみると、男性では、40代で「十分に解消できている」「だいたい解消できている」人が37.5%と、全年代中最も低く、「あまりできていない」は56.3%と、最も高くなっています。

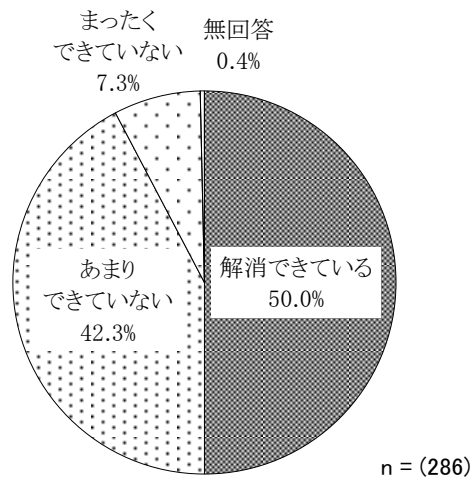
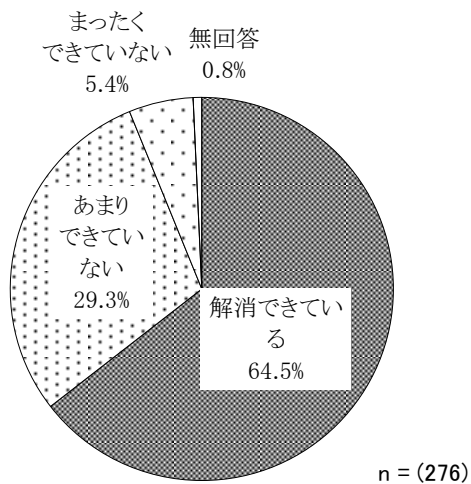
女性では、「十分に解消できている」「だいたい解消できている」人が、20代で40.5%、70歳以上で36.5%と、他の年代に比べて低くなっています。

〈 健康状態別／不満、悩み、イライラ、ストレス等の解消 〉

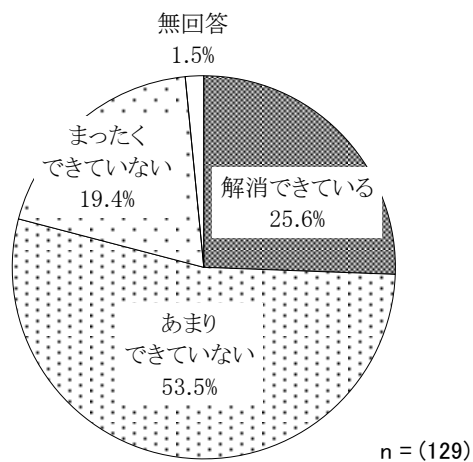
※健康状態別の《健康である》は「よい」「まあよい」、《健康ではない》は「あまりよくない」「よくない」の合計  
また、《解消できている》は「十分解消できている」「だいたい解消できている」の合計

■健康である

■ふつう



■健康ではない

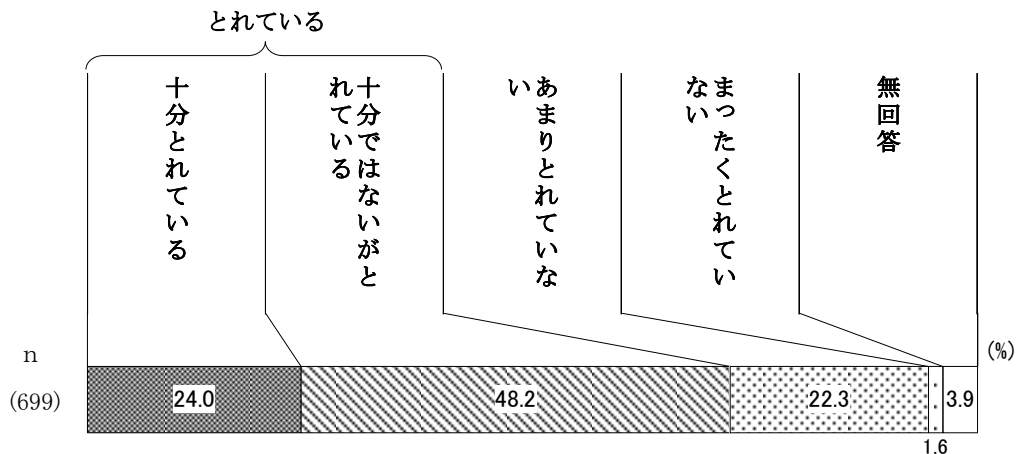


健康状態別でみると、よいという層ほど「十分に解消できている」「だいたい解消できている」人が増加しており、よい層で70.7%となっています。

(5) 十分な睡眠

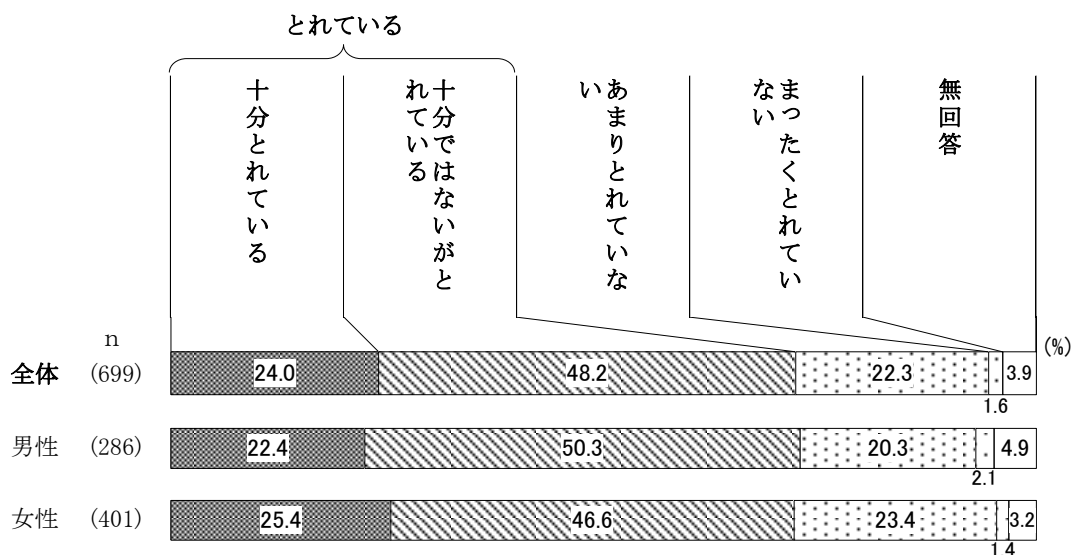
問23で「1. あった」、または「2. 少しあった」とお答えの方に

問23-3 あなたは、十分な睡眠がとれていると思いますか。(○は1つだけ)



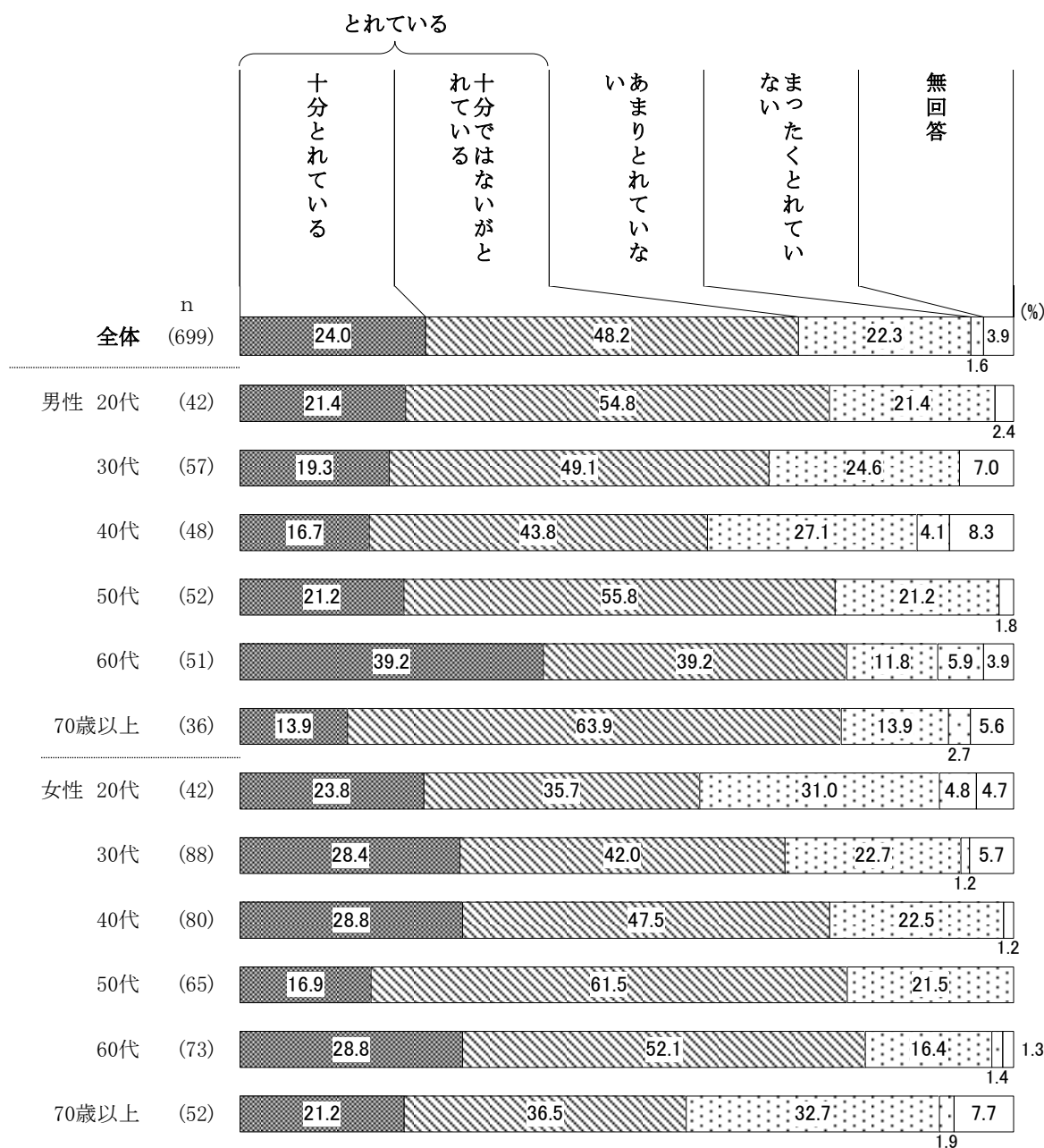
1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等の経験ありがある人のうち、睡眠が「あまりとれていない」「まったくとれていない」人は23.9%となっています。

〈 性別／十分な睡眠 〉



性別でみると、「あまりとれていない」「まったくとれていない」人は男性22.4%、女性24.8%となっています。

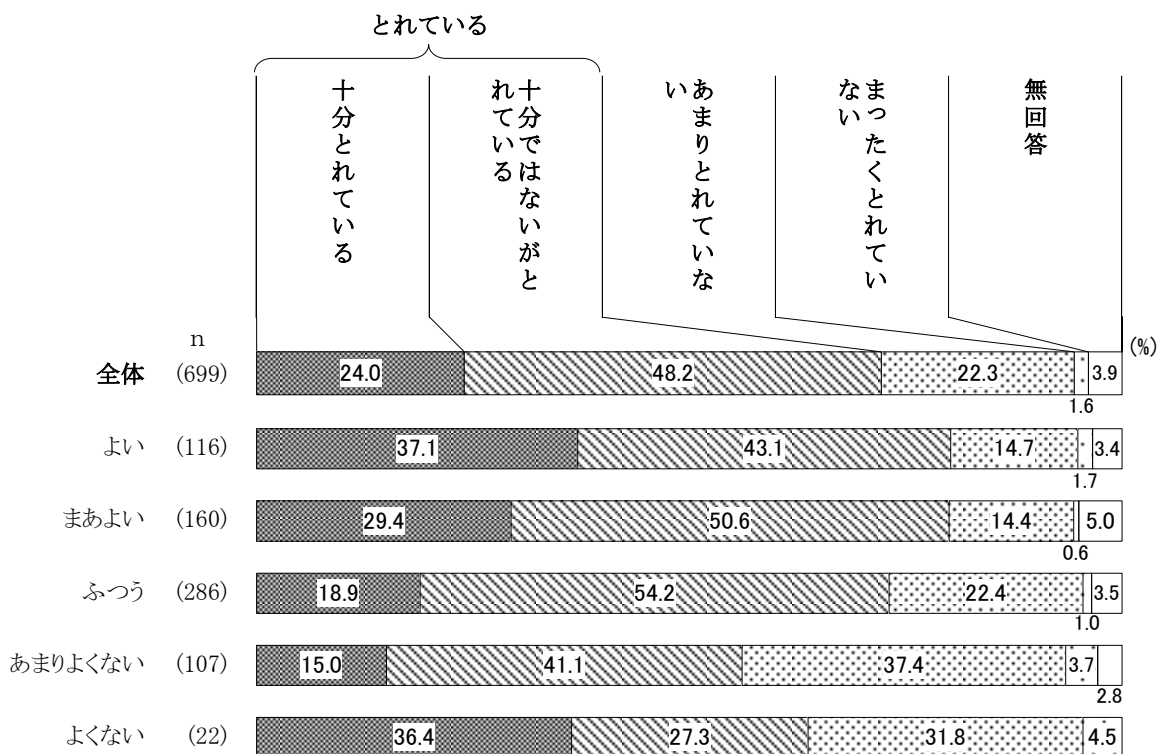
〈 性・年代別／十分な睡眠 〉



性・年代別でみると、男性では、40代で「あまりとれていない」「まったくとれていない」人が31.3%と、全年代中最も高くなっています。

女性では、「あまりとれていない」「まったくとれていない」人が20代で35.8%、70歳以上で34.6%と、他の年代より高くなっています。

〈 健康状態別／十分な睡眠 〉

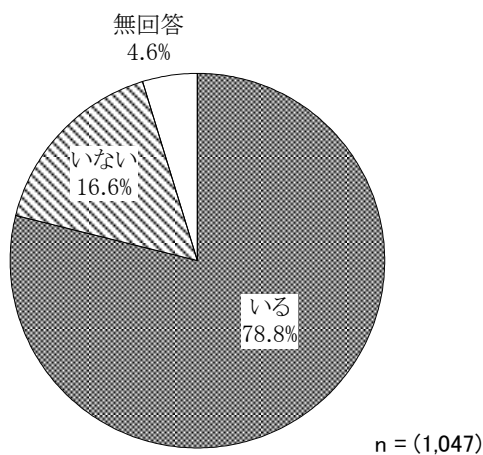


健康状態別でみると、あまりよくない、よくない層では「あまりとれていない」人が41.1%、「まったくとれていない」人が36.3%と、他の層より高くなっています。

(6) 身の回りに、困ったことや悩み事等の相談相手の有無

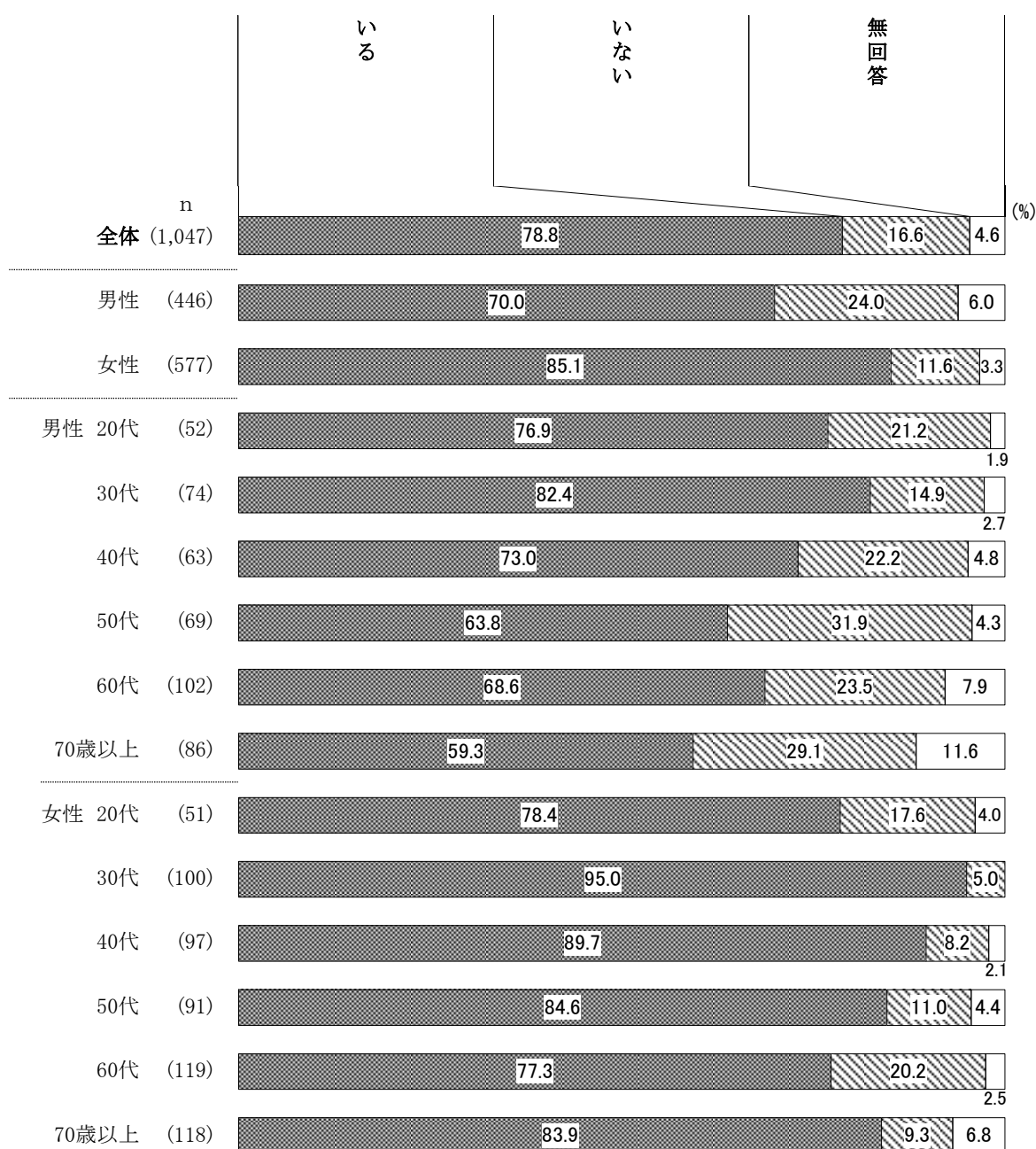
問24 身の回りに、困ったことや悩み事等を、打ち明けられる人がいますか。

(○は1つだけ)



身の回りに、困ったことや悩み事等、打ち明けられる人が「いる」が78.8%、「いない」は16.6%となっています。

## 〈 性別、性・年代別／身の回りに、困ったことや悩み事等の相談相手の有無 〉



性別で見ると、女性では「いる」が85.1%と、男性（70.0%）より高くなっています。

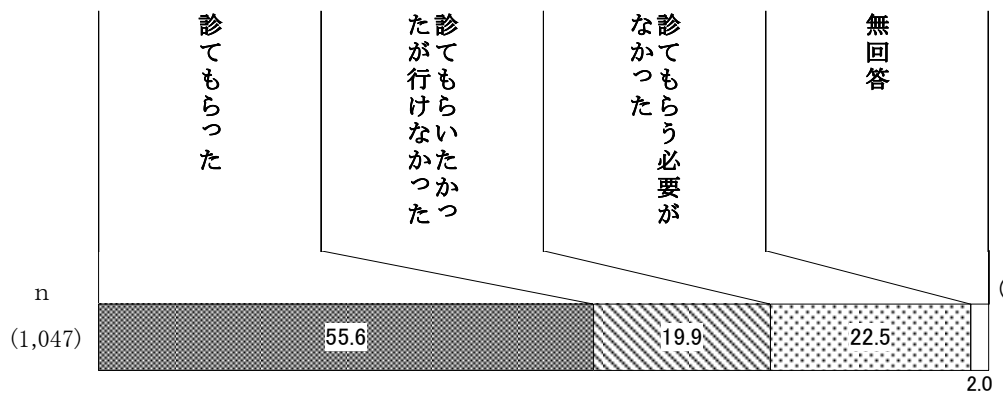
性・年代別で見ると、男性では、「いる」が30代では82.4%で最も高く、次いで、20代が76.9%、40代が73.0%となっています。また、70歳以上では「いる」が59.3%と、他の年代より低くなっています。

女性では、30代で「いる」が95.0%で最も高く、次いで、40代が89.7%、50代が84.6%となっています。

## 5. 歯の健康に関する意識

### (1) この1年間の歯科医院等の受診有無

問25 この1年間で歯科医院等に受診したことはありますか。(〇は1つだけ)

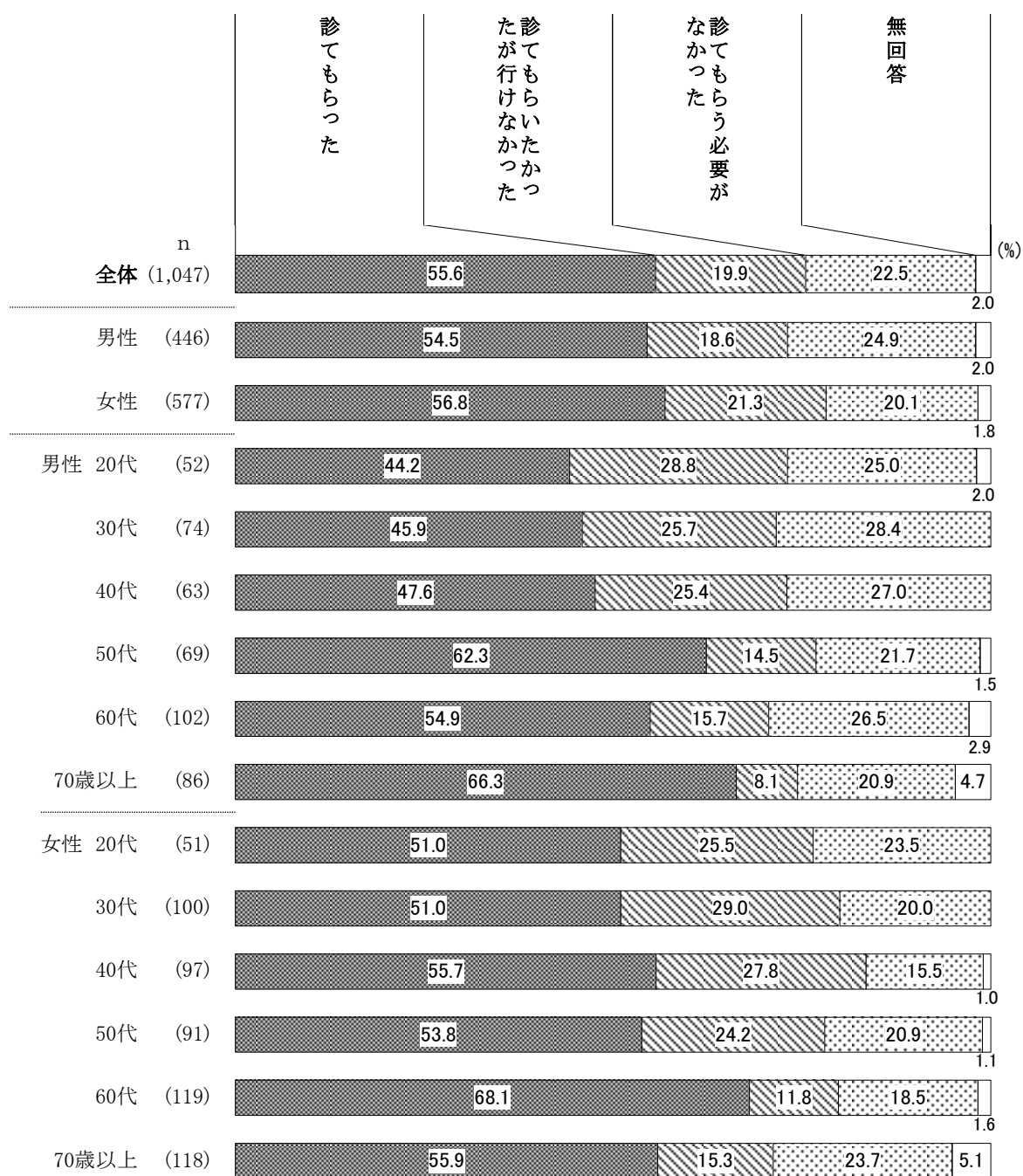


この1年間歯科医院で「診てもらった」人は55.6%となっています。

また、「診てもらいたかったが行けなかった」人は19.9%であり、受診意欲と受診行動が結びつかないことがわかります。



〈 性別、性・年代別／この1年間の歯科医院等の受診有無 〉



性別で見ると、「診てもらった」人は男性54.5%、女性56.8%となっています。

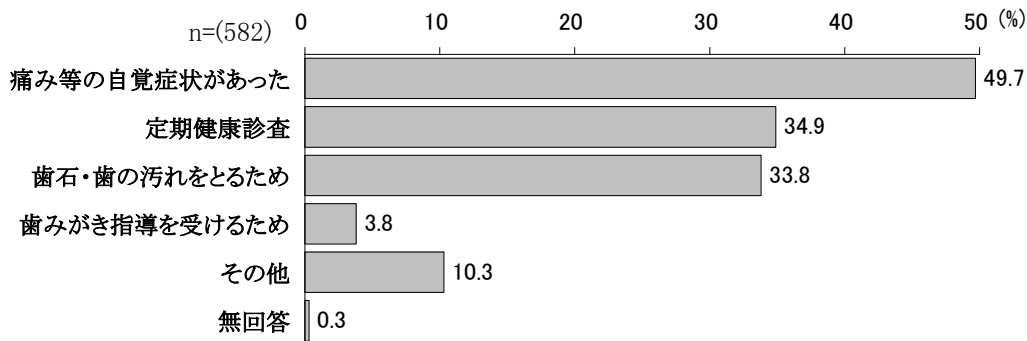
性・年代別で見ると、男性では、「診てもらった」人が、50代で62.3%、70歳以上で66.3%と、他の年代より高くなっています。

女性では、60代で「診てもらった」人が68.1%と、全年代中最も高くなっています。

(2) 歯科医院等の受診理由

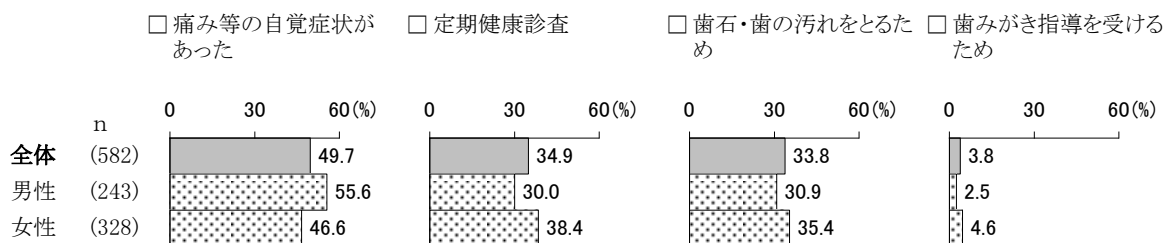
問25で「1. 診てもらった」とお答えの方に

問25-1 診てもらった理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)



歯科医院等で「診てもらった」人に、その理由を聞いたところ、「痛み等の自覚症状があった」が49.7%で最も高く、次いで「定期健康診査」が34.9%、「歯石・歯の汚れをとるため」が33.8%となっています。

〈 性別／歯科医院等の受診理由 〉



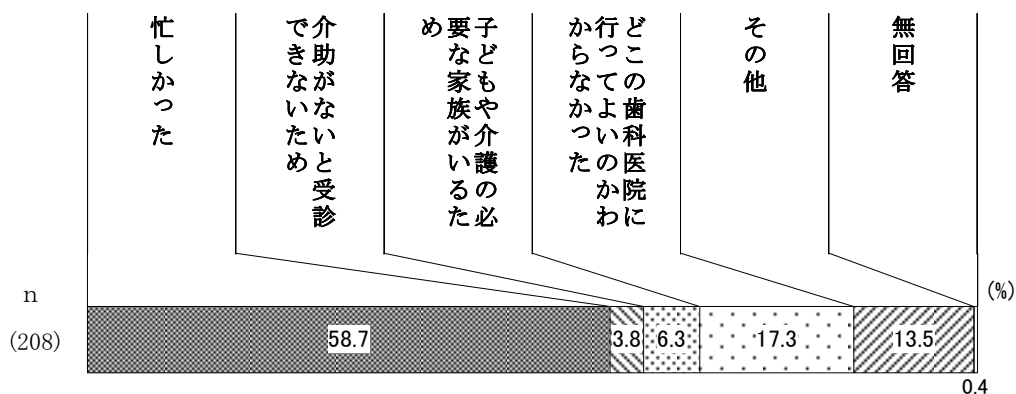
性別で見ると、男性では「痛み等の自覚症状があった」が55.6%と、女性（46.6%）より高くなっています。

一方、女性では「定期健康診査」が38.4%と、男性（30.0%）を上回っているほか、「歯石・歯の汚れをとるため」（35.4%）も男性より高くなっています。

(3) 歯科医院等に受診できなかった理由

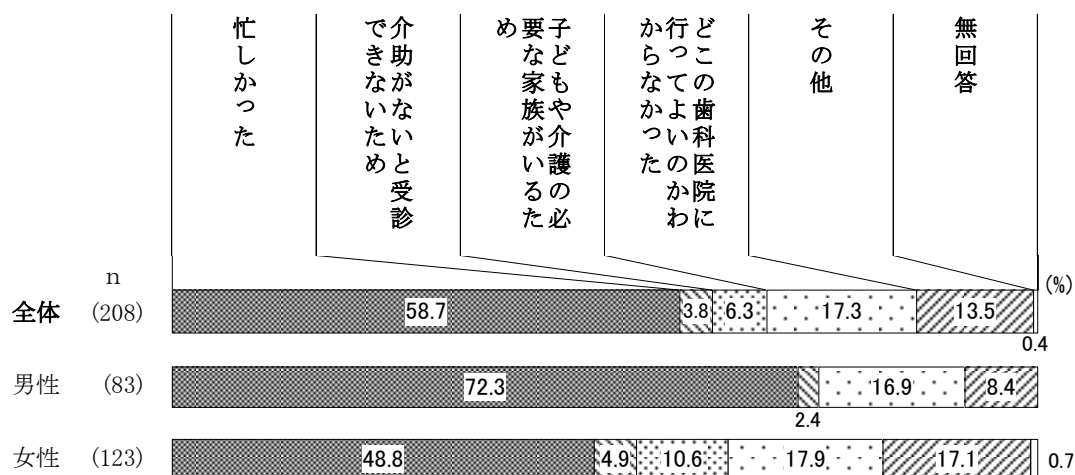
問25で「2. 診てもらいたかったが行けなかった」とお答えの方に

問25-2 診てもらいたかったが行けなかった理由は何ですか。(○は1つだけ)



歯科医院等に「診てもらいたかったが行けなかった」人に、その理由を聞いたところ、「忙しかった」が58.7%と最も高くなっています。

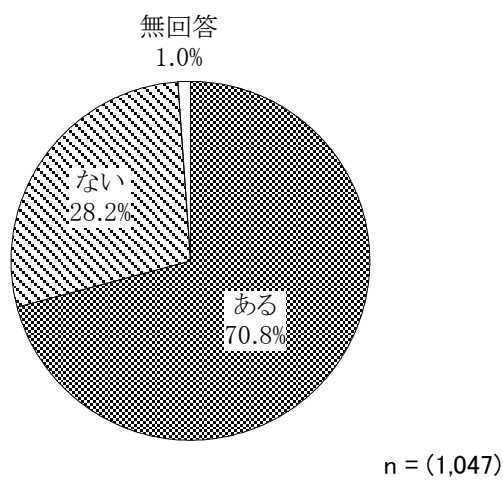
〈 性別／歯科医院等に受診できなかった理由 〉



性別で見ると、男性では「忙しかった」が72.3%と、女性（48.8%）を大きく上回っています。

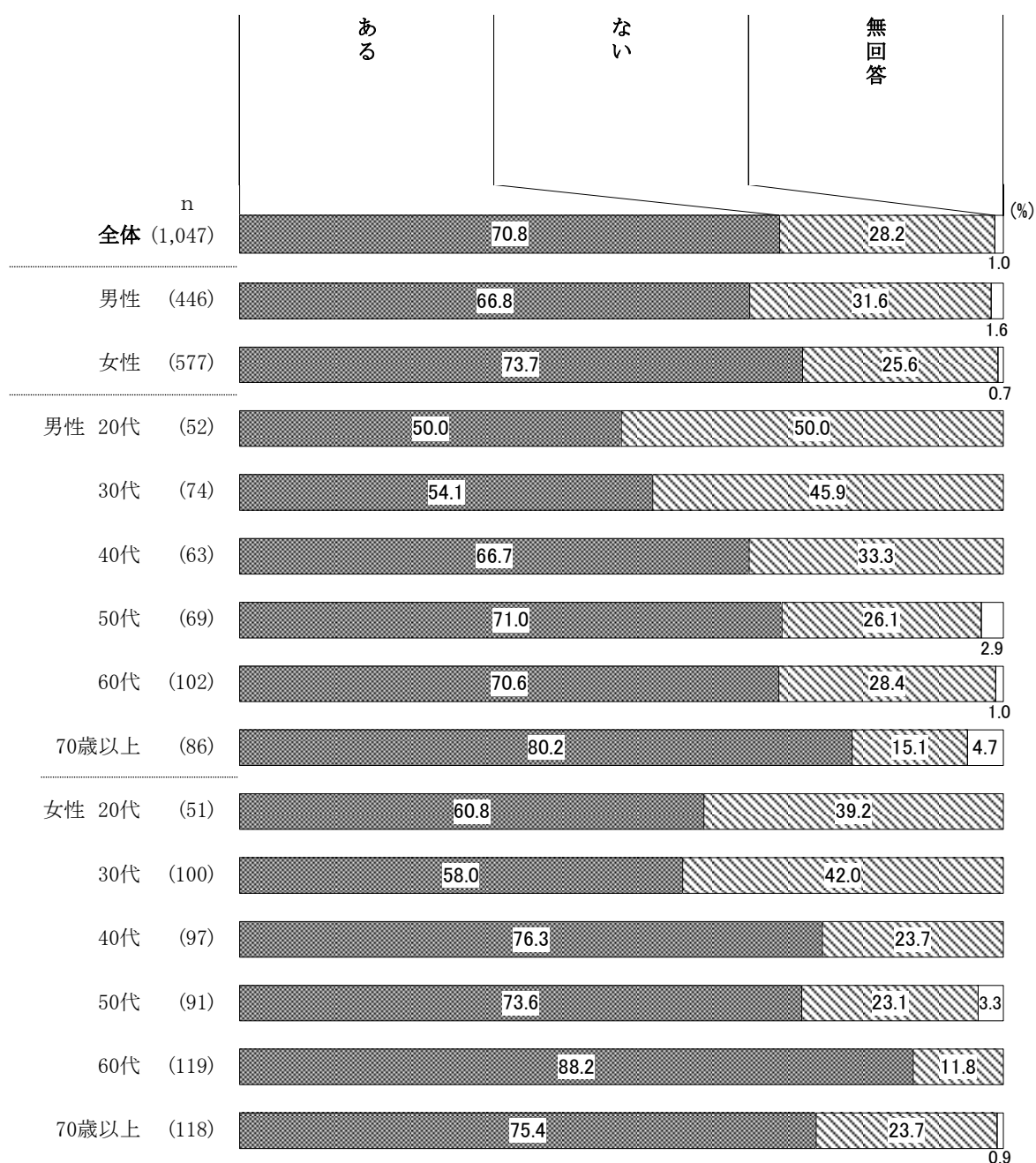
(4) かかりつけ歯科医の有無

問26 かかりつけ歯科医がありますか。(○は1つだけ)



かかりつけ歯科医が「ある」人は70.8%、「ない」人は28.2%となっています。

## 〈 性別、性・年代別／かかりつけ歯科医の有無 〉



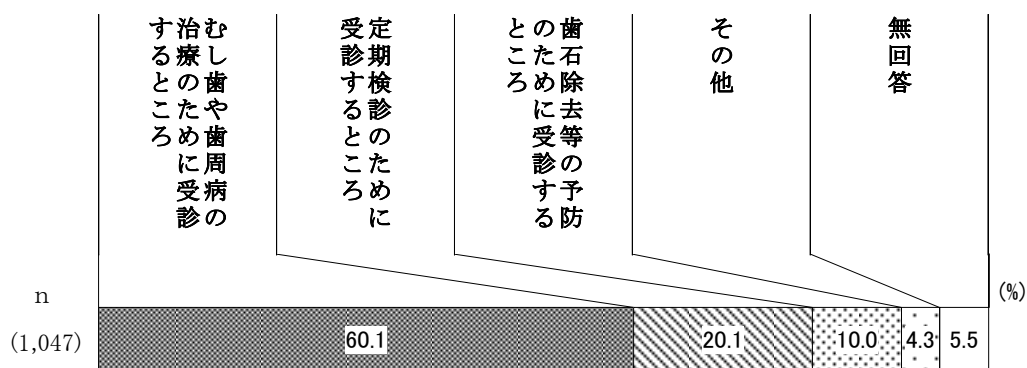
性別で見ると、「ある」人は男性66.8%、女性73.7%となっています。

性・年代別で見ると、男性では70歳以上が80.2%で最も高く、次いで50代が62.3%、60代が54.9%となっています。

女性では、60代が88.2%で最も高く、次いで70歳以上が55.9%、40代が55.7%となっています。

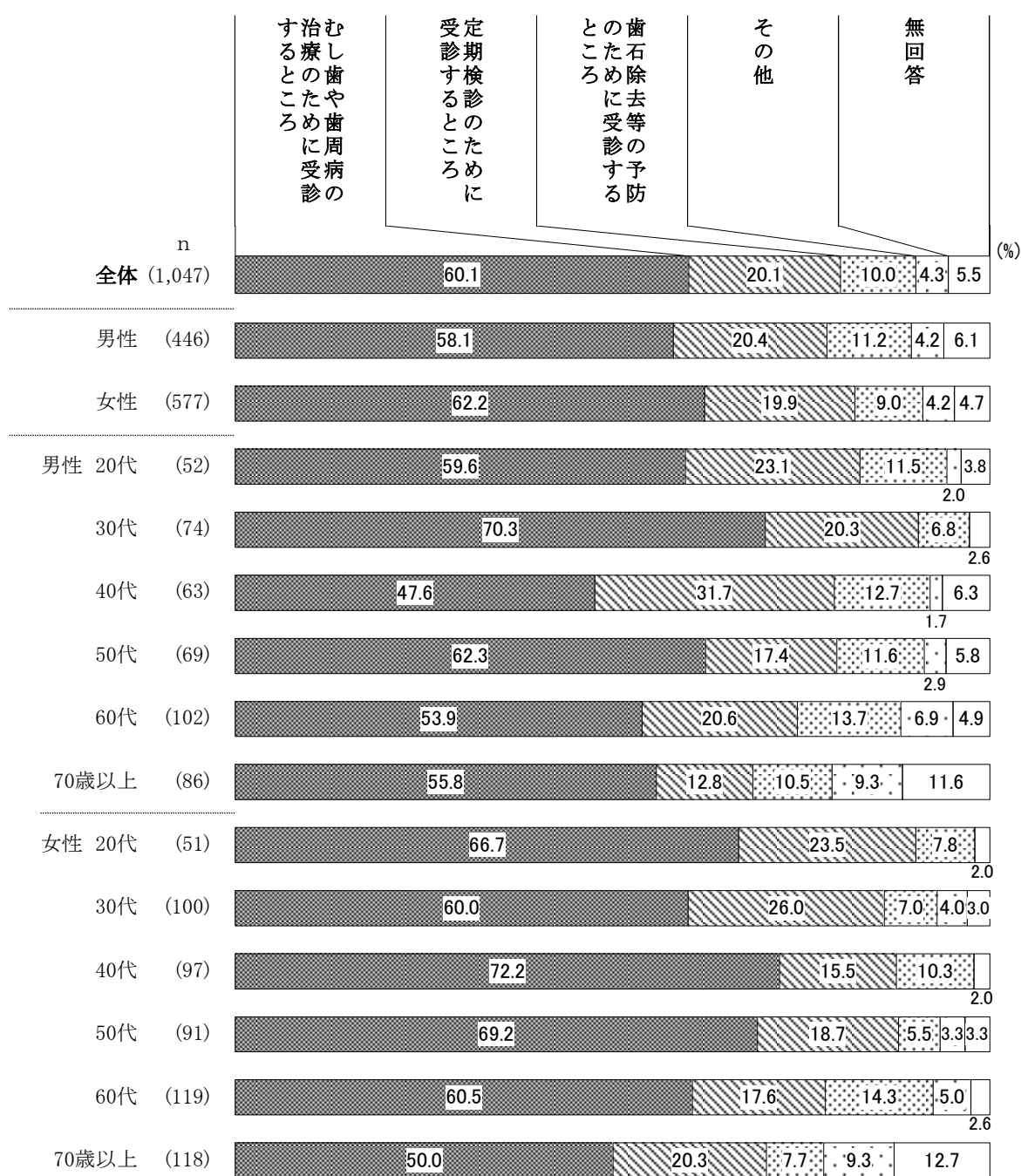
(5) かかりつけ歯科医とは

問27 あなたにとって、かかりつけ歯科医とは、どのようなものですか。(〇は1つだけ)



かかりつけ歯科医については、「むし歯や歯周病の治療をするために受診するところ」が60.1%で最も高く、次いで「定期検診のために受診するところ」が20.1%となっています。

〈 性別、性・年代別／かかりつけ歯科医とは 〉



性別で見ると、「むし歯や歯周病の治療をするために受診するところ」は男性58.1%、女性62.2%となっています。

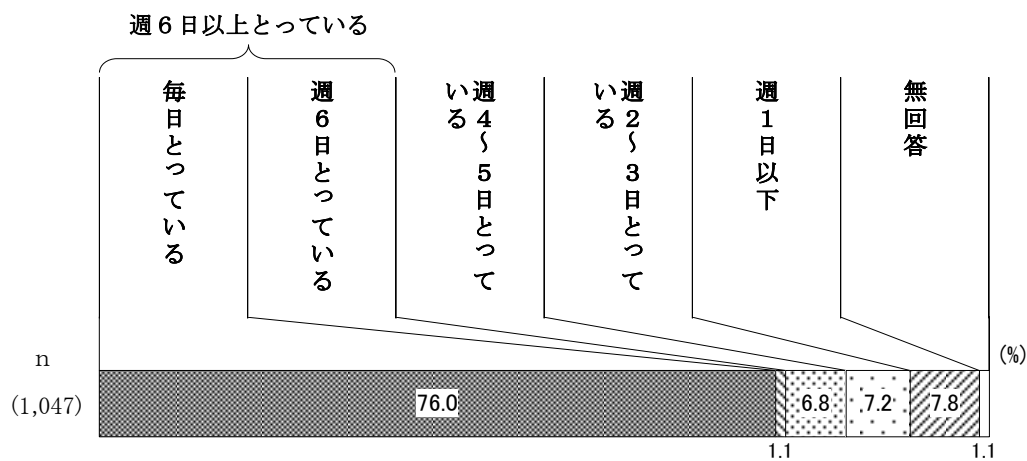
性・年代別で見ると、男性では、30代で「むし歯や歯周病の治療をするために受診するところ」が70.3%と、他の年代より高くなっています。

女性では、40代で「むし歯や歯周病の治療をするために受診するところ」が72.2%と、他の年代より高くなっています。

## 6. 食生活

### (1) 朝食の摂取状況

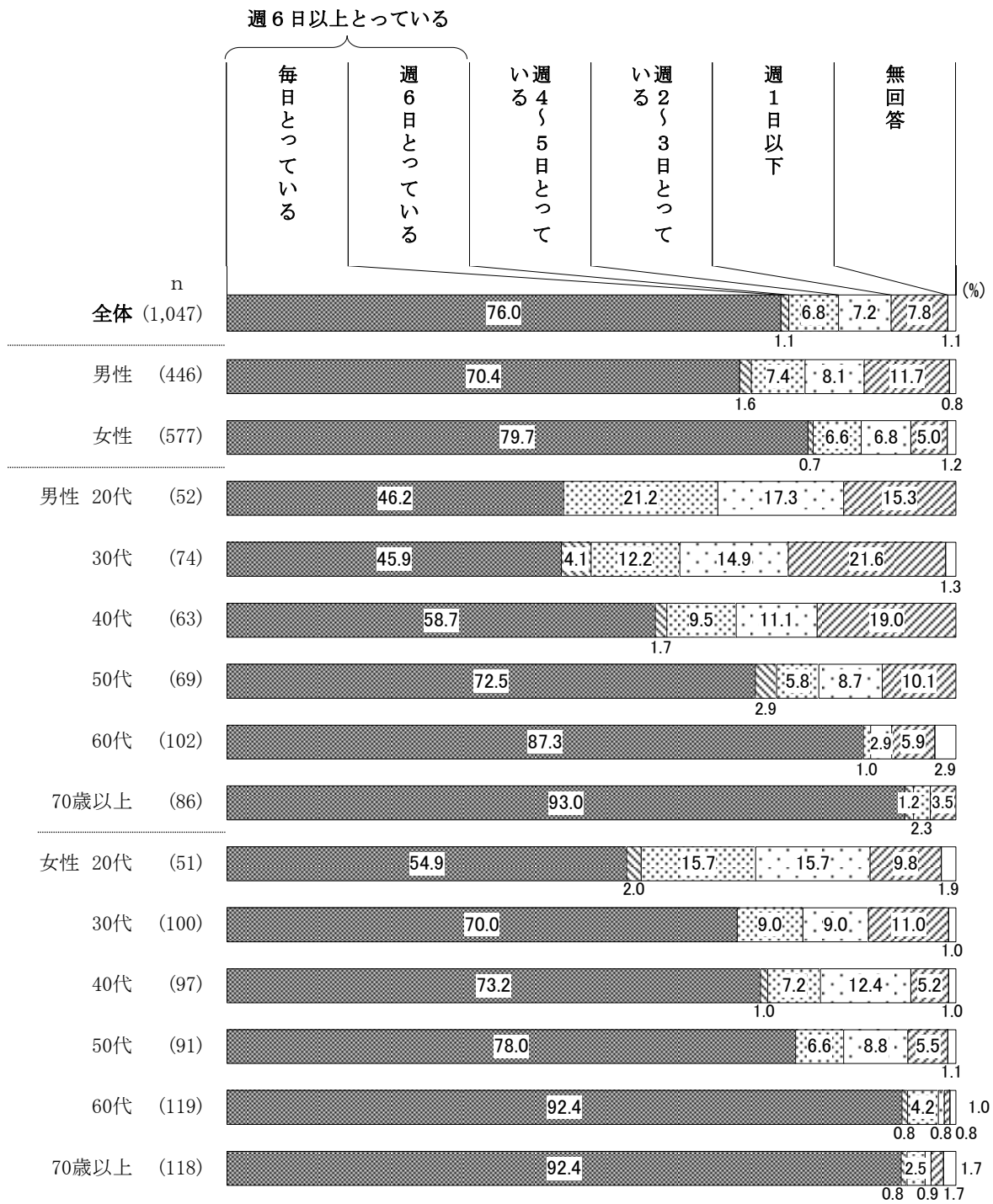
問28 普段、朝食をとっていますか。(栄養ドリンク剤、野菜ジュース等のみの場合は含みません。)(○は1つだけ)



普段の朝食の摂取状況については、「週6日以上とっている」人は77.1%となっています。



〈 性別、性・年代別／朝食の摂取状況 〉



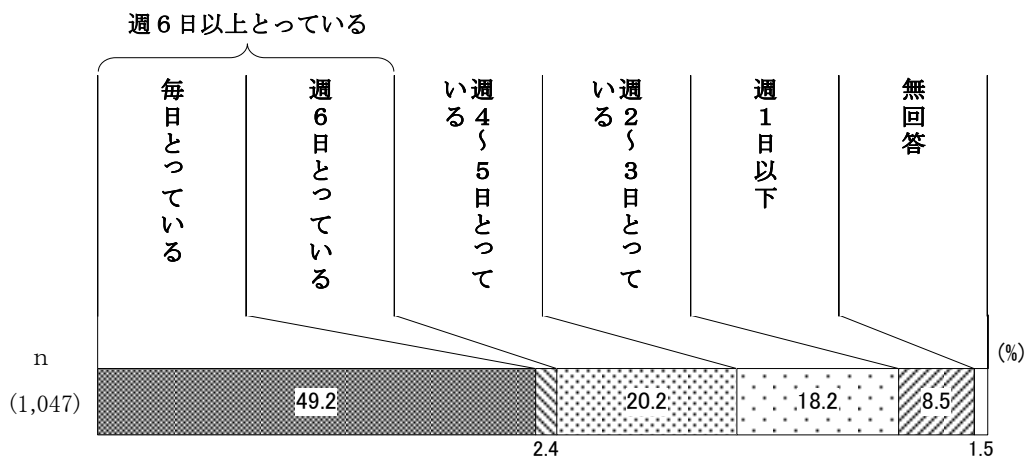
性別でみると、性別でみると、朝食の摂取状況については、「週6日以上とっている」人は、男性が72.0%、女性が80.4%となっています。

性・年代別の朝食摂取状況については、「週6日以上とっている」人は、男性30代が50.0%、女性20代が56.9%と低くなっています。

(2) バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況

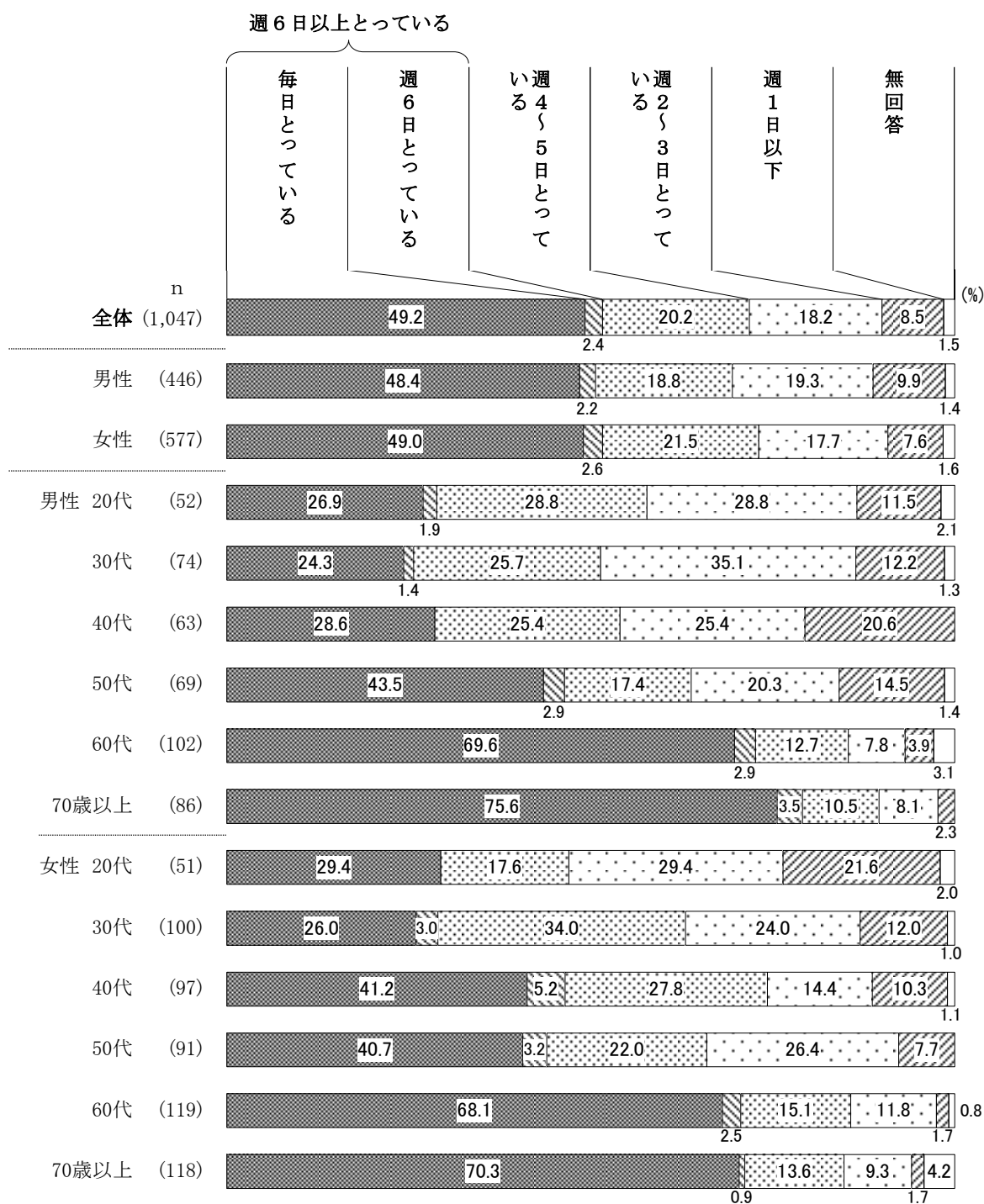
問29 バランスのとれた食事（主食・主菜・副菜を組み合わせた食事）を、1日2回以上とっていますか。（○は1つだけ）

※「主食」は米、パン、めん類などの穀類、「主菜」は魚、肉、卵、大豆料理など、「副菜」は野菜、きのこ、海藻料理などです。



バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況については、「週6日以上とっている」人は、51.6%となっています。

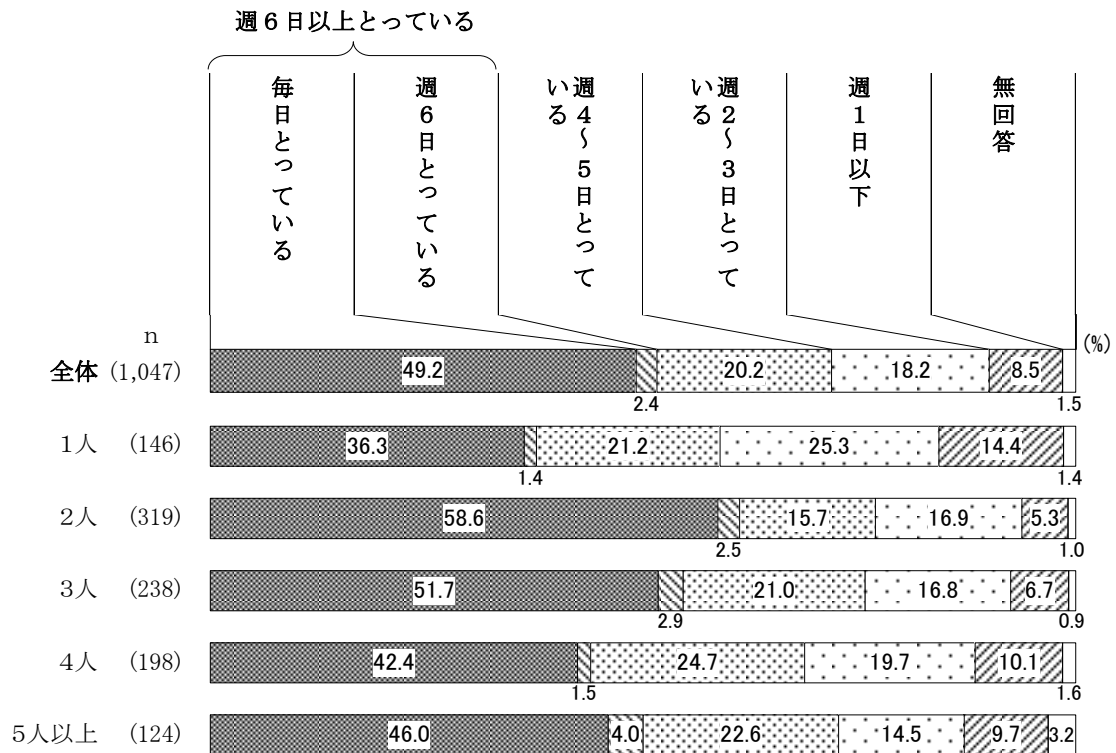
〈 性別、性・年代別／バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況 〉



性別で見ると、バランスのとれた食事を「週6日以上とっている」人は、男性が50.6%、女性が51.6%となっています。

性・年代別のバランスのとれた食事については、「週6日以上とっている」人は、男性30代が25.7%、女性30代が29.0%と低くなっています。

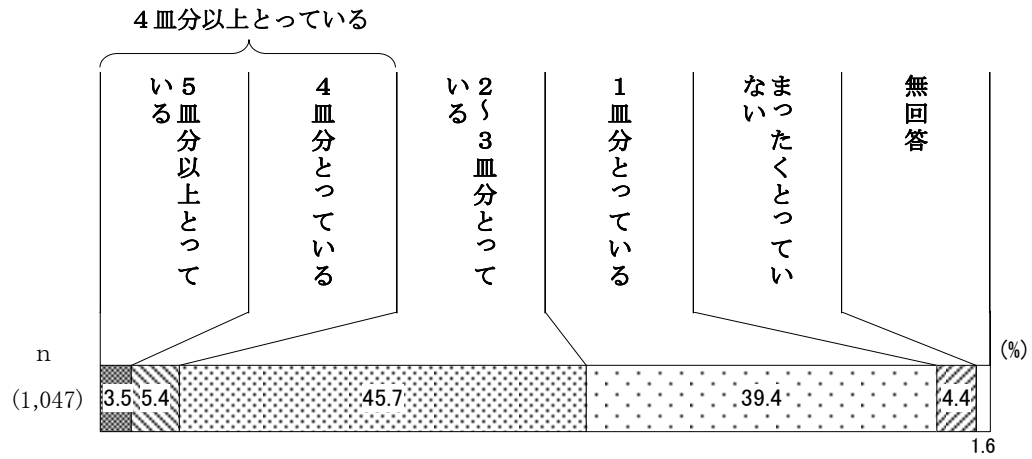
〈 同居人数別／バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況 〉



同居人数別で見ると、バランスのとれた食事を「週6日以上とっている」人は、1人が37.7%と、最も低くなっています。

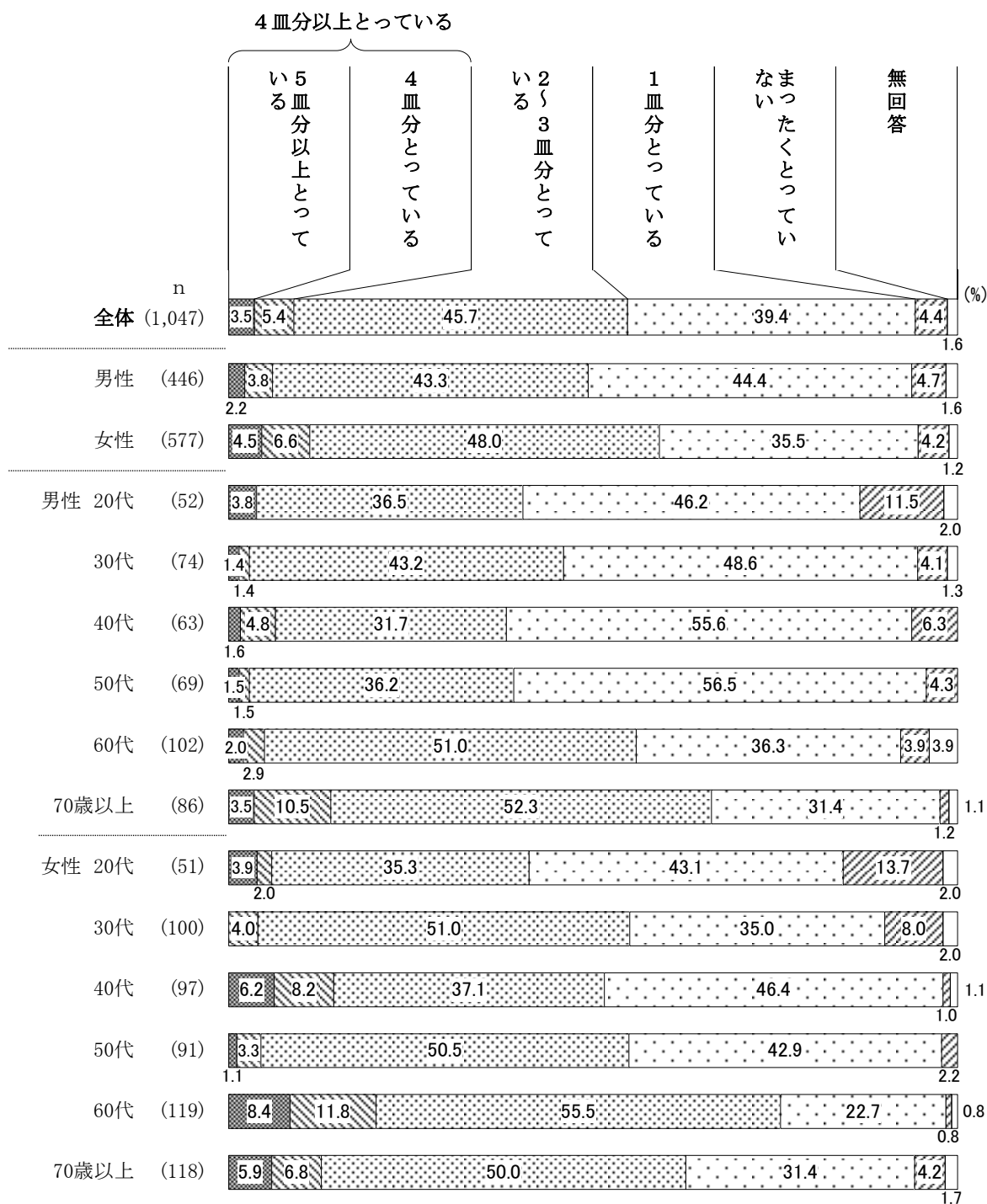
## (3) 1日の野菜摂取量

問30 野菜を一日何皿分とっていますか。(○は1つだけ) 1皿の野菜料理の目安量：おひたしなどの小鉢1皿や具だくさんの味噌汁1杯。(一皿野菜70g程度)



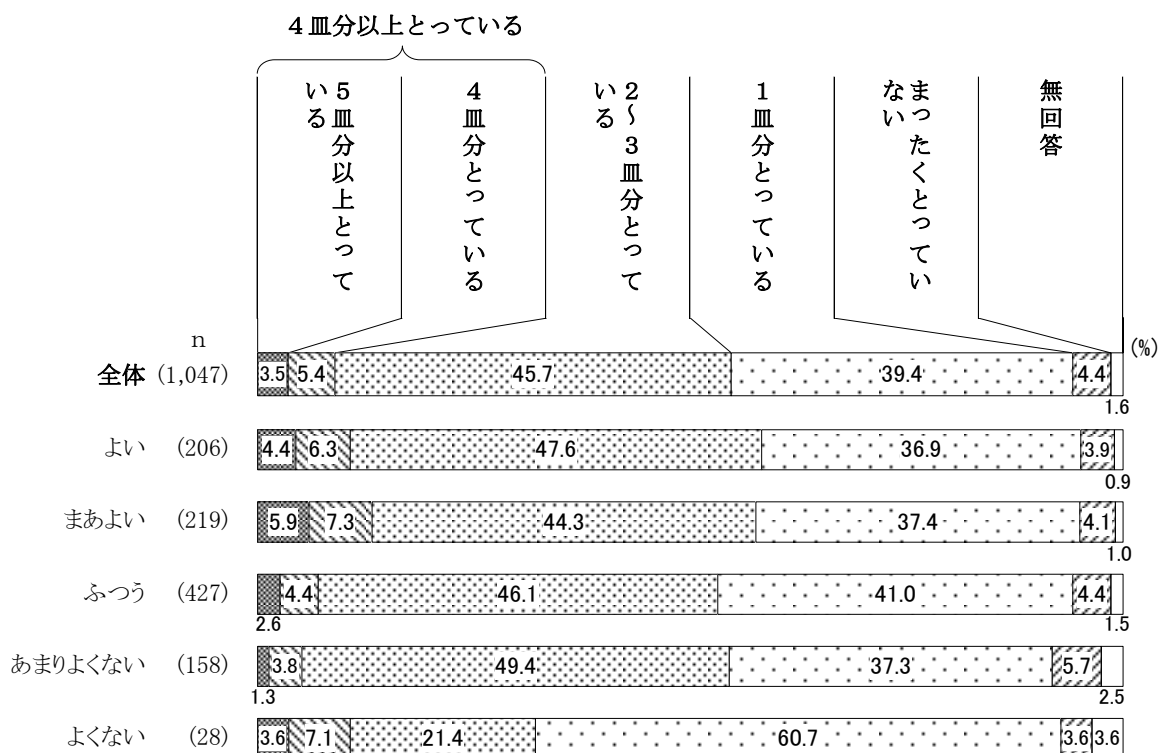
1日の野菜摂取量については、「4皿分以上とっている」人は8.9%となっています。

〈 性別、性・年代別／1日の野菜摂取量 〉



性・年代別でみると、1日の野菜摂取量で「4皿分以上とっている」人は、どの性・年代でも低くなっています。

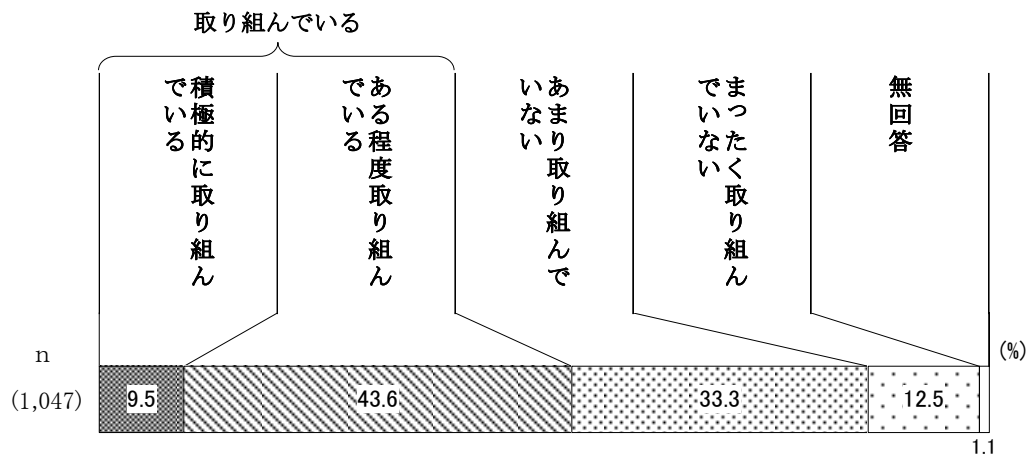
〈 健康状態別／1日の野菜摂取量 〉



健康状態別でみると、よくないが「1皿分とっている」が60.7%と、最も低くなっています。

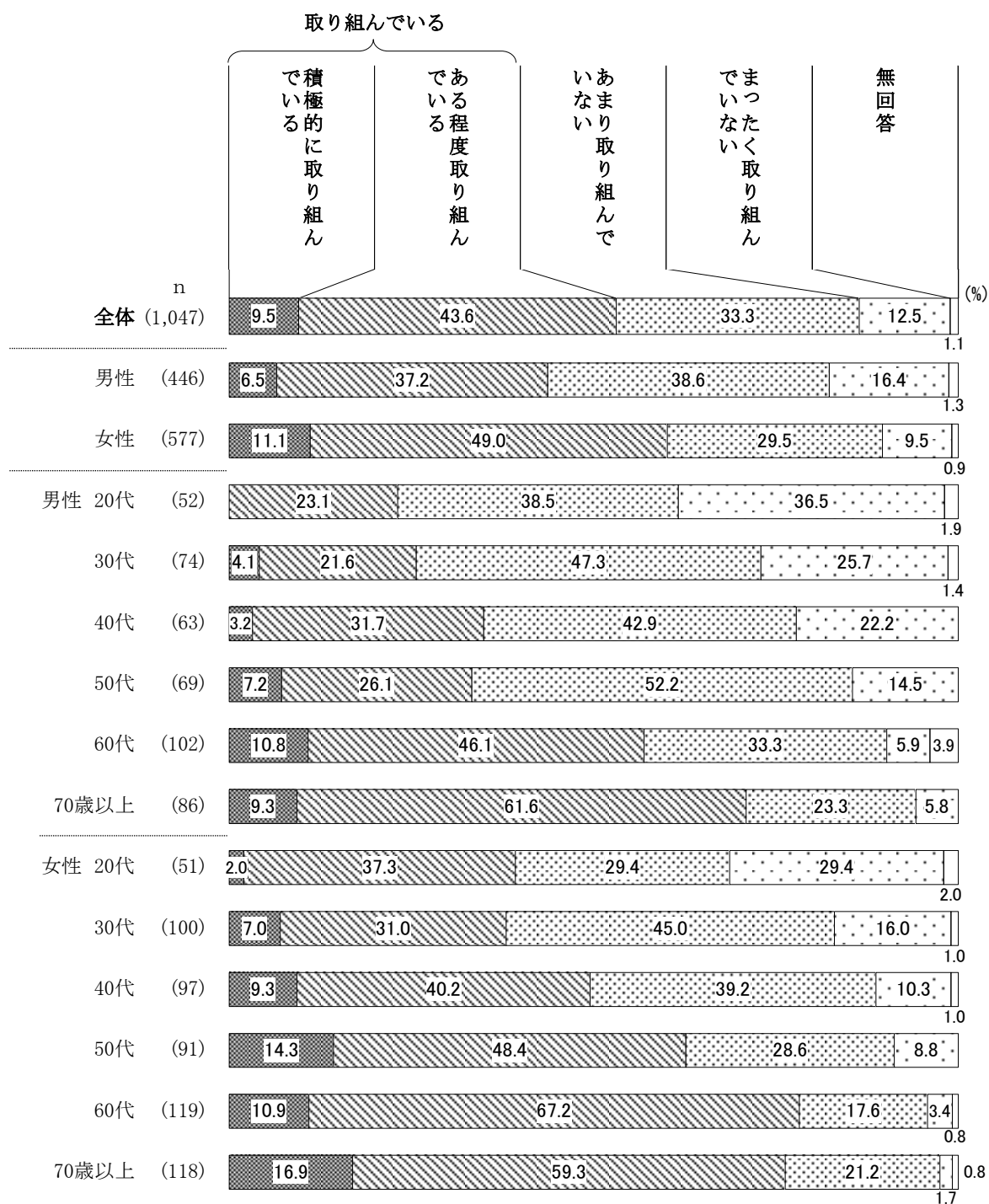
(4) 減塩への取り組み状況

問31 普段の食生活において、減塩に取り組んでいますか。(○は1つだけ)



減塩への取り組み状況については、「取り組んでいる」人は53.1%となっています。

〈 性別、性・年代別／減塩への取り組み状況 〉



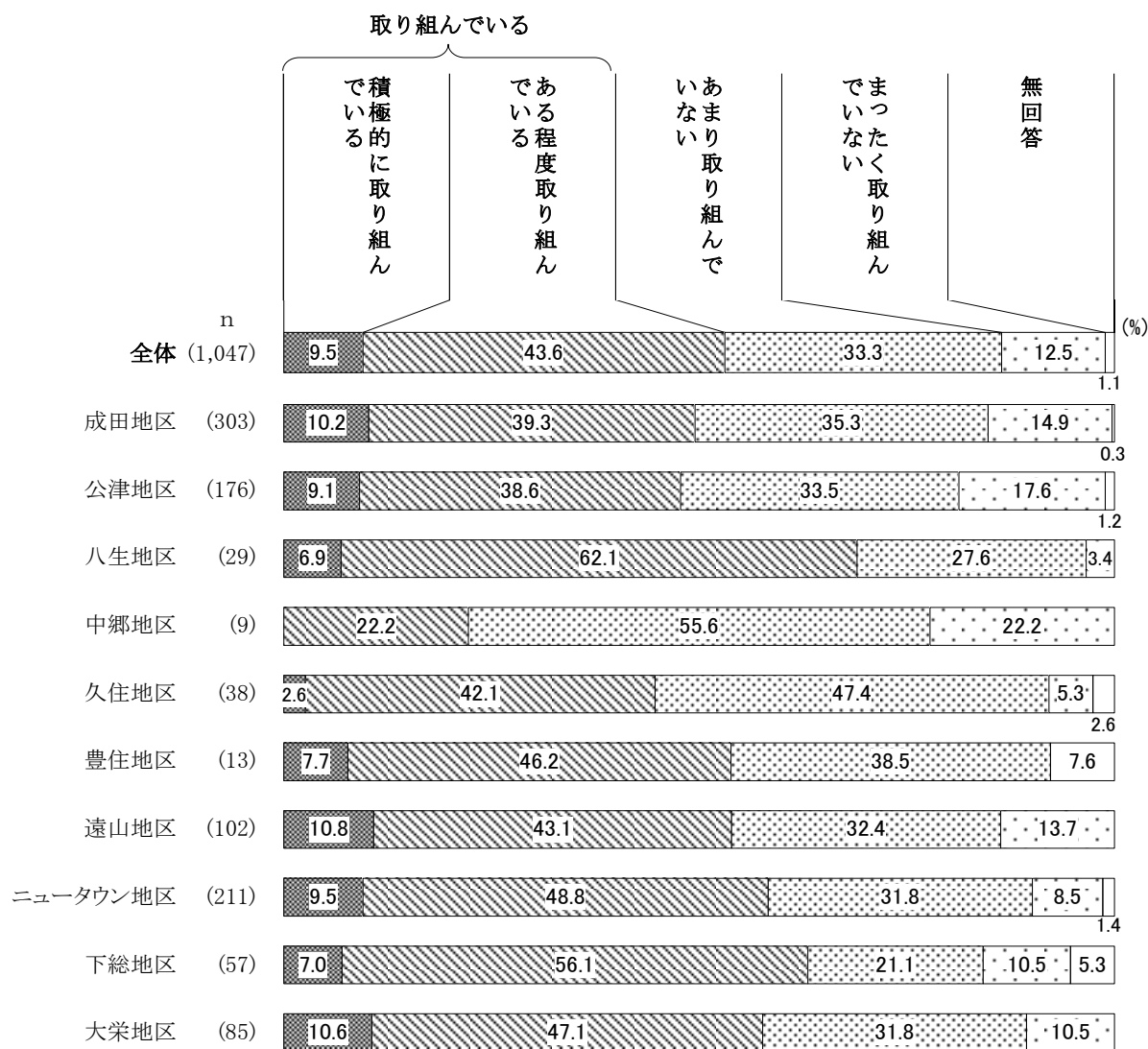
性別で見ると、「取り組んでいる」人は男性43.7%、女性60.1%となっています。

性・年代別で見ると、男性では、40歳代以上より「取り組んでいる」人が増加し、70歳以上では70.9%となっています。

女性でも、40歳代以上より「取り組んでいる」人は増加し、60代では78.1%、70歳以上では76.2%となっています。



〈 居住地区別／減塩への取り組み 〉

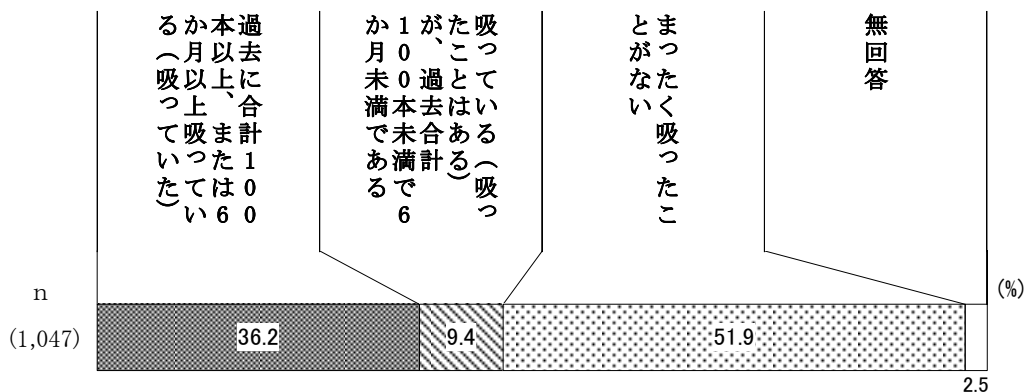


居住地区別でみると、「取り組んでいる」人は、八生地区が69.0%と最も高く、次いで下総地区が63.1%、ニュータウン地区が58.3%と、他の地区よりやや高くなっています。

## 7. 喫煙

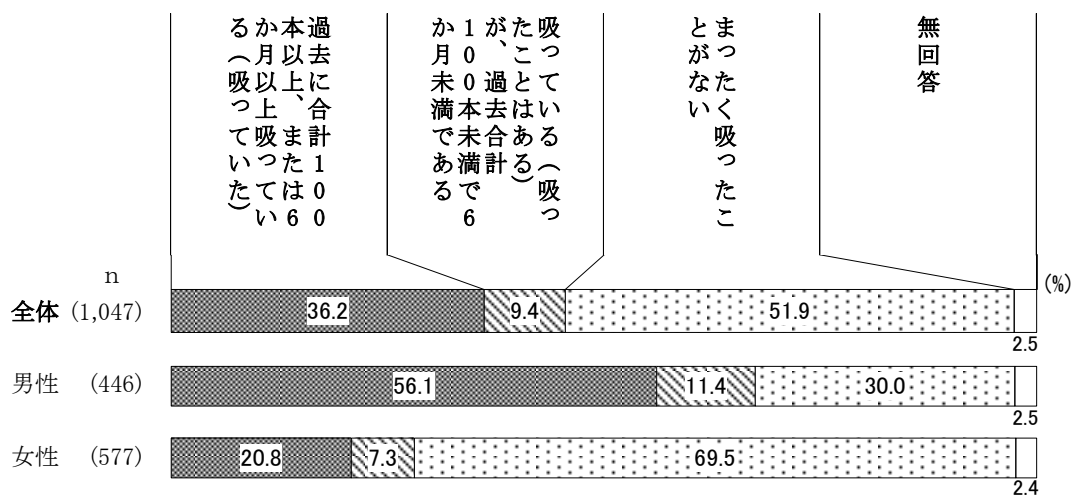
### (1) 喫煙経験

問32 これまでにたばこを吸ったことがありますか。(○は1つだけ)



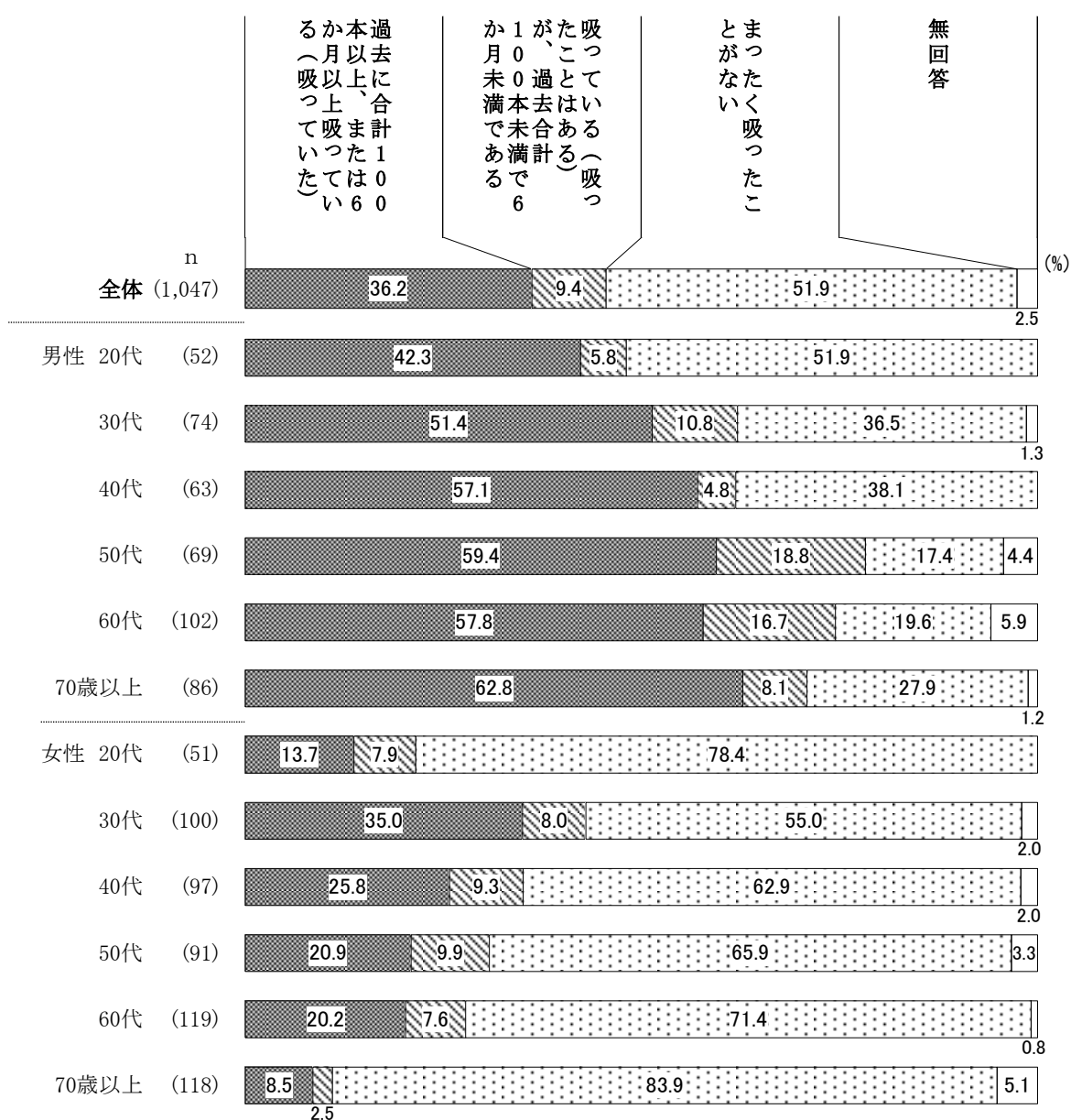
喫煙経験は、「過去に合計100本以上、または6か月以上吸っている（吸っていた）」は36.2%、「吸っている（吸ったことはある）が、過去合計100本未満で6か月未満である」は9.4%となっています。

#### 〈 性別／喫煙経験 〉



性別で見ると、男性では「過去に合計100本以上、または6か月以上吸っている（吸っていた）」が56.1%と、女性（20.8%）より高くなっています。

〈 性・年代別／喫煙経験 〉



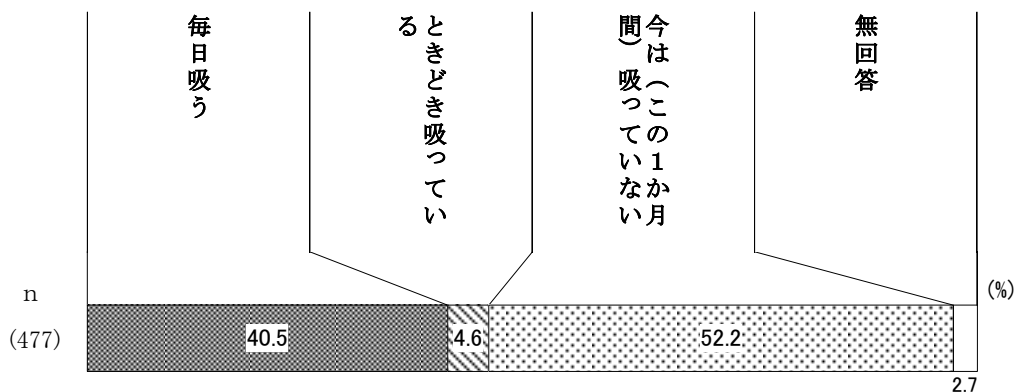
性・年代別でみると、男性では、加齢とともに「過去に合計100本以上、または6か月以上吸っている（吸っていた）」が増加し、70歳以上では62.8%となっています。

女性では、30代で「過去に合計100本以上、または6か月以上吸っている（吸っていた）」が35.0%と高くなっています。

(2) 現在（この1か月間）の喫煙状況

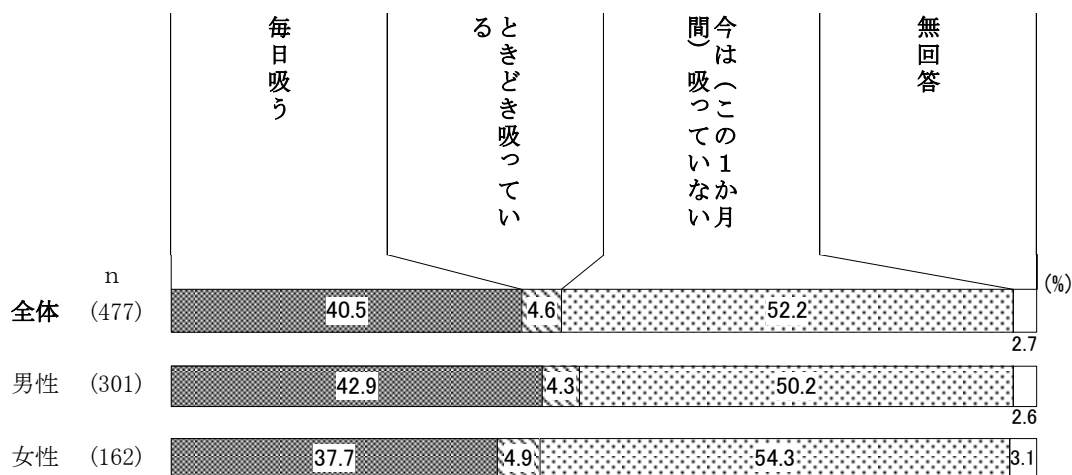
問32で1または2とお答えの方に

問32-1 現在（この1か月間）、たばこを吸っていますか。（○は1つだけ）



「過去に合計100本以上、または6か月以上吸っている（吸っていた）」「吸っている（吸ったことはある）が、過去合計100本未満で6か月未満である」という人に、現在（この1か月間）の喫煙状況を聞いたところ、「毎日吸う」が40.5%となっています。一方、「今は（この1か月間）吸っていない」は52.2%となっています。

〈 性別／現在（この1か月間）の喫煙状況 〉

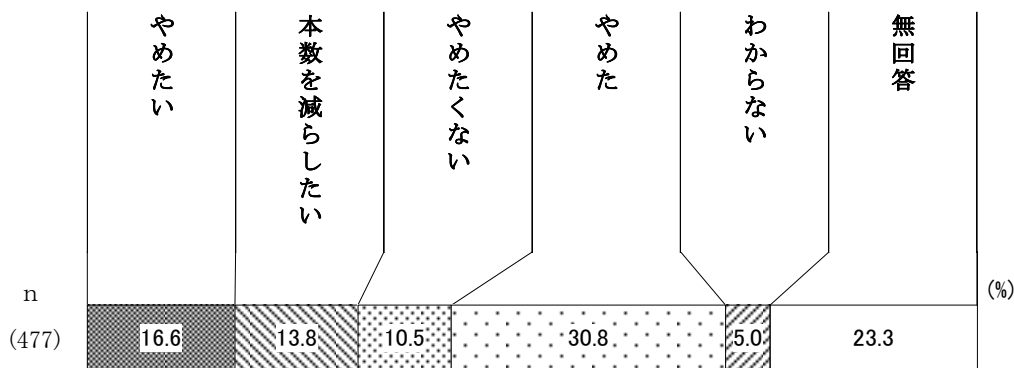


性別で見ると、「毎日吸う」は男性42.9%、女性37.7%となっています。

(3) 禁煙意向

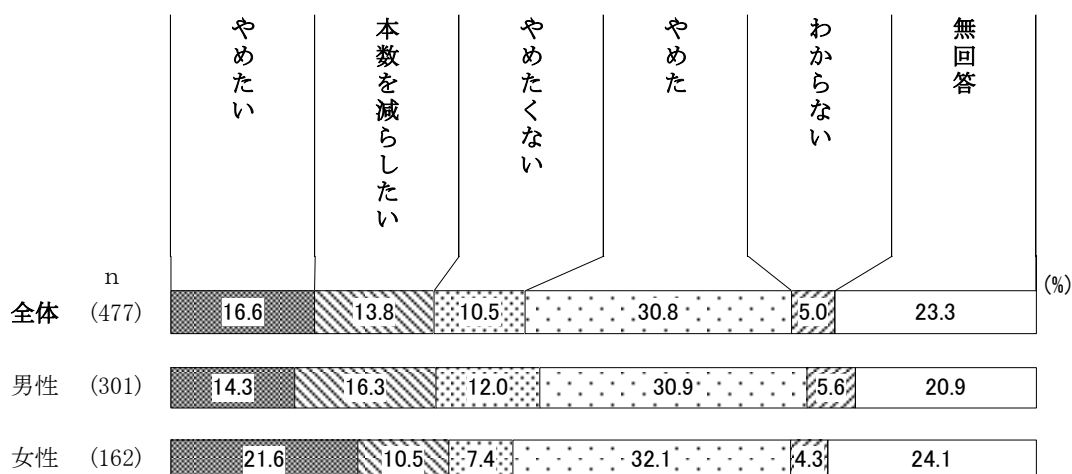
問32で1または2とお答えの方に

問32-2 たばこをやめたいと思いますか。(○は1つだけ)



「過去に合計100本以上、または6か月以上吸っている（吸っていた）」「吸っている（吸ったことはある）」が、過去合計100本未満で6か月未満である」という人の禁煙意向の有無をみると、「やめたい」が16.6%、「本数を減らしたい」が13.8%、「やめた」は30.8%となっています。

〈 性別／禁煙意向 〉

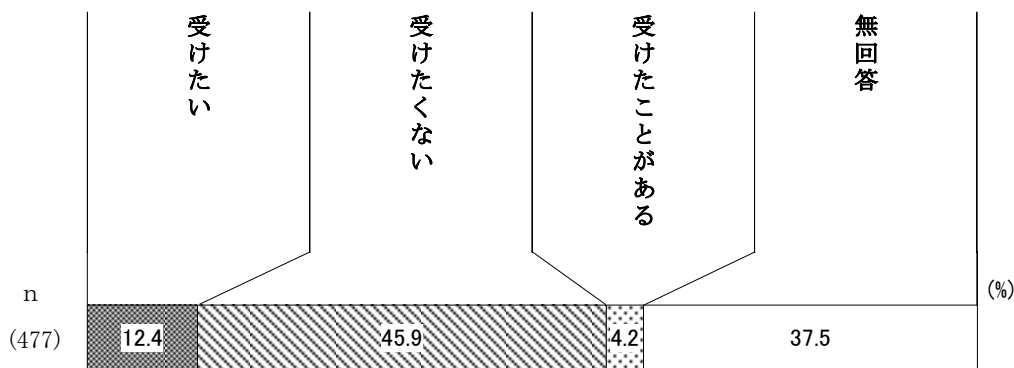


性別でみると、女性では「やめたい」が21.6%と、男性（14.3%）より高くなっています。

(4) 医療機関での禁煙指導（禁煙外来）の受診意向

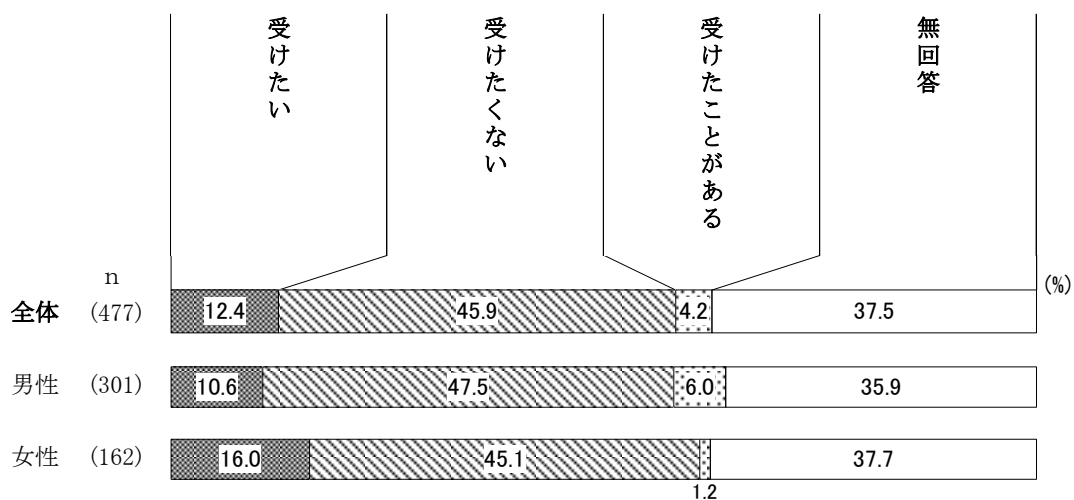
問32で1または2とお答えの方に

問32-3 医療機関での禁煙指導（禁煙外来）を受けたいと思いますか。（○は1つだけ）



過去に合計100本以上、または6か月以上吸っている（吸っていた）「吸っている（吸ったことはある）」が、過去合計100本未満で6か月未満である」という人に、医療機関での禁煙指導（禁煙外来）の受診意向を聞いたところ、「受けたい」は12.4%となっています。一方、「受けたくない」は45.9%となっています。

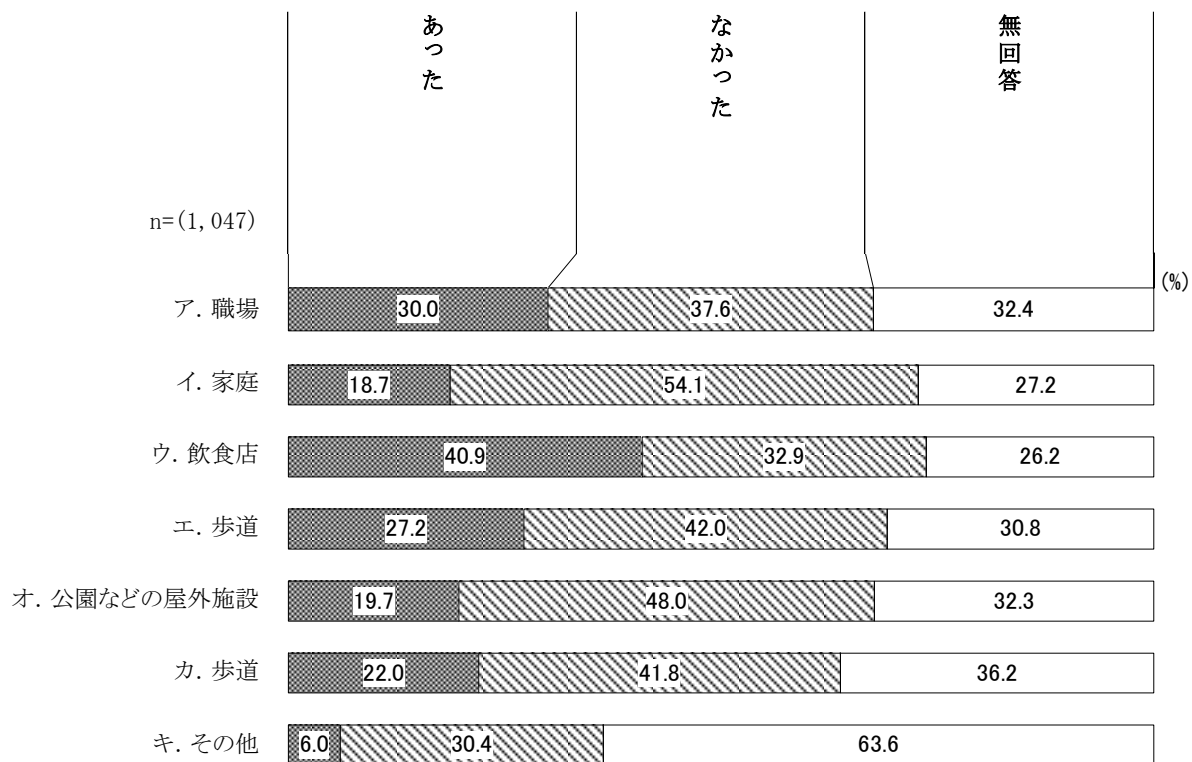
〈 性別／医療機関での禁煙指導（禁煙外来）の受診意向 〉



性別で見ると、「受けたい」は男性10.6%、女性16.0%となっています。

## (5) この1か月間の受動喫煙経験

問33 この1か月間に自分以外の方が吸っていたたばこの煙に接した経験（受動喫煙）がありましたか。次のア～キの場所について、お答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

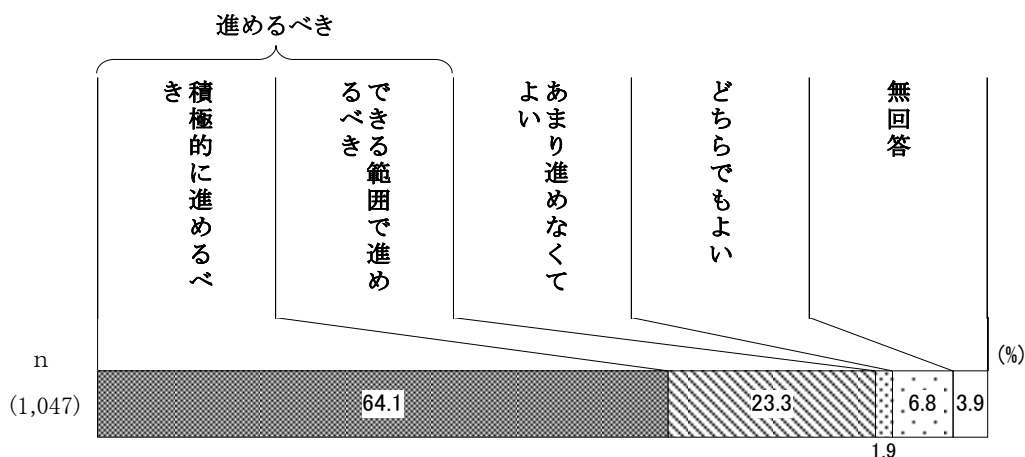


この1か月の受動喫煙経験が「あった」場所については、〈飲食店〉が40.9%で最も高く、次いで〈職場〉が30.0%、〈歩道〉が27.2%となっています。

(6) 分煙への意識

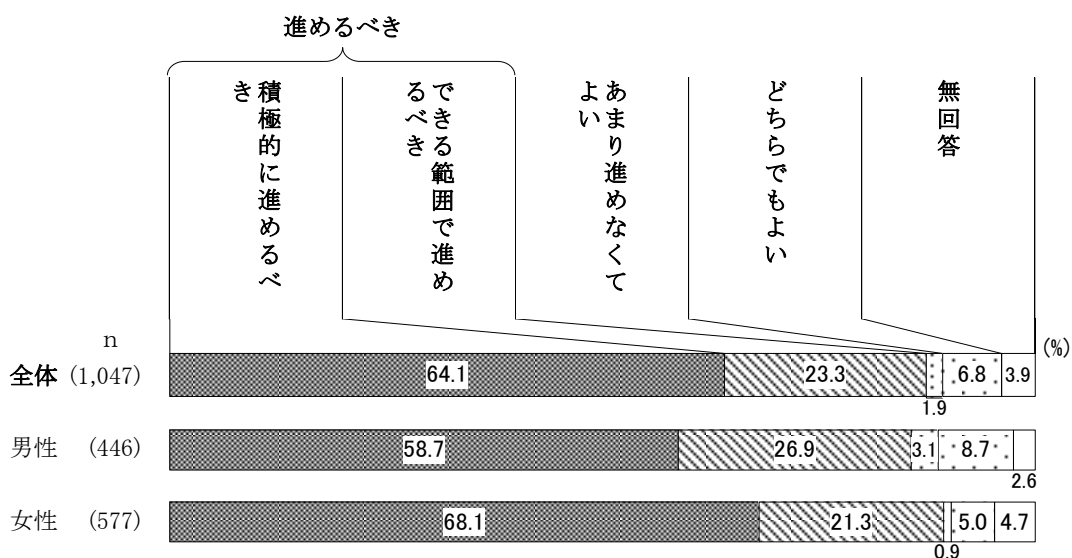
問34 分煙について、どう思いますか。(〇は1つだけ)

※分煙とは、たばこを吸う場所をしっかり分け、たばこを吸わない人が煙を吸い込むことがないようにすることです。



分煙への意識については、「積極的に進めるべき」「できる範囲で進めるべき」という人が87.4%となっています。一方、「あまり進めなくてもよい」は1.9%となっています。

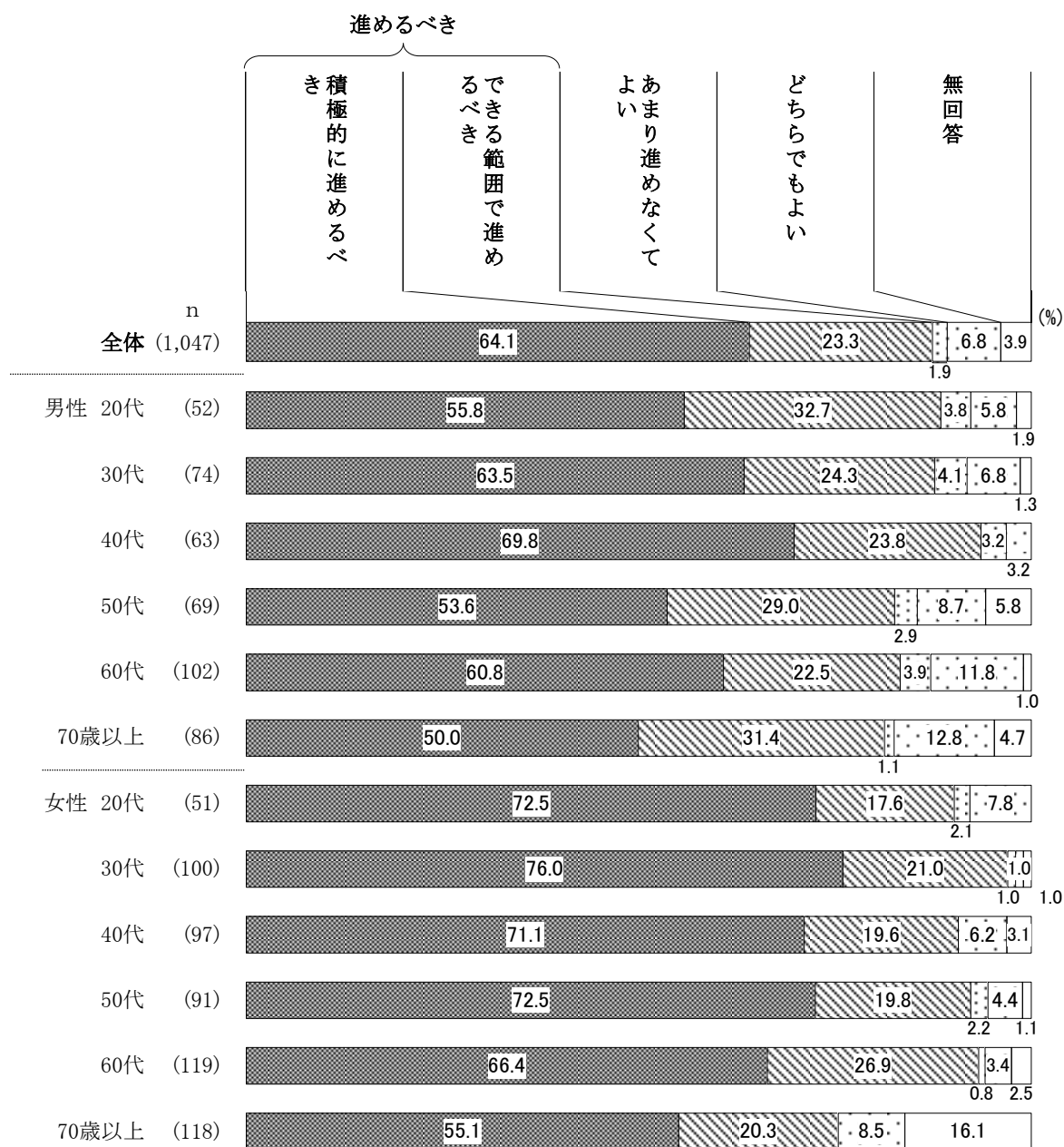
〈 性別／分煙への意識 〉



性別でみると、女性では「積極的に進めるべき」が68.1%と、男性（58.7%）より高くなっています。



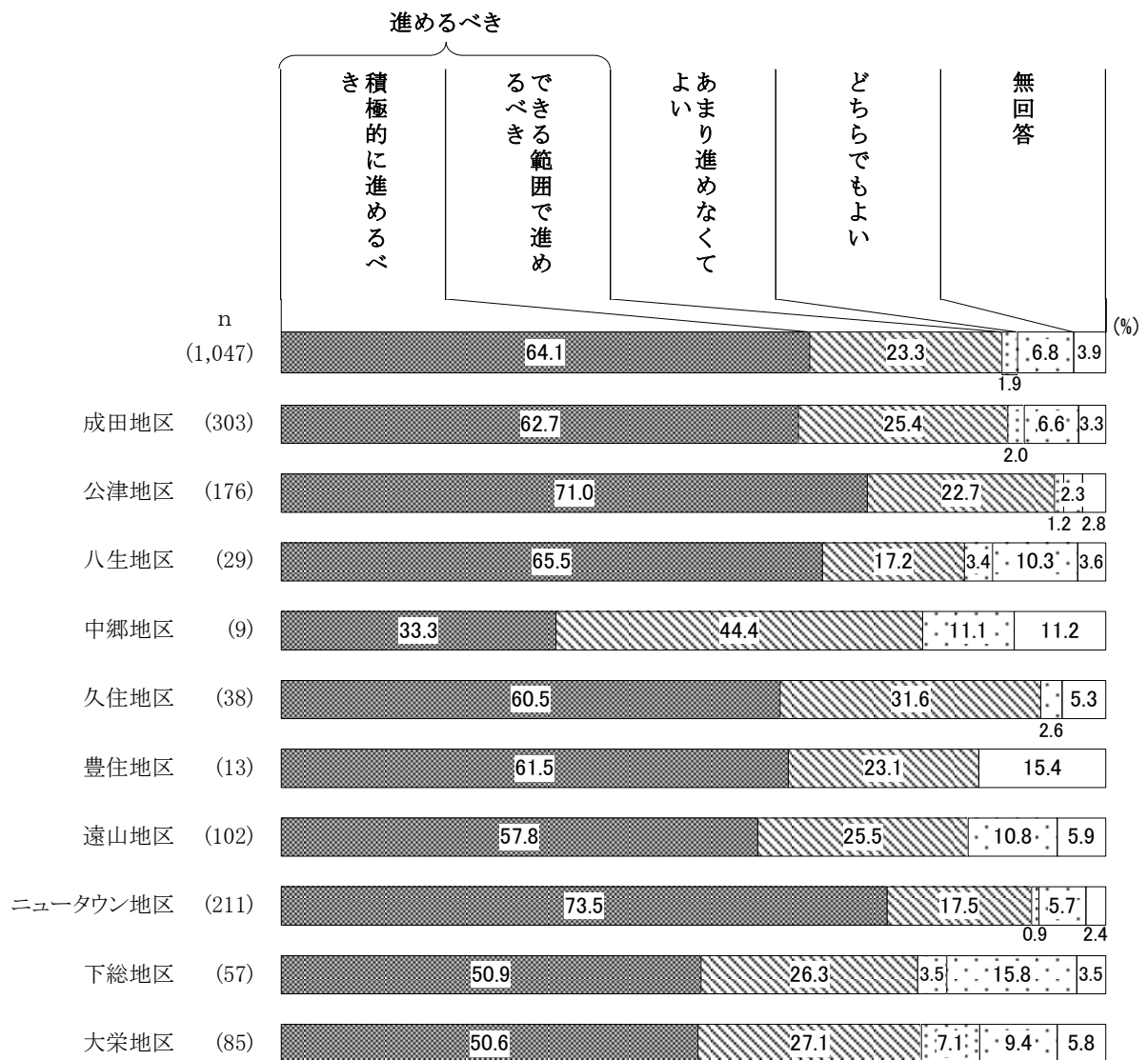
〈 性・年代別／分煙への意識 〉



性・年代別でみると、男性では「積極的に進めるべき」が40代で69.8%と最も高く、次いで30代で63.5%、60代で60.8%となっています。

女性では、「積極的に進めるべき」が30代で76.0%と最も高く、次いで20代、30代ともに72.5%となっています。

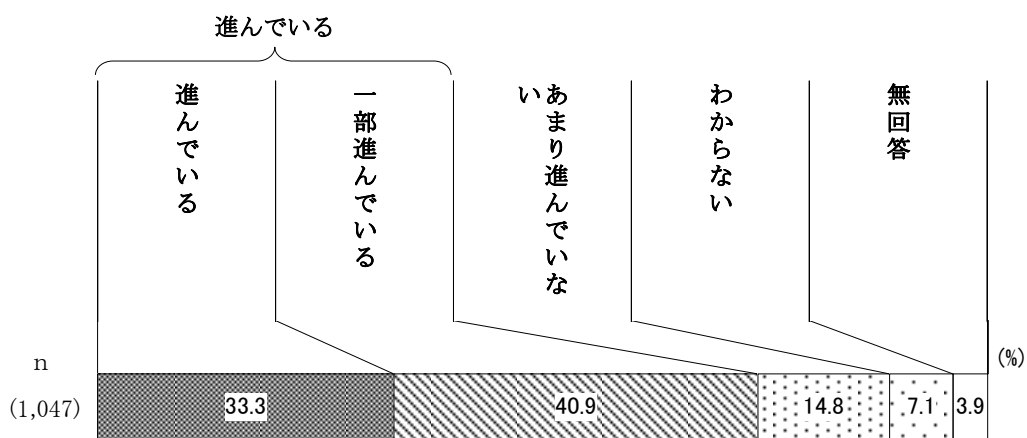
〈 住居地区別／分煙への意識 〉



住居地区別で見ると、「積極的に進めるべき」が、ニュータウン地区で73.5%と最も高く、次いで公津地区が71.0%となっています。

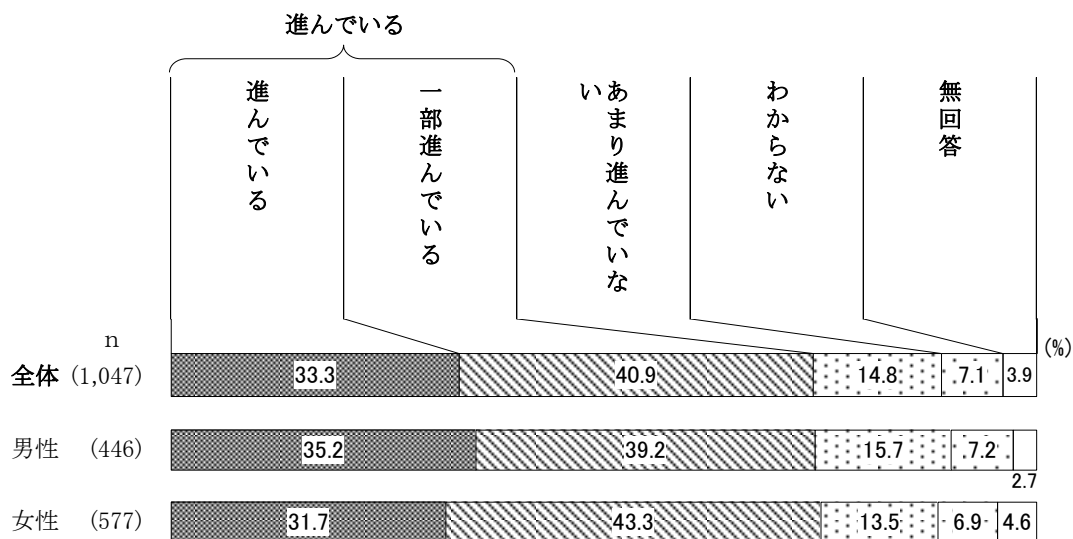
(7) 周囲の分煙化

問35 あなたの周囲では分煙が進んでいると思いますか。(〇は1つだけ)



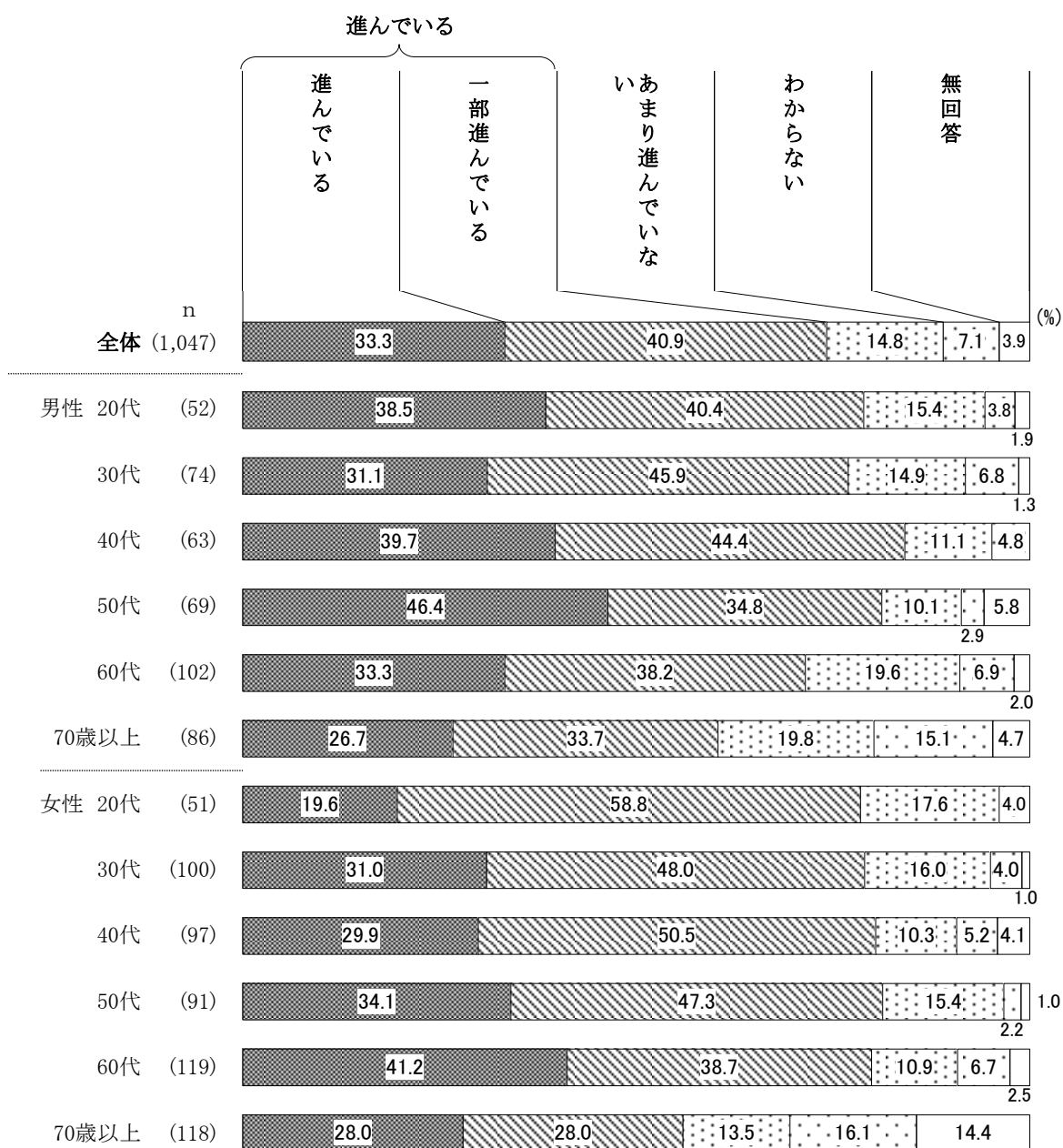
周囲の分煙化の状況については、「進んでいる」と「一部進んでいる」の計は74.2%、「あまり進んでいない」は14.8%となっています。

〈 性別／周囲の分煙化 〉



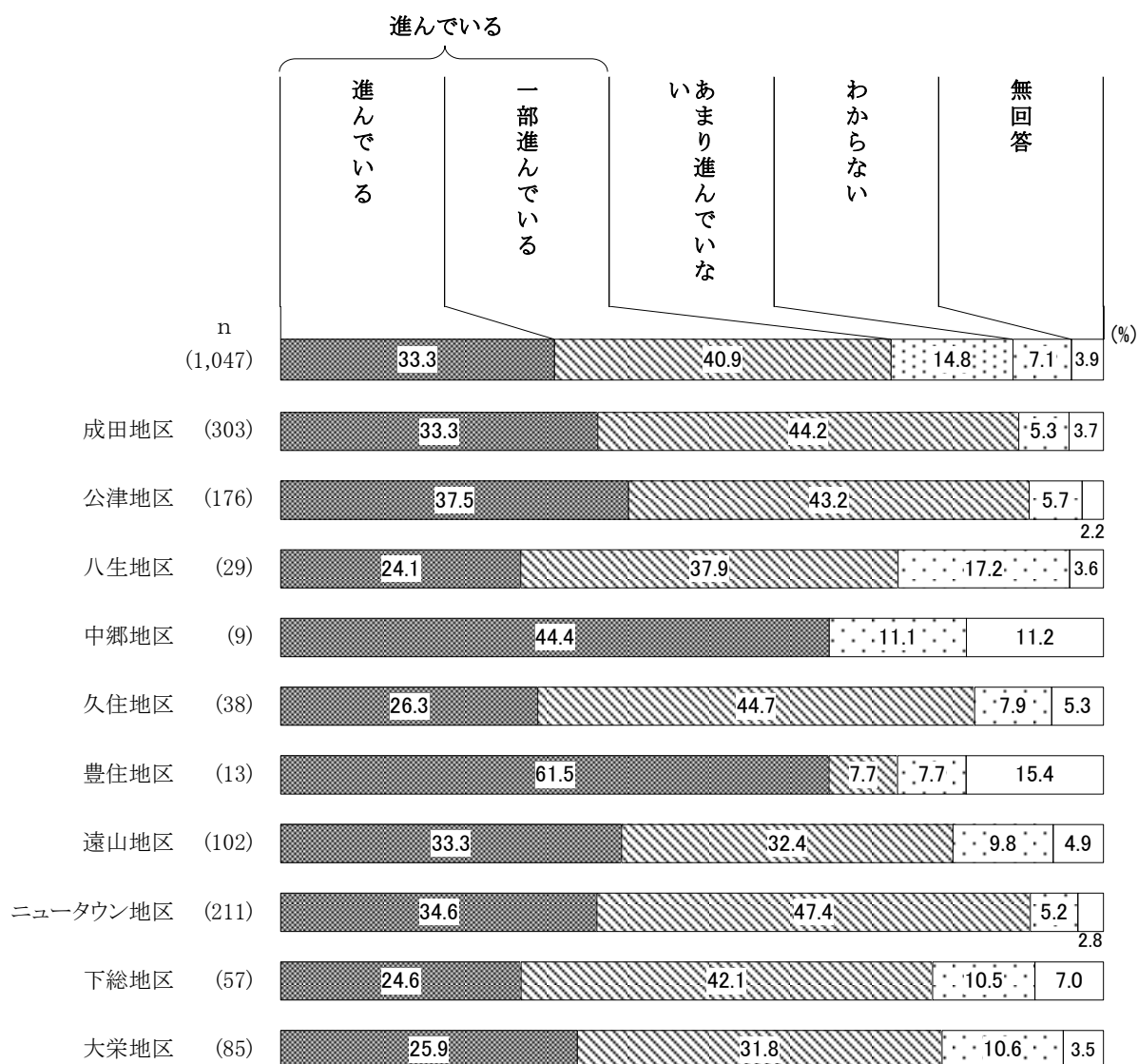
性別で見ると、「進んでいる」と「一部進んでいる」の計は男性74.4%、女性75.0%となっています。

〈 性・年代別／周囲の分煙化 〉



性・年代別でみると、「進んでいる」と「一部進んでいる」の計が、男女共に40代、50代で最も高くなっています。

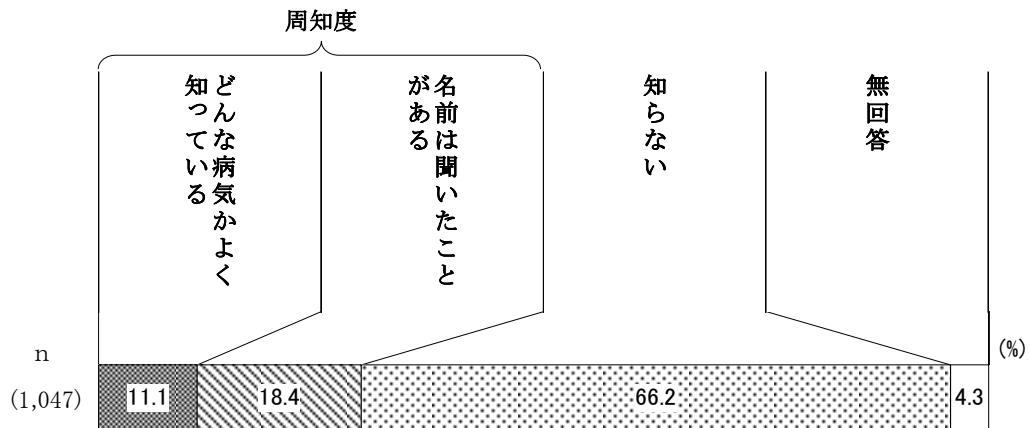
〈 住居地区別／周囲の分煙化 〉



住居地区別でみると、「進んでいる」と「一部進んでいる」の計がニュータウン地区で82.0%と最も高く、次いで公津地区が80.7%、成田地区が77.5%となっています。

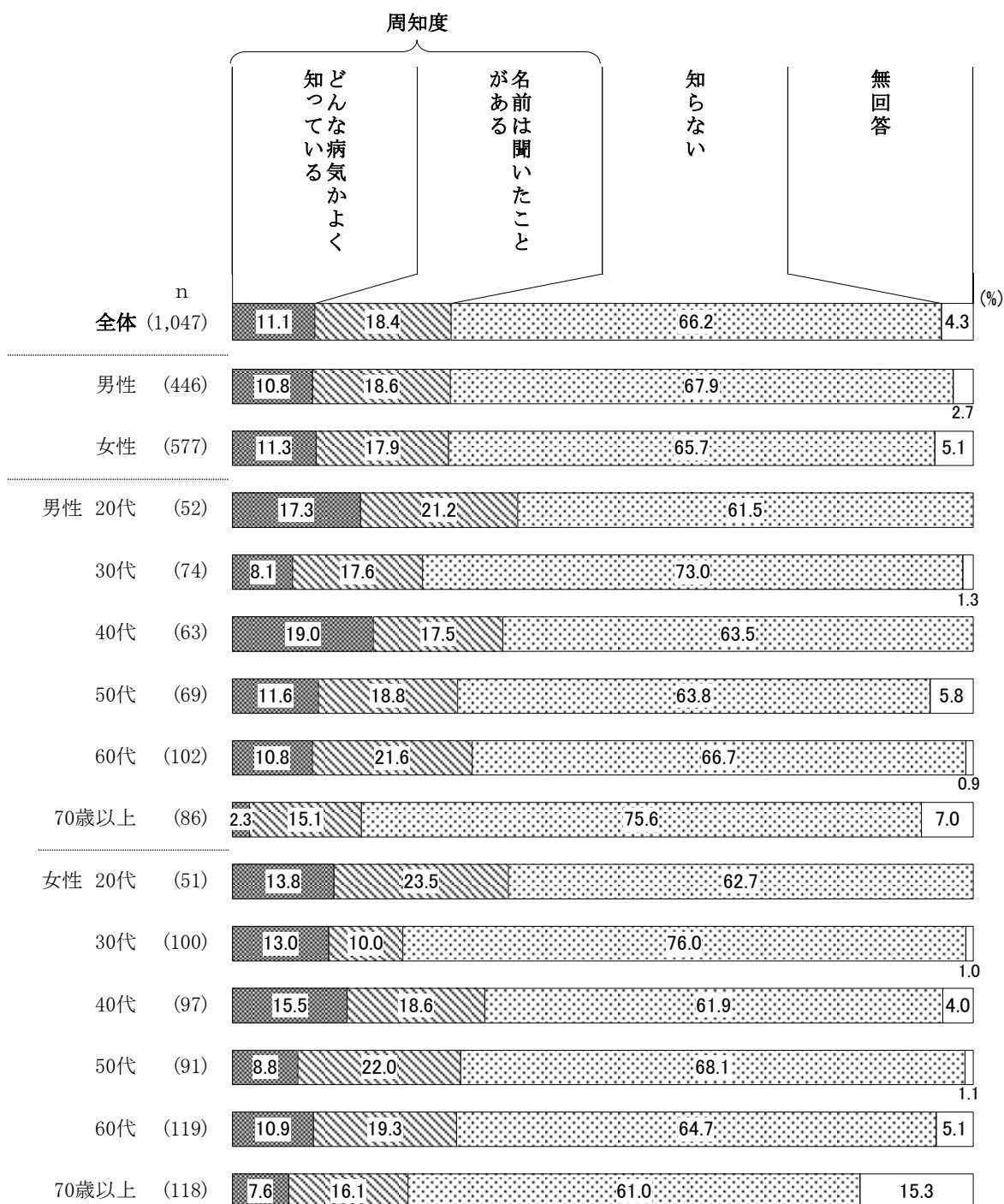
(8) COPDの認知状況

問36 COPD（シー・オー・ピー・ディー）という病気を知っていますか。（○は1つだけ）  
※COPDとは、セキやタン、息切れが主な症状で、「慢性気管支炎」と「肺気腫」のどちらか、または両方によって肺への空気の流れが悪くなる病気で、慢性閉塞性肺疾患ともいいます。長年の喫煙習慣が主な原因の肺の生活習慣病です



COPDの認知状況を見ると、「どんな病気かよく知っている」が11.1%、「名前はあるが聞いたことがある」は18.4%となっています。

〈 性別、性・年代別／COPDの認知状況 〉



性別で見ると、「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」人は男性29.4%、女性29.2%となっています。

性・年代別で見ると、男性では「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」人が、20代で38.5%、40代で36.5%と、他の年代より高くなっています。

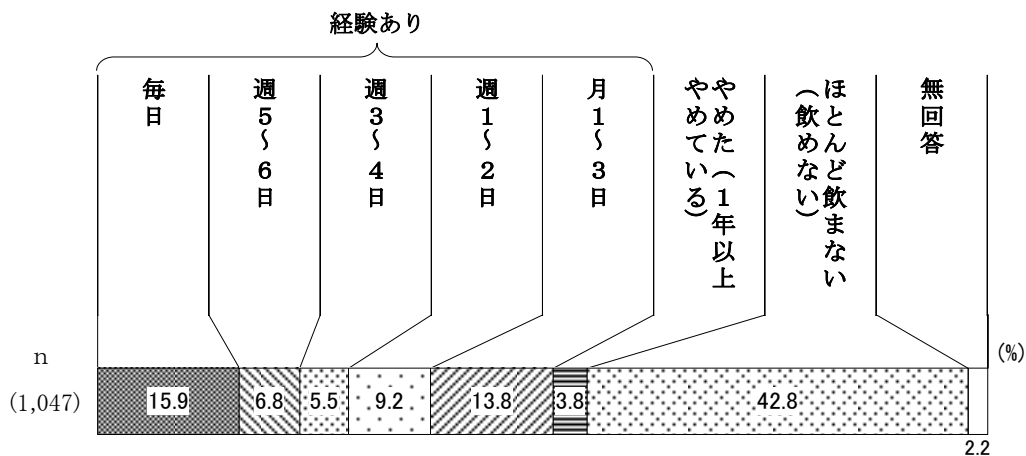
女性では、「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」人は20代で37.2%、40代で34.1%となっています。

## 8. 飲酒

### (1) 飲酒頻度

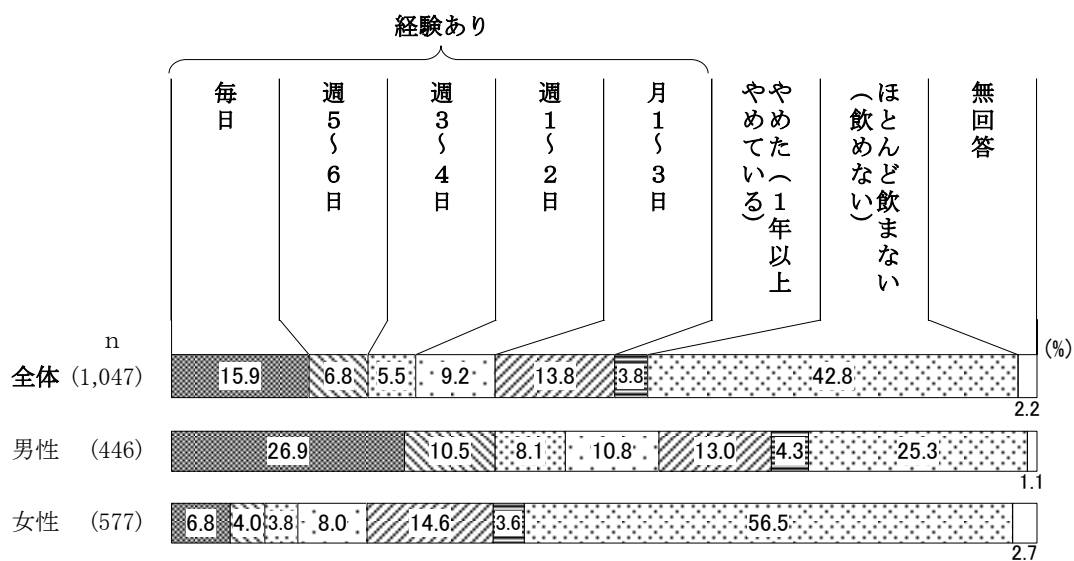
問37 どのくらいの頻度でお酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか。

(○は1つだけ)



飲酒の頻度は、「毎日」が15.9%で、「週5〜6日」が6.8%、「週3〜4日」が5.5%、「週1〜2日」が9.2%、「月1〜3日」が13.8%となっています。

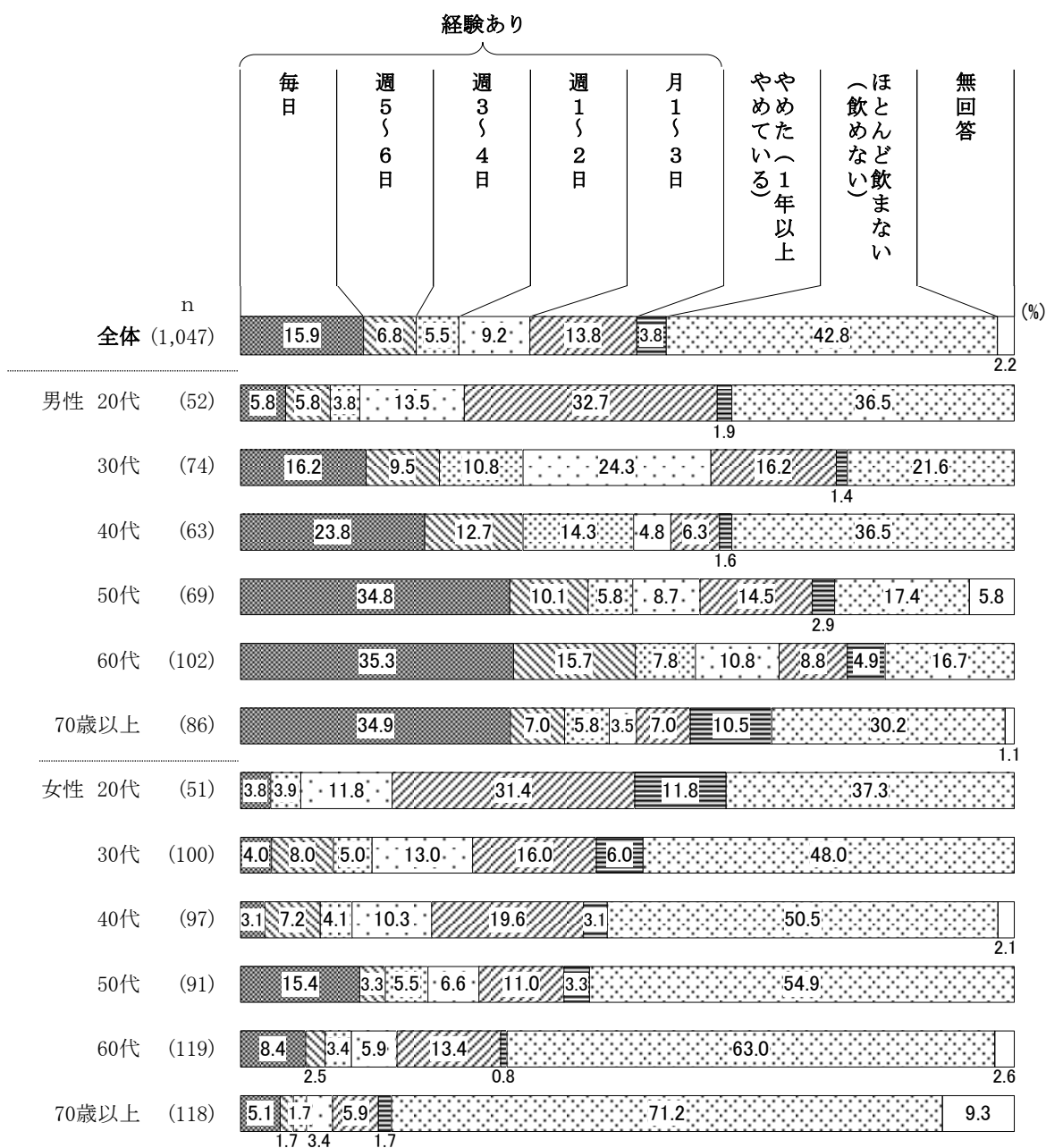
### 〈 性別／飲酒頻度 〉



性別でみると、男性では《経験あり》が69.3%と、女性（37.1%）より高くなっています。一方、女性では「ほとんど飲まない（飲めない）」が56.5%と、男性（25.3%）を上回っています。



〈 性・年代別／飲酒頻度 〉



性・年代別でみると、男性では、飲酒の頻度が「毎日」の人が60代で最も高く、次いで70歳以上が34.9%となっています。

女性では、飲酒の頻度が「毎日」の人が50代で15.4%と最も多く、次いで60代が84%、70歳以上で5.1%となっています。

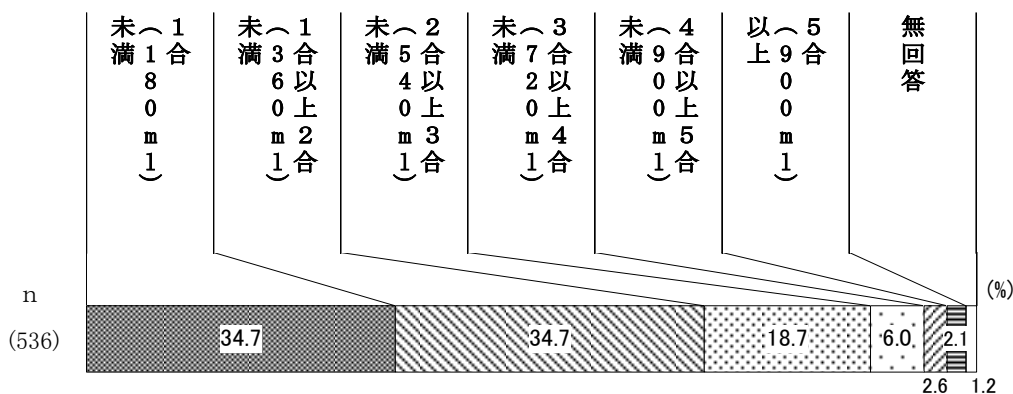
(2) 1日あたりの飲酒量

問37で1～5とお答えの方に

問37-1 お酒を飲む時は1日あたり、清酒に換算してどれくらいの量を飲みますか。

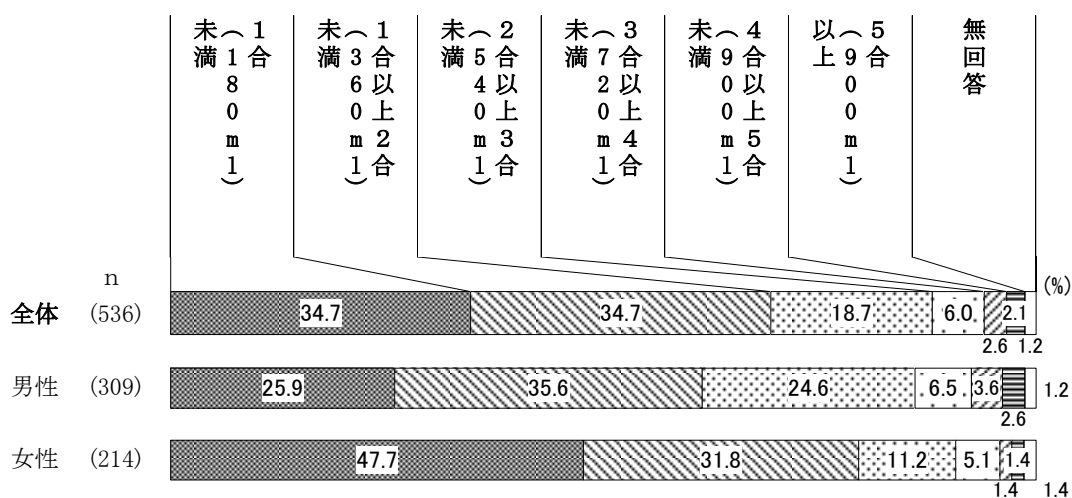
(○は1つだけ)

※清酒1合(180ml)は、次の量にほぼ相当します。ビール・発泡酒中瓶1本(約500ml)、焼酎20度(135ml)、焼酎25度(110ml)、焼酎35度(80ml)、酎ハイ7度(350ml)、ウイスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)



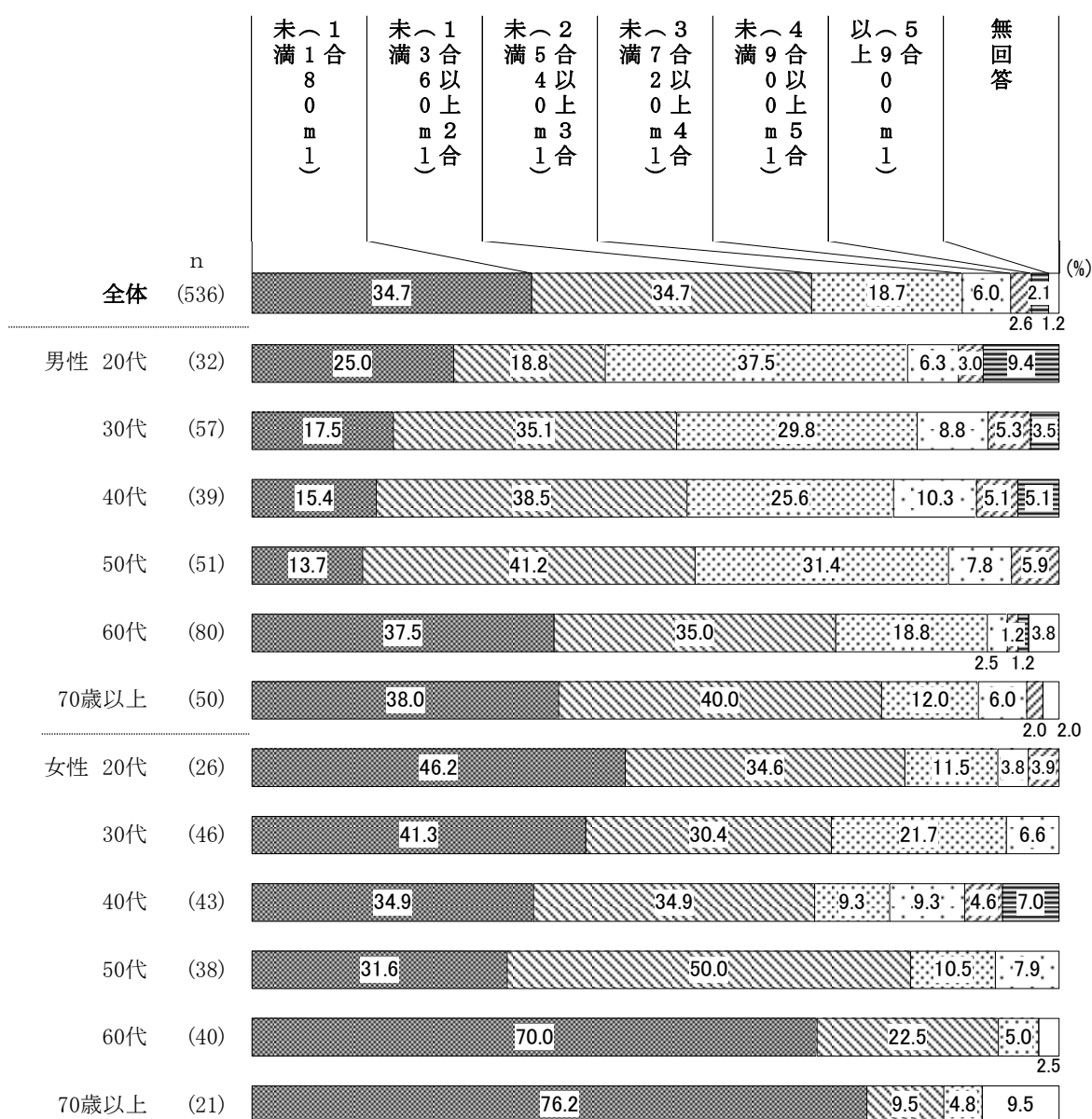
飲酒経験がある人に、1日あたりの飲酒量を聞いたところ、「1合(180ml)未満」と「1合以上2合(360ml)未満」が、ともに34.7%と高くなっています。

〈 性別／1日あたりの飲酒量 〉



性別で見ると、男性は「1合以上2合(360ml)未満」が35.6%で最も高く、女性は「1合(180ml)未満」が47.7%で、最も高くなっています。

〈 性・年代別／1日あたりの飲酒量 〉



性・年代別でみると、男性の一日あたりの飲酒量が1合以上の割合が最も高い年代が50代で86.3%となっており、次いで40代が84.6%となっています。

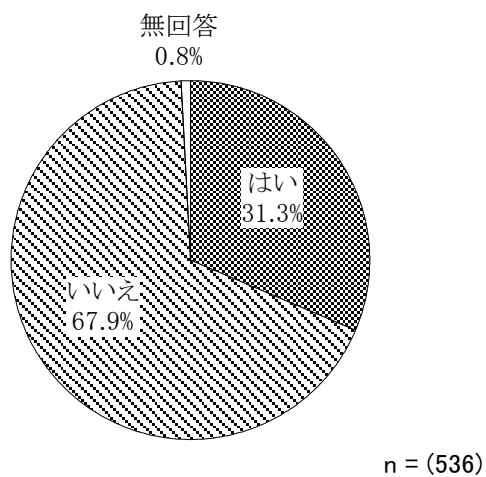
女性においても、一日あたりの飲酒量が1合以上の割合が最も高い年代は50代で68.4%となっており、次いで40代が65.2%となっています。

(3) 飲酒が原因で迷惑をかけたたり失敗したことの有無

問37で1～5とお答えの方に

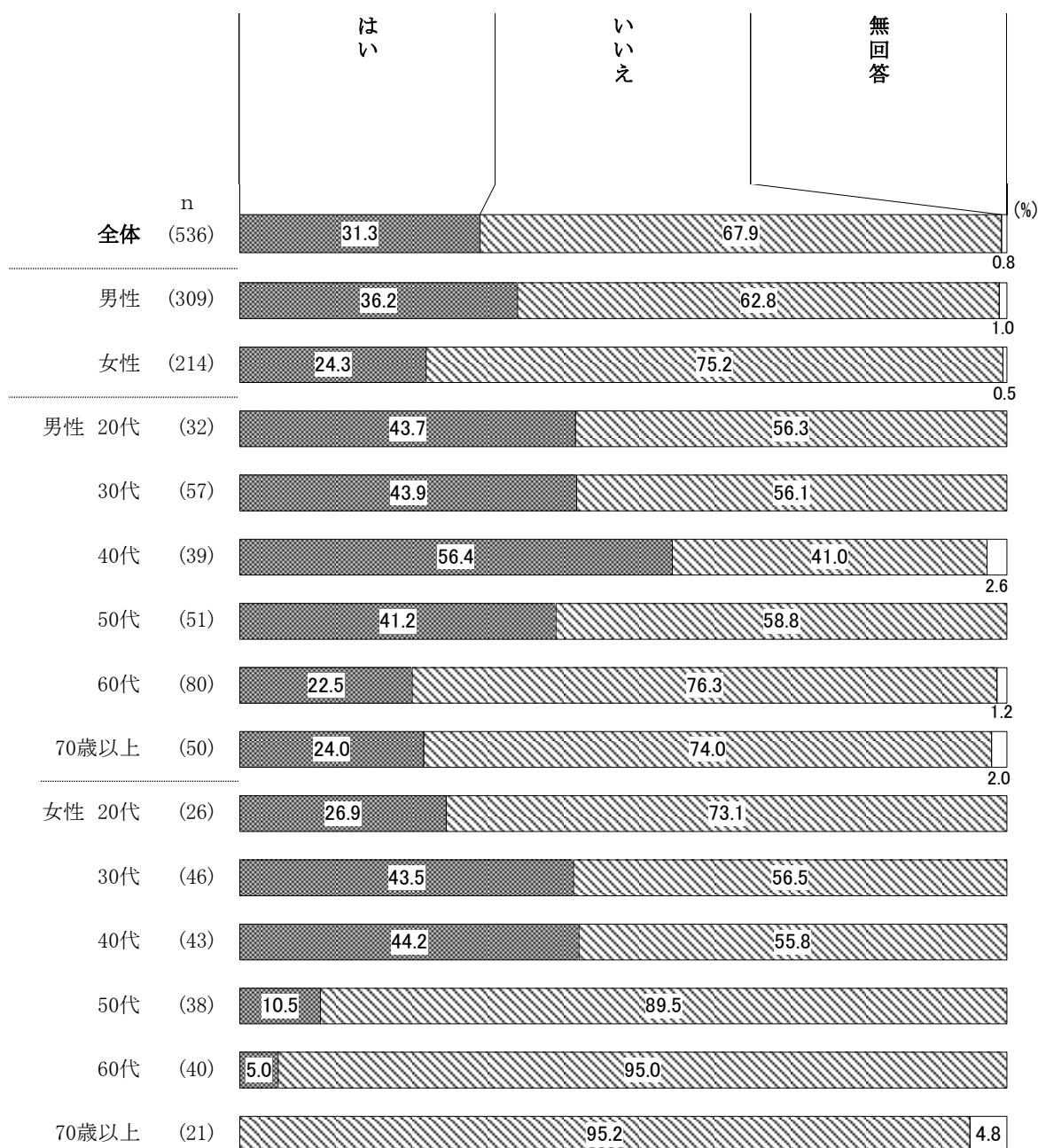
問37-2 飲酒が原因で周りの人に迷惑をかけたたり、失敗したことがありますか。

(○は1つだけ)



飲酒経験がある人に、飲酒が原因で周囲の人に迷惑をかけたたり、失敗した経験があるか聞いたところ、「はい」が31.3%となっています。

〈 性別、性・年代別／飲酒が原因で迷惑をかけたたり失敗したことの有無 〉

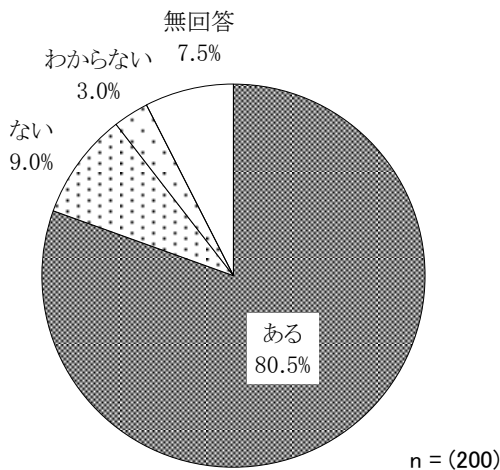


性別で見ると、「はい」は男性で36.2%と、女性（24.3%）より高くなっています。  
 性・年代別で見ると、「はい」は男性・女性ともに40代が最も高くなっています。

## 9. 性教育

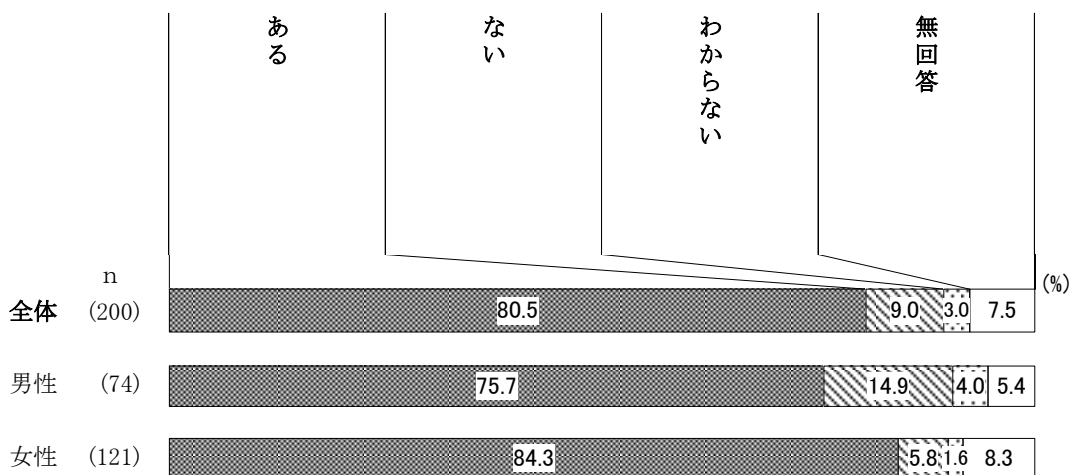
### (1) 生まれた時の話を本人にしたこと

問38 お子さんが生まれた時の話を本人にしたことがありますか。(○は1つだけ)



子どもが生まれた時の話をしたことが「ある」は80.5%、「ない」は9.0%となっています。

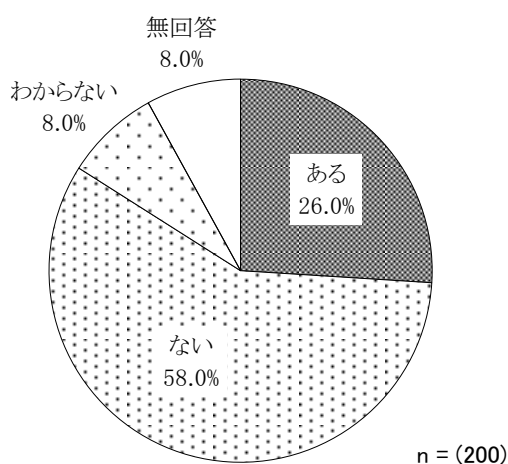
#### 〈 性別／生まれた時の話を本人にしたこと 〉



性別で見ると、女性では「ある」が84.3%と、男性（75.7%）より高くなっています。

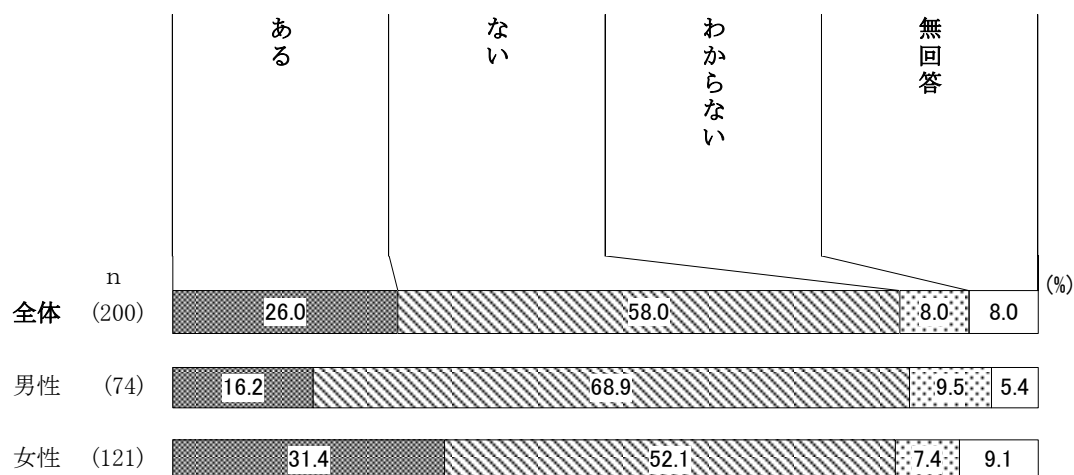
(2) 性について話をしたこと

問39 お子さんに性について話をしたことはありますか。(○は1つだけ)



子どもと性について話をしたことが「ある」は26.0%、「ない」は58.0%となっています。

〈 性別／性について話をしたこと 〉

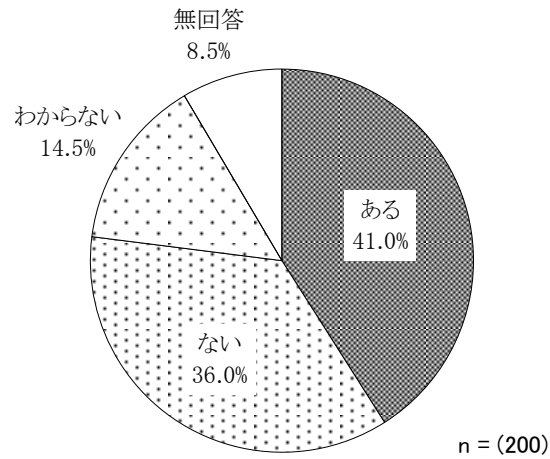


性別でみると、女性では「ある」が31.4%と、男性（16.2%）より高くなっています。

(3) 性教育の授業を受けたと聞いたこと

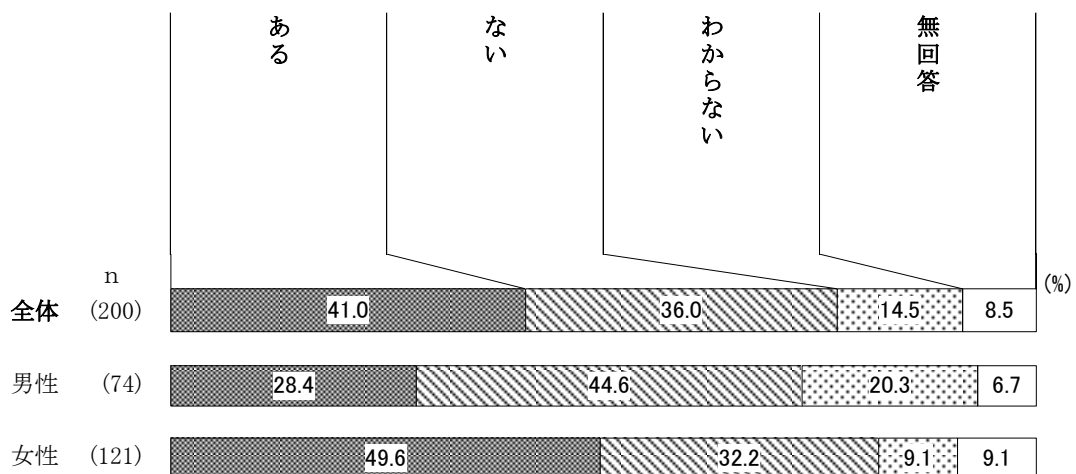
問40 お子さんが学校で、性教育の授業を受けたと聞いたことはありますか。

(○は1つだけ)



子どもが学校で性教育の授業を受けたと聞いたことが「ある」は41.0%、「ない」は36.0%となっています。

〈 性別／性教育の授業を受けたと聞いたこと 〉

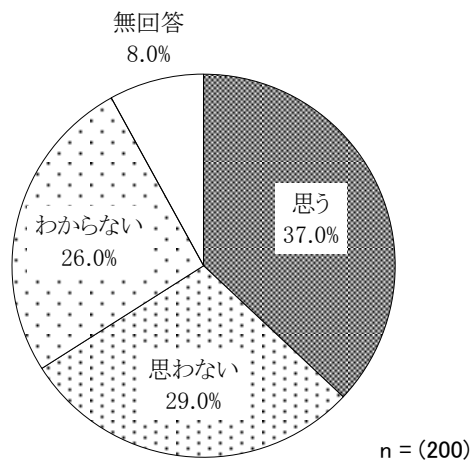


性別でみると、女性では「ある」が49.6%と、男性（28.4%）より高くなっています。



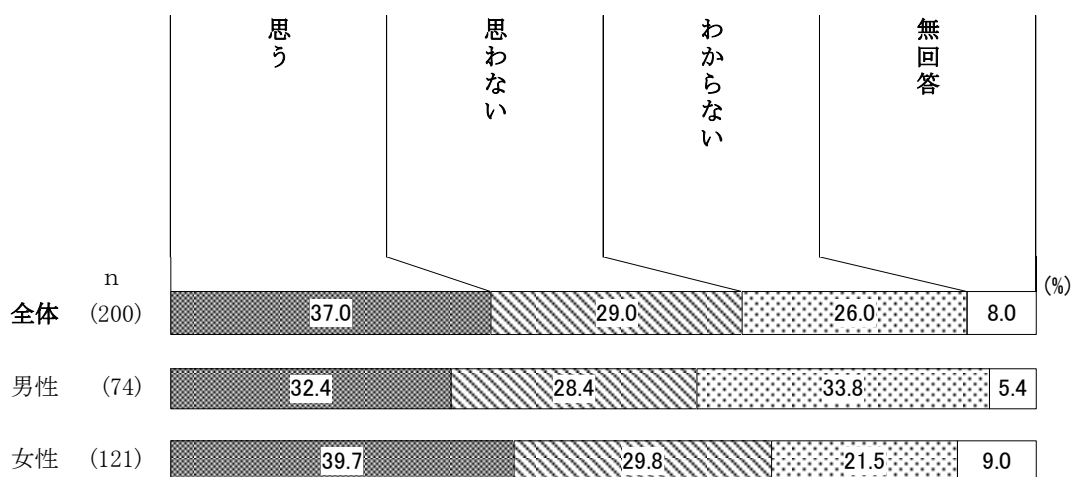
(4) 性教育をするための学習機会への参加意向

問41 あなたが、お子さんに性教育をするために学習をする機会があるとしたら、受けたいと思いますか。(○は1つだけ)



子どもに性教育をするための学習機会に参加したいと「思う」は37.0%、「思わない」は29.0%となっています。

〈 性別／性教育をするための学習機会への参加意向 〉

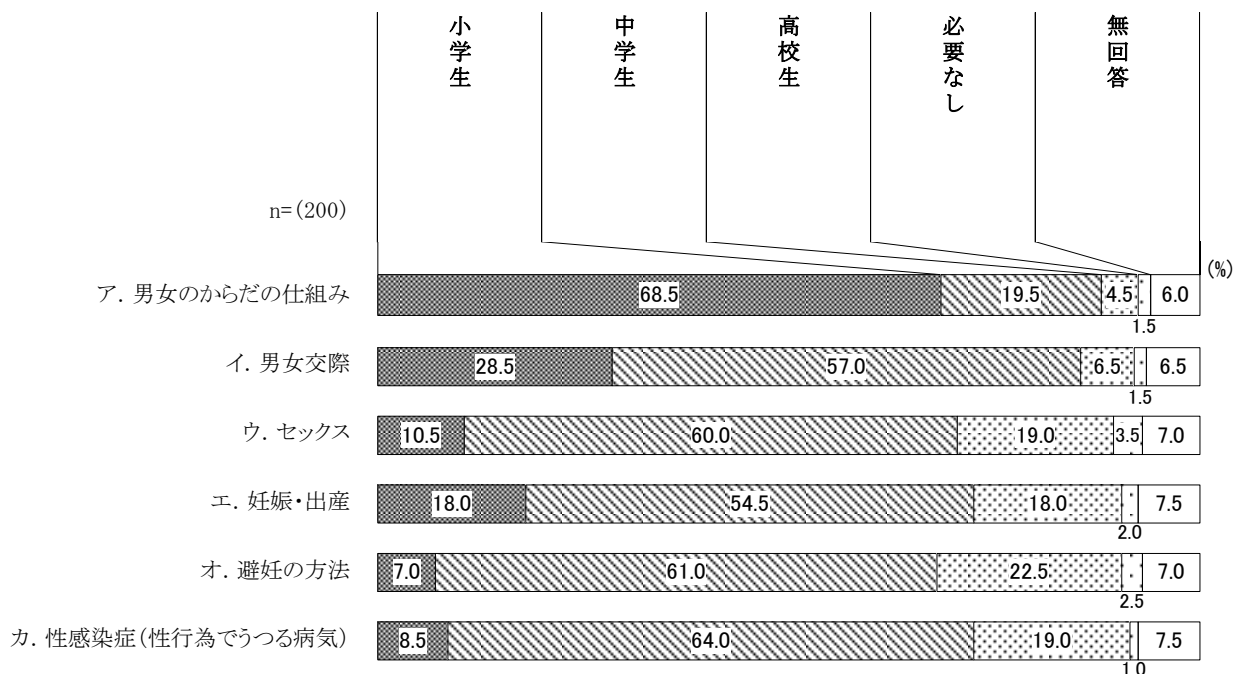


性別でみると、女性では「思う」が39.7%と、男性（32.4%）より高くなっています。

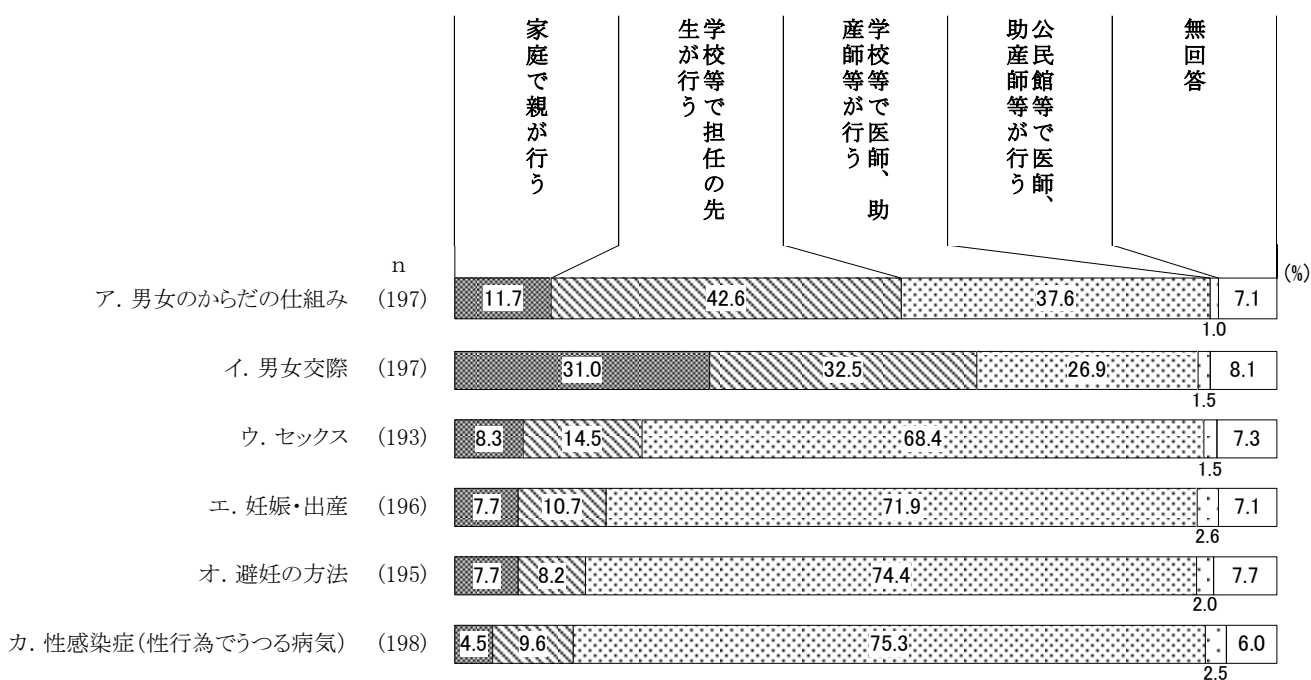
(5) 性教育について意識

問42 ご自身のお子さんに限らず、子どもたちへの性教育について、いつ、どんな方法で行うのが望ましいと思いますか。(〇は、【いつ】、【どんな方法】、各項目それぞれ1つずつ)

■時期



■方法



性教育の時期についてみると、〈男女のからだの仕組み〉については、「小学生」が68.5%、〈男女交際〉〈セックス〉〈妊娠・出産〉〈避妊の方法〉〈性感染症（性行為でうつる病気）〉については、いずれも「中学生」が高くなっています。

性教育の方法についてみると、〈男女のからだの仕組み〉については、「学校等で担任の先生が行う」が42.6%と最も高く、次いで「学校等で医師、助産婦等が行う」が37.6%となっています。

〈男女交際〉については、「学校等で担任の先生が行う」が32.5%と最も高く、次いで「家庭で親が行う」が31.0%、「学校等で医師、助産婦等が行う」が26.9%となっています。

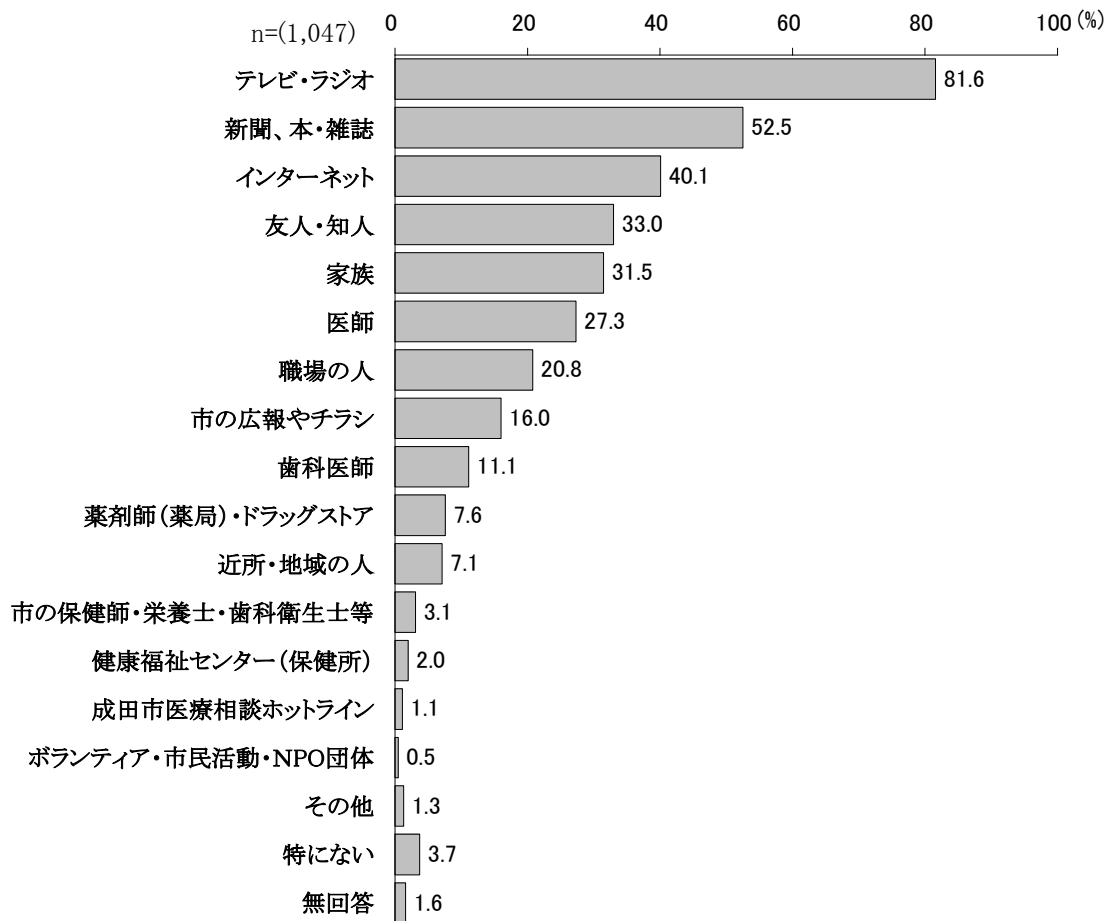
〈セックス〉〈妊娠・出産〉〈避妊の方法〉〈性感染症（性行為でうつる病気）〉については、いずれも「学校等で医師、助産婦等が行う」が高くなっています。

## 10. 情報

### (1) 健康に関する情報源

問43 あなたは健康に関する情報を、主にどこから得ていますか。

(○はあてはまるものすべて)



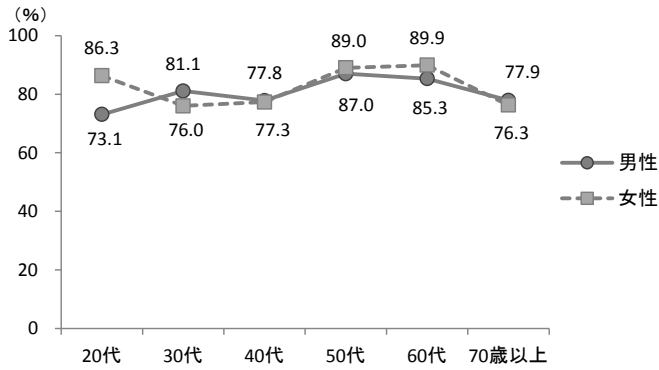
健康に関する情報の主な情報源としては、「テレビ・ラジオ」が81.6%で最も高く、次いで「新聞、本・雑誌」が52.5%、「インターネット」が40.1%、「友人・知人」が33.0%となっています。

〈 性・年代別／健康に関する情報源／上位8項目 〉

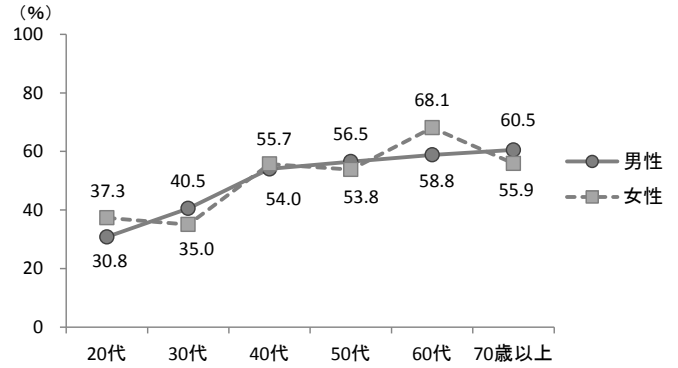
男性20代 n=(52)、30代 n=(74)、40代 n=(63)、50代 n=(69)、60代 n=(102)、70歳以上 n=(86)

女性20代 n=(51)、30代 n=(100)、40代 n=(97)、50代 n=(91)、60代 n=(119)、70歳以上 n=(118)

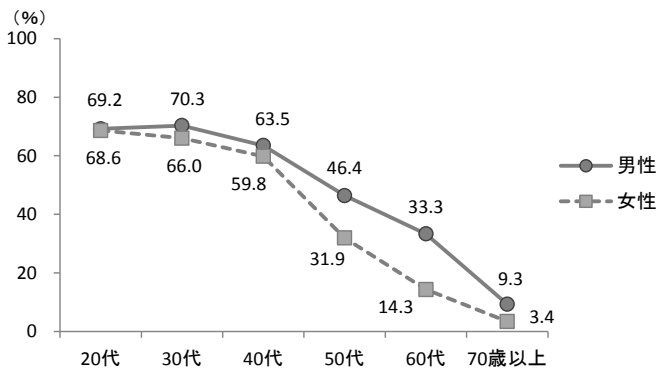
□テレビ・ラジオ



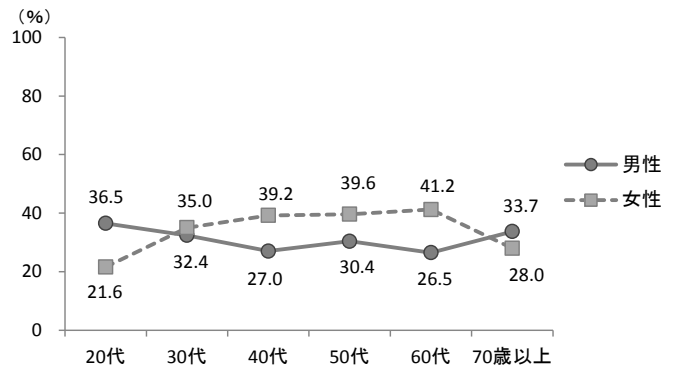
□新聞、本・雑誌



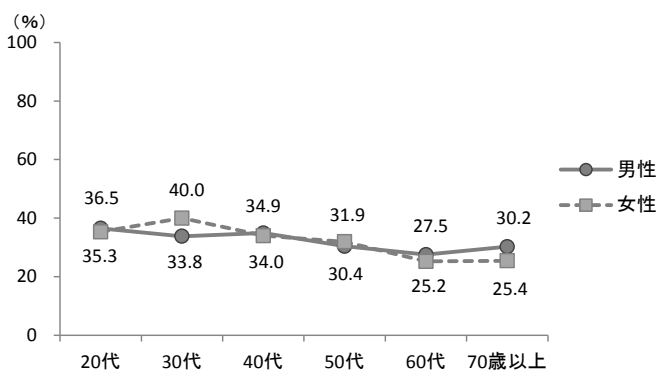
□インターネット



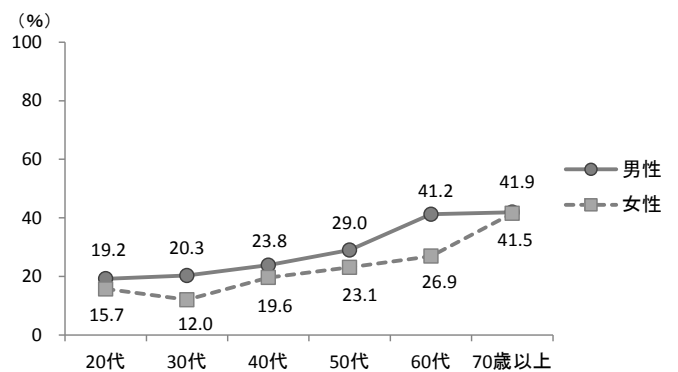
□友人・知人



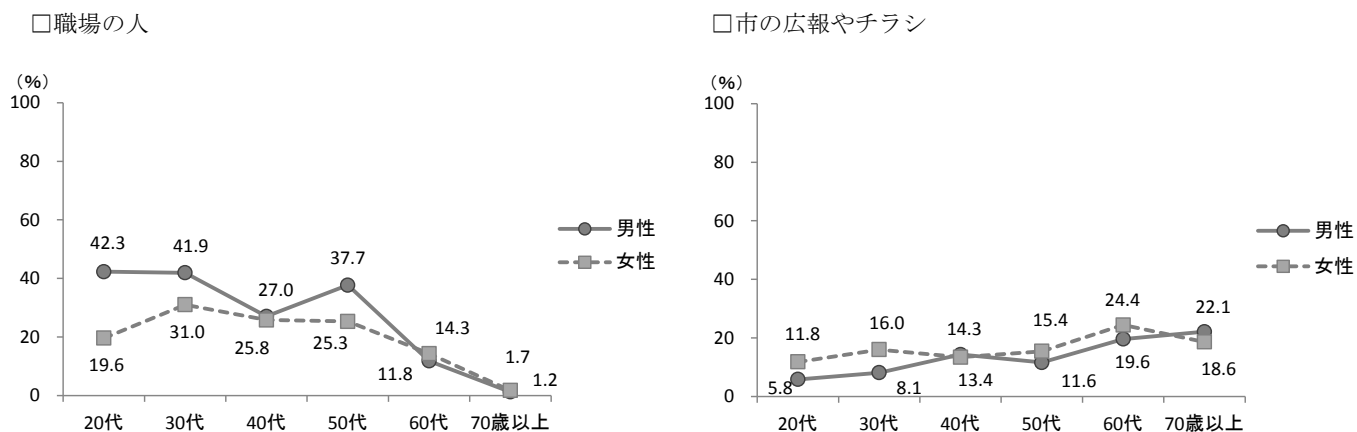
□家族



□医師



## 第2章 調査結果／一般

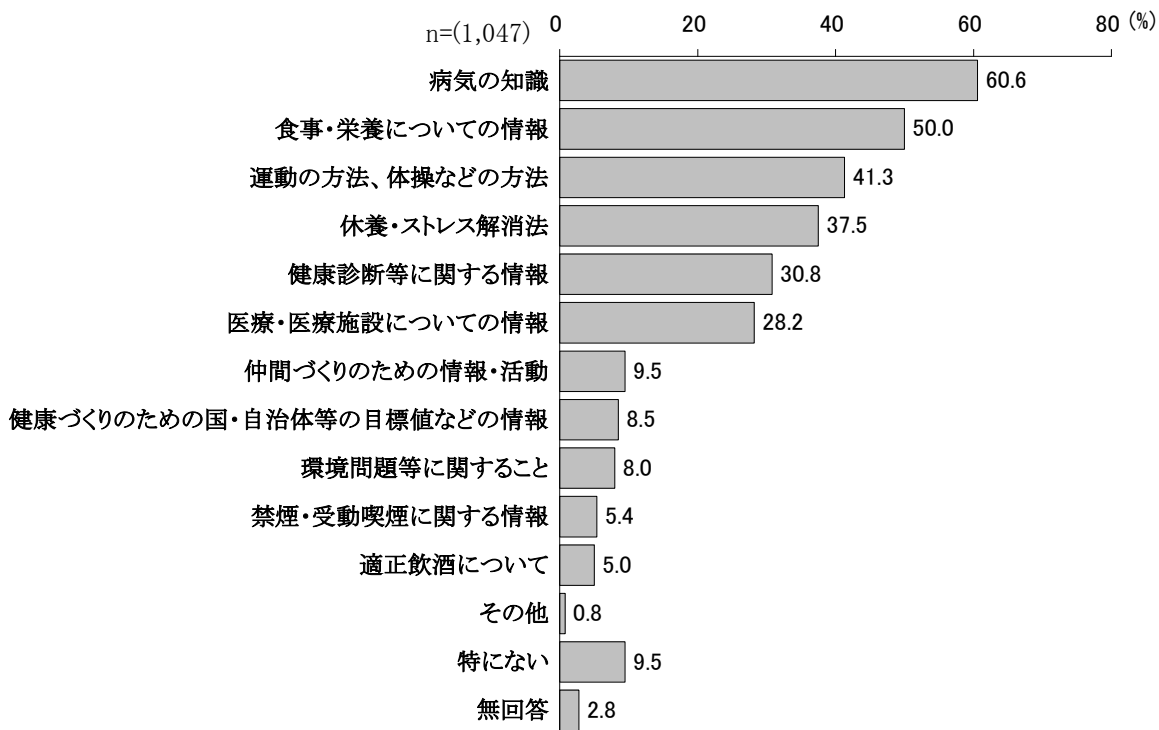


性・年代別で見ると、男性の場合、「テレビ・ラジオ」が最も高い年代は50代となっており、「新聞、本・雑誌」は60代が、「インターネット」は30代が最も高くなっています。

女性の場合、「テレビ・ラジオ」が最も高い年代は60代となっており、「新聞、本・雑誌」は60代が、「インターネット」は20代が最も高くなっています。

(2) 健康づくりを実践していくために必要な情報

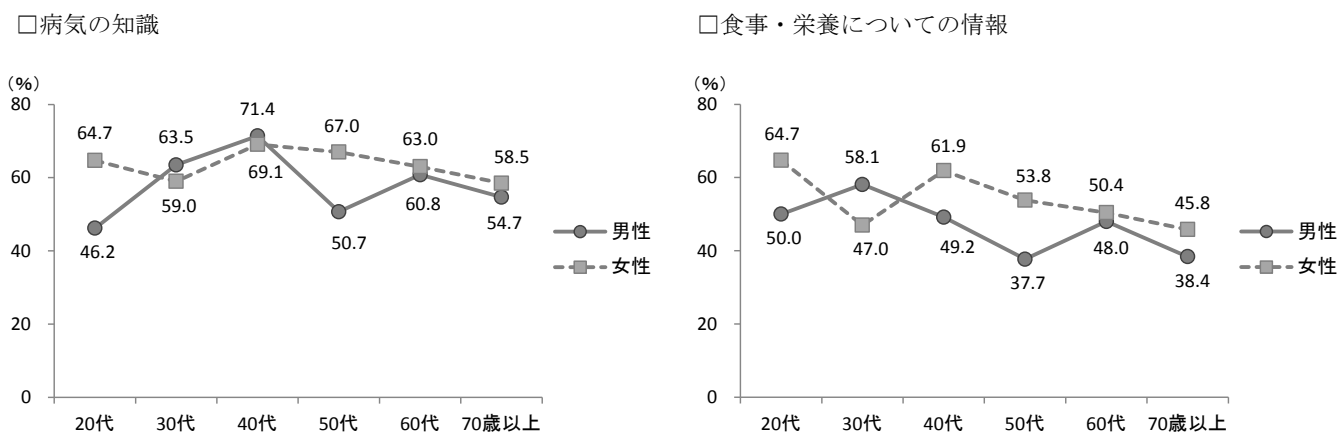
問44 あなたが健康づくりを実践していくために、どのような内容の情報が必要ですか。  
(○はあてはまるものすべて)



健康づくりを実践していくために必要な情報としては、「病気の知識」が60.6%で最も高く、次いで「食事・栄養についての情報」が50.0%、「運動の方法、体操などの方法」41.3%、「休養・ストレス解消法」が37.5%となっています。

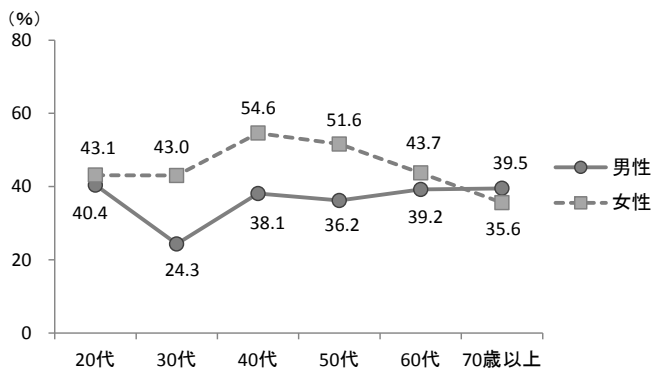
〈 性・年代別／健康づくりを実践していくために必要な情報／上位8項目 〉

男性20代 n=(52)、30代 n=(74)、40代 n=(63)、50代 n=(69)、60代 n=(102)、70歳以上 n=(86)  
女性20代 n=(51)、30代 n=(100)、40代 n=(97)、50代 n=(91)、60代 n=(119)、70歳以上 n=(118)

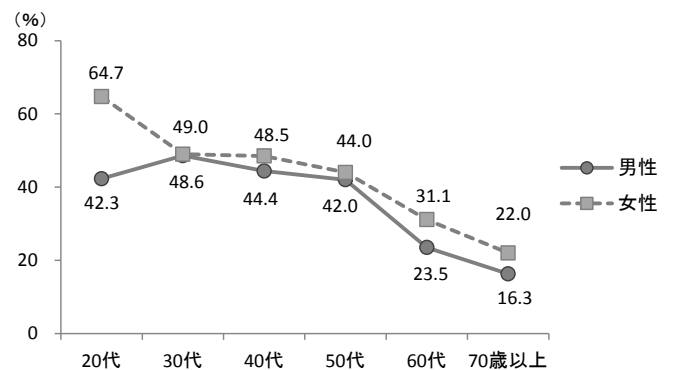


## 第2章 調査結果／一般

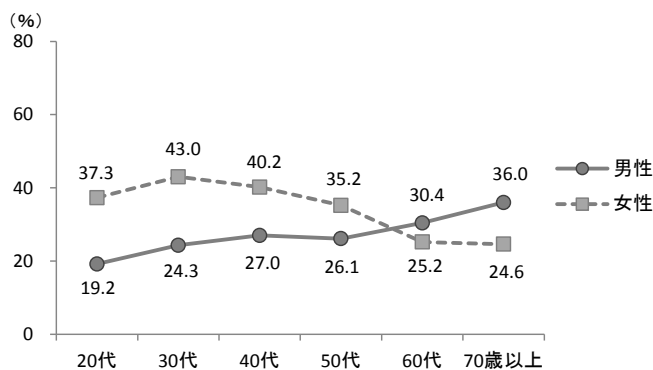
□運動の方法、体操などの方法



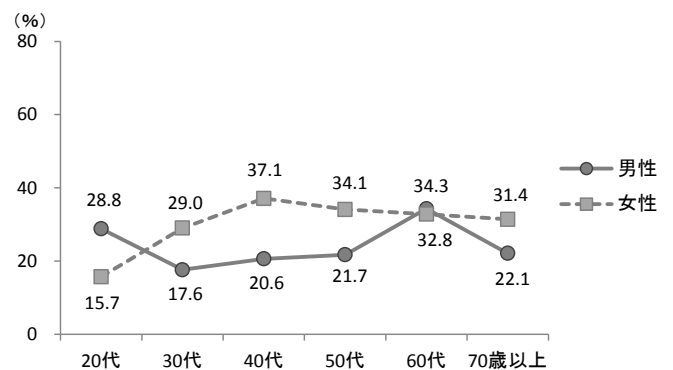
□休養・ストレス解消法



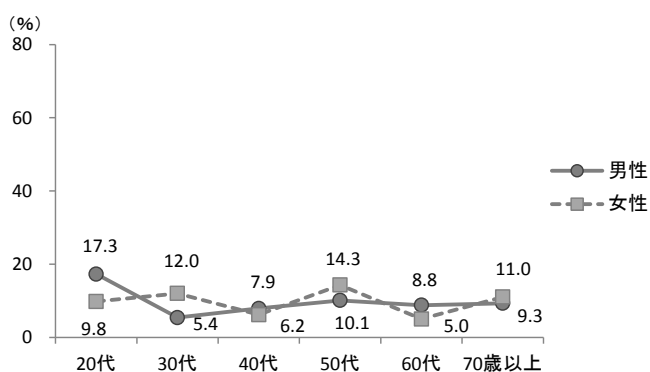
□健康診断等に関する情報



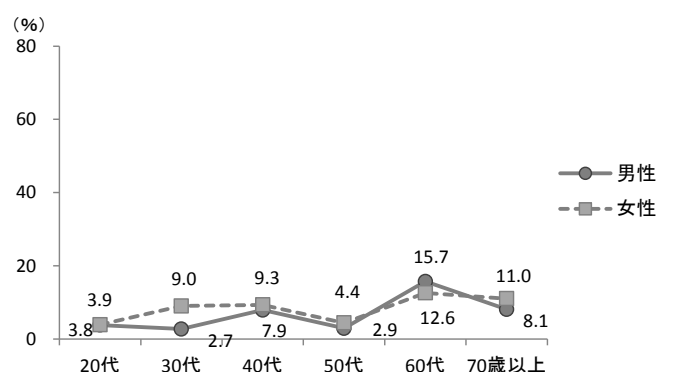
□医療・医療施設についての情報



□仲間づくりのための情報・活動



□健康づくりのための国・自治体等の目標値などの情報



性・年代別で見ると、男性の場合、「病気の知識」が40代で71.4%と高くなっており、「食生活・栄養についての情報」は30代で58.1%、「休養・ストレス解消法」は30代で48.6%となっています。

女性の場合、「病気の知識」が40代で69.1%と高くなっており、「食生活・栄養についての情報」は20代で64.7%、「休養・ストレス解消法」については、20代で64.7%と、全年代中最も高くなっています。



## 1.1. 健康なまちづくりにつながる社会環境の整備

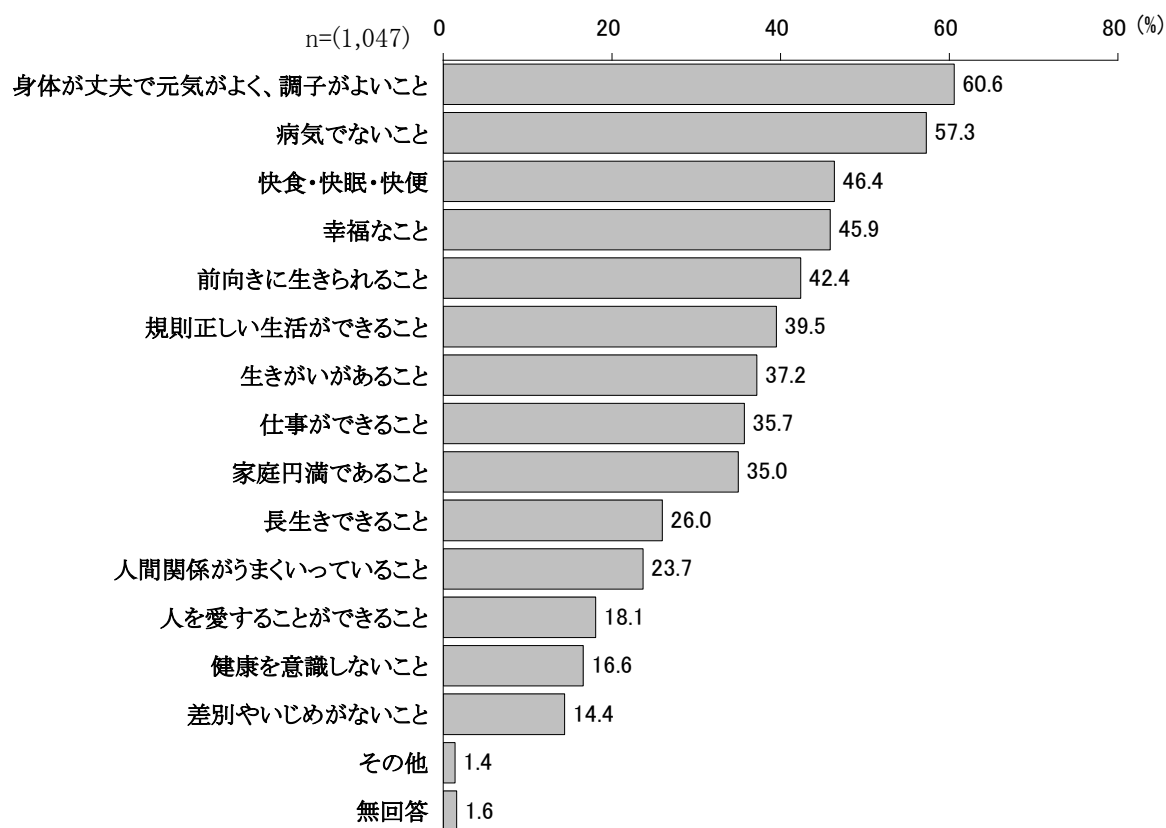
## (1) 主観的健康感

問45 あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。

(○はあてはまるものすべて)

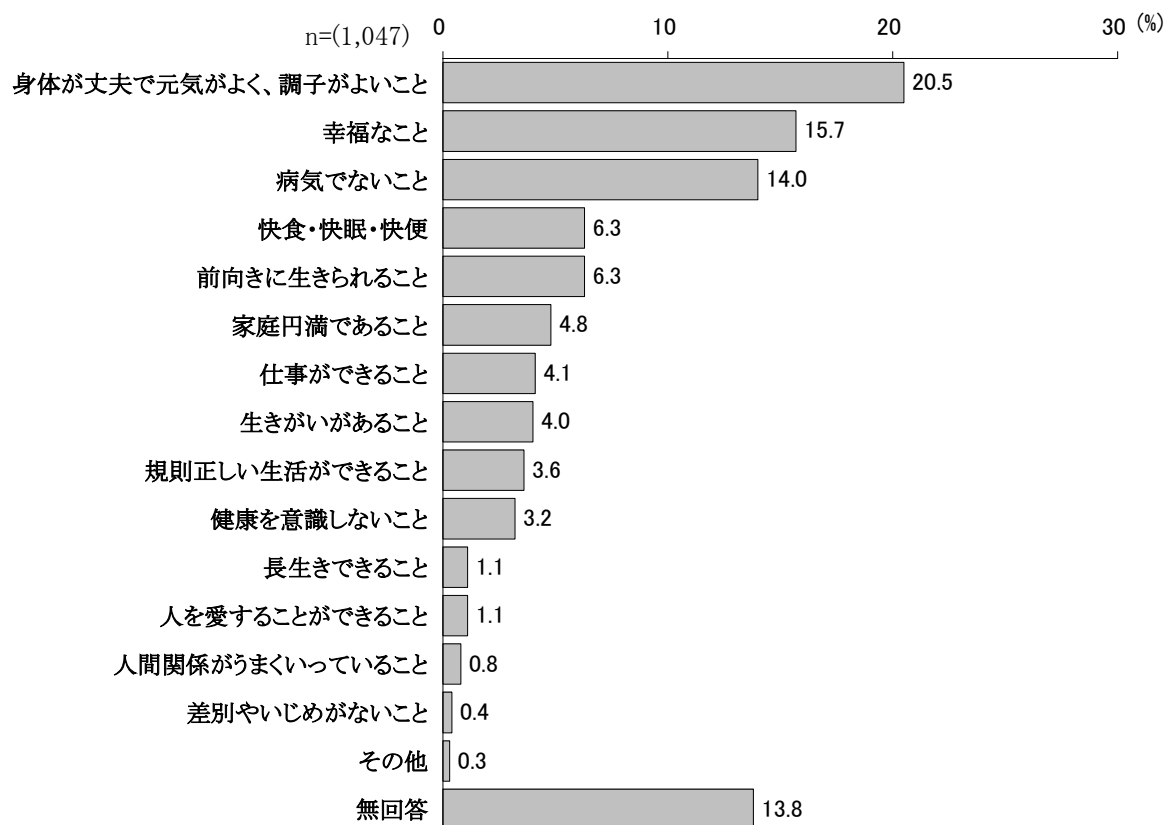
問45で複数に○をつけた方に

問45-1 回答した中で、あなたの考えに最も近いものの番号を1つだけ記入してください。



主観的健康感をみると、「身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと」が60.6%で最も高く、次いで「病気でないこと」が57.3%、「快食・快眠・快便」が46.4%、「幸福なこと」が45.9%となっています。

■最も考えに近いもの

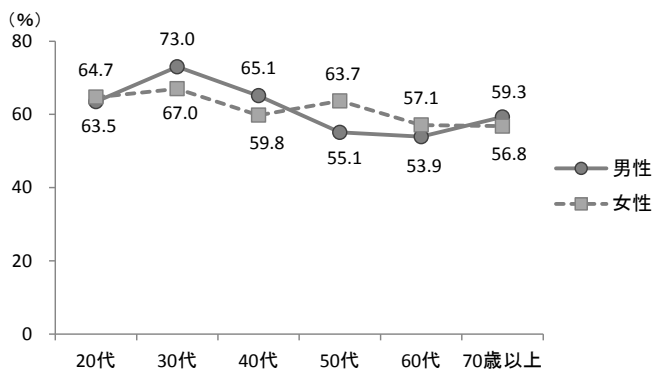


回答をしたなかで、最も考えに近いものとしては、「身体が丈夫で元気がよく、調子が良いこと」が20.5%で最も高く、次いで「幸福なこと」(15.7%)、「病気でないこと」(14.0%) となっています。

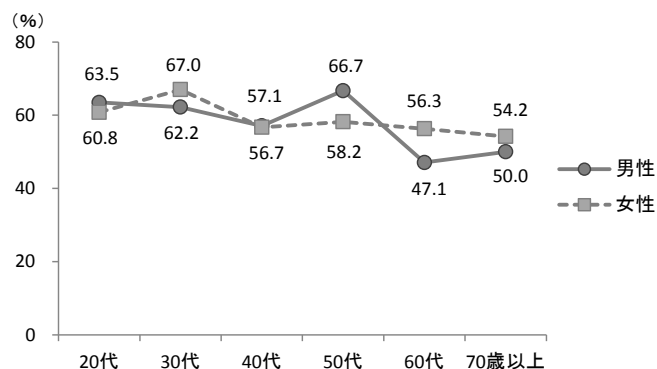
〈 性・年代別／主観的健康感／上位12項目 〉

男性20代 n=(52)、30代 n=(74)、40代 n=(63)、50代 n=(69)、60代 n=(102)、70歳以上 n=(86)  
 女性20代 n=(51)、30代 n=(100)、40代 n=(97)、50代 n=(91)、60代 n=(119)、70歳以上 n=(118)

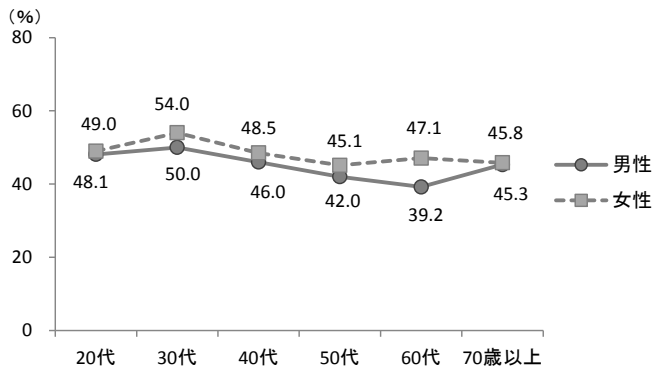
□身体が丈夫で元気がよく、調子が良いこと



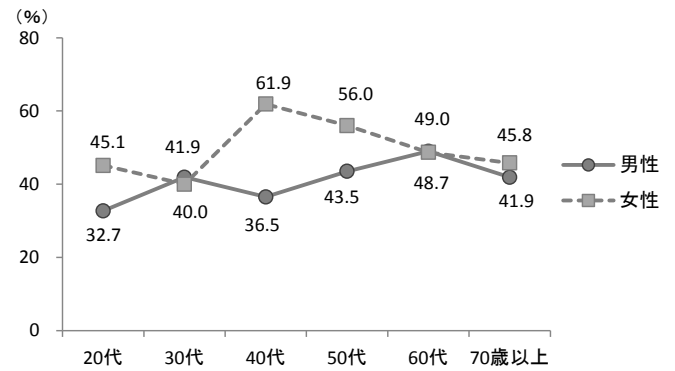
□病気でないこと



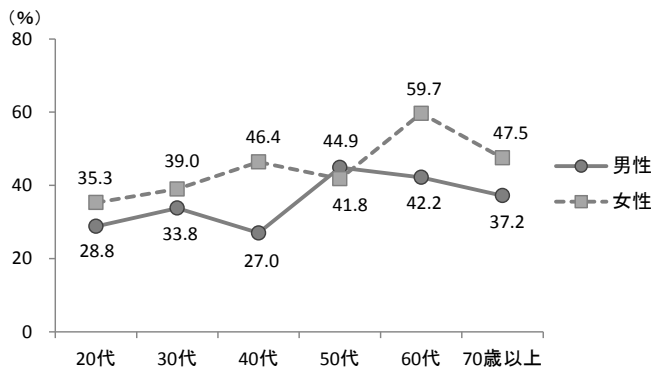
□ 快食・快眠・快便



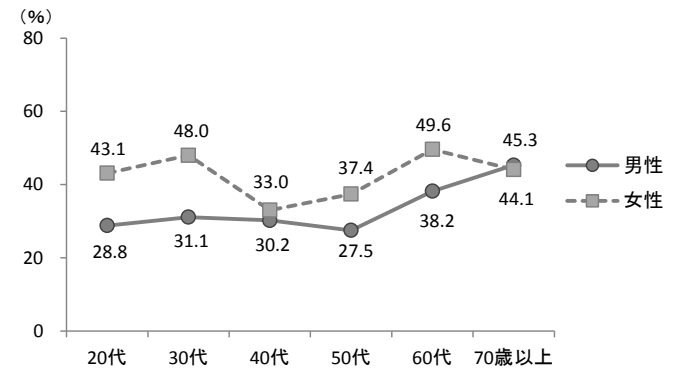
□ 幸福なこと



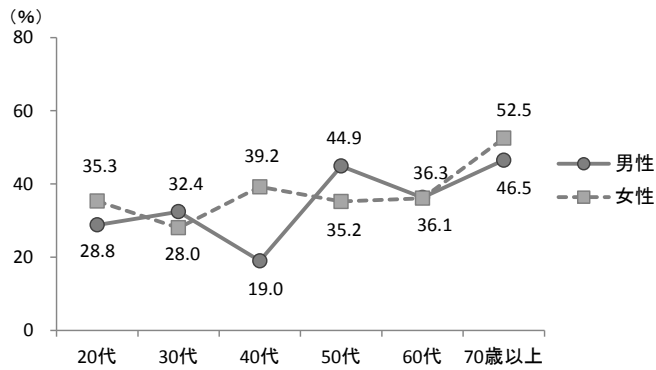
□ 前向きに生きられること



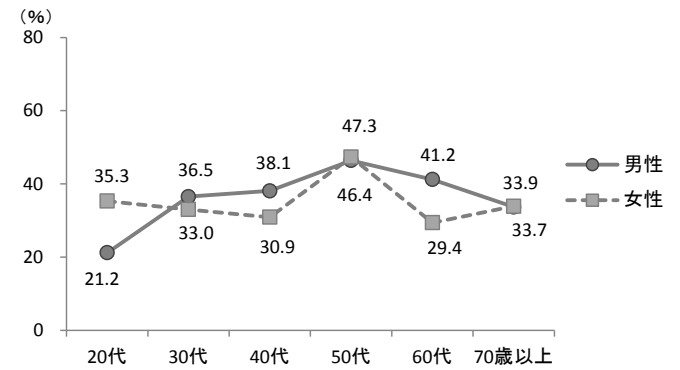
□ 規則正しい生活ができること



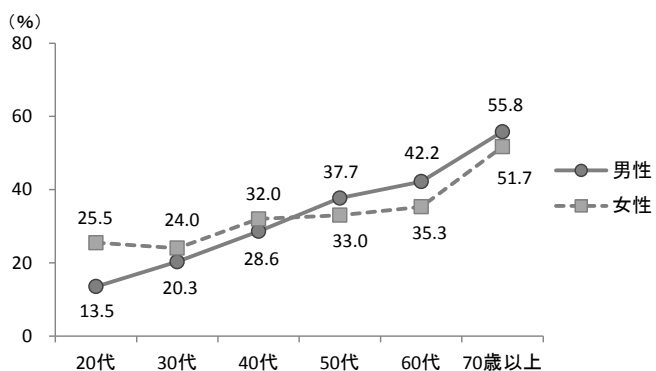
□ 生きがいがあること



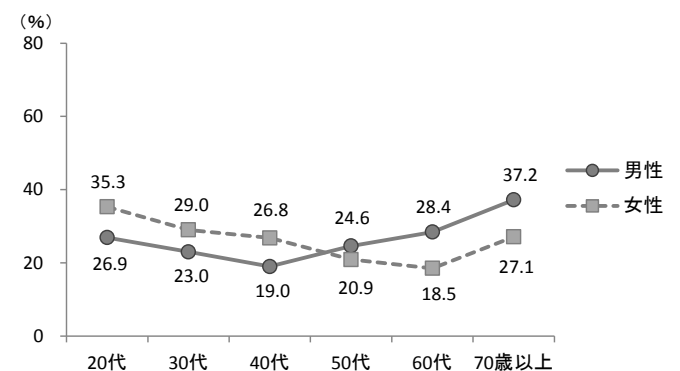
□ 仕事ができること



□ 家庭円満であること

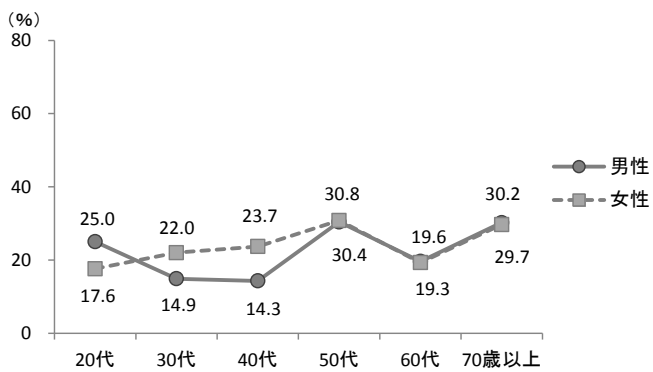


□ 長生きできること

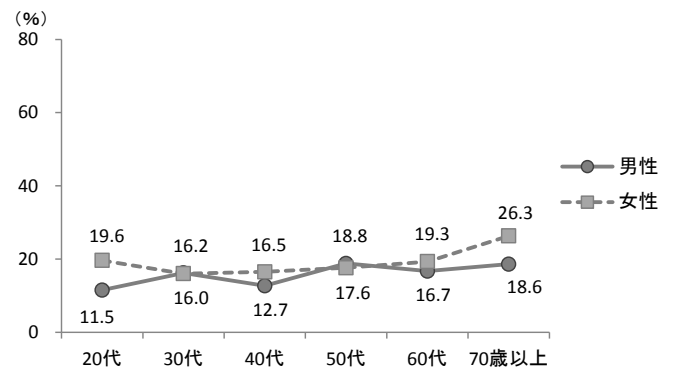


## 第2章 調査結果／一般

□人間関係がうまくいっていること



□人を愛することができること

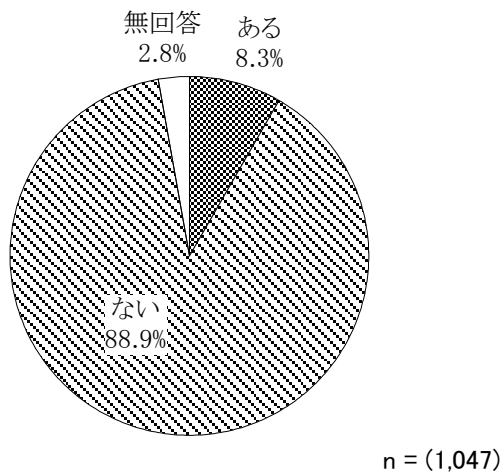


性・年代別で見ると、男性の場合、「身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと」は30代で73.0%と高くなっており、「病気でないこと」は50代で66.7%、「快食・快眠・快便」は30代で50.0%となっています。「幸福なこと」は、60代で49.0%となっています。

女性の場合、「身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと」は30代で67.0%となっており、「病気でないこと」は30代で67.0%、「快食・快眠・快便」は30代で54.0%となっています。「幸福なこと」については、40代で61.9%となっています。

(2) 健康に関するボランティア活動経験の有無

問46 あなたは健康に関するボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つだけ)

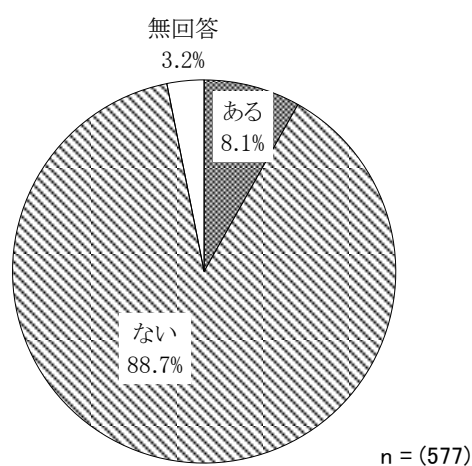
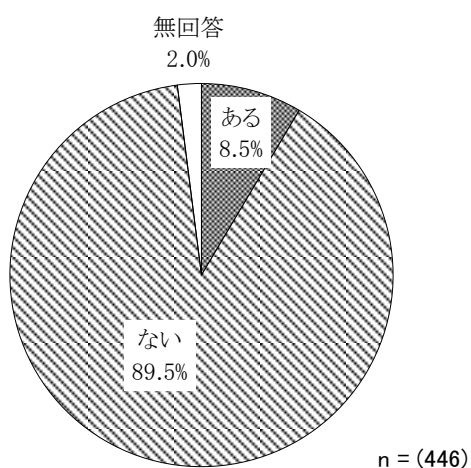


健康に関するボランティア活動をしたことが「ある」は8.3%、「ない」が88.9%となっています。

〈 性別／健康に関するボランティア活動経験の有無 〉

■男性

■女性

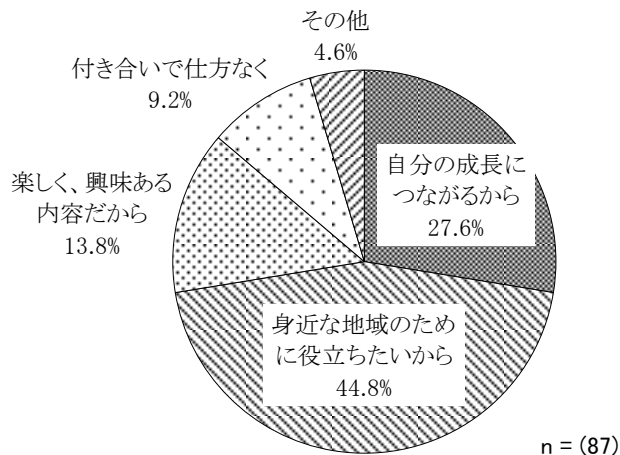


性別で見ると、「ある」は男性8.5%、女性8.1%となっています。

(3) 健康に関するボランティア活動に参加している最大の理由

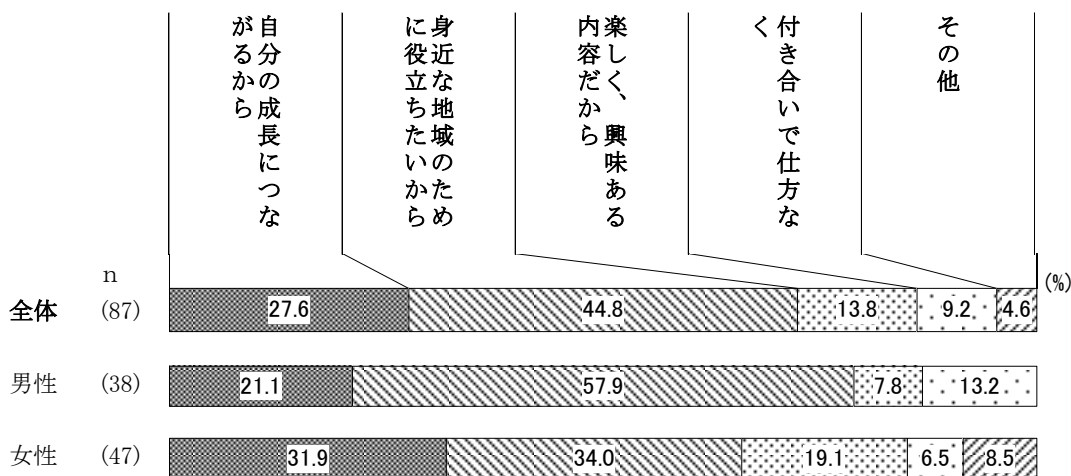
問46で「1. ある」とお答えの方に

問46-1 ボランティア活動に参加している最大の理由は何ですか。(○は1つだけ)



健康に関するボランティアに参加している人について、その最大の理由をみると、「身近な地域のために役立ちたいから」が44.8%で最も高く、次いで「自分の成長につながるから」が27.6%、「楽しく、興味ある内容だから」が13.8%となっています。

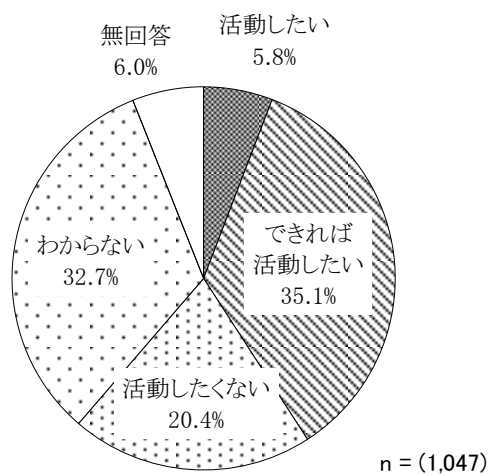
〈 性別／健康に関するボランティア活動に参加している最大の理由 〉



性別でみると、男性では「身近な地域のために役立ちたいから」が57.9%と、女性（34.0%）を大きく上回っています。

(4) 健康に関するボランティア活動への参加意向

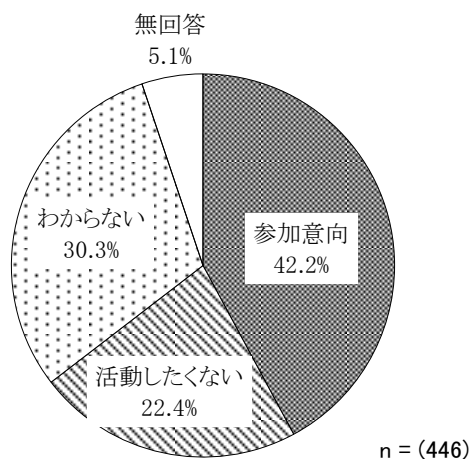
問47 あなたはボランティア活動をしたと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)



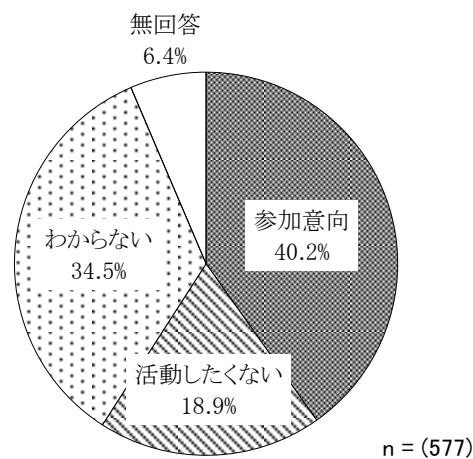
健康に関するボランティアの活動を「したい」「できればしたい」人は40.9%、「したくない」人は20.4%となっています。

〈 性別／健康に関するボランティア活動への参加意向 〉

■ 男性

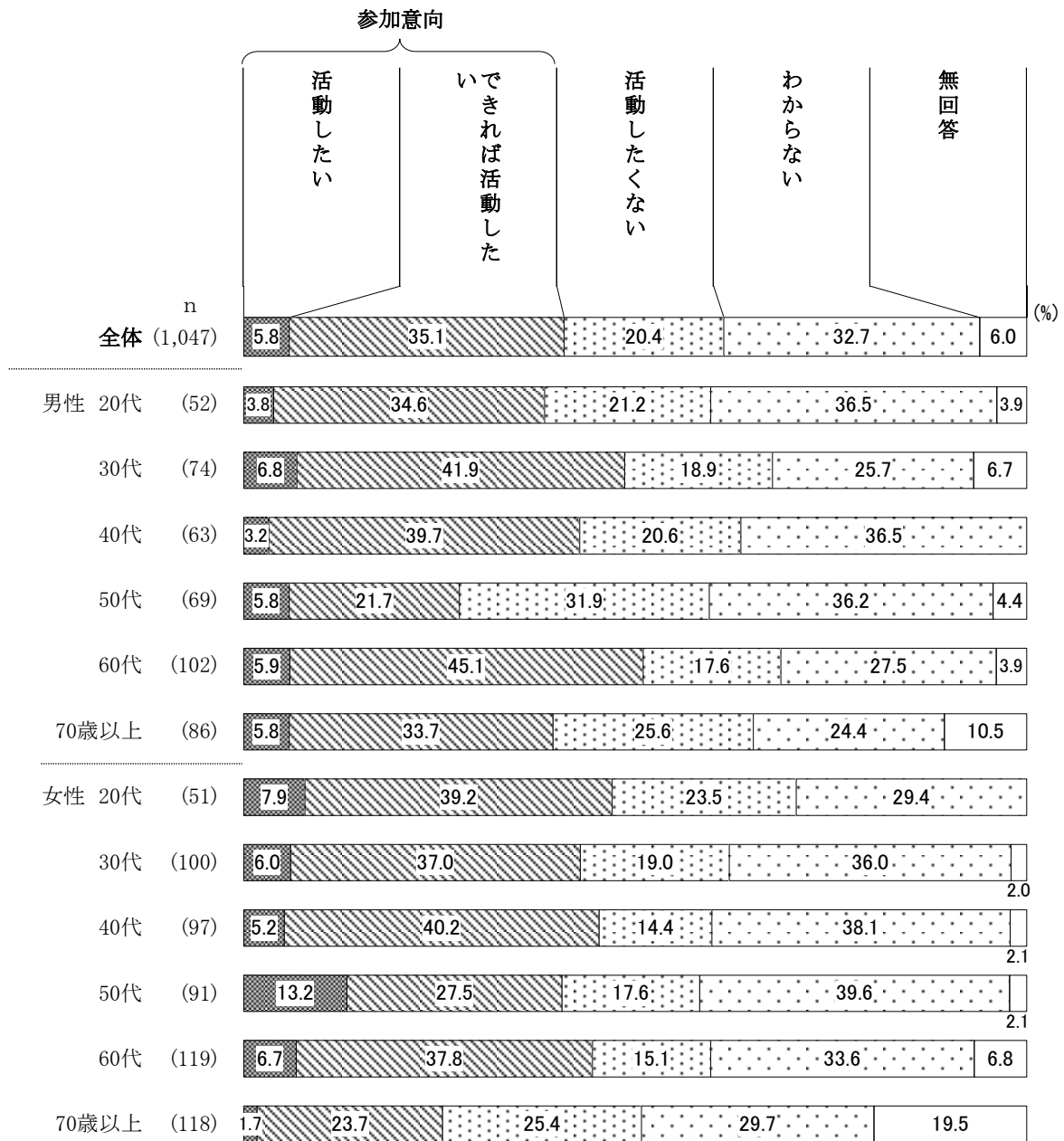


■ 女性



性別で見ると、「活動したい」「できれば活動したい」は男性42.2%、女性40.2%となっています。

〈 性・年代別／健康に関するボランティア活動への参加意向 〉



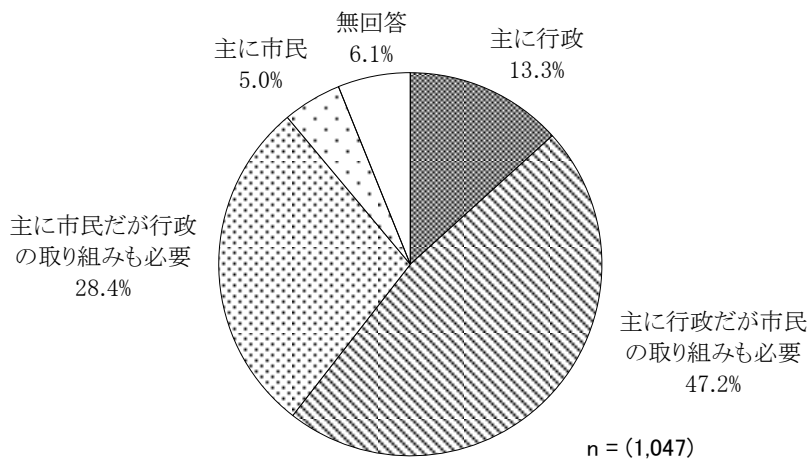
性・年代別でみると、男性では、「活動したい」「できれば活動したい」人が、60代で51.0%と最も高く、次いで30代が48.7%となっています。

女性では、「活動したい」「できれば活動したい」人が、20代で最も高く、次いで40代で45.4%となっています。



## (5) 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、取り組む主体

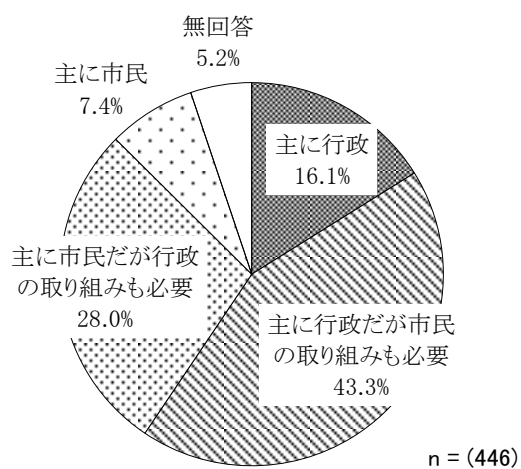
問48 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、誰（どこ）が取り組んでいくのが望ましいと思いますか。（○は1つだけ）



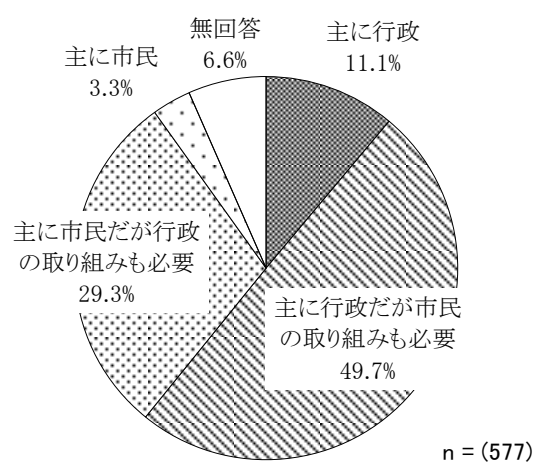
市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、取り組む主体としては、「主に行政だが市民の取り組みも必要」が47.2%で最も高く、これに「主に市民だが行政の取り組みも必要」が28.4%で次いでいます。

〈 性別／市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、取り組む主体 〉

■ 男性

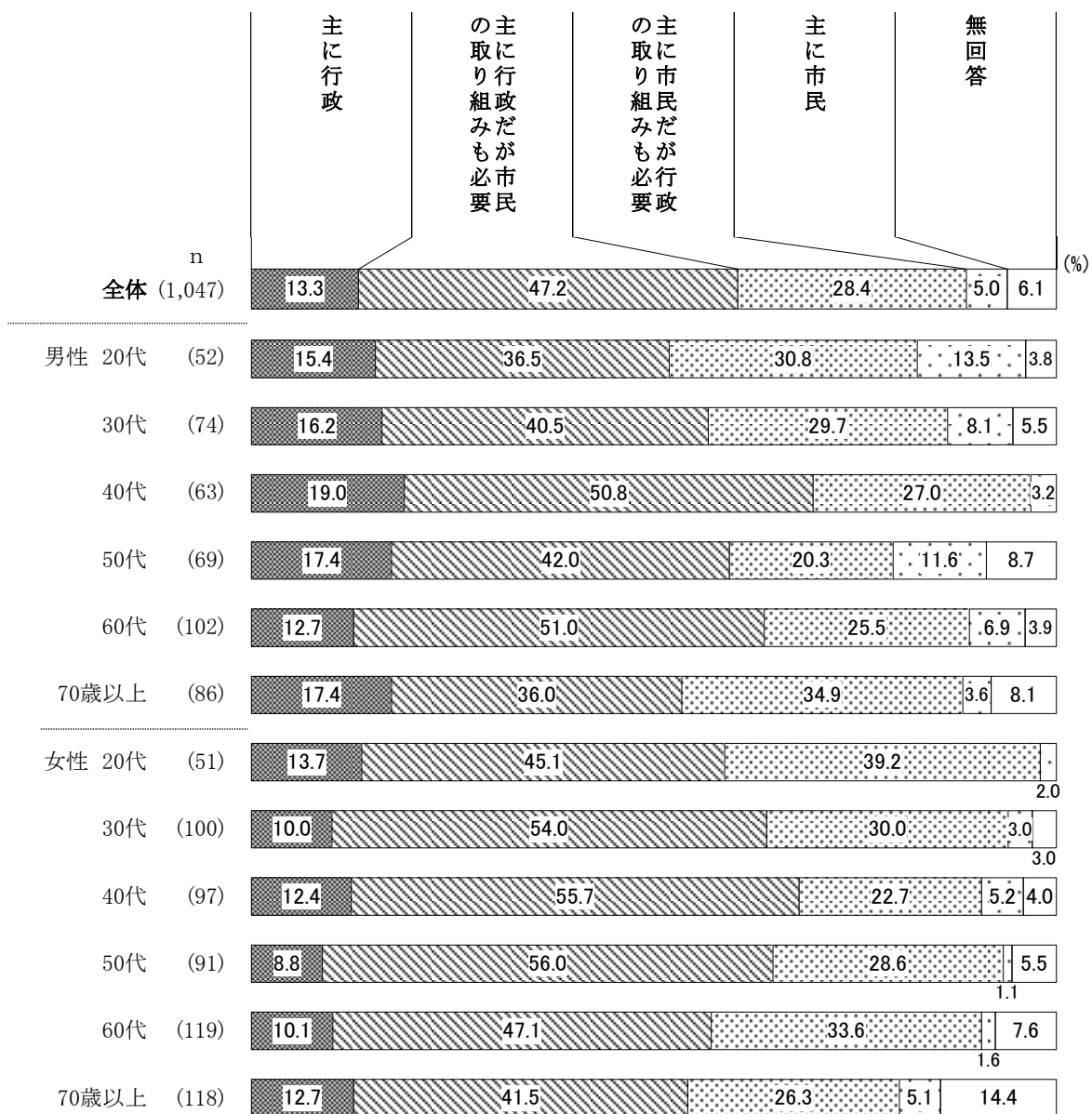


■ 女性



性別で見ると、「主に行政だが市民の取り組みも必要」が男性43.3%、女性49.7%となっています。

〈 性別、性・年代別／市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、取り組む主体 〉

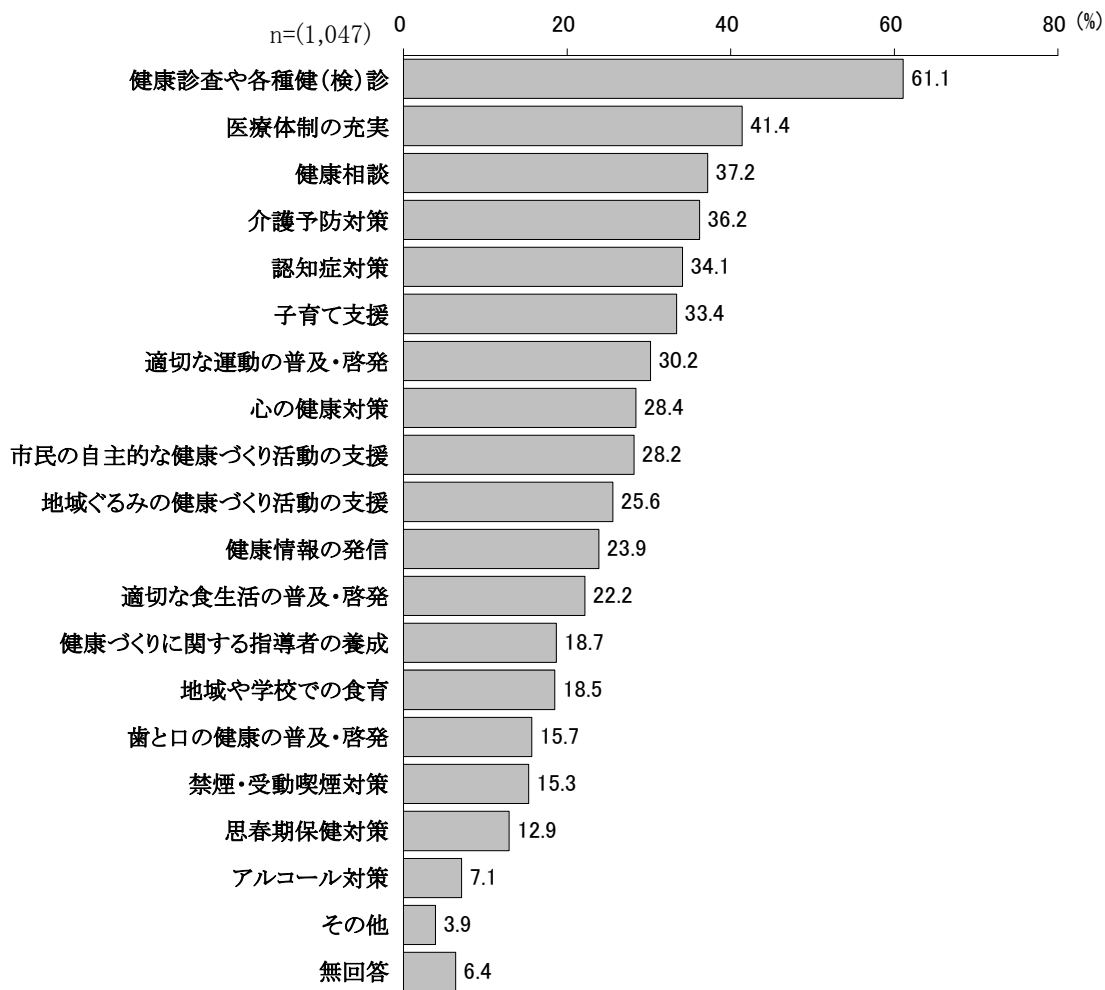


性・年代別でみると、男性では、「主に行政だが市民の取り組みも必要」が60代で51.0%と最も高く、次いで40代で50.8%となっています。

女性では、「主に行政だが市民の取り組みも必要」が50代で56.0%、40代で55.7%となっています。

## (6) 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、行政が注力すべき取り組み

問49 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、行政はどのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)



市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、行政が注力すべき取り組みとしては、「健康診査や各種がん検診」が61.1%で最も高く、次いで「医療体制の充実」が41.4%、「健康相談」が37.2%、「介護予防対策」が36.2%となっています。

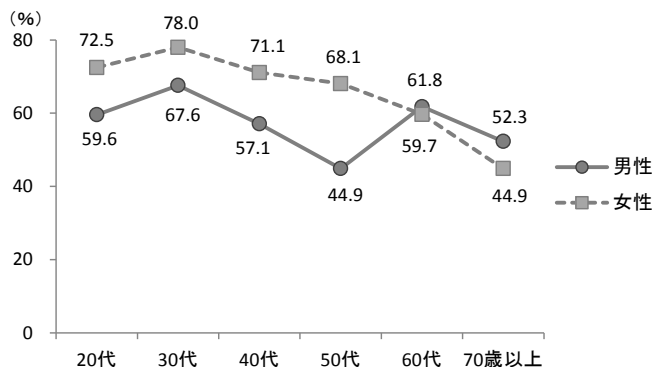
〈 性・年代別 〉

市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、行政が注力すべき取り組み／上位12項目 〉

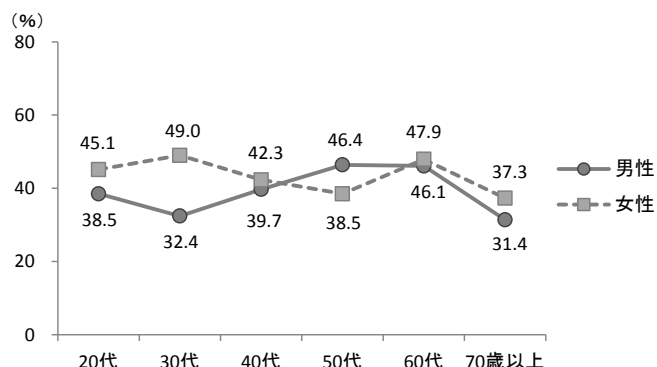
男性20代 n=(52)、30代 n=(74)、40代 n=(63)、50代 n=(69)、60代 n=(102)、70歳以上 n=(86)

女性20代 n=(51)、30代 n=(100)、40代 n=(97)、50代 n=(91)、60代 n=(119)、70歳以上 n=(118)

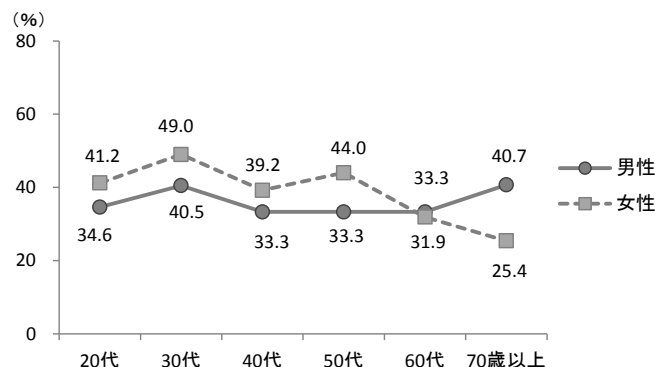
□健康診査や各種がん検診



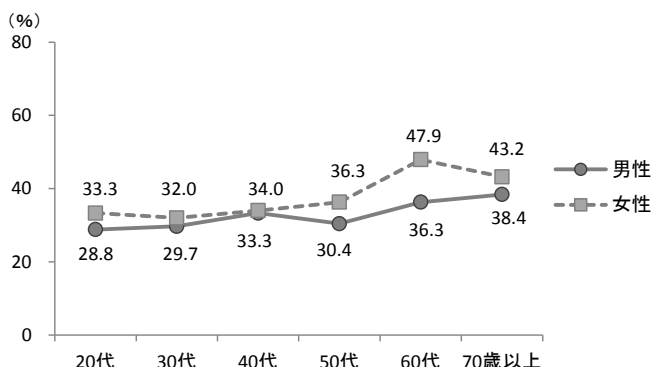
□医療体制の充実



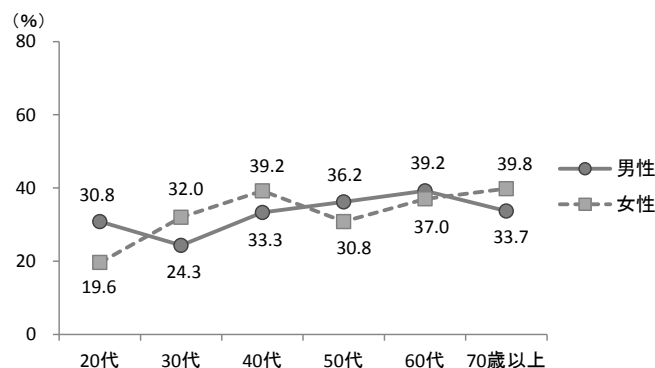
□健康相談



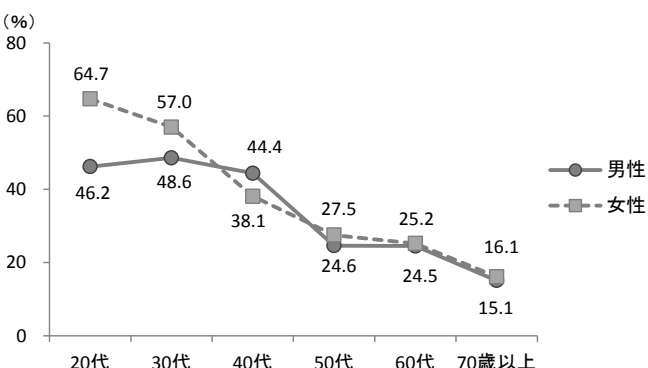
□介護予防対策



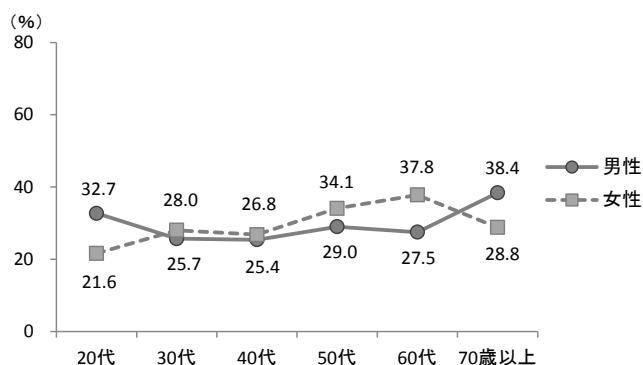
□認知症対策



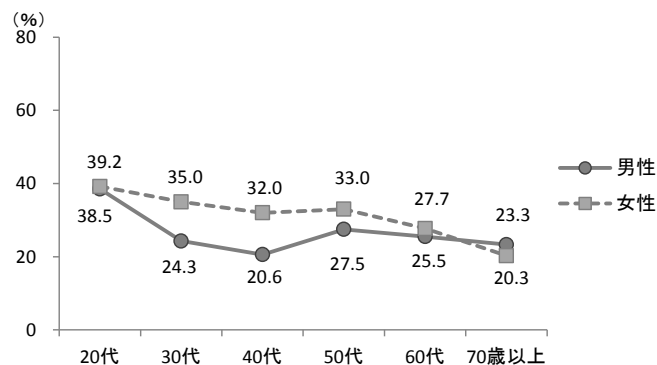
□子育て支援



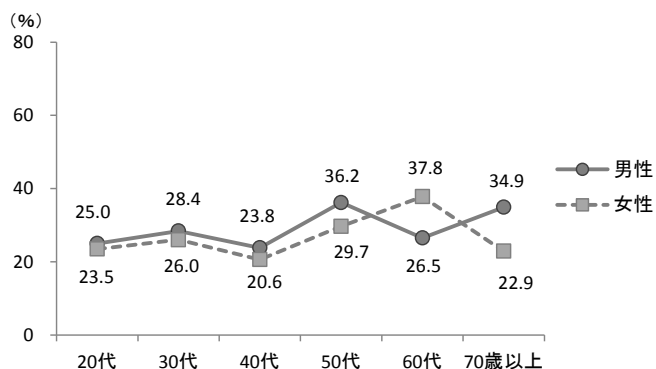
□適切な運動の普及・啓発



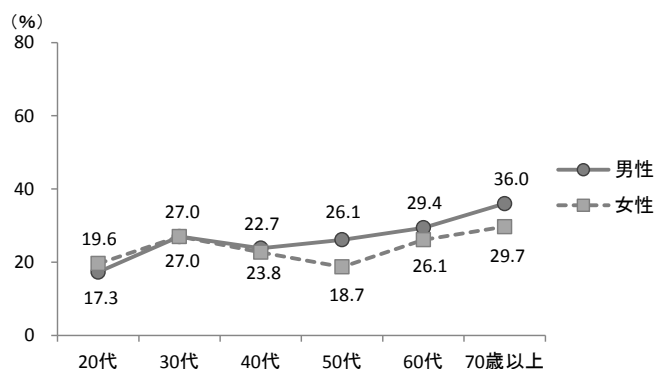
□心の健康対策



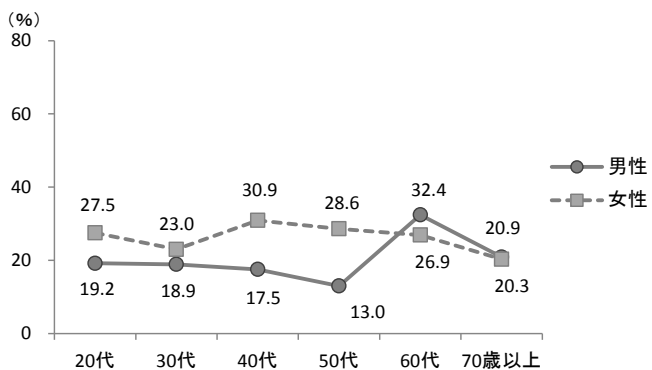
□市民の自主的な健康づくり活動の支援



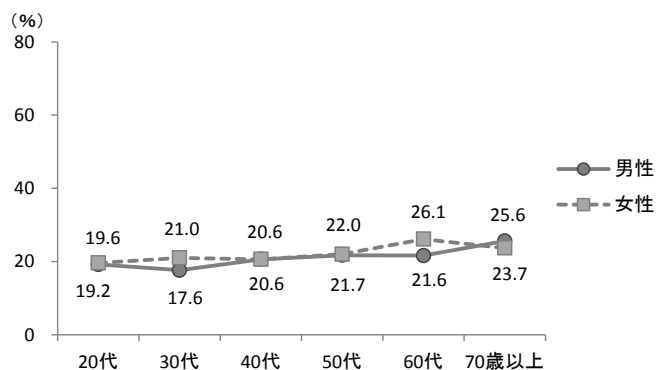
□地域ぐるみの健康づくり活動の支援



□健康情報の発信



□適切な食生活の普及・啓発

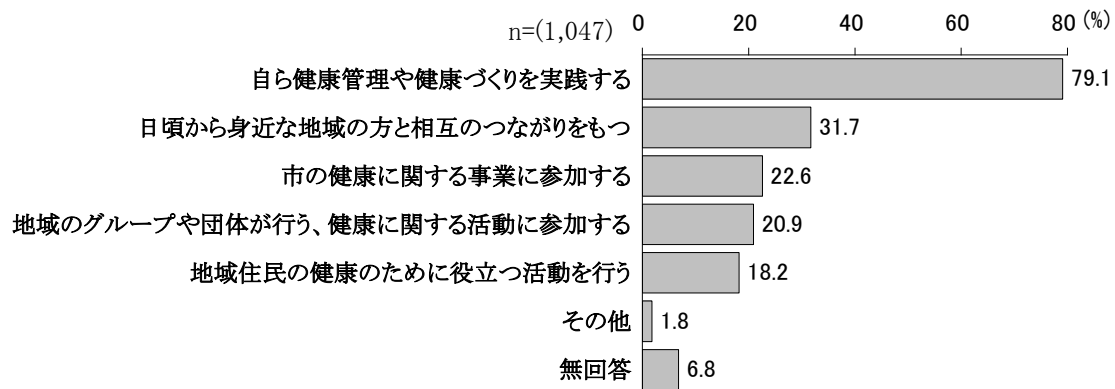


性・年代別で見ると、男性では、「健康診査や各種健（検）診」は、30代で67.6%と最も高く、「医療体制の支援」は、50代で46.4%、60代で46.1%と、他の年代より高くなっています。

女性では、「健康診査や各種健（検）診」は、30代で78.0%と最も高く、「医療体制の充実」は、30代で49.0%、60代で47.9%となっています。

(7) 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、市民が注力すべき取り組み

問50 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、市民はどのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)



市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために市民が注力すべき取り組みとしては、「自ら健康管理や健康づくりを実践する」が79.1%で最も高く、次いで「日頃から身近な地域の方と相互のつながりをもつ」が31.7%、「市の健康に関する事業に参加する」が22.6%、「地域のグループや団体が行う、健康に関する活動に参加する」が20.9%となっています。

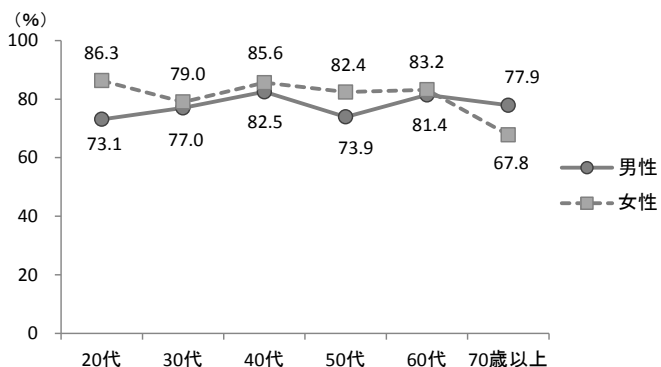
〈 性・年代別 〉

市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、市民が注力すべき取り組み／上位4項目 〉

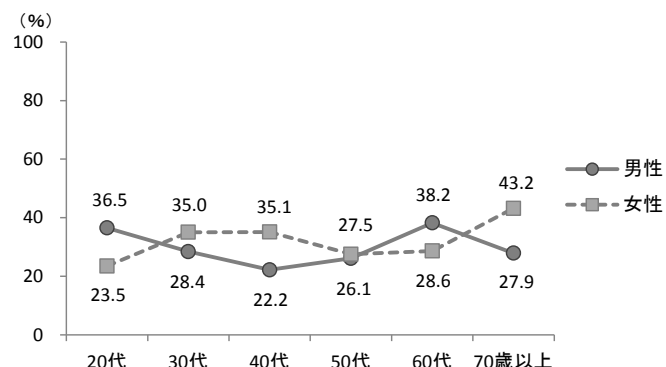
男性20代 n=(52)、30代 n=(74)、40代 n=(63)、50代 n=(69)、60代 n=(102)、70歳以上 n=(86)

女性20代 n=(51)、30代 n=(100)、40代 n=(97)、50代 n=(91)、60代 n=(119)、70歳以上 n=(118)

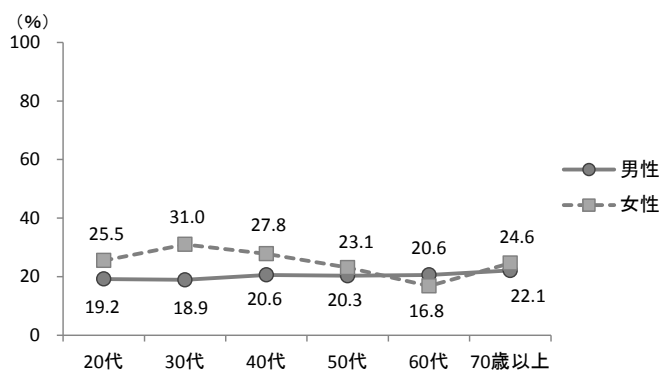
□自ら健康管理や健康づくりを実践する



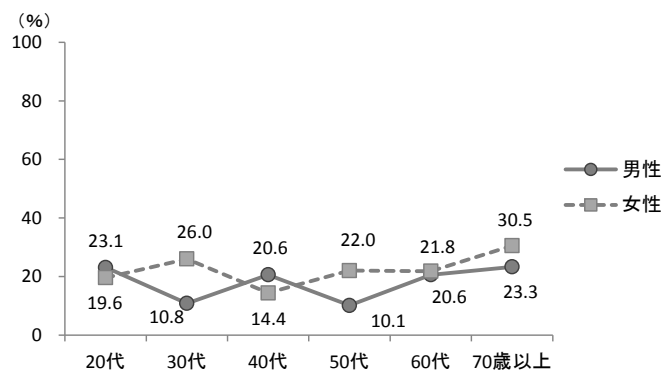
□日頃から身近な地域の方と相互のつながりをもつ



□市の健康に関する事業に参加する



□地域のグループや団体が行う、健康に関する活動に参加する



性・年代別でみると、男性では、「日頃から身近な地域の方と相互のつながりをもつ」が、20代が36.5%、60代が38.2%と、他の年代より高くなっています。

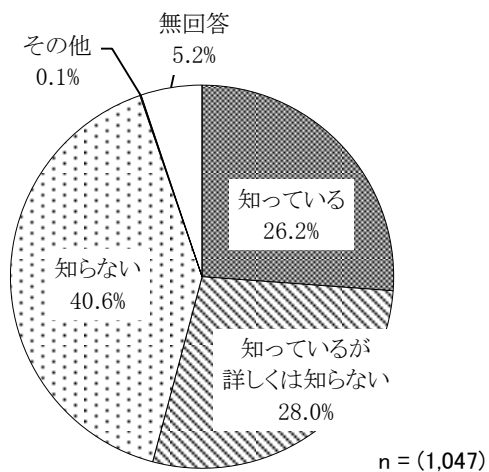
女性では「日頃から身近な地域の方と相互のつながりをもつ」が70歳以上で最も高く、43.2%となっています。

## 12. 在宅医療の推進

### (1) 往診と訪問診療の違いの認知

問51 往診と訪問診療の違いを知っていますか。(○は1つだけ)

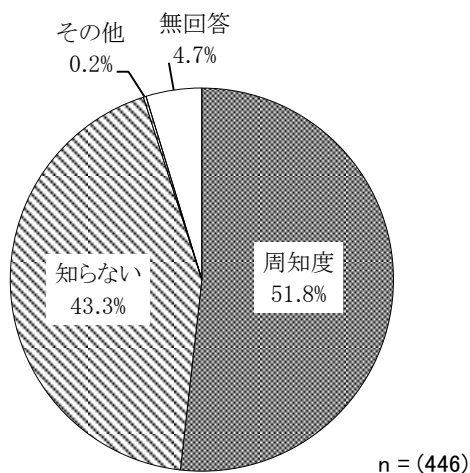
※往診とは、急変時その他、患者さんや家族の要望で不定期に行う診療のことです。訪問診療とは、主治医が計画を立て、患者さんの自宅を定期的に行う診療のことです。



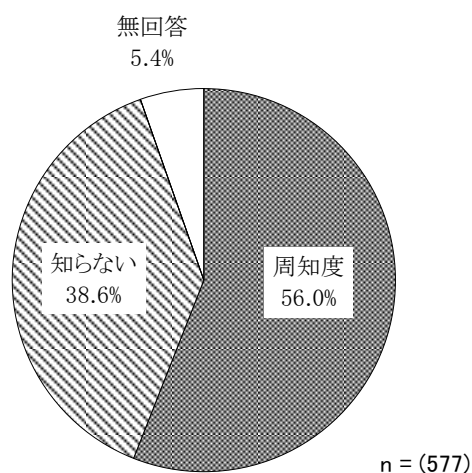
往診と訪問診療の違いについて、「知っている」「知っているが詳しくは知らない」人は54.2%、「知らない」人は40.6%となっています。

### 〈 性別／往診と訪問診療の違いの認知 〉

#### ■ 男性



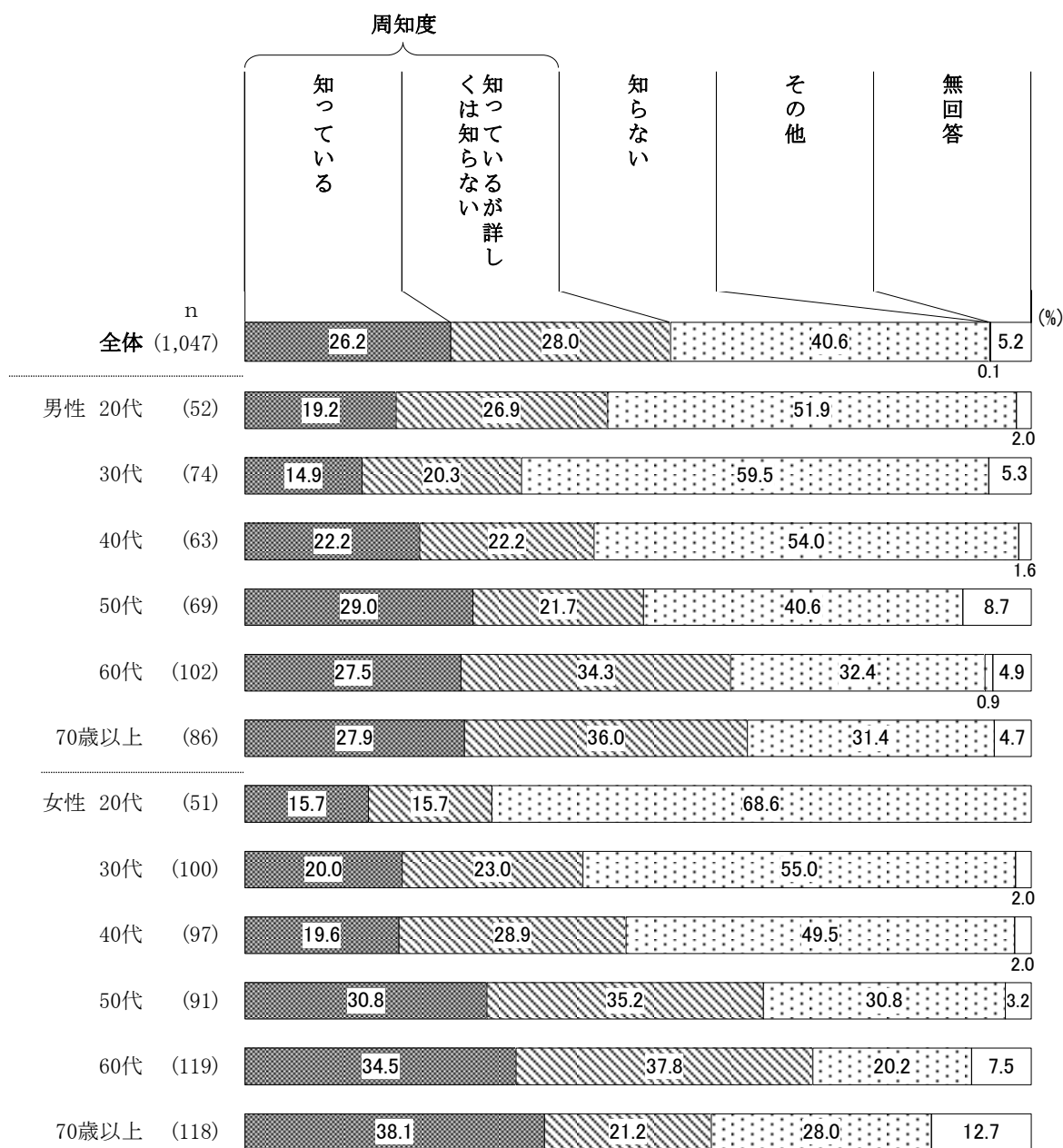
#### ■ 女性



性別でみると、《周知度》は男性51.8%、女性56.0%となっています。



〈 性・年代別／往診と訪問診療の違いの認知 〉



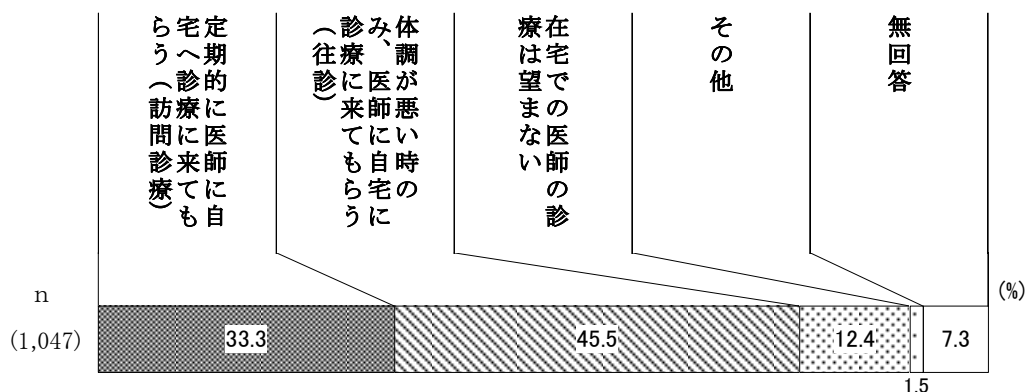
性・年代別でみると、男性では、30代以上で《周知度》が加齢とともに増加傾向を示し、70歳以上では63.9%となっています。

女性では、60代で《周知度》が72.3%と最も高く、次いで50代で66.0%となっています。

(2) 将来、あなたが在宅での治療が必要になった時に希望するサービス

問52 将来、あなたが在宅での治療が必要になった時に希望するサービスをお答えください。

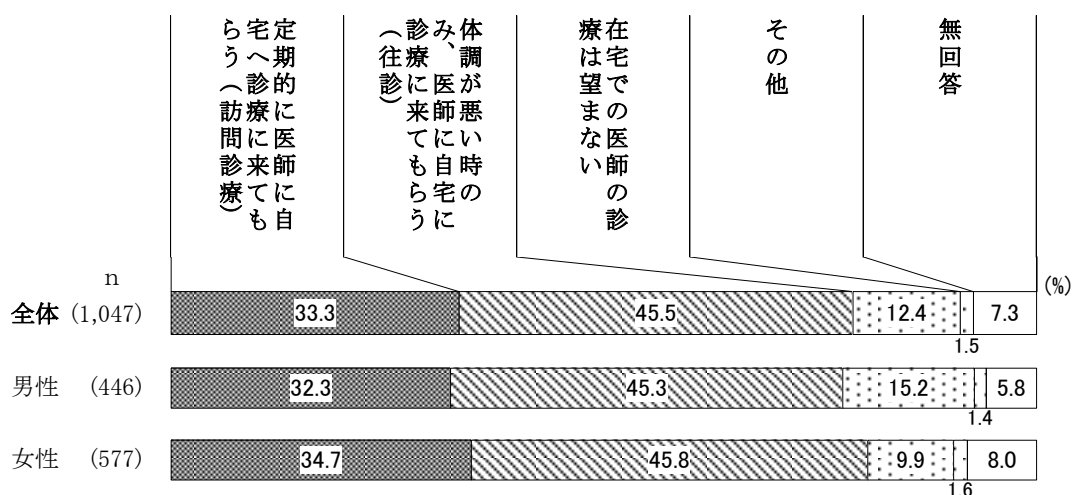
(○は1つだけ)



将来、在宅での治療が必要になった時に希望するサービスとしては、「体調が悪い時のみ、医師に自宅に診療に来てもらう (往診)」が45.5%で最も高く、次いで「定期的な医師に自宅へ診療に来てもらう (訪問診療)」が33.3%となっています。

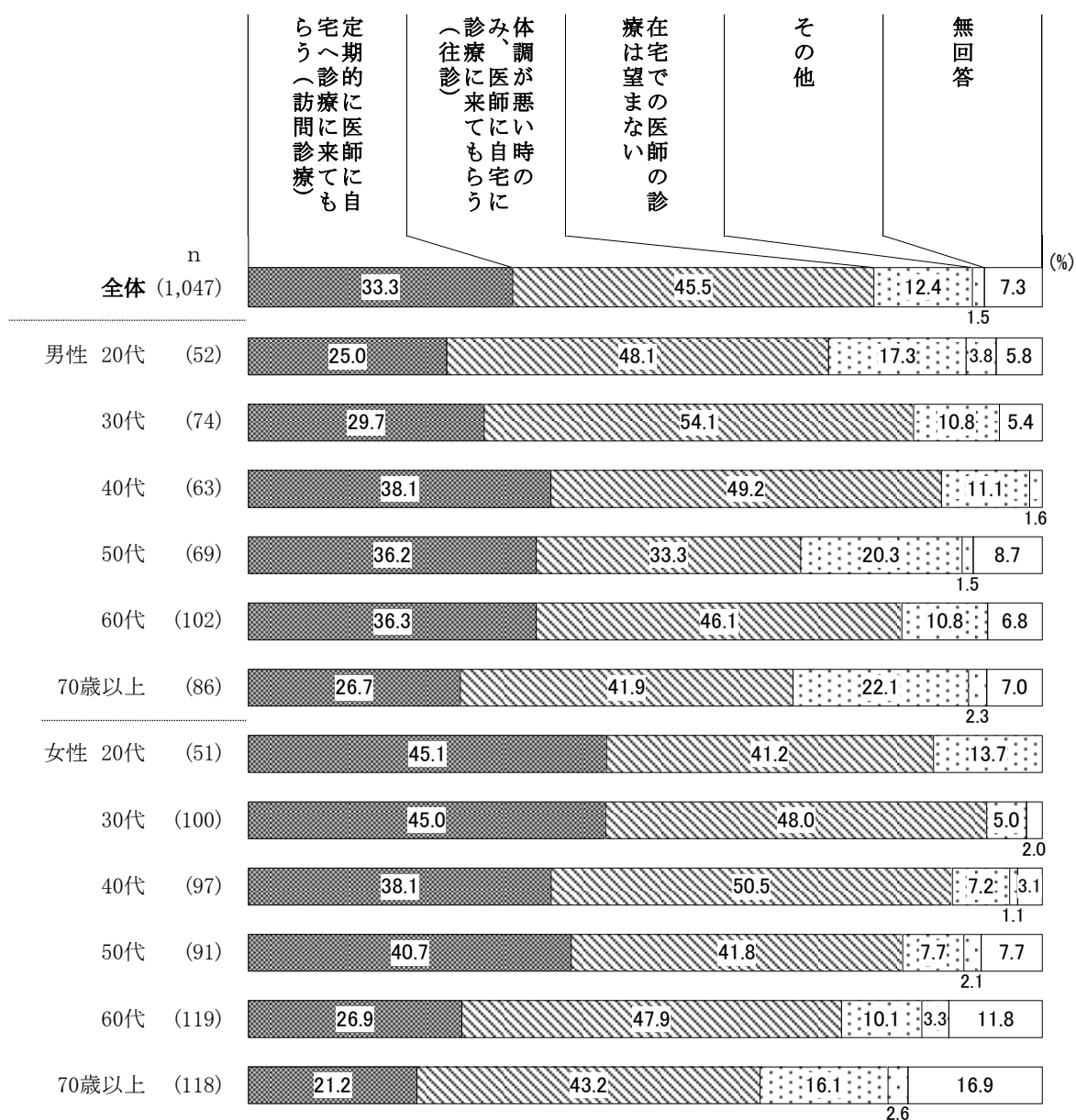
一方、「在宅での医師の診療は望まない」は12.4%となっています。

〈 性別／将来、あなたが在宅での治療が必要になった時に希望するサービス 〉



性別でみると、「体調が悪い時のみ、医師に自宅に診療に来てもらう (往診)」が男性45.3%、女性45.8%となっています。

〈 性・年代別／将来、あなたが在宅での治療が必要になった時に希望するサービス 〉



性・年代別でみると、男性では、「体調が悪い時のみ、医師に自宅に診療に来てもらう（往診）」が30代で54.1%と最も高く、次いで40代で49.2%となっています。

また、「定期的な医師に自宅へ診療に来てもらう（訪問診療）」が40代で38.1%と最も多く、次いで60代で36.3%となっています。

女性では、「定期的な医師に自宅へ診療に来てもらう（訪問診療）」が、20代で45.1%と最も高く、次いで30代が45.0%となっています。

(3) 希望するサービスに対する理由（自由記述）

問53 問52の回答について、その理由をご記入ください

問52で「定期的に医師に自宅へ診療に来てもらう（訪問診療）」と回答された方の理由  
（一部抜粋、件数は延べ）

■相談できる、安心（88件）

- ・体調が悪い時だけより定期的に来て頂いた方が安心だから。
- ・定期的に訪問してもらえればいろいろな相談ができる。
- ・閉じこもりがちになると思うので人と接する機会にしたい。

■予防、早期発見できる（41件）

- ・定期的に診てもらうことにより早期に病気等の発見につながる可能性が高いため。
- ・体調が悪くなってからでは、ひどくなっている可能性があるので、定期的診療で症状が悪くなるのを防ぐ予防のための診療が必要。
- ・自覚症状が無い場合もある。生存確認にもなる。

■健康状態管理できる、定期的に診てほしい（41件）

- ・良い時、悪い時、両方の状態を知っておいて欲しいから。
- ・治療効果を高める為には、定期的に診療をする必要がある。
- ・連続的な診療となり症状把握が判断しやすくなり、1回当りの診療時間が少なくなると思われます。

■通院が困難（20件）

- ・通院する事が困難になるかもしれないので、病院での待ち時間が長く大変。
- ・将来受診する為の移動手段が無くなるから。
- ・自分から病院へ行くという普通のことがなかなか難しいから。定期的に来てもらえると安心だと思う。

■便利、自主的に依頼しづらい（13件）

- ・自主的に遠慮してしまい、往診も頼まなくなってしまう事が考えられるため。家族の心・配を減らすことができるため。
- ・少々費用がかかっても非常に便利だから。

■経験、実例から望ましい（6件）

■その他（26件）

問52で「体調が悪い時のみ、医師に自宅に診療に来てもらう（往診）」と回答された方の理由  
（一部抜粋、件数は延べ）

■費用がかかる（84件）

- ・毎回の治療費の支払いができるか不安であり、いくら金額がかかるのか、わからないため。
- ・定期的に来てもらうのが一番望ましいが、現実的には費用しだい。
- ・費用や保険料のことを考えると訪問診療は難しいので、せめて信用できる医師に往診してもらいたい。

■無駄、医師に頼りっぱなしにしない（72件）

- ・特に変化がない時は診察は不用だと思う。
- ・体の具合の悪い時、連絡に来ていただければ、それで良い。
- ・主治医にまかせっきりではなく、自分で健康に気を配り、自分で出来る事は自分で行いたい。

■不調時に来てもらえると便利（53件）

- ・自分で病院に行けない程具合が悪い時に来てもらえると安心である。
- ・体調が悪いのに通院するのは負担が大きい。
- ・家族の手をわずらわせない為。

■行くのが困難（51件）

- ・何らかの理由で歩けなくなって病院に行けなくなったら困るから。
- ・他の家族がいない時や、車で行く事が困難な時で良いと思うから。
- ・歩いて行けるところに病院がないので、体調の悪い時に在宅で診察してもらえたら助かるから。

■医師が足りない、忙しい（16件）

- ・医師も忙しいと思うので自分の体調が悪い時だけで良いと考えます。
- ・現状として医師が不足している状態で、すべての人を対象に自宅まで来てもらうのはありえないと思う。自力で通院できる人は、病院まで行くべきだと思う。

■自分で病院に行きたい（13件）

- ・体調がいい時は自分から定期的に病院に行きたい。悪い時は自宅へ往診に来ていただきたい。どうしても動けない時。
- ・少しでも外に出た方が良いと思う為。

■待つのが苦痛（7件）

■家族の負担減（3件）

■介護者がいる、連れてってもらえる（2件）

■その他（19件）

問52で「在宅での医師の診療は望まない」と回答された方の理由  
(件数は延べ)

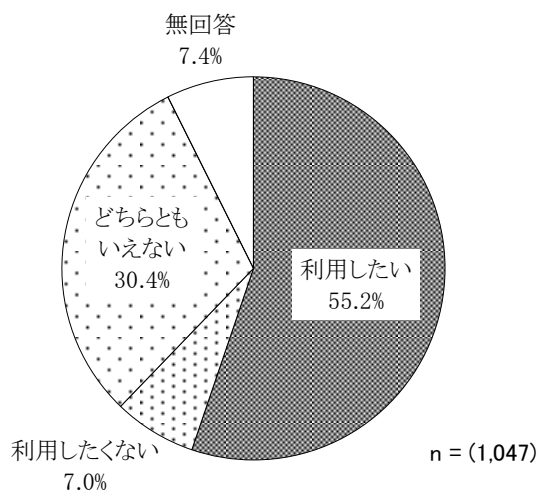
- 介護は負担大、家族に迷惑 (16件)
- 病院に行ける、家族がいる (15件)
- 病院の方が施設が良い (14件)
- 入院、施設入所を希望 (10件)
- 来てもらうことに抵抗がある、気を使う (7件)
- 健康である、世話は不必要 (5件)
- 治療をしたくない (5件)
- 家族がいない、ひとり、移動できない (4件)
- すぐ診てもらえない (2件)
- その他 (13件)

問52で「その他」と回答された方の理由  
(件数は延べ)

- 考えていない、わからない、場合による (6件)
- 経済的に苦しい (2件)
- その他 (5件)

## (4) 通院困難時の、薬局の訪問による薬の相談や管理サービスの利用意向

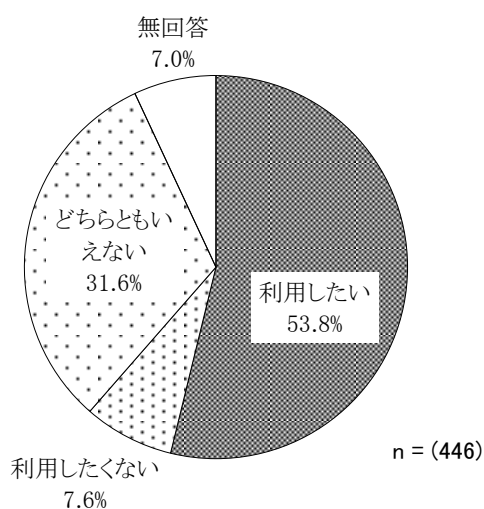
問54 通院が困難になった方に対して、薬局が自宅に訪問して薬についての相談や管理をするサービスがありますが、必要時に利用したいと思いますか。(○は1つだけ)



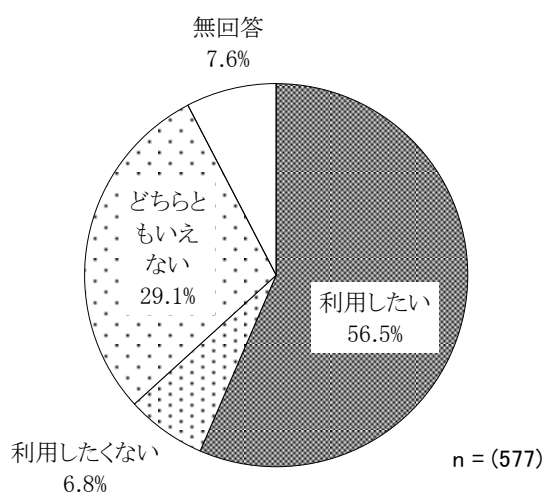
通院困難時、薬局の訪問による薬の相談や管理サービスを、「利用したい」人は55.2%、「利用したくない」人は7.1%となっています。また、「どちらともいえない」は30.4%となっています。

〈 性別／通院困難時の、薬局の訪問による薬の相談や管理サービスの利用意向 〉

■ 男性

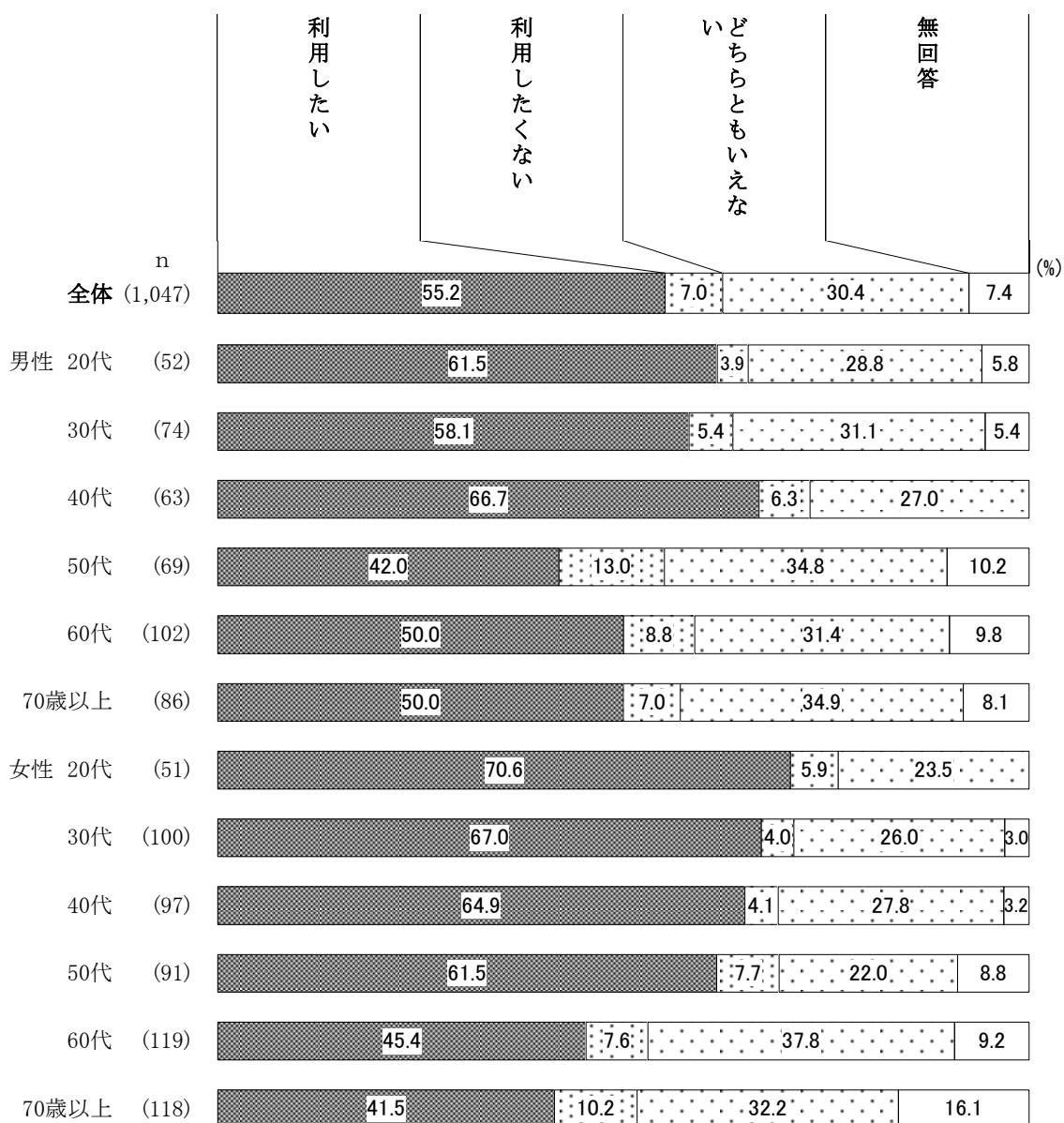


■ 女性



性別でみると、「利用したい」は男性53.8%、女性56.5%となっています。

〈 性・年代別／通院困難時の、薬局の訪問による薬の相談や管理サービスの利用意向 〉



性・年代別で見ると、男性では、「利用したい」が40代で66.7%と最も高く、次いで20代が61.5%となっています。

女性では、「利用したい」が20代で70.6%と最も高く、次いで30代が67.0%となっています。



## (5) 薬局への相談や管理サービスの利用意向に対する理由（自由記述）

問54 問53の回答について、その理由をご記入ください
-----------------------------

問53で「利用したい」と回答された方の理由

(一部抜粋、件数は延べ)

## ■通院困難時に便利（200件）

- ・通院が困難な場合、出かけるのも大変だと思います。しかも病気であればなおさらです。そのサービスがあるのも知らないです。もっとPRしてほしいです。
- ・今は良いのですが、年を重ねて車の運転が出来なくなった時は、助かると思います。
- ・利便性に富んでいるため。
- ・高齢者に優しいサービスだと思う。
- ・移動が難しいのだから来て頂けると助かると思う。また、薬の副作用に気をつけたいから。

## ■薬の管理が困難、相談したい（111件）

- ・年をとると薬の管理が困難な為。
- ・直接薬についての相談ができると安心だから。
- ・自宅に来てもらえれば、他の家族にも薬の内容等、理解してもらえるから。
- ・その時々によって身体の調子等は違うため、同サービスを受けることで薬についての知識を得ることが出来るため。
- ・薬について無駄な薬を処方される事もあると思います。そういう時訪問して頂き相談や管理してもらえればかゆい所に手が届く様に大変ありがたい。

## ■定期的だと管理しやすい、安心（35件）

- ・薬の知識のある人に管理してもらうのは安心
- ・医師の訪問診療と連携したサービス（カルテ等の共有で、よりよく自分の情報が伝わっている事が前提）を受けたい。
- ・健康時からの通院時の投薬品から本人に最も適切な薬品の選定も出来ると思われる為。

## ■頼める人がいない、ひとり暮らし（21件）

- ・同居している家族がいれば頼めるが誰もいなければ利用したいと思います。
- ・年齢に関係なく、一人暮らし、又は家族が育児等で忙しい場合は、誰にも頼れないから。つらい時は、外出そのものがしんどくなるから。
- ・一人暮らしになった場合は、薬を入手する手段として利用する。

## ■家族に迷惑をかけたくない（10件）

- ・少しでも人まかせだけの生活にはしたくないから。

- 待ち時間がなくてよい（8件）
- サービスを知らなかった（7件）
- 近くに薬局がない（2件）
- その他（36件）

問53で「利用したくない」と回答された方の理由  
（件数は延べ）

- 医師に相談したい、薬局だけでは不十分（11件）
- 自分で管理する、特に必要ない、無駄（11件）
- 治療を望まない、薬に頼りたくない（9件）
- 家族に頼む（7件）
- 自宅に来てほしくない（3件）
- その他（9件）

問53で「どちらともいえない」と回答された方の理由  
（一部抜粋、件数は延べ）

■イメージがわからない、必要な時に利用する（60件）

- ・今現在、大病もしていないのでピンとこないというのが本音です。その時になってみないと考えられません。
- ・病気の内容にもよると思うので、どちらともいえない。
- ・処方せん等の取扱いや方法・システムが理解出来ませんので返答出来ません。

■必要なのは医師（32件）

- ・通院が困難なのに医者の代わりに薬局がなれるとは思わない。
- ・医者の往診が先である。その状況により薬局対応の必要性を考える。
- ・薬局と医師の連携が出来ているなら利用したいと思うが、現状がどうなっているのかわからない。

■必要性を感じない、自分で行く（17件）

- ・訪問診療等を行う医療機関は少ないと思うから。自分で病院へ行ったほうがスムーズに診察してもらえと思うから。
- ・健康時には必要なし。

■家族等に任せる（15件）

- ・まだ家族がいる内は、家族の応援をしてもらいたい。どうしようもない時は利用するかも知れない。
- ・老人ホームまかせ。

■便利である（7件）

■費用の問題（6件）

■自宅に来てもらいたくない（4件）

■なるべく薬を使用しない（3件）

■その他（19件）



## 第3章 調査結果／保護者

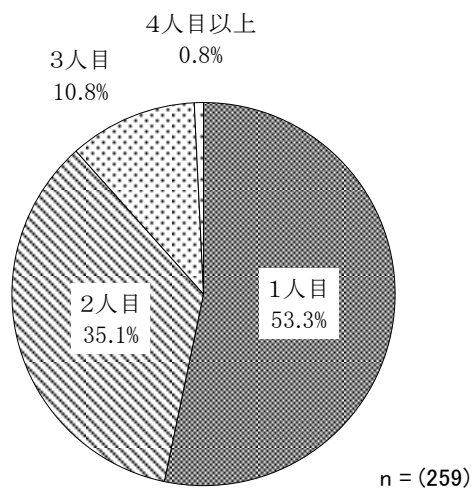


## 1. 妊娠・出産・産後

### (1) 今回健診を受けた子ども

問1～問13は、今回、相談や健診に来られたお子さんについてお答えください。

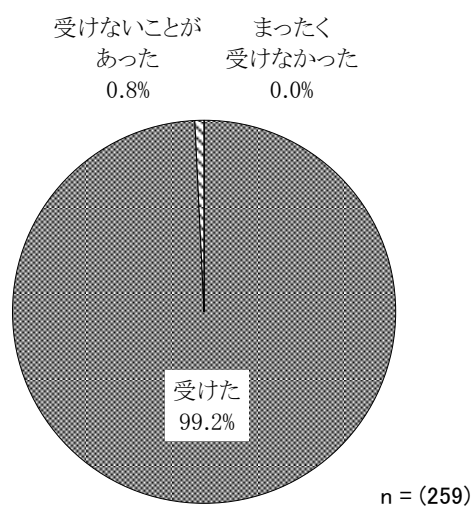
問1 お子さんは何人目ですか。(○は1つだけ)



子どもは「1人目」が53.3%であり、次いで「2人目」が35.1%となっています。

### (2) 定期的な妊婦健診の受診

問2 妊娠中、定期的に妊婦健診を受けましたか。(○は1つだけ)



妊娠中、定期的に妊婦健診を「受けた」が99.2%を占めています。

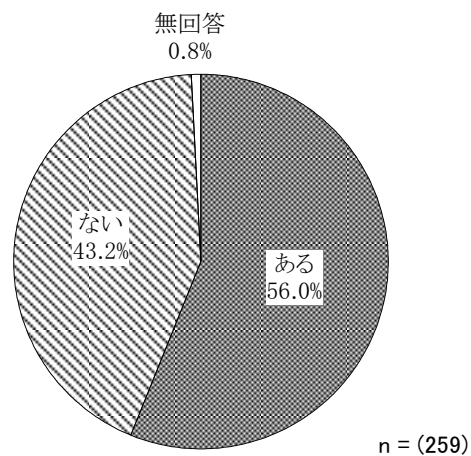
### (3) 健診を受けなかった理由

問2で「2. 受けないことがあった」、または「3. まったく受けなかった」とお答えの方に  
問2-1 健診を受けなかった理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

妊娠中定期的に妊婦健診を「受けないことがあった」「まったく受けなかった」という2人に、その理由をきいたところ、「体調が悪く、すでに病院にかかっていたから」が1人、「その他」が1人となっています。

### (4) 妊婦健診時、医師や助産師などから日常生活の指導を受けたこと

問3 妊婦健診時、医師や助産師などから日常生活の指導を受けましたことがありますか。  
(〇は1つだけ)



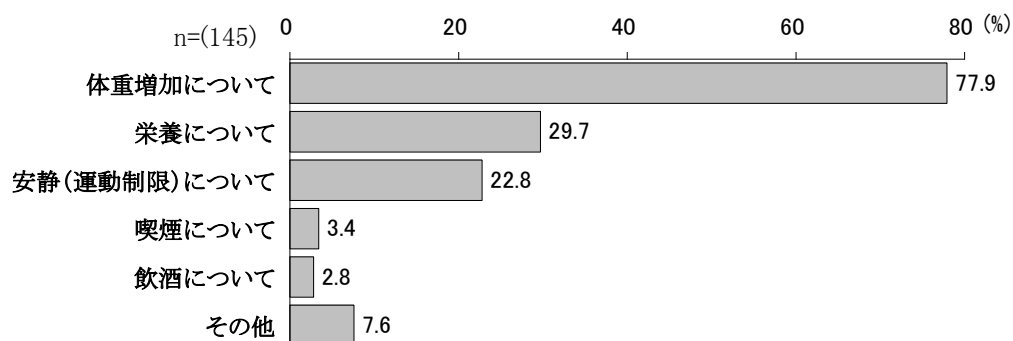
妊婦健診時の医師や助産師などによる日常生活の指導の有無については、「ある」が56.0%、「ない」が43.2%となっています。



## (5) 指導内容

問3で「1. ある」とお答えの方に

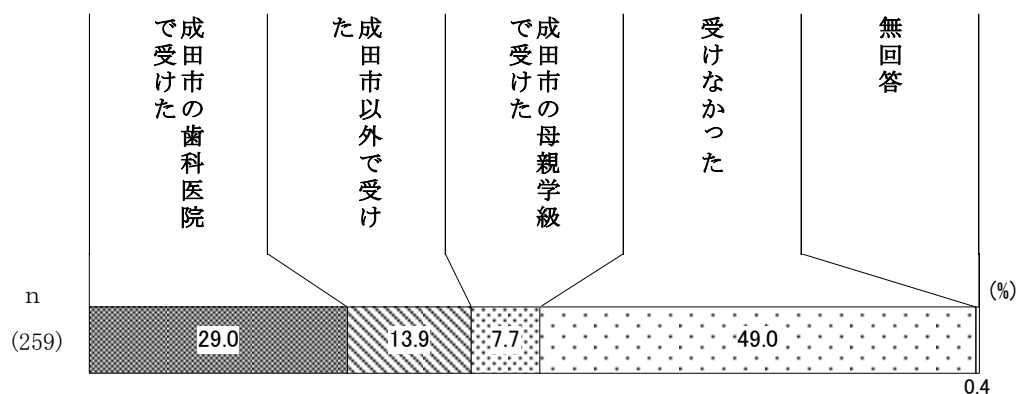
問3-1 指導内容はどのような事ですか。(○はあてはまるものすべて)



妊婦健診時に、医師や助産師などによる日常生活の指導を受けたことが「ある」という人に、その内容を聞いたところ、「体重増加について」が77.9%で最も高く、次いで「栄養について」が29.7%、「安静（運動制限）について」が22.8%となっています。

## (6) 妊娠中の歯科健診の受診

問4 お子さんを妊娠中、歯の健診を受けましたか。(○は1つだけ)

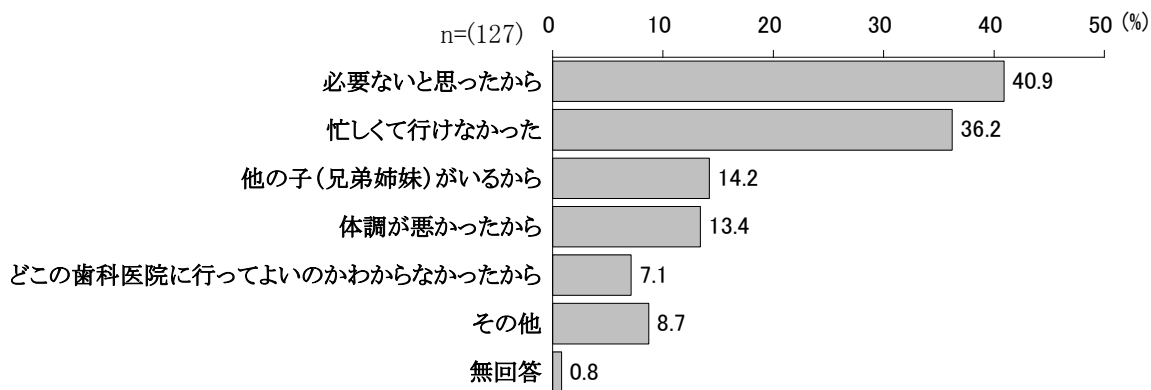


妊娠中の歯科健診については、「受けなかった」が49.0%で最も高く、次いで「成田市の歯科医院で受けた」が29.0%、「成田市以外で受けた」が13.9%、「成田市の母親学級で受けた」が7.7%となっています。

(7) 歯科健診を受けなかった理由

問4で「4. 受けなかった」とお答えの方に

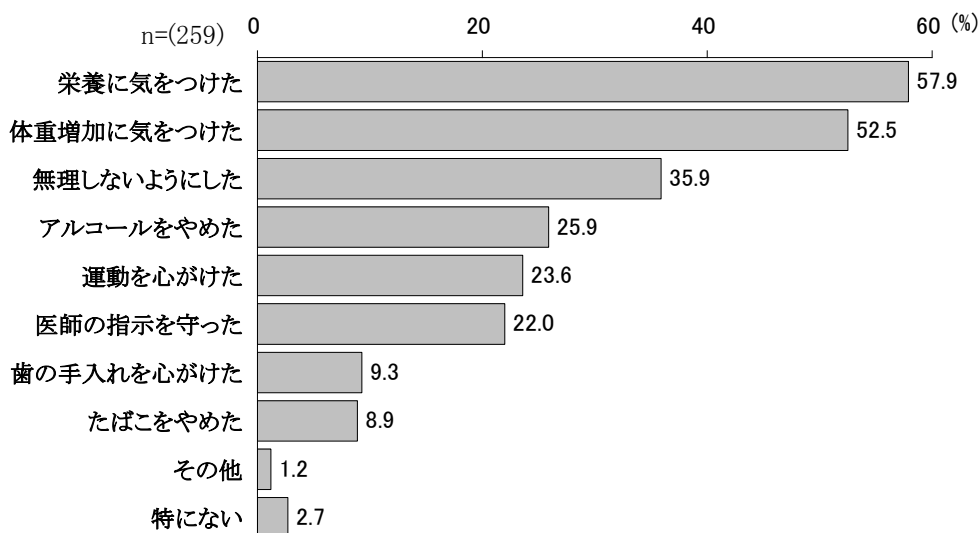
問4-1 歯の健診を受けなかった理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)



妊娠中、歯科健診を「受けなかった」という人に、その理由をきいたところ、「必要ないと思ったから」が40.9%で最も高く、次いで「忙しくて行けなかったから」が36.2%、「他の子(兄弟姉妹)がいるから」が14.2%となっています。

(8) 妊娠中、特に気をつけたこと

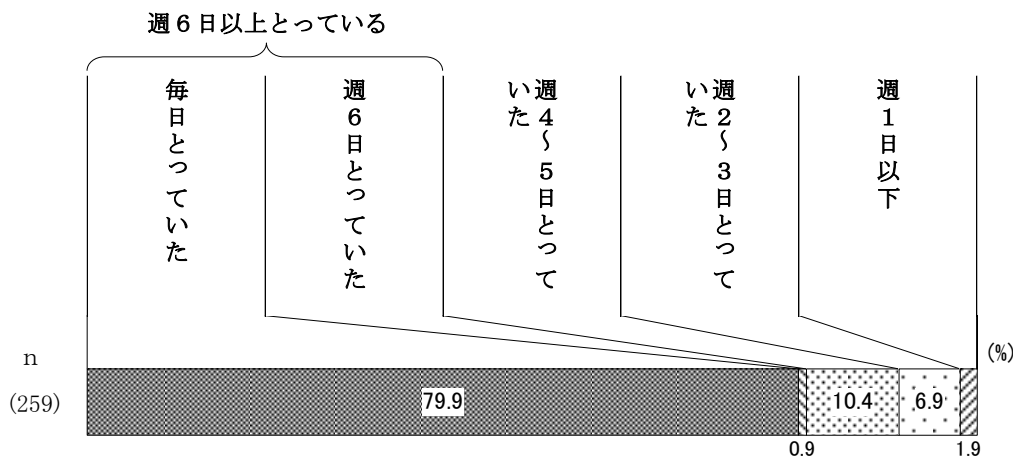
問5 妊娠中、特に気をつけたことは何ですか。(○は3つまで)



妊娠中、特に気をつけたことは、「栄養に気をつけた」が57.9%で最も高く、次いで「体重増加に気をつけた」が52.5%、「無理しないようにした」が35.9%、「アルコールをやめた」が25.9%となっています。

(9) 妊娠中の朝食の摂取状況

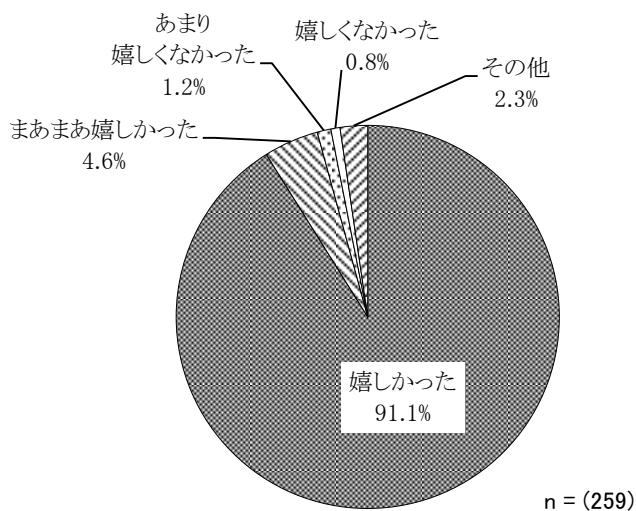
問6 妊娠中は朝食をとっていましたか。(栄養ドリンク剤、野菜ジュースのみの場合は含みません) (○は1つだけ)



妊娠中の朝食の摂取状況については、「週6日以上とっていた」人は80.8%となっています。

(10) 妊娠していることがわかったときの気持ち

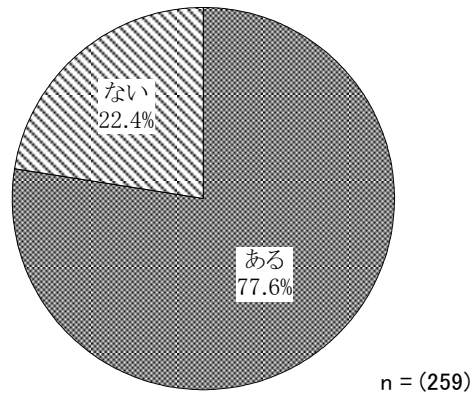
問7 妊娠していることがわかったときの気持ちで、最もあてはまるものを選んでください。(○は1つだけ)



妊娠しているとわかった時の気持ちは、「嬉しかった」が91.1%を占めています。

(11) マタニティマーク利用の有無

問8 マタニティマークを利用したことがありますか。(○は1つだけ)

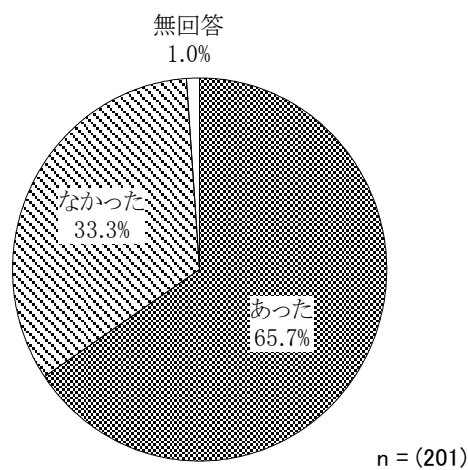


マタニティマークを利用したことが「ある」は77.6%を占めています。

(12) マタニティマークを利用してよかったこと

問8で「1. ある」とお答えの方に

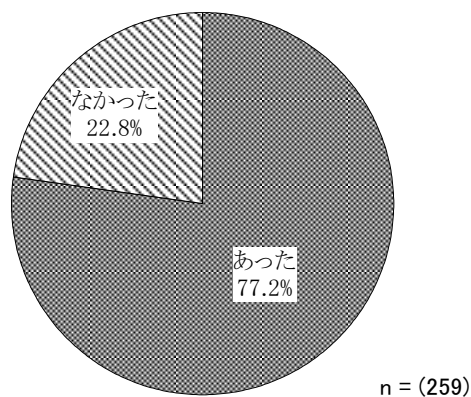
問8-1 マークを利用してよかったと感じたことはありますか。(○は1つだけ)



マタニティマークを利用したことが「ある」という人に、よかったと感じたことがあるかと聞いたことが「あった」が65.7%を占めています。

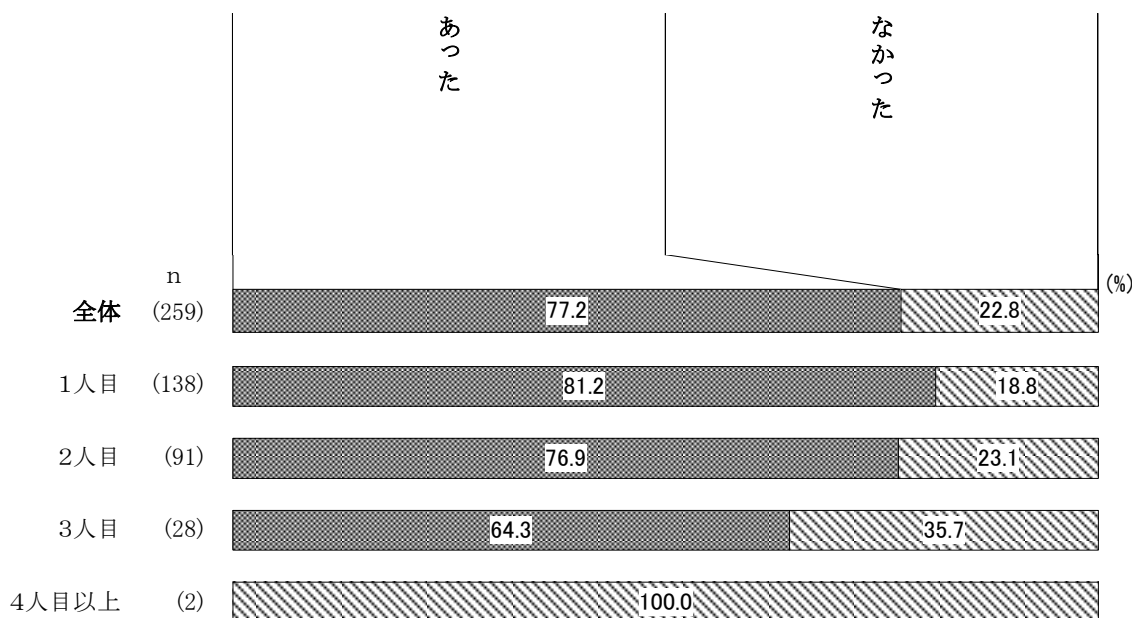
(13) 妊娠中の悩みや不安

問9 妊娠中に悩みや不安がありましたか。(○は1つだけ)



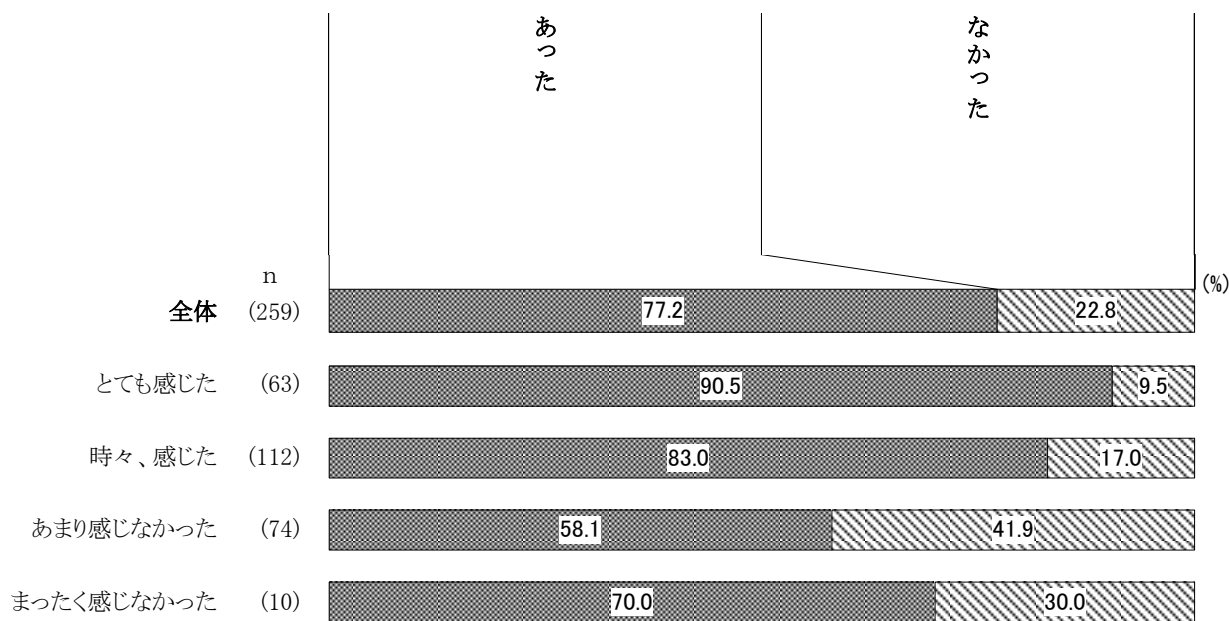
妊娠中に悩みや不安が「あった」人は77.2%となっています。

〈 今回健診を受けた子ども別／妊娠中の悩みや不安 〉



今回健診を受けた子ども別でみると、妊娠中に悩みや不安が「あった」人は、1人目が81.2%、2人目が76.9%となっています。

〈産後の不安や負担感別／妊娠中の悩みや不安〉

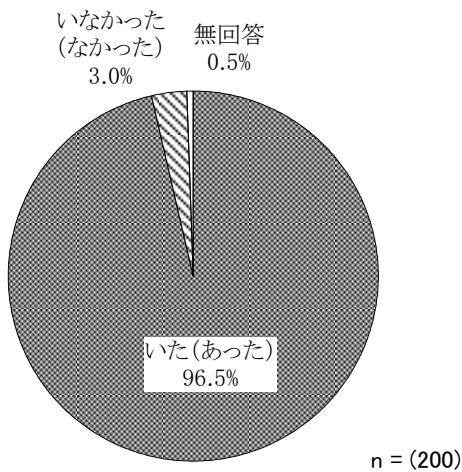


妊娠中に悩みや不安があった人に、産後の不安や負担感があったのかを聞いたところ、「とても感じた」人は90.5%であり、「時々、感じた」人は83%となっています。

(14) 妊娠中の悩みや不安の相談相手、手段の有無

問9で「1. あった」とお答えの方に

問9-1 妊娠中に、悩みや不安を相談する人や手段がありましたか。(○は1つだけ)



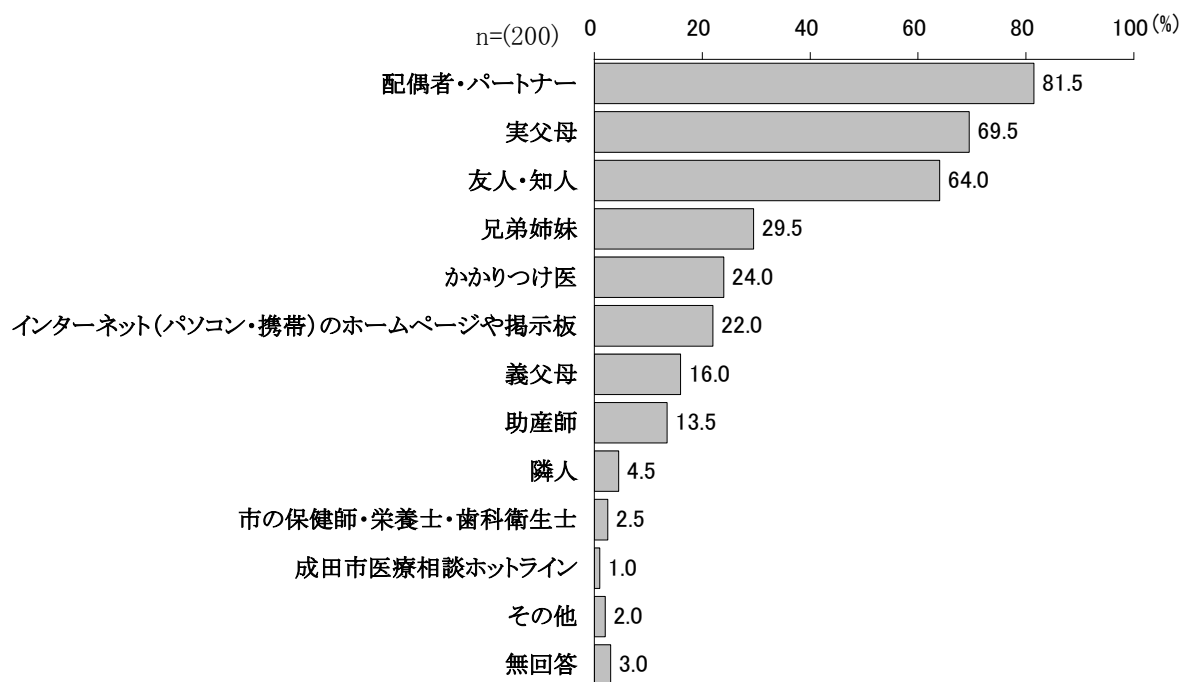
妊娠中に悩みや不安が「あった」という人に相談相手や手段の有無をきいたところ、「いた(あった)」が96.5%を占めています。

## (15) 妊娠中の悩みや不安の相談相手、手段

問9で「1. あった」とお答えの方に

問9-2 相談相手や手段として、あてはまるものを選んでください。

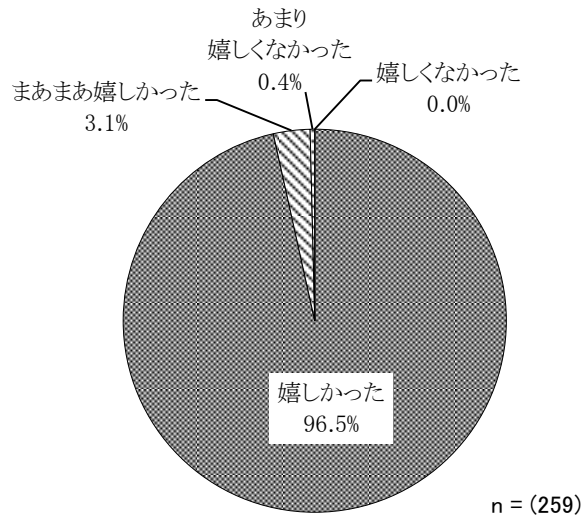
(○はあてはまるものすべて)



妊娠中に悩みや不安が「あった」という人に、相談相手や手段についてきいたところ、「配偶者・パートナー」が81.5%で最も高く、次いで「実父母」が69.5%、「友人・知人」が64.0%、「兄弟姉妹」が29.5%となっています。

(16) はじめてお子さんと対面したときの気持ち

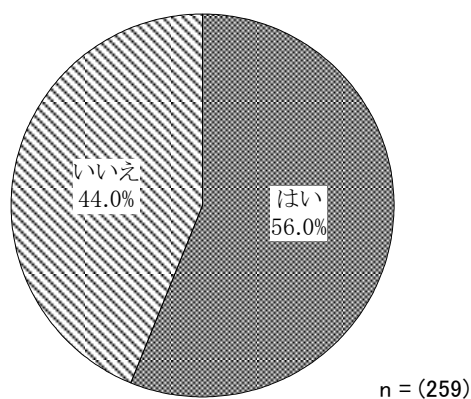
問10 はじめて、お子さんと対面したときの気持ちで、最もあてはまるものを選んでください。(○は1つだけ)



はじめて子どもと対面したときの気持ちについては、「嬉しかった」が96.5%を占めています。

(17) 出産後の里帰り

問11 出産後、里帰りをしましたか。(○は1つだけ)



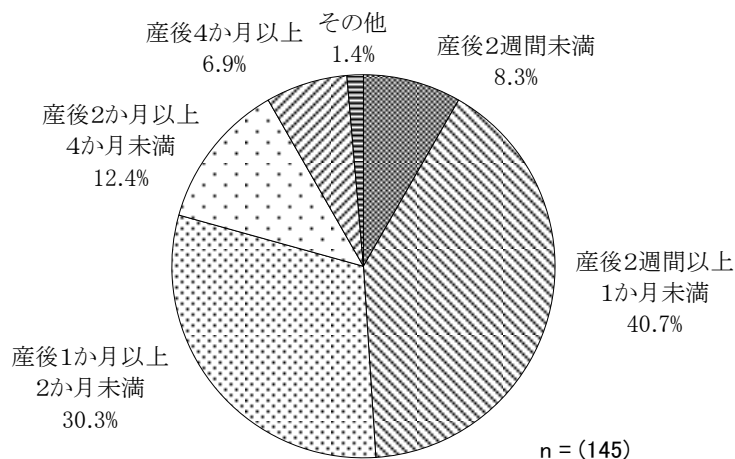
出産後の里帰りの有無については、「はい」が56.0%、「いいえ」が44.0%となっています。



## (18) 里帰りの期間

問11で「1. はい」とお答えの方に

問11-1 どのくらいの期間、里帰りをしましたか。(○は1つだけ)

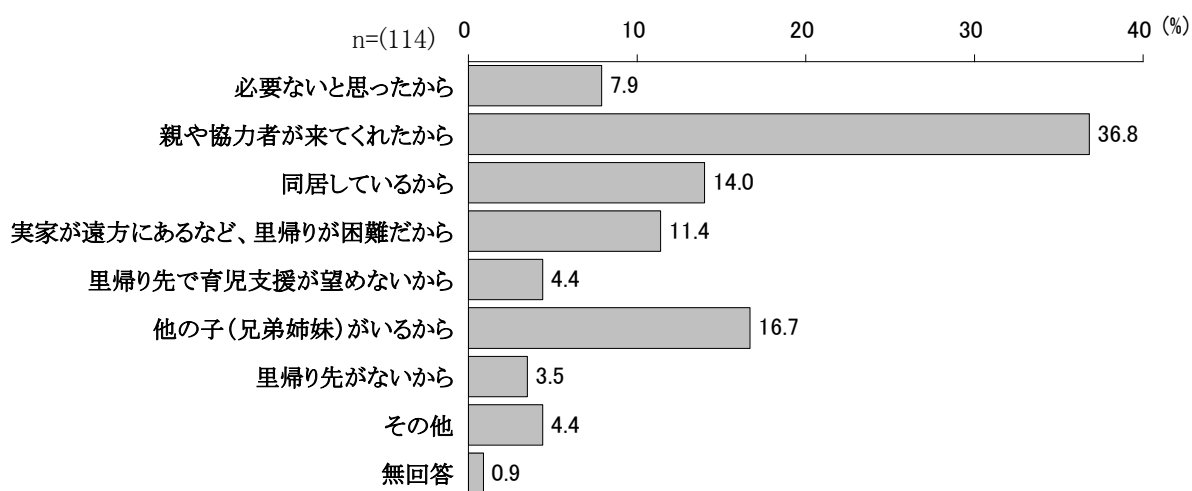


出産後里帰りした人に、その期間をきいたところ、「産後2週間以上1か月未満」が40.7%で最も高く、次いで「産後1か月以上4か月未満」が30.3%となっています。

## (19) 里帰りをしなかった理由

問11で「2. いいえ」とお答えの方に

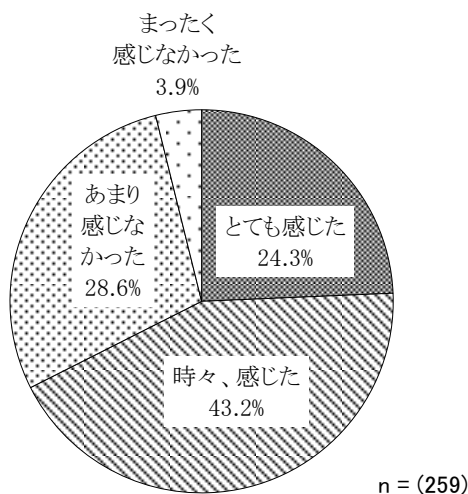
問11-2 里帰りをしなかった理由は何ですか。(○は1つだけ)



出産後里帰りをしなかった人に、その理由をきいたところ、「親や協力者が来てくれたから」が36.8%で最も高く、次いで「他の子(兄弟姉妹)がいるから」が16.7%、「同居しているから」が14.0%となっています。

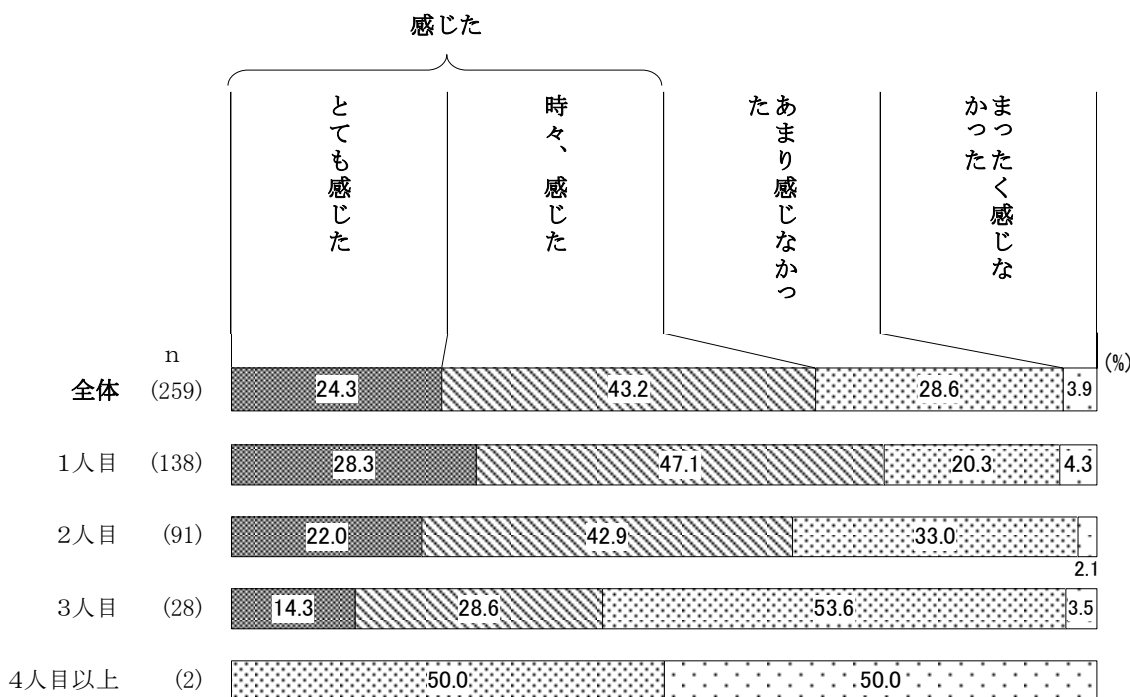
(20) 産後の不安や負担感

問12 産後に不安や負担を感じましたか。(〇は1つだけ)



産後の不安や負担感については、「とても感じた」が24.3%、「時々、感じた」が43.2%であり、これらを合わせた《感じた》は67.5%となっています。

〈 今回健診を受けた子ども別／産後の不安や負担感 〉

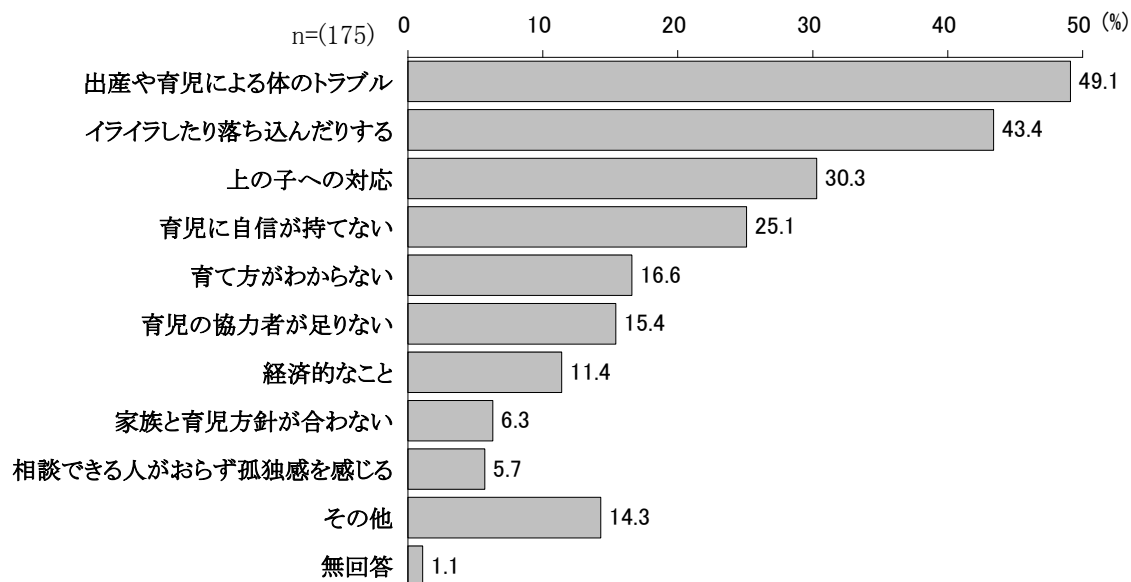


今回健診を受けた子ども別でみると、《感じた》は、1人目が75.4%と高くなっています。

## (21) 産後に感じた不安や負担

問12で「1. とても感じた」、または「2. 時々、感じた」とお答えの方に

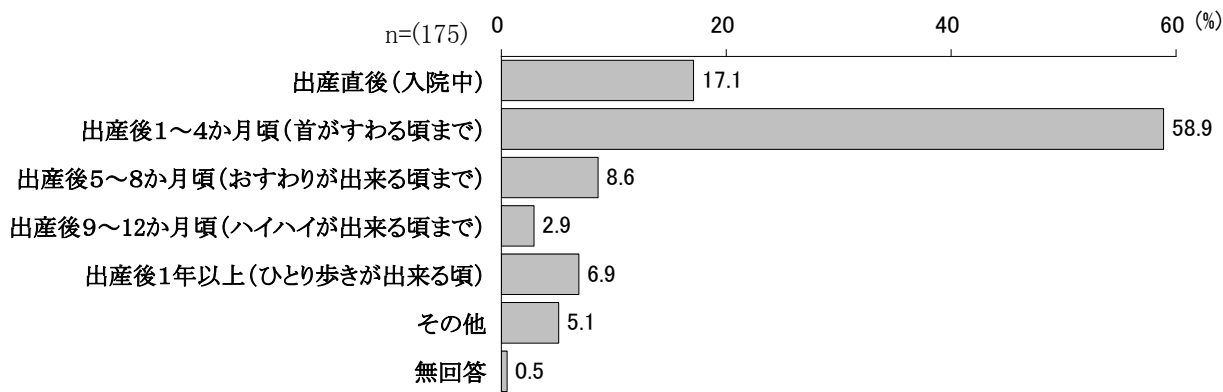
問12-1 どのような不安や負担を感じましたか。(〇はあてはまるものすべて)



産後に不安や負担を感じた人に、その内容を聞いたところ、「出産や育児による体のトラブル」が49.1%で最も高く、次いで「イライラしたり落ち込んだりする」が43.4%、「上の子への対応」が30.3%、「育児に自信が持てない」が25.1%となっています。

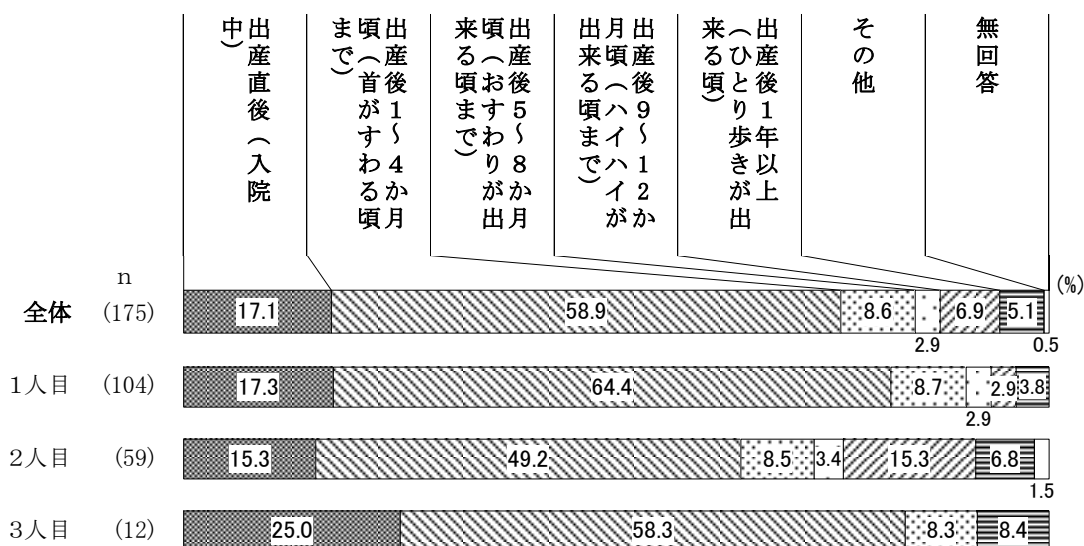
(22) もっとも不安や負担を感じた時期

問12で「1. とても感じた」、または「2. 時々、感じた」とお答えの方に  
 問12-2 もっとも不安や負担を感じた時期はいつですか。(〇は1つだけ)



もっとも不安や負担を感じた時期を聞いたところ、「出産後1~4か月頃(首がすわる頃まで)」が58.9%で最も多く、次に「出産直後(入院中)」17.1%となっています。

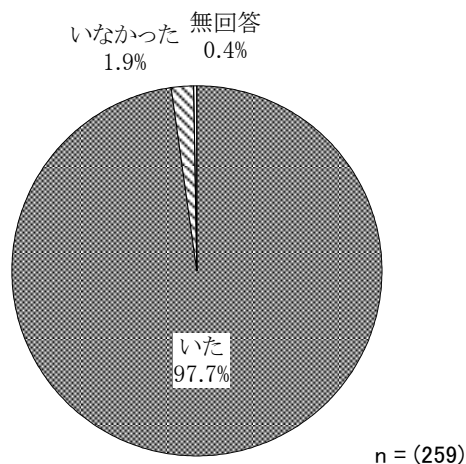
〈今回健診を受けた子ども別／もっとも不安や負担を感じた時期〉



今回健診を受けた子ども別でみると、「出産後1~4か月頃(首がすわる頃まで)」で、1人目が64.4%と高くなっています。

(23) 産後1か月までの時期に、家事・育児に協力してくれた人の有無

問13 産後1か月までの時期に家事・育児に関して協力してくれた人はいましたか。  
(○は1つだけ)

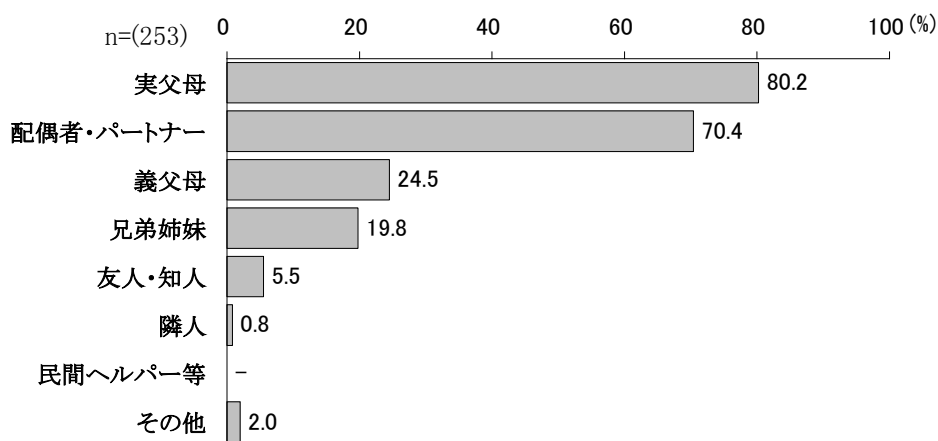


産後1か月までの時期に、家事・育児に協力してくれた人が「いた」が97.7%を占めています。

(24) 産後1か月までの時期に、家事・育児に協力してくれた人

問13で「1. いた」とお答えの方に

問13-1 協力してくれた人は誰ですか。(○はあてはまるものすべて)



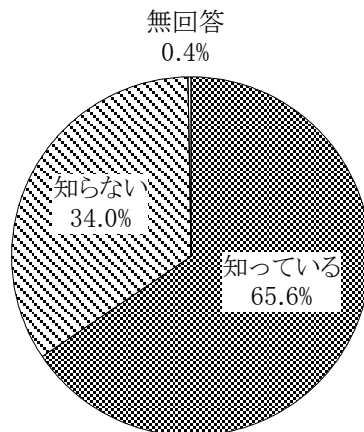
産後1か月までの時期に家事・育児に協力してくれた人が「いた」という人に、協力者をきいたところ、「実父母」が80.2%で最も高く、次いで「配偶者・パートナー」が70.4%、「義父母」が24.5%となっています。

## 2. 育児に関すること

### (1) 市の保健師、栄養士などへの健康や育児の個別相談可能の認知

問14～問25は、ご家庭のすべてのお子さんの育児についてお答えください。

問14 市の保健師、栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士に、個別で健康や育児の相談ができることを知っていますか。(○は1つだけ)

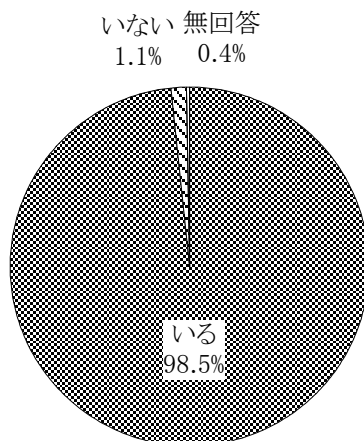


n = (259)

市の保健師、栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士に、個別で健康や育児の相談ができることを「知っている」は65.6%を占めています。一方、「知らない」は34.0%となっています。

### (2) 育児についての相談相手の有無

問15 育児について相談する人はいますか。(○は1つだけ)



n = (259)

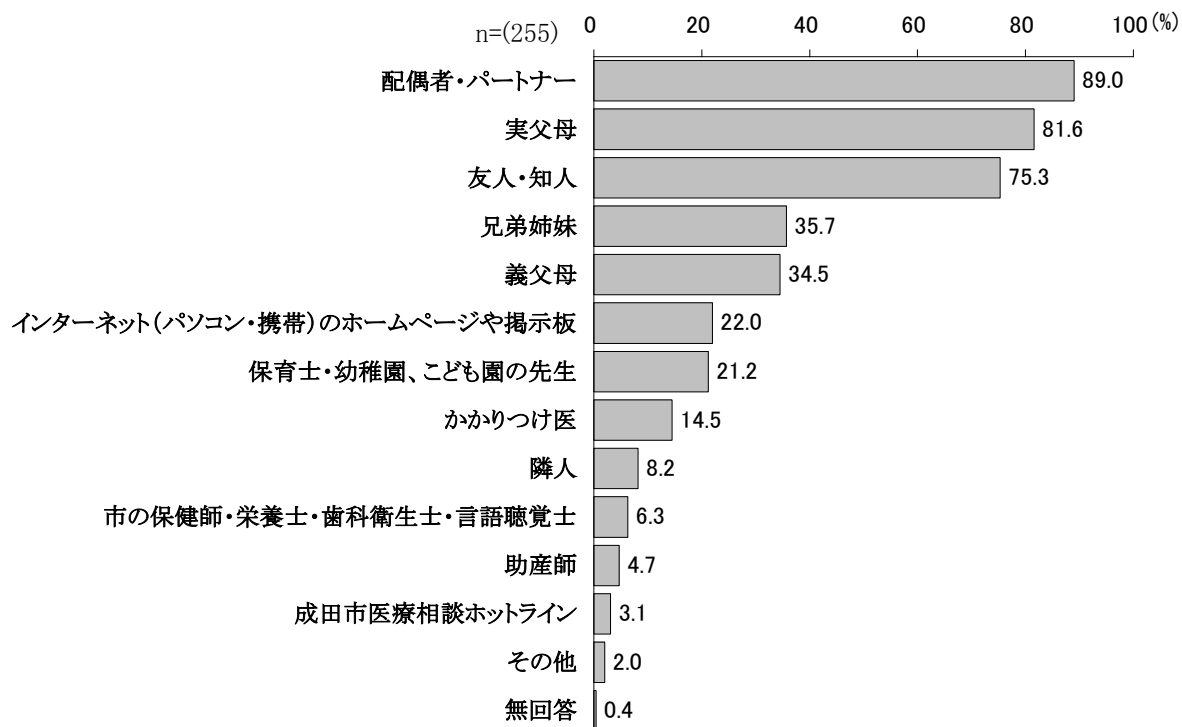
育児について相談する人が「いる」は、98.5%を占めています。

## (3) 育児についての相談相手、手段

問15で「1. いる」とお答えの方に

問15-1 相談相手や手段として、あてはまるものを選んでください。

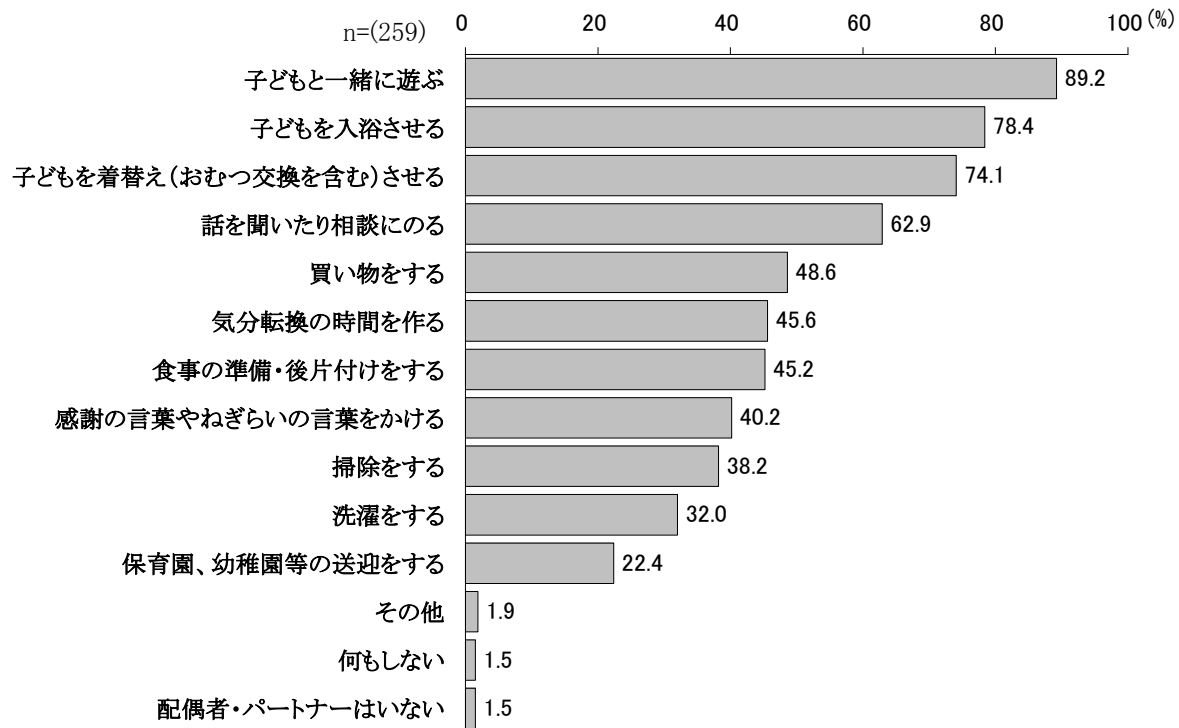
(○はあてはまるものすべて)



育児について相談する人が「いる」という人に、相談相手や手段をきいたところ、「配偶者・パートナー」が89.0%で最も高く、次いで「実父母」が81.6%、「友人・知人」が75.3%となっています。

(4) 配偶者やパートナーの家事や育児への関わり方

問16 配偶者やパートナーは、家事や育児にどのような形でかかわっていますか。  
(○はあてはまるものすべて)



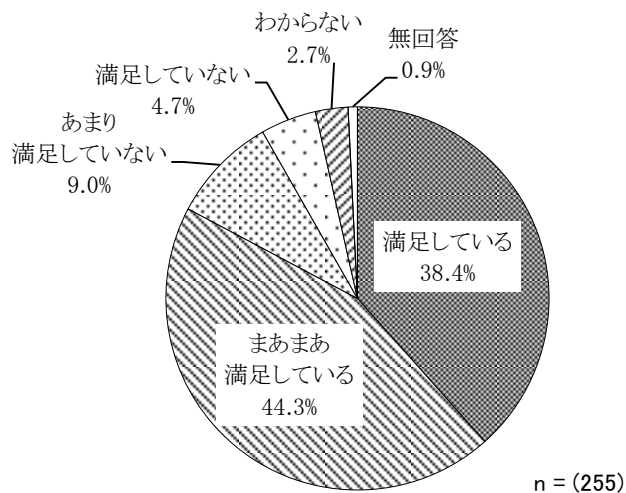
配偶者やパートナーの家事や育児への関わりについては、「子どもと一緒に遊ぶ」が89.2%で最も高く、次いで「子どもを入浴させる」が78.4%、「子どもの着替え（おむつ交換を含む）させる」が74.1%、「話を聞いたり相談にのる」が62.9%となっています。



## (5) 配偶者やパートナーの協力の仕方への満足度

問16で1～13をお答えの方に

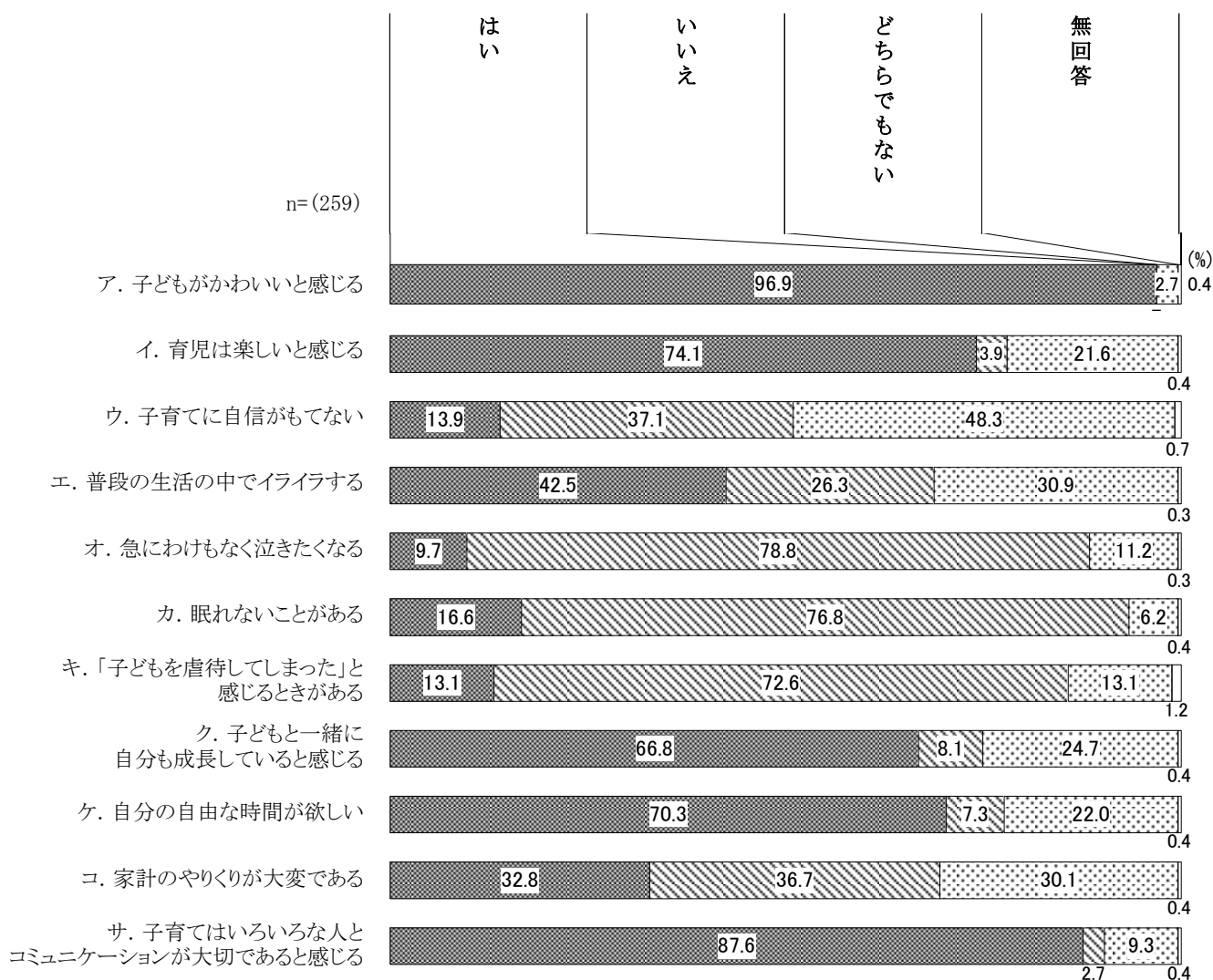
問16-1 配偶者やパートナーの協力の仕方に満足していますか。(○は1つだけ)



配偶者やパートナーの家事や育児への関わりについて、「満足している」と「まあまあ満足している」を合わせると、82.7%となっています。一方、「あまり満足していない」は9.0%、「満足していない」は4.7%となっています。

(6) 現在の気持ち

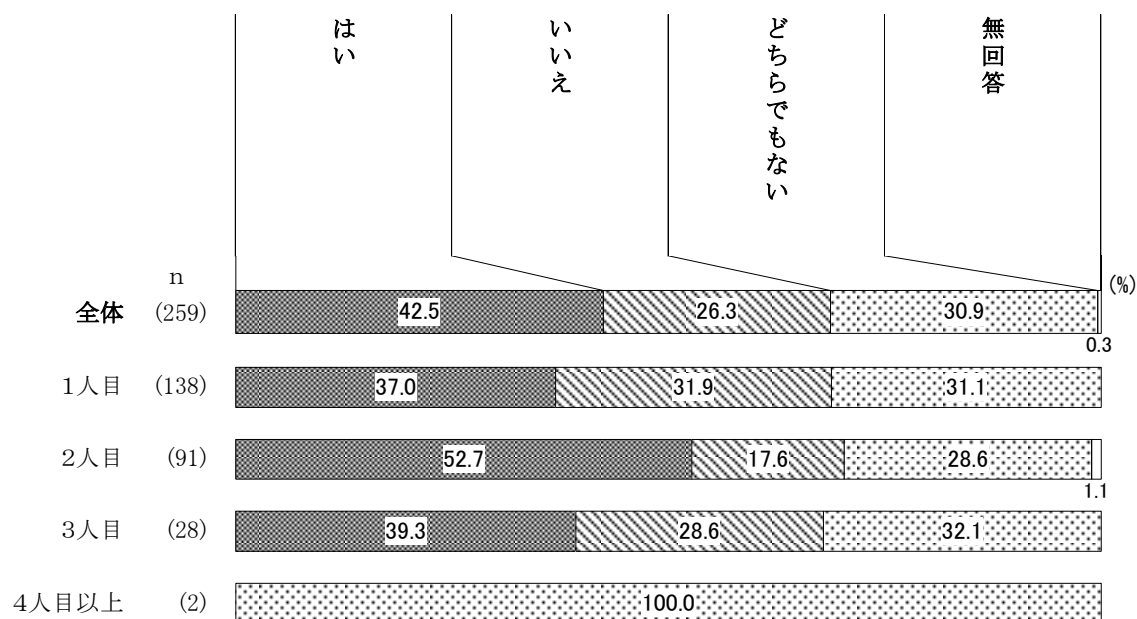
問17 今のあなたの気持ちについて、お答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)



育児に関する現在の気持ちについて、回答率の高い項目をみると、「子どもがかわいいと感じる」が96.9%で最も高く、以下「子育てではいろいろな人とのコミュニケーションが大切であると感じる」87.6%、「育児は楽しいと感じる」74.1%の順になっています。その一方で「普段の生活の中でイライラする」が42.5%となっています。

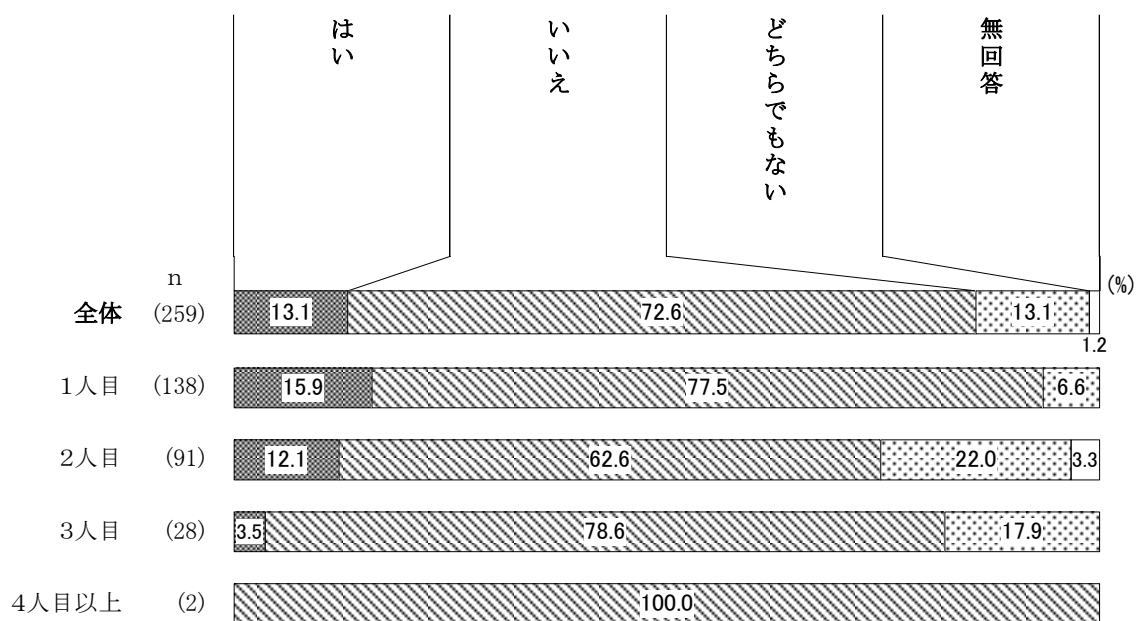
〈 今回健診を受けた子ども別／現在の気持ち 〉

■ 普段の生活の中でイライラする



今回健診を受けた子ども別でみると、「普段の生活の中でイライラする」では「はい」が2人目で高く、52.7%となっています。

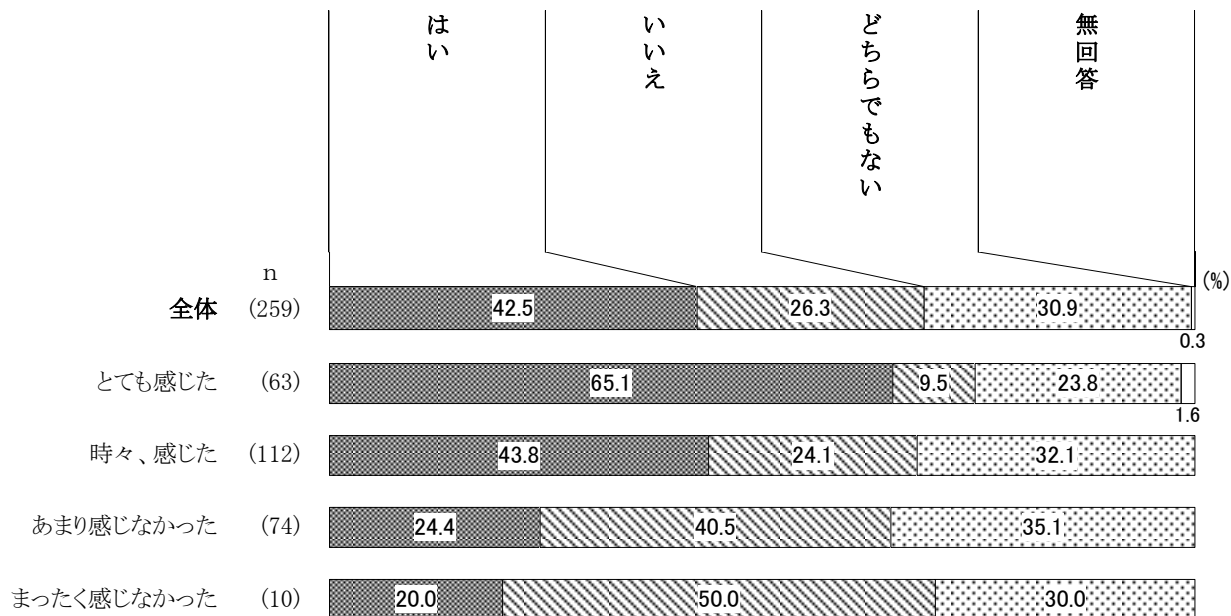
■ 「子どもを虐待してしまった」と感じるときがある



今回健診を受けた子ども別でみると、「子どもを虐待してしまった」と感じるときがある」では「はい」が1人目で15.9%となっています。

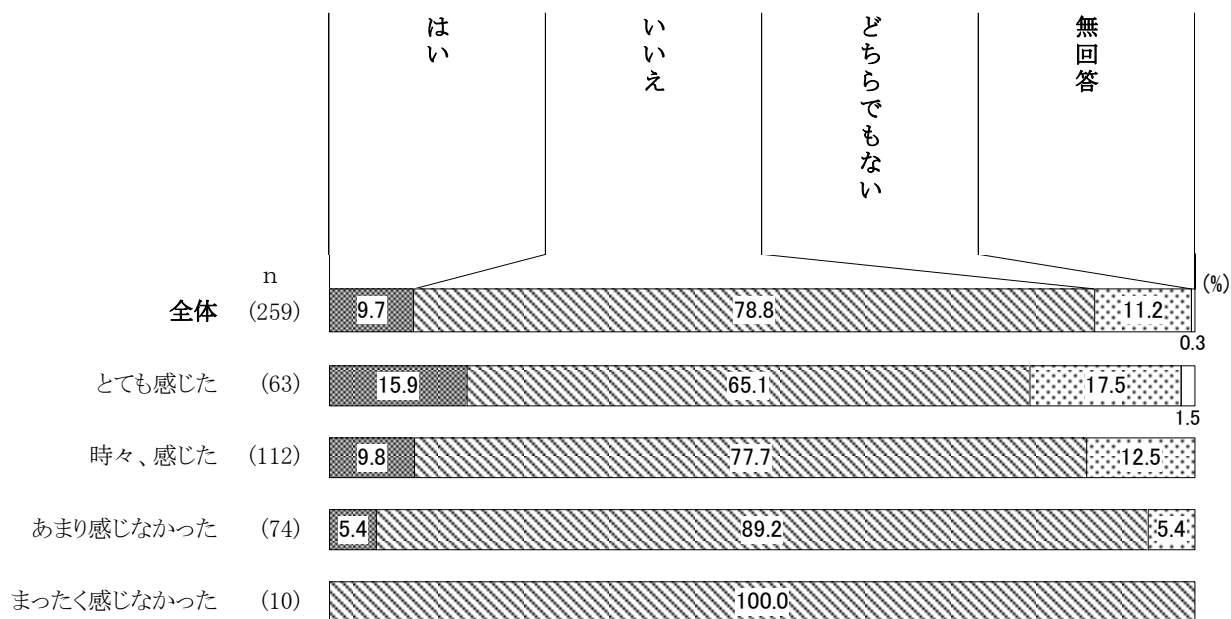
〈産後の不安や負担感別／現在の気持ち〉

■ 普段の生活の中でイライラする



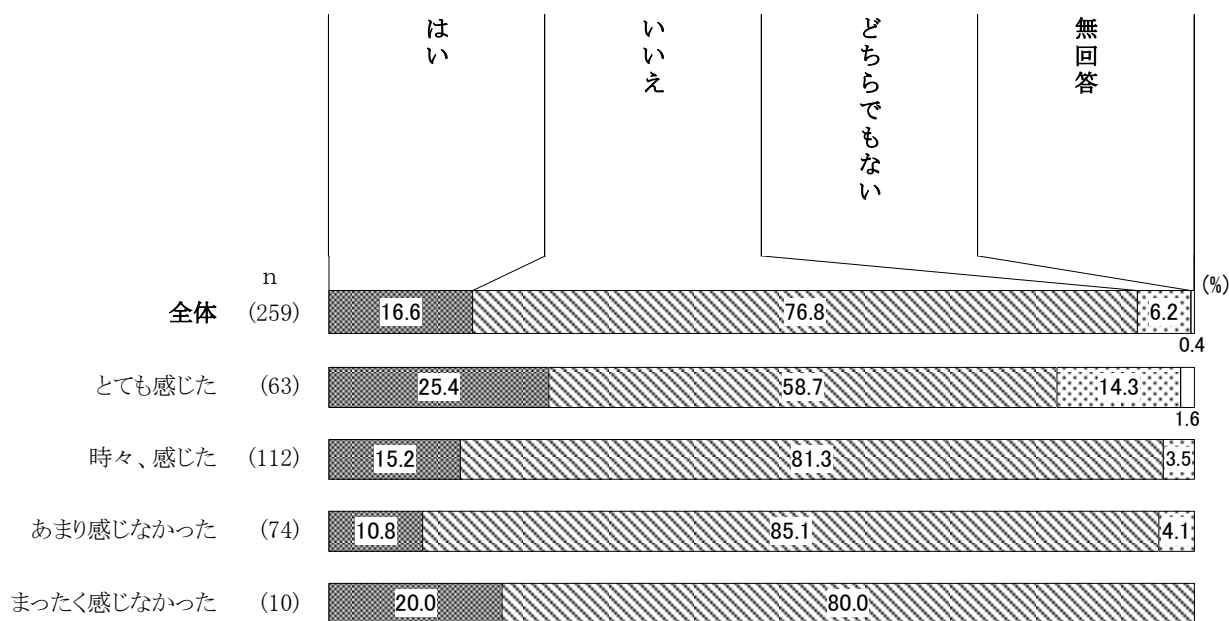
産後の不安や負担感別でみると、《普段の生活の中でイライラする》では「はい」がとても感じた層で高く、65.1%となっています。

■ 急にわけもなく泣きたくなる



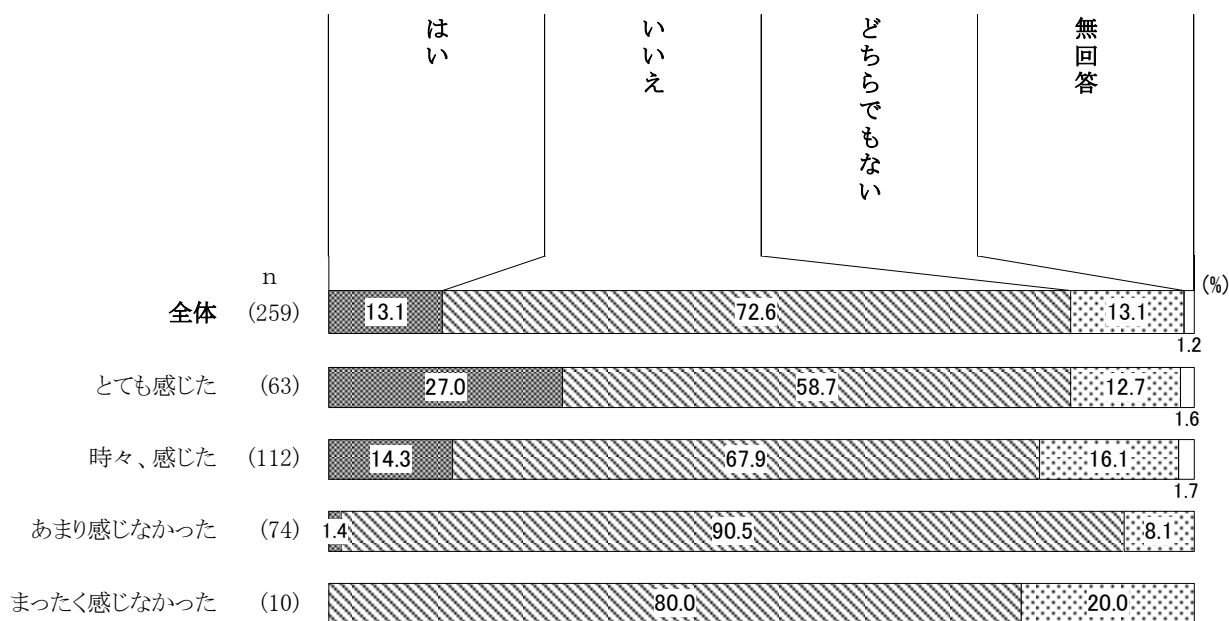
産後の不安や負担感別でみると、《急にわけもなく泣きたくなる》では「はい」が、とても感じた層で15.9%となっています。

■眠れないことがある



産後の不安や負担感別でみると、「眠れないことがある」では「はい」が、とても感じた層で25.4%となっています。

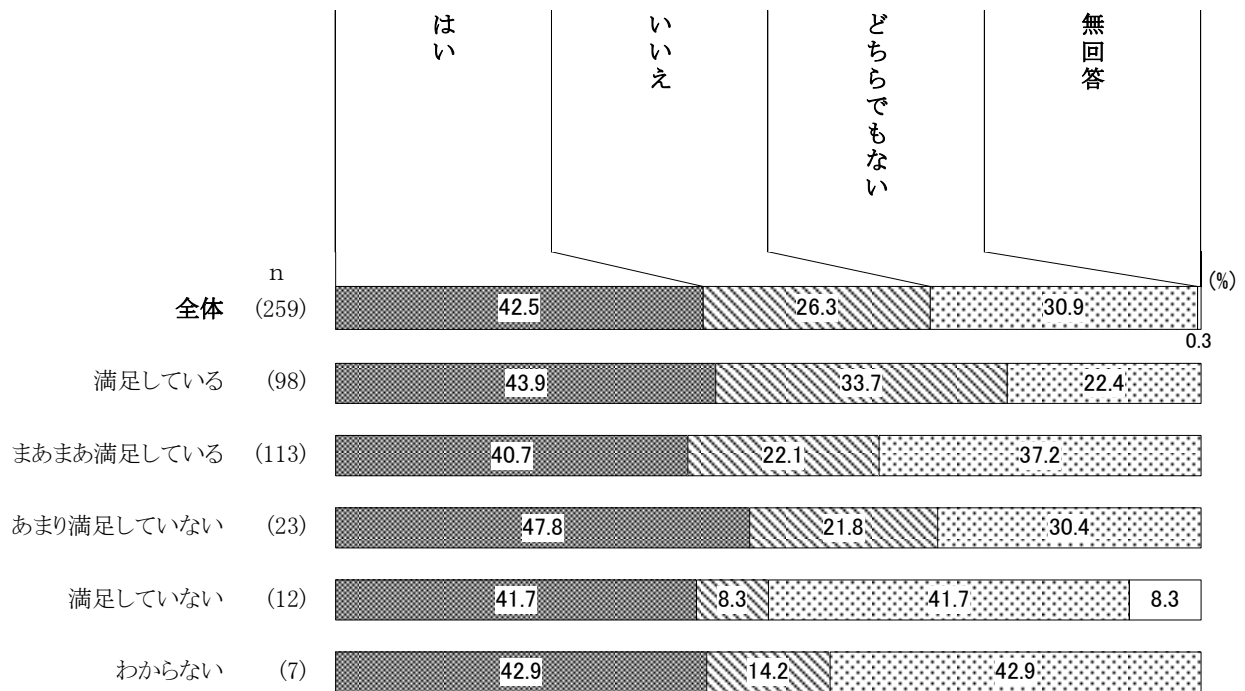
■「子どもを虐待してしまった」と感じるときがある



産後の不安や負担感別でみると、「子どもを虐待してしまったと感じるときがある」では「はい」が、とても感じた層で27.0%となっています。

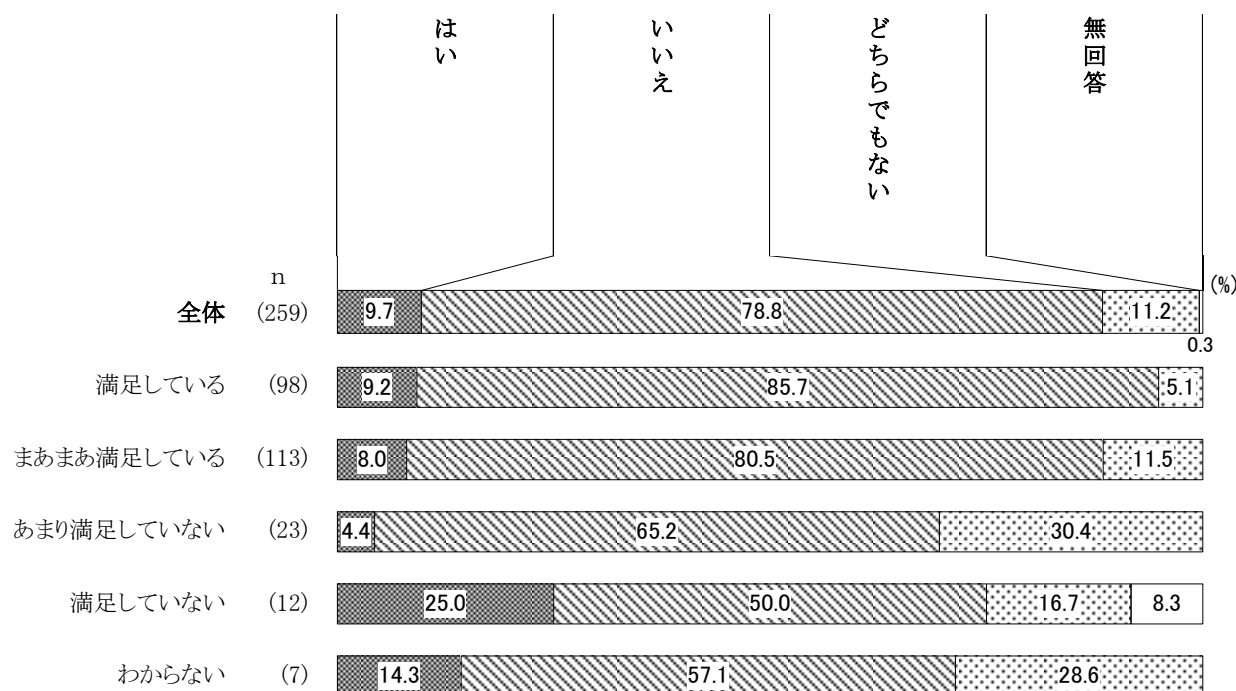
〈 配偶者やパートナーの協力の仕方への満足度別／現在の気持ち 〉

■ 普段の生活の中でイライラする



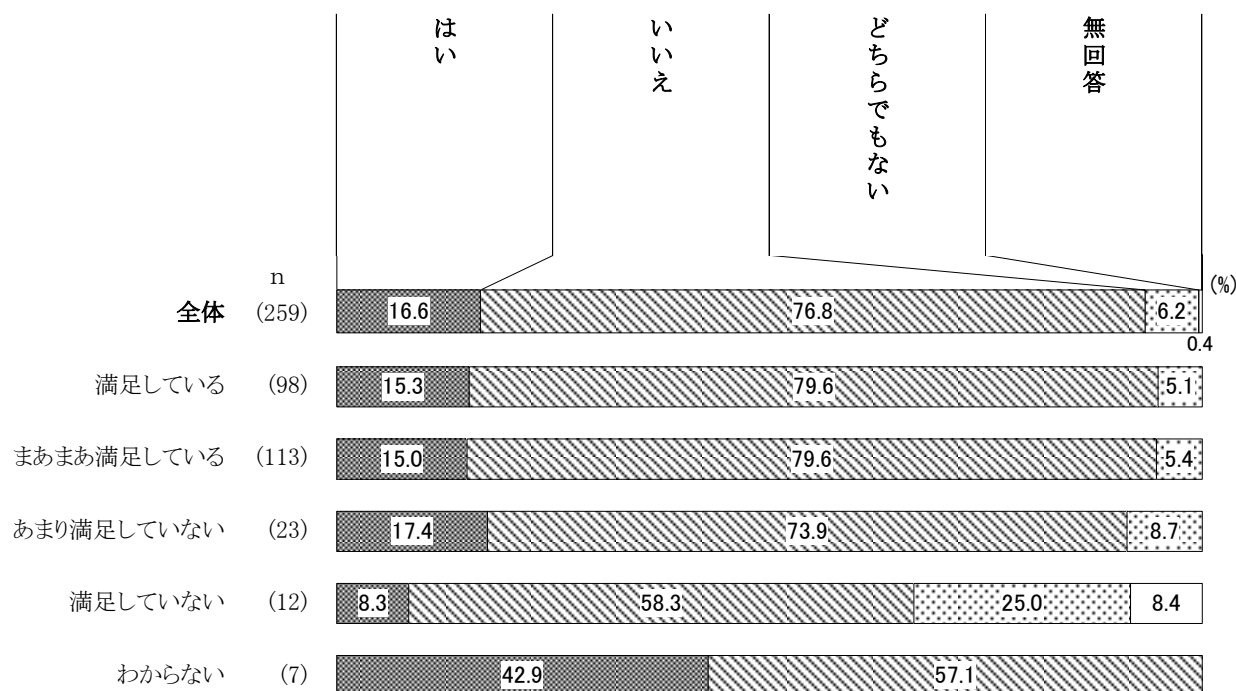
配偶者やパートナーの協力の仕方への満足度別でみると、「普段の生活の中でイライラする」では「はい」が、すべての層で4割台となっています。

■急にわけもなく泣きたくなる



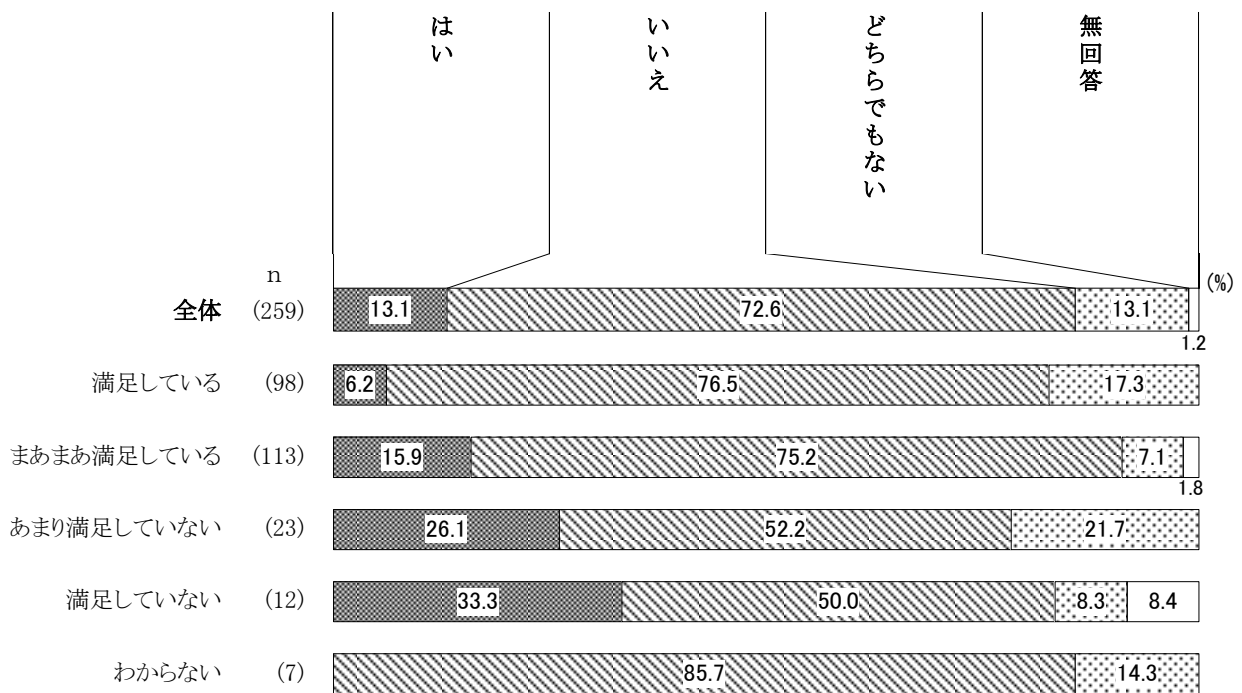
配偶者やパートナーの協力の仕方への満足度別で見ると、「急にわけもなく泣きたくなる」では「はい」が、満足している、まあ満足している層では1割弱となっています。

■眠れないことがある



配偶者やパートナーの協力の仕方への満足度別で見ると、「眠れないことがある」では「はい」が、満足している、まあ満足している層では15%ほどとなっています。

■ 「子どもを虐待してしまった」と感じるときがある

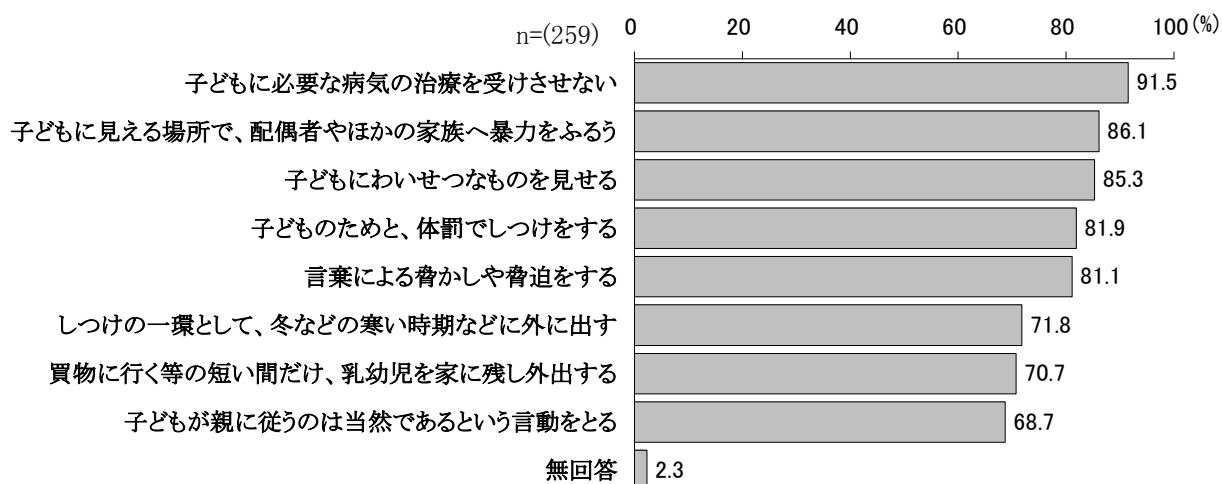


配偶者やパートナーの協力の仕方への満足度別でみると、「子どもを虐待してしまった」では「はい」が、まあ満足している層で15.9%となっています。



## (7) 虐待と感ずるもの

問18 次の中で、あなたが虐待と感ずるものを選んでください。(○はあてはまるものすべて)



虐待と感ずるものとしては、「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」が91.5%で最も高く、次いで「子どもに見える場所で、配偶者やほかの家族へ暴力をふるう」が86.1%、「子どもにわいせつなものを見せる」が85.3%、「子どものためと、体罰でしつけをする」が81.9%、「言葉による脅かしや脅迫をする」が81.1%となっています。

(8) 虐待について、身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待があることの認知

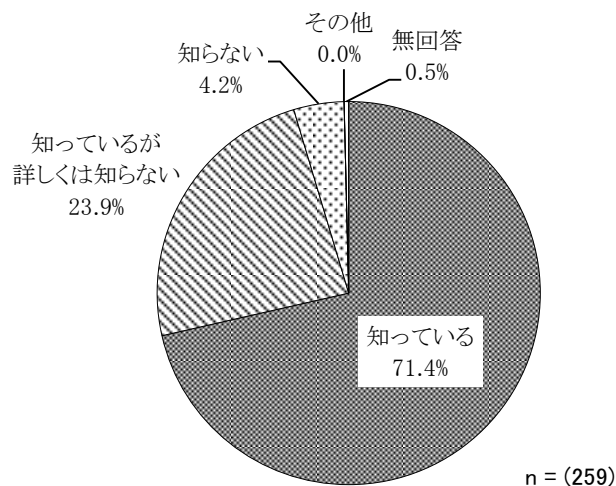
問19 あなたは虐待について、身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待があることを知っていますか。(○は1つだけ)

身体的虐待：殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束するなど

性的虐待：子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、ポルノグラフィの被写体にするなど

ネグレクト：食事を与えない、ひどく不潔にする、家に閉じ込める、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

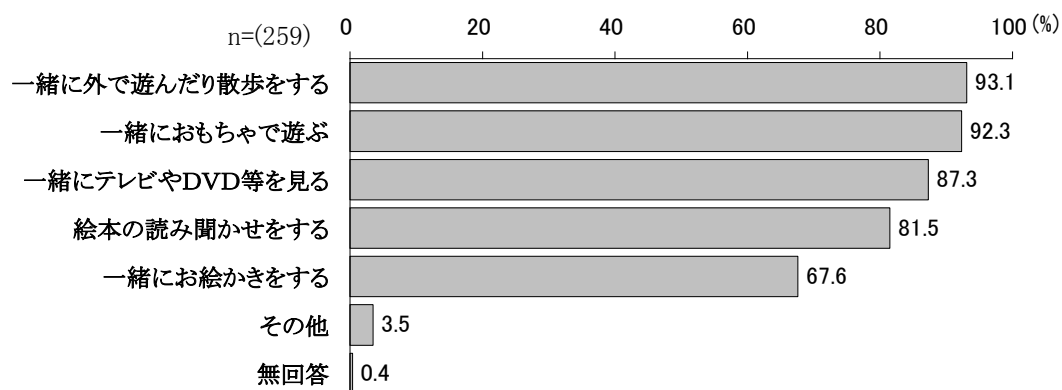
心理的虐待：言動による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうなど



虐待について、身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待があることを「知っている」が71.4%で、これに「知っているが詳しくは知らない」の23.9%を合わせた《周知度》は95.3%を占めています。

## (9) 子どもへの関わり方

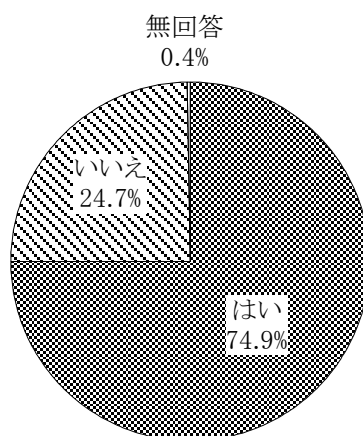
問20 あなたはお子さんにどのような関わりをしていますか。(○はあてはまるものすべて)



子どもとの関わりについては、「一緒に外で遊んだり散歩をする」が93.1%と最も高く、次いで「一緒におもちゃで遊ぶ」が92.3%、「一緒にテレビやDVD等を見る」が87.3%となっています。

## (10) 子どものスマートフォンやタブレット等の使用の有無

問21 お子さんがスマートフォンやタブレット等を見たり、触ったりして使用することはありますか。(○は1つだけ)



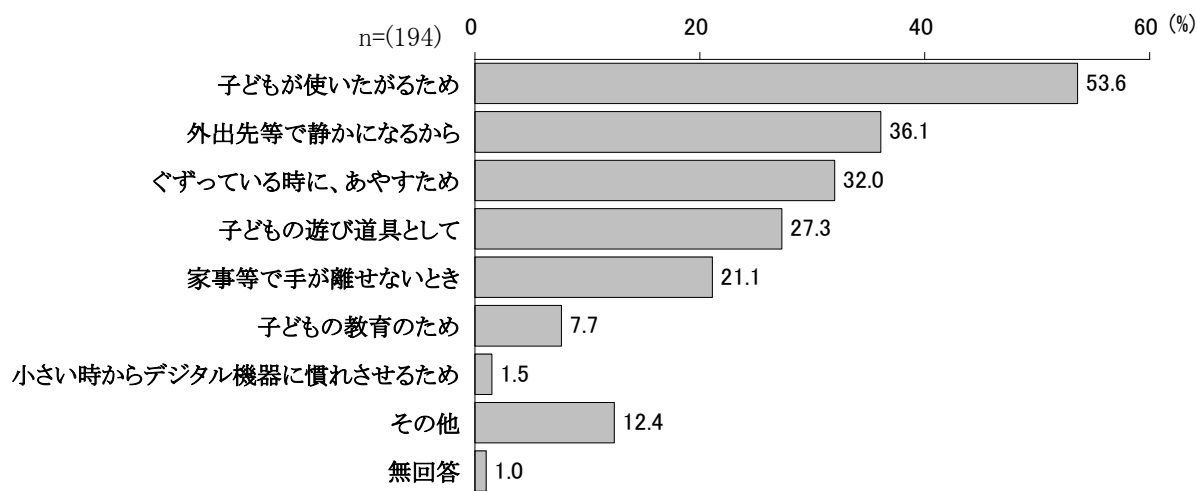
n = (259)

子どもがスマートフォンやタブレット等を見たり、触ったりして使用することについては、「はい」が74.9%を占めています。一方、「いいえ」は24.7%です。

(11) 子どものスマートフォンやタブレット等の使用目的

問21で「1. はい」とお答えの方に

問21-1 どのような目的で使用していますか。(〇はあてはまるものすべて)

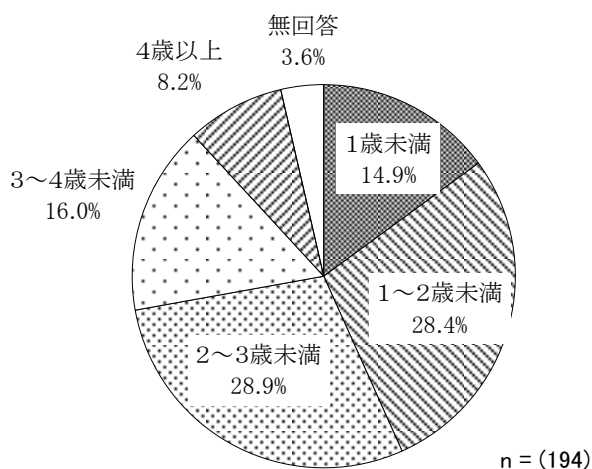


子どもがスマートフォンやタブレット等を見たり、触ったり、使用したりするという人に、その目的をきいたところ、「子どもが使いたがるため」が53.6%で最も高く、次いで「外出先等で静かになるから」が36.1%、「ぐずっている時に、あやすため」が32.0%、「子どもの遊び道具として」が27.3%となっています。

(12) 子どものスマートフォンやタブレット等の使用開始時期

問21で「1. はい」とお答えの方に

問21-2 どのくらいの時期から、お子さんが見たり、触ったりして使用していますか。(お子さんが複数いる場合は、平均をお答えください。)

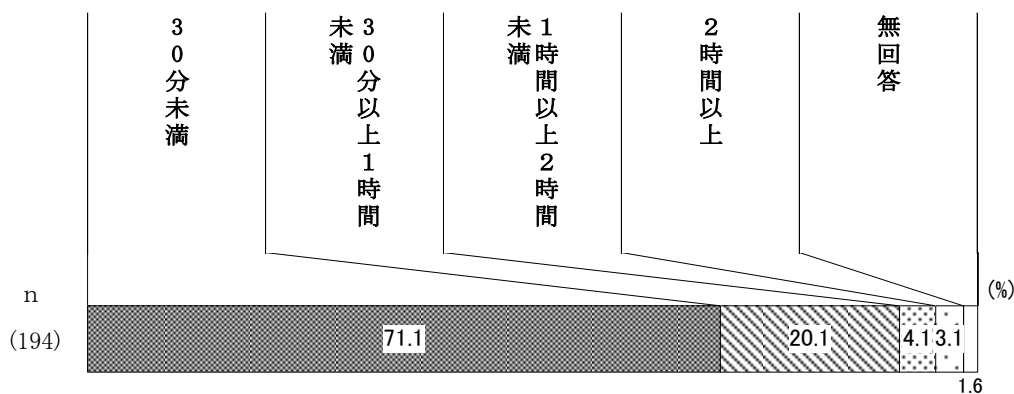


「子どものスマートフォンやタブレット等の使用開始時期」について保護者に聞いたところ、「1歳未満」14.9%、「1～2歳未満」28.4%であり、43.3%が2歳未満に使用を開始しています。

(13) 子どものスマートフォンやタブレット等の1日の使用時間

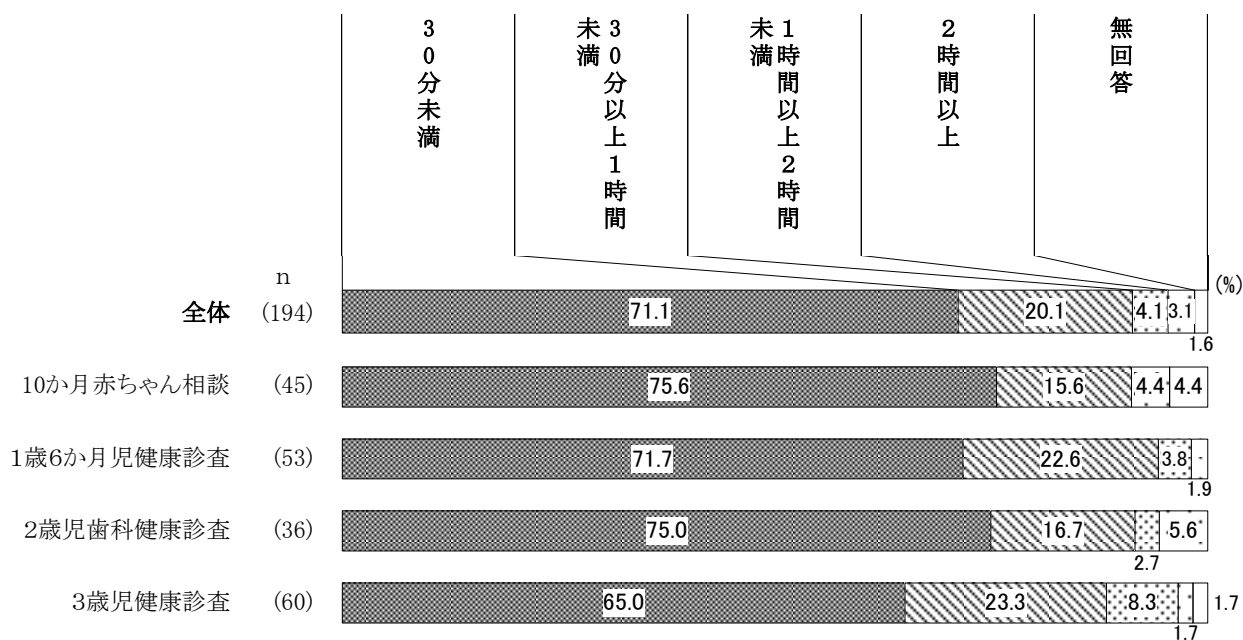
問21で「1. はい」とお答えの方に

問21-3 1日にどのくらい見たり、触ったりして使用していますか。(〇は1つだけ)



1日に見たり、触ったりして使用している時間は、「30分未満」が71.1%で最も高く、次いで「30分以上1時間未満」が20.1%となっています。

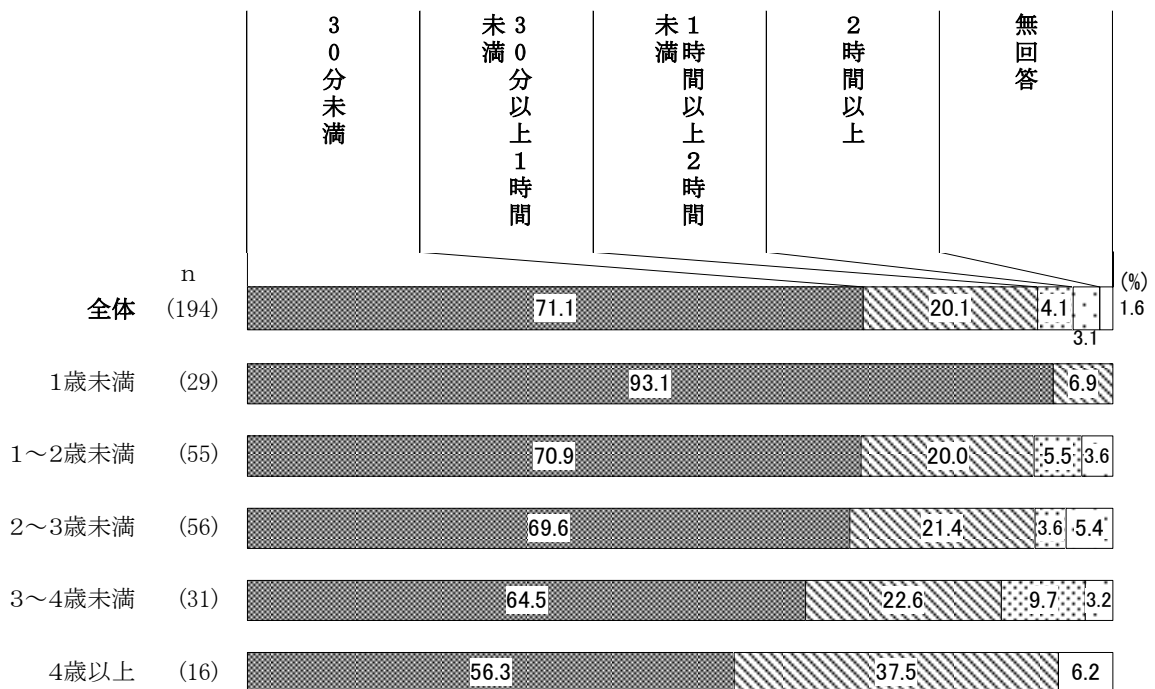
〈 健診対象区分別／子どものスマートフォンやタブレット等の1日の使用時間 〉



健診対象区分別でみると、どの区分でも「30分未満」が高いことには変わりはありませんが、3歳児健康診査のみ65.0%であり、他層より低くなっています。

〈 子どものスマートフォンやタブレット等の使用開始時期別

／子どものスマートフォンやタブレット等の1日の使用時間 〉

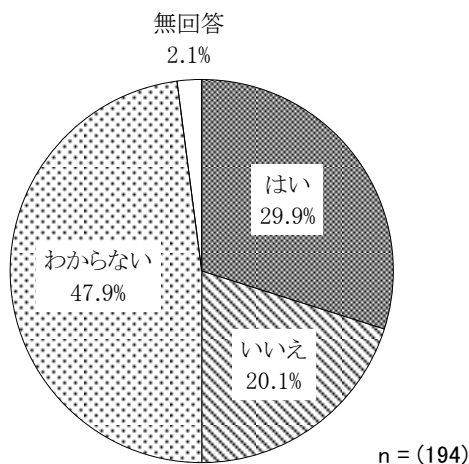


子どものスマートフォンやタブレット等の使用開始時期別でみると、回答が少ない層があるので参考に過ぎませんが、「30分未満」では開始時期が早い方が高く、逆に「30分以上1時間未満」では開始時期が遅い方が高くなっています。

(14) スマートフォンやタブレット等の子どもの生活への役立ち

問21で「1. はい」とお答えの方に

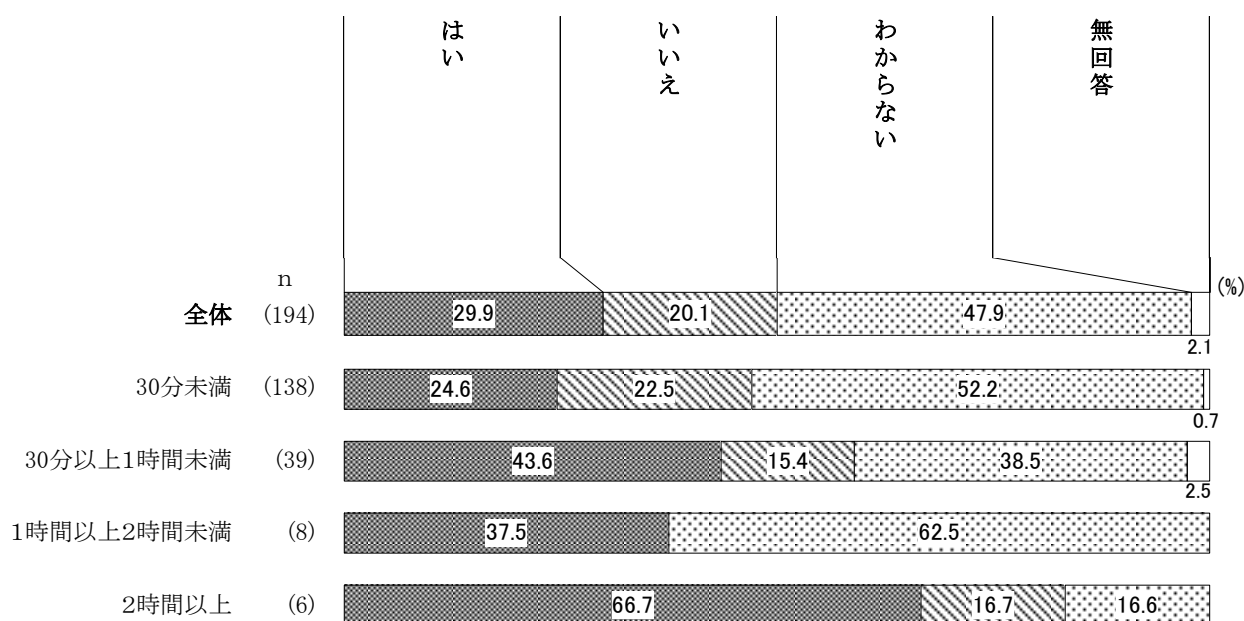
問21-4 スマートフォンやタブレットがお子さんの生活の中で役立っていると思いますか。  
(○は1つだけ)



スマートフォンやタブレット等が子ども生活に役立っているかについては、「はい」が29.9%、「いいえ」が20.1%となっています。一方、「わからない」が47.9%を占めています。

〈子どものスマートフォンやタブレット等の1日の使用時間

／スマートフォンやタブレット等の子どもの生活への役立ち〉

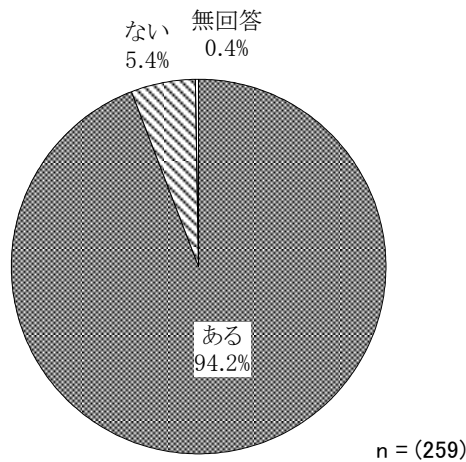


子どものスマートフォンやタブレット等の1日の使用時間別でみると、「はい」では、30分未満が24.6%、30分以上1時間未満が43.6%と、後者が約20ポイントほど高くなっています。

### 3. 子どもの健康管理

#### (1) かかりつけ医の有無

問22 かかりつけ医がありますか。(○は1つだけ)

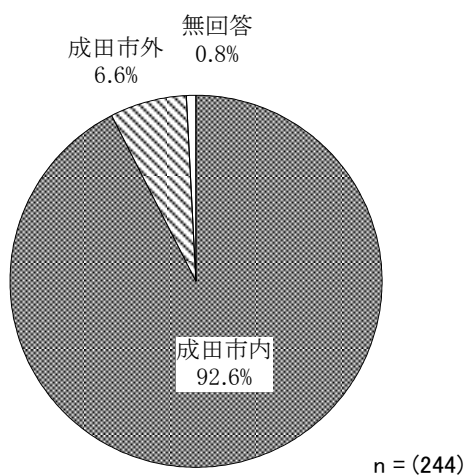


かかりつけ医については、「ある」が94.2%を占めています。

#### (2) かかりつけ医がいる医療機関の場所

問22で「1. ある」とお答えの方に

問22-1 かかりつけ医のいる医療機関はどこにありますか。(○は1つだけ)

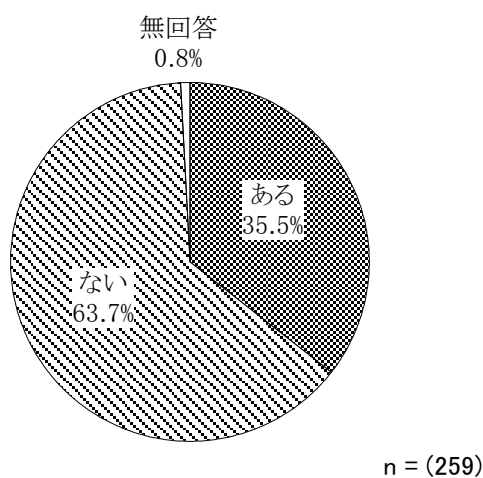


かかりつけ医が「ある」という人に、その場所をきいたところ、「成田市内」が92.6%を占めています。



## (3) かかりつけ歯科医の有無

問23 かかりつけ歯科医がありますか。(○は1つだけ)

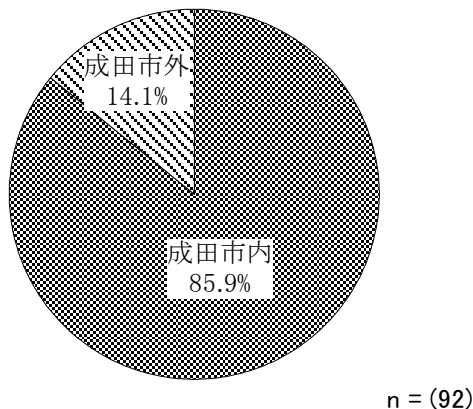


かかりつけ歯科医が「ある」は35.5%である。一方、「ない」は63.7%を占めています。

## (4) かかりつけ歯科医がいる歯科医院の場所

問23で「1. ある」とお答えの方に

問23-1 かかりつけ歯科医のいる歯科医院はどこにありますか。(○は1つだけ)



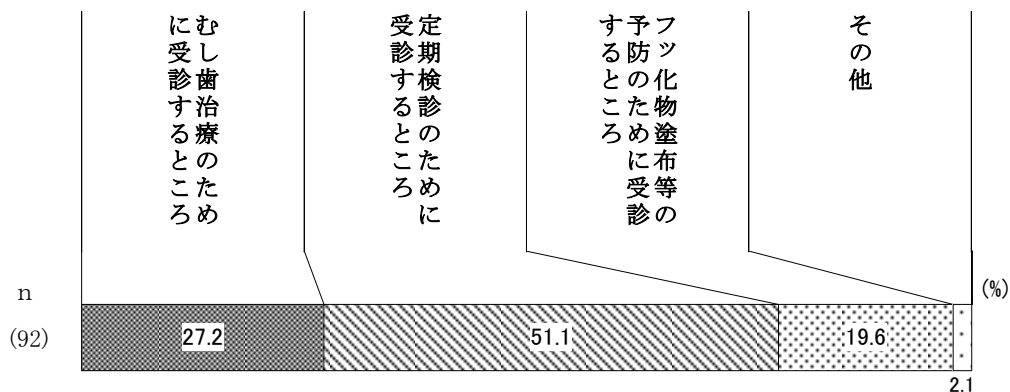
かかりつけ歯科医が「ある」という人に、その場所をきくと、「成田市内」が85.9%を占めています。

(5) 子どもにとって、かかりつけ歯科医とは

問23で「1. ある」とお答えの方に

問23-2 お子さんにとって、かかりつけ歯科医とは、どのようなものですか。

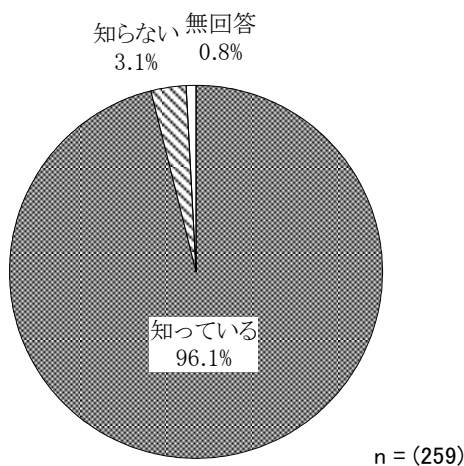
(○は1つだけ)



かかりつけ歯科医が「ある」という人に、かかりつけ歯科医の目的をきいたところ、「定期検診のために受診するところ」が51.1%で最も高く、以下「むし歯治療のために受診するところ」(27.2%)、「フッ化物塗布等の予防のために受診するところ」(19.6%)の順になっています。

(6) 成田市急病診療所の認知

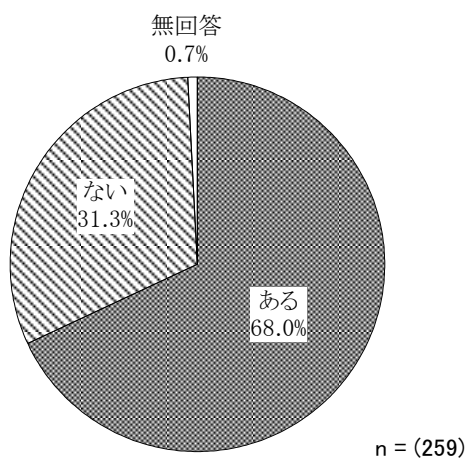
問24 成田市急病診療所（診療時間：月曜～土曜19時～22時45分／日曜・祝日10時～16時45分、19時～22時45分）を知っていますか。(○は1つだけ)



成田市急病診療所について、「知っている」が96.1%を占めています。

(7) 子どもの休日や夜間の医療機関受診の有無

問25 お子さんが、休日や夜間に医療機関を受診したことがありますか。(○は1つだけ)

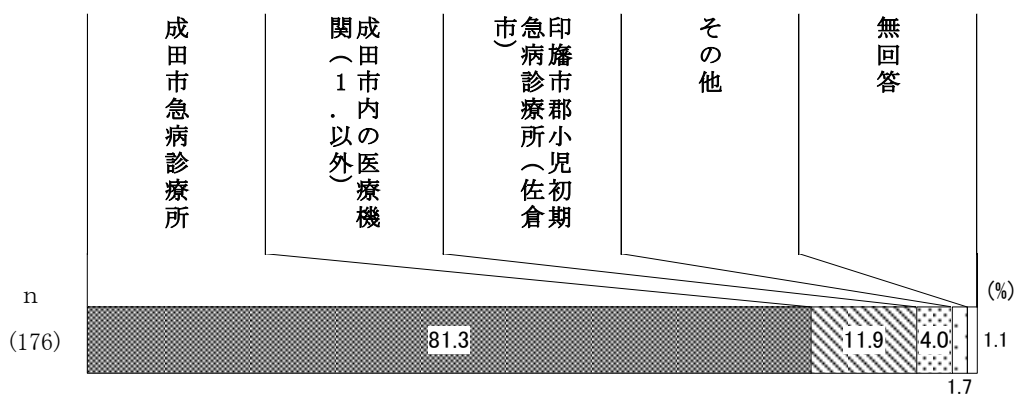


子どもが、休日や夜間に医療機関を受診したことが「ある」は68.0%を占めています。一方、「ない」は31.3%です。

(8) 休日や夜間に直近で受診した医療機関

問25で「1. ある」とお答えの方に

問25-1 休日や夜間に直近で受診した医療機関はどこですか。(○は1つだけ)

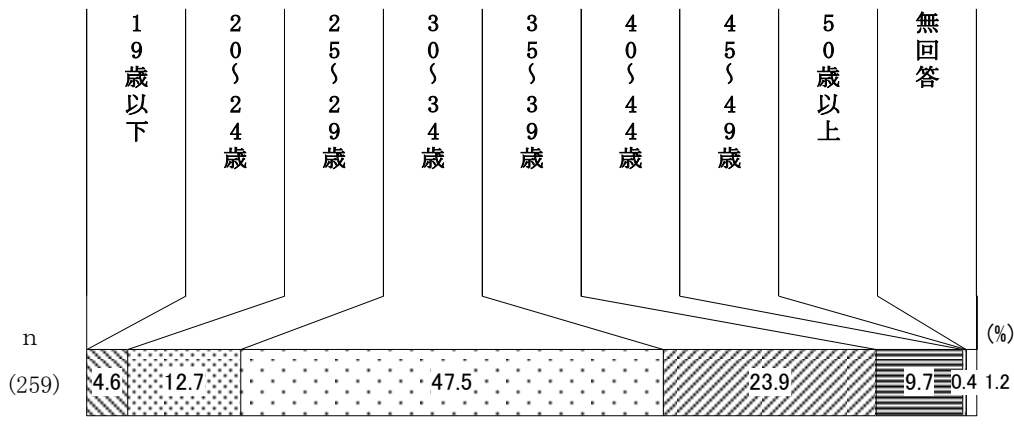


子どもが、休日や夜間に医療機関を受診したことが「ある」という人に、その医療機関名をきいたところ、「成田市急病診療所」が81.3%で最も高く、次いで「成田市内の医療機関」が11.9%となっています。

## 4. 回答者属性

### (1) 年齢

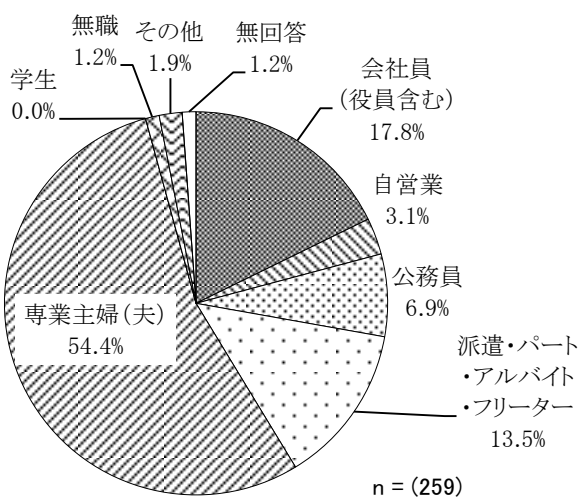
問26 あなたの年齢をおきかせください。(○は1つだけ)



回答者の年齢は「30～34歳」が47.5%で最も高く、次いで「35～39歳」が23.9%、「25～29歳」が12.7%となっています。

### (2) 職業

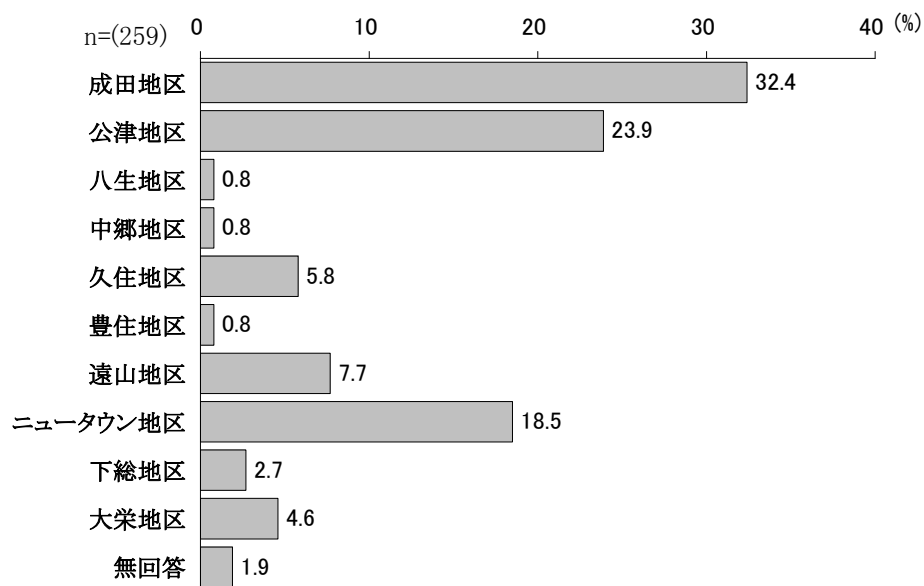
問27 あなたの職業は、以下のどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)



回答者の職業は、「専業主婦(夫)」が54.4%で最も高く、次いで「会社員(役員)」が17.8%、「派遣・パート・アルバイト・フリーター」が13.5%となっています。

## (3) 居住地区

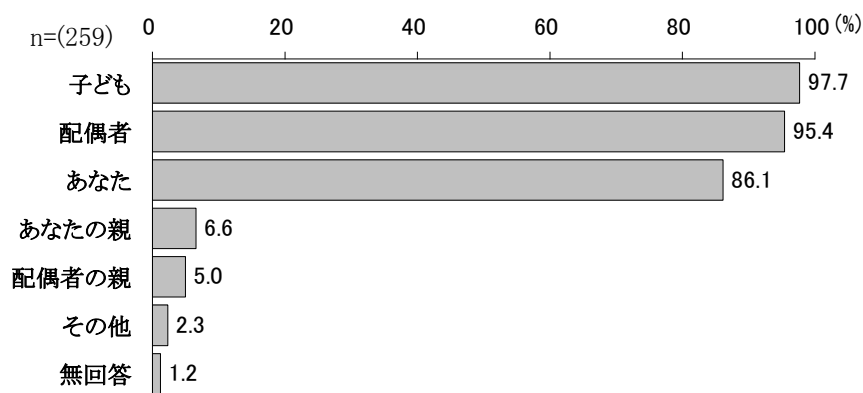
問28 現在お住まいの地区名（地区名がわからない場合はご住所（番地は結構です）をおきかせください。（○は1つだけ）



居住地区は、「成田地区」が32.4%で最も高く、次いで「公津地区」が23.9%、「ニュータウン地区」が18.5%となっています。

## (4) 同居家族

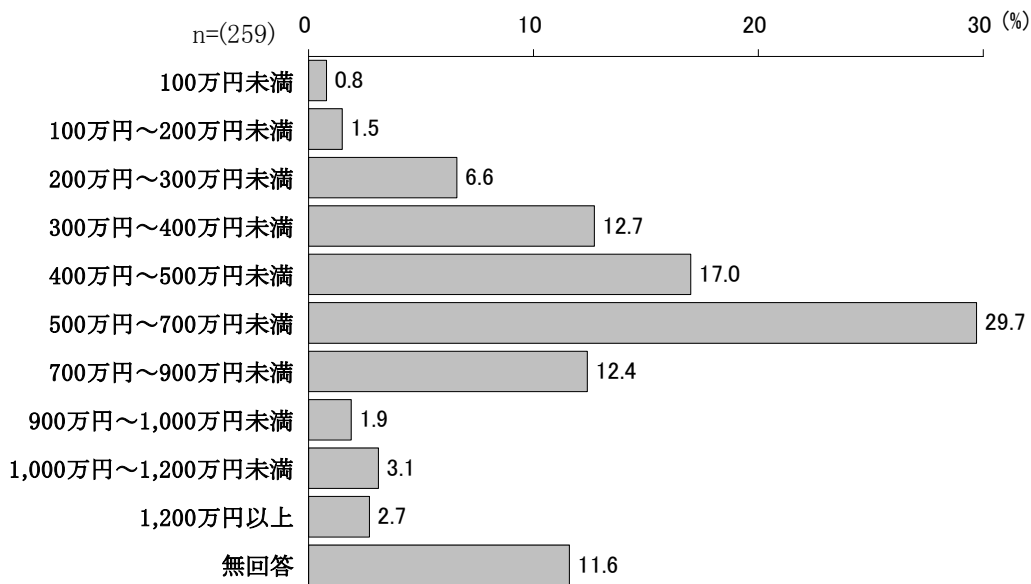
問29 あなたを中心として見た時、現在一緒に住んでいる（生活している）家族構成は、どのようになっていますか。（○はあてはまるものすべて）



現在一緒に住んでいる（生活している）人は、「子ども」が97.7%、「配偶者」が95.4%となっています。

(5) 世帯年収

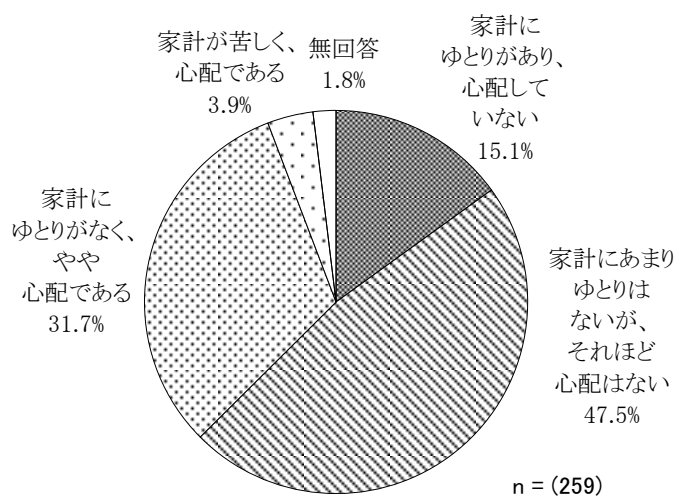
問30 世帯全員の昨年1年間の税引前の合計収入額（年金・手当等を含みます）について、あてはまるものを選んでください。（○は1つだけ）



世帯収入については、「500万円～700万円未満」が29.7%で最も高く、次いで「400万円～500万円未満」が17.0%、「300万円～400万円未満」が12.7%となっています。

(6) 現在の暮らし向き

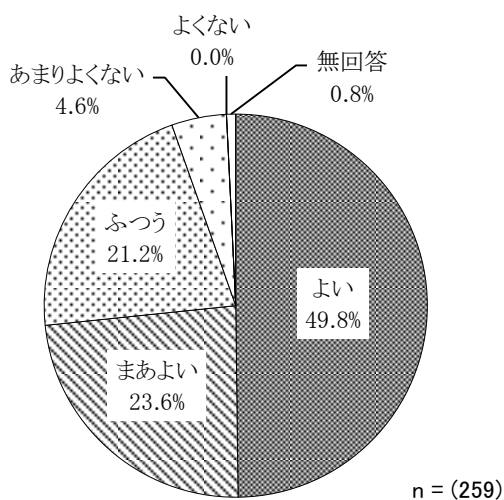
問31 現在の暮らし向きについて、お答えください。（○は1つだけ）



現在の暮らし向きについては、「家計にあまりゆとりはないが、それほど心配はない」が47.5%で最も高く、「家計にゆとりがなく、やや心配である」が31.7%となっています。

(7) 健康状態

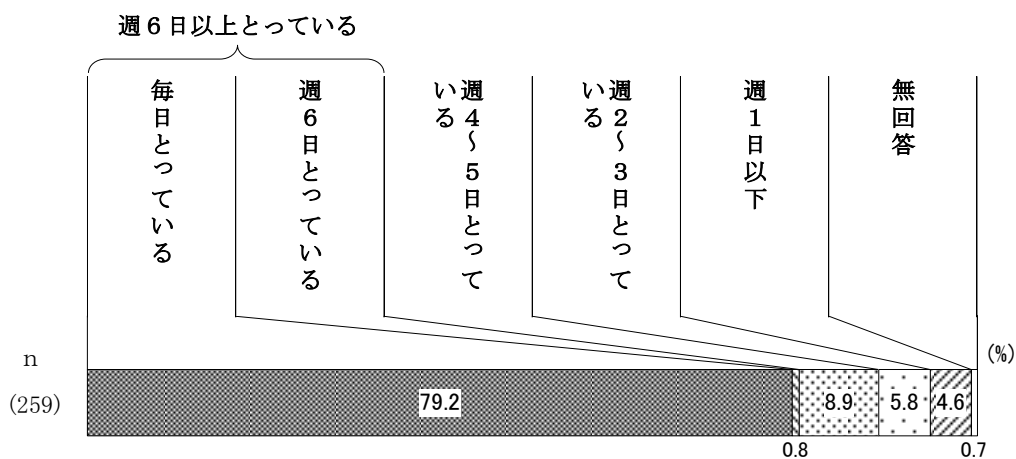
問32 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)



健康状態については、「よい」が49.8%で、これに「まあよい」(23.6%)を合わせた《健康》は73.4%を占めています。

(8) 朝食の摂取状況

問33 普段、朝食をとっていますか。(栄養ドリンク剤、野菜ジュース等のみの場合は含みません。)(○は1つだけ)

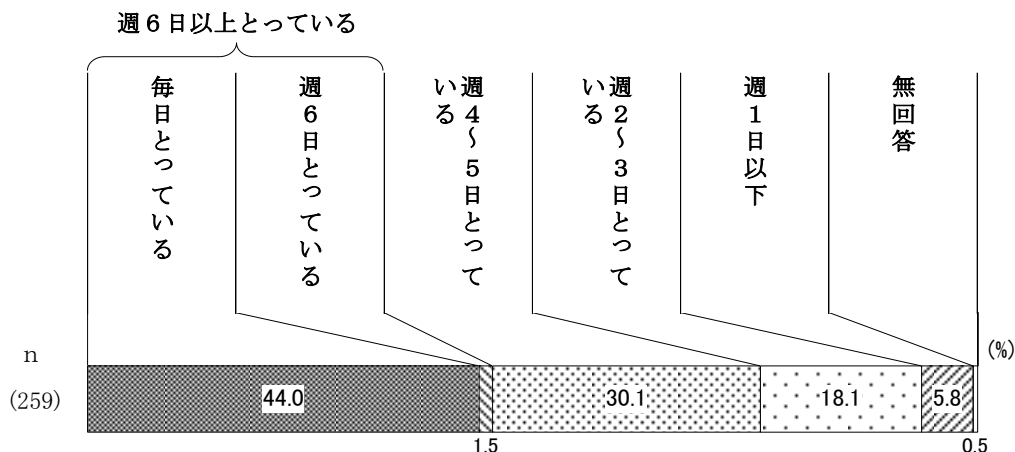


朝食の摂取状況については、「週6日以上とっている」人は80.0%となっています。

(9) バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況

問34 バランスのとれた食事（主食・主菜・副菜を組み合わせた食事）を、1日2回以上とっていますか。（○は1つだけ）

「主食」は米、パン、めん類などの穀類、「主菜」は魚、肉、卵、大豆料理など、「副菜」は野菜、きのこ、海藻料理などです。

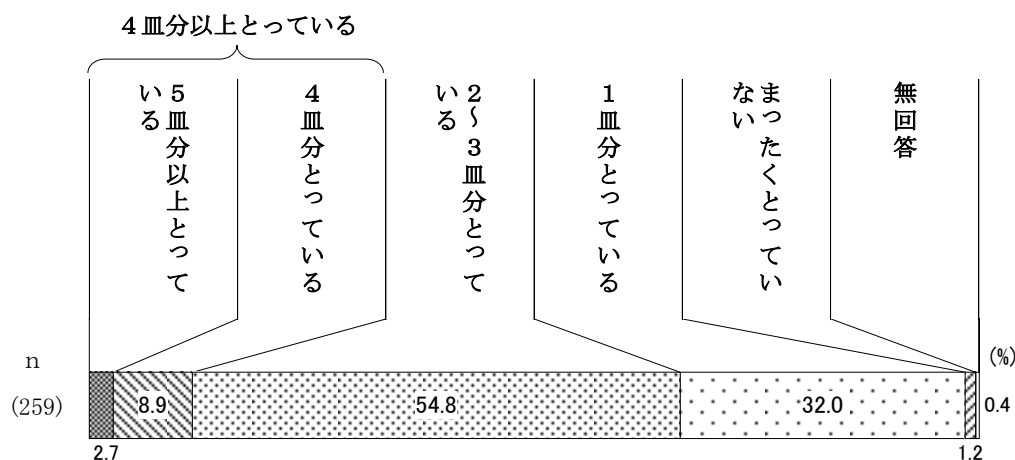


バランスのとれた食事の1日2回以上の摂取状況については、「週6日以上とっている」人は45.5%となっています。

(10) 1日の野菜摂取量

問35 野菜を一日何皿分とっていますか。（○は1つだけ）

1皿の野菜料理の目安量：おひたしなどの小鉢1皿や具だくさんの味噌汁1杯。（1皿野菜70g程度）

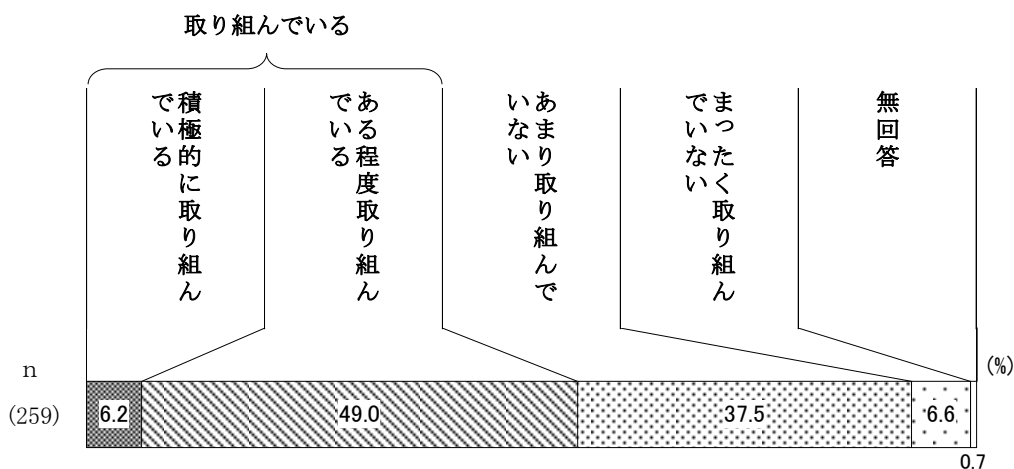


1日の野菜摂取量については、「4皿分以上とっている」人は11.6%となっています。



(11) 減塩の取り組み状況

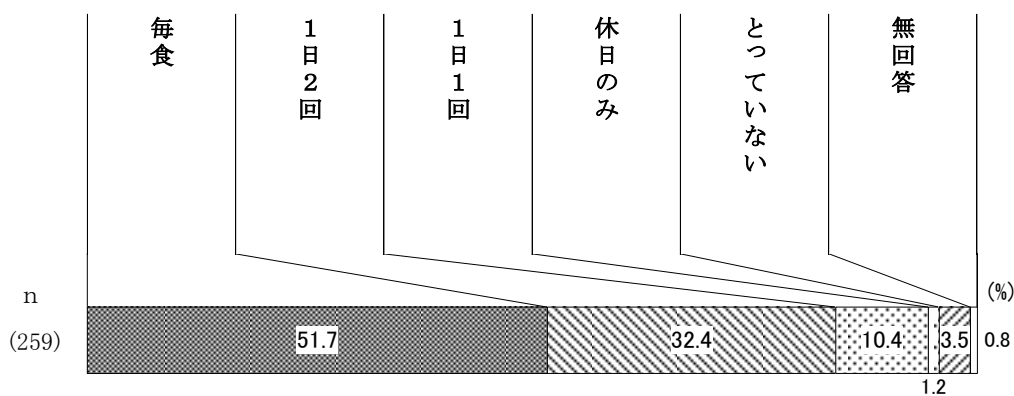
問36 普段の食生活において、減塩に取り組んでいますか。(○は1つだけ)



減塩への取り組み状況については、「取り組んでいる」人は55.2%となっています。

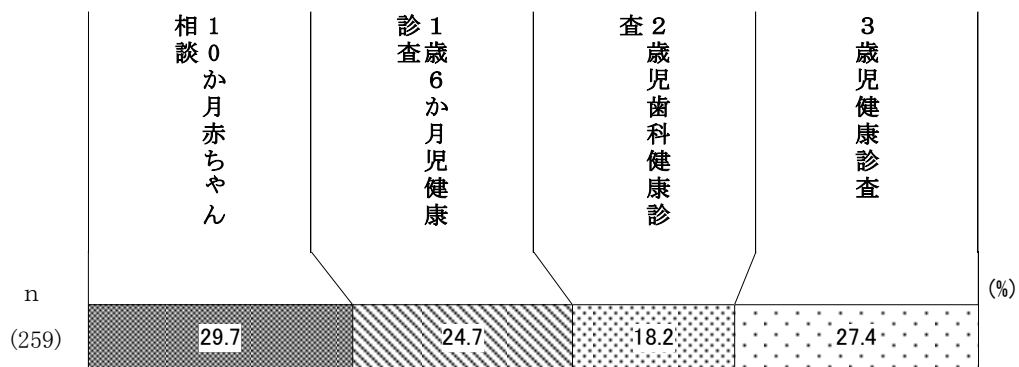
(12) 子どもとの食事の頻度

問37 毎日お子さんと一緒に食事をとっていますか。(○は1つだけ)



子どもと一緒に食事をとっている人は、「毎食」が51.7%と最も高くなっています。しかし「とっていない」も3.5%となっています。

(13) 健診対象区分



## 第4章 保健サービス等に関する自由回答



成田市の保健サービス等に関するご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

成田市の保健サービス等に関する意見、要望として、**両調査から計239名、延べ273件の回答**を得られましたので、一部抜粋して掲載いたします。

#### ■健診、検診（47件）

- ・市の検診で、センター以外での回数がもう少し増えれば良いと思います。（年度の前半、後半に数回ずつなど）
- ・40才になるまでは市の検診を定期的に受けていましたが、40才を過ぎると血液検査等がなくなり、またガン検診等も予約制となり、面倒に感じる部分も多く、ここ数年は夫の保険組合の健診を受けていますが、40才を過ぎても血液検査等やってほしいなあと思ってしまいます。また予約制も良いのですが、健診全体を予約制にするのは難しいのでしょうか？
- ・健康診断のさらなる充実。
- ・昨年度、市が実施する検診に行かなかった人にも受診票を送って欲しい。

#### ■情報（40件）

- ・成田市の保健サービスについては、いたれりつくせりであると思う。しかし、まだまだ知らない人も多いと思う。（特に高齢者）ので、今後の課題としては、サービスの内容について、そういう弱者について、さらに知らしめる工夫が必要であると思う。
- ・健康である為、あまり詳しくみていませんでした。市民（高齢者）にとって関心のある情報を発信して下さい。宜しくお願い致します。
- ・市民に対して、成田市の保健サービスはどういう事をしているのか、広告等を使用して市民に認識させた方がいいと思います。保健サービスについて無知な人も多いと思われるので、もっと保健サービス等の活動を増加させて市民の認識を深めた方がいいと思いました。

#### ■行政の取り組み（29件）

- ・年配の方への対応や、子育て世代への対応、若い世代への対応などいろいろ大変かと思うが、良い策を考えて市民と一緒に行動出来る様主導して頂きたい。
- ・介護付老人マンションの誘致（切望しております。ゆとりのあるゴージャス感のある物）。
- ・これからは行政が計画をたてて、市民にさせる保健サービスではなく、市民が自分達で考え、地域で健康に楽しく生活するにはどの様にしていかなければならないのかを進めていかななくては、市民の健康増進は成り立たなくなっていくと思われる。その為に行政側は、前例のない事はやらない、又は無難な政策のみをするのではなく、斬新な意見を取り入れたり、もっとフレキシブルな対応もして欲しいです。柔かい頭をもって、何がポイントかを見きわめる目が必要であると思われます。
- ・成田市は財政が良く環境的にも住みやすいと感じてはいますが、今の状況がこの先も続くとは限らないので、どんなサービスにしても必要なものは残し無駄のないサービス提供をして頂けたらと思います。又、成田市がこの先も多くの人たちに愛され続ける街である様、形だけではなく中身が充実した、又弱い立場の人たちに優しく平等であってほしいと考えます。

■満足している（28件）

- ・積極的に取り組んでいる様子が見て取れます。今後も続けていただけたらと思います。ありがとうございます。
- ・成田市は住みやすい市だと思います。私が乳がん検診を受けなかった時に何度もハガキを頂きました。なかなか忙しくて行けませんでした…。今後もサービスを続けて頂きたいと思います。

■施設、設備（22件）

- ・健康の維持・増進には適度な運動が必要だと考えますが、市民が手軽にスポーツ施設を利用できる所が少ないと思います。中台のプールなど夏場の一部の開放のみで全天候型にする等活用してほしいです。
- ・もっと高齢者が参加できるサークル、施設があると良い。他の県、市にくらべ少なく感じる。近所のお年寄りも、皆行く所（遊びに）、仲間が居なく家の中か庭に出る位。気軽に参加する場所がもっとあれば楽しみも増え、運動にもなるのでは。
- ・老人施設、サービスが豊かになるよう。成田市がモデルになるような建物の建設とサービス。暗く閉鎖されたイメージのない物、老人ホーム等。
- ・成田市は育児に関するサークルやイベントが充実していると思うが、屋内で遊べる施設が少ない。自由に動けるようになった2、3歳児に、児童館だと色々と制限（走らない、おもちゃが少ない等）があるし、有料の遊び場はしょっちゅう使うわけにはいかないの、体育館を無料で開放する日があったり、外に出られない時に、ただ走りまわられる場所があると、とても助かります。

■金銭面（20件）

- ・インフルエンザの予防接種について、高齢者には補助金があり1回1,000円と聞きました。子供は2回で6,000円…。今年も子2人に打ちましたがかなり痛い出費です。毎年のことですので大変な思いをしておられる親御さんはかなりいらっしゃるのでは？子供にも助成金を！！1回1,000円であれば接種率も上がるのではないかと思います。
- ・いろいろな健診を無料で実施してくれるのは有難いと思います。これからも継続してくれる事を願います。市内の医療機関すべてでジェネリック薬を利用出来るようにしてもらいたい。（扱っていないと言われてしまい、国保から負担してもらおうのが何となく気がひけます。）国保税がもう少し安ければいいと思います。

■医療全般（19件）

- ・後期高齢者となってから通院機会が多くなりましたが、どこの医療機関も非常に混み合い待ち時間も長く大変に思われますので市外まで通院する様な状況です。出来れば市内で受診したい。
- ・医療機関の充実。
- ・病院が閉まっている時の夜間の医療サービスがあったと思うが、平日・土・日関係なく診てもらえると助かる。とくに小さな子どもだったり、急な症状悪化の時。

■健康促進・活動（9件）

- ・健康に関する相談とか、体操教室など各町内自治会など、身近な所で進めてもらいたいと思う。
- ・健康な人生を送るために、元気なうちから行政が指導して、脳トレとか元氣體そうの企画を計画してほしい。特に1、2回ではなく半年ぐらい続けてほしい。高齢者が何時迄も元気でいられる様に外に出る楽しい会もあっても良いかな。

■高齢者（8件）

- ・高齢者（ニュータウン）が増えているので、訪問診療や薬局の自宅訪問サービスを充実して頂きたいと思います。

■この調査に関して（8件）

■相談（8件）

- ・個々人の要望の前に、定期的に個人に聞いてもらいたい。地域に、健康について、いつでも相談出来る場があると良い。現在もあるが地域が広すぎる。もっと細かく対応してもらいたい。

■過剰（5件）

- ・過剰サービスは良くないと思う。無理して健康づくりしている人であっけなく死んだ人を何人も見ている。病気になった時は病院へ行けば良いと思う。寿命が延びてもうれしくない。普通に生活して普通に死んでいく方が自然で良いと思う。インターネットもあるので調べられる。過剰なボランティアや不要なサービスで財政のムダ使いだけはやってほしくない。
- ・効率化のため合同検診などの事業は必要。しかし、サービスの名のもとに、あまりに多くの事業をやりすぎ。又、そのための広報、パンフレット等も税金のムダ。保健は本人の自覚なくしては不可。その分の税金を高額医療費の補助等に充当した方がよい。

■職員（5件）

■その他（25件）





使用した調査票



# 成田市健康増進計画策定に向けた健康意識調査

調査へのご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から成田市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび、本調査において、市民の皆様の健康づくりに関する意識をお聞きし、今後の健康づくり事業に役立てるとともに、市民の健康づくりを総合的に支援する計画である「成田市健康増進計画」の策定を進めてまいります。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査の実施にあたり、市内に居住する満20歳以上の男女2,000人を無作為に選ばせていただきました。調査の結果は、統計的に処理いたしますので、個人情報や個人が特定できる回答内容が公表されることは一切ございません。（本アンケート中「12. 保健サービス等に関するご意見やご要望について」の内容を除きます）

平成27年10月

成田市長 小泉 一成

## ～ ご記入にあたってのお願い ～

- 回答にかかる所要時間は、およそ15分です。
- 封筒のあて名のご本人がお答えください。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
- 例えば、(○は1つだけ)と回答の数が限られている質問では、指定の数以内でお選びください。
- 一部の方にのみ回答していただく場合があります。矢印等に従ってお答えください。
- 「その他」を選んだ場合は、( )内に具体的にご記入ください。
- 鉛筆、ボールペン、万年筆などのいずれをご使用されても結構です。

**調査期間：平成27年10月16日（金）～11月2日（月）**

◎ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、11月2日（月）までに郵便ポストに投函くださるようお願いいたします。

◎この調査に関してのお問い合わせは、下記問い合わせ先へお願いいたします。

### 【お問い合わせ先】

成田市健康子ども部健康増進課

千葉県成田市赤坂1-3-1

電話：0476-27-1111 担当：畠、青野

FAX：0476-27-1114

## 1. あなたの（回答者）ご自身について

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

### 《性別》

1. 男性

2. 女性

### 《年齢》

1. 20～24歳

4. 35～39歳

7. 50～54歳

10. 65～69歳

2. 25～29歳

5. 40～44歳

8. 55～59歳

11. 70～74歳

3. 30～34歳

6. 45～49歳

9. 60～64歳

12. 75歳以上

問2 あなたの職業は、以下のどれにあてはまりますか。（○は1つだけ）

1. 会社員（役員含む）

5. 専業主婦（夫）

2. 自営業

6. 学生

3. 公務員

7. 無職

4. 派遣・パート・アルバイト・フリーター

8. その他（ ）

問3 あなたが加入している医療保険はどれですか。（○は1つだけ）

1. 国民健康保険

2. 後期高齢者医療保険

3. その他（社保・共済・全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）等）

問4 あなたを中心として見た時、現在一緒に住んでいる（生活している）家族構成は、どのようになっていますか。（○は1つだけ）

1. 一人暮らし

5. 夫婦二世帯（親夫婦と子夫婦）

2. 夫婦のみ

6. ひとり親と子夫婦

3. 夫婦と未婚の子

7. 三世帯世帯

4. ひとり親と未婚の子

8. その他の世帯（ ）

問5 あなたと生計を共にしている世帯の人数は、何人ですか。

あなたを含めて

人

問6 あなたの最終卒業学校（中途退学の場合は、その前の学校）について、あてはまるものを選んでください。（○は1つだけ）

1. 義務教育修了	4. 短大・高専	7. その他
2. 高校・旧制中	5. 大学	( )
3. 専門学校	6. 大学院	

問7 問5の世帯全員の昨年1年間の税引前の合計収入額（年金・手当等を含みます）について、あてはまるものを選んでください。（○は1つだけ）

1. 100万円未満	6. 500万円～700万円未満
2. 100万円～200万円未満	7. 700万円～900万円未満
3. 200万円～300万円未満	8. 900万円～1,000万円未満
4. 300万円～400万円未満	9. 1,000万円～1,200万円未満
5. 400万円～500万円未満	10. 1,200万円以上

問8 現在の暮らし向きについて、お答えください。（○は1つだけ）

1. 家計にゆとりがあり、心配していない	3. 家計にゆとりがなく、やや心配である
2. 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配はない	4. 家計が苦しく、心配である

問9 現在お住まいの地区はどこですか。（○は1つだけ）

地区名がわからない場合は、ご住所（番地は結構です）をお書きください。

1. 成田地区	5. 久住地区	9. 下総地区
2. 公津地区	6. 豊住地区	10. 大栄地区
3. 八生地区	7. 遠山地区	11. 地区不明 → 成田市 ( )
4. 中郷地区	8. ニュータウン地区	(例：花崎町)

## 2. からだの健康に関する意識について

問10 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

1. よい      2. まあよい      3. ふつう      4. あまりよくない      5. よくない

問11 体調が悪い時、受診・相談ができる、かかりつけ医がありますか。(○は1つだけ)

1. ある      2. ない

(問11で「1. ある」とお答えの方に)

問11-1 受診するための移動の時間はどのくらいですか。(○は1つだけ)

1. 30分未満      2. 30分以上1時間未満      3. 1時間以上

(同様に、問11で「1. ある」とお答えの方に)

問11-2 受診するための移動手段は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 徒歩      4. バイク      7. タクシー  
2. 自転車      5. 公共交通機関(バス・電車)      8. その他(移送サービスなど)  
3. 車      6. オンデマンド交通

問12 薬に関する相談ができる、かかりつけ薬局がありますか。(○は1つだけ)

1. ある      2. ない

問13 現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(○は1つだけ)

1. ある      2. ない

(問13で「1. ある」とお答えの方に)

問13-1 影響があるものを選んでください。(○はあてはまるものすべて)

1. 日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など)  
2. 外出(時間や作業量などが制限される)  
3. 仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)  
4. 運動(スポーツなど)  
5. 睡眠  
6. その他( )

問14 あなたはがん検診を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 毎年受けている	1. 2. たまに受けている	3. 受けていない
------------	----------------	-----------

(問14で「1. 毎年受けている」、または「2. たまに受けている」とお答えの方に)

問14-1 あなたが受けているがん検診は次の中のどれですか。(○はあてはまるものすべて)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が実施する検診</li> <li>2. 職場が実施する検診</li> <li>3. 個人で受ける検診(人間ドックなど)</li> <li>4. 健康保険組合等が実施する検診</li> <li>5. 学校が実施する検診</li> <li>6. 農協、商工会議所などの民間機関で実施している検診</li> <li>7. その他( )</li> </ol>
--

(問14で「3. 受けていない」とお答えの方に)

問14-2 検診を受けていない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要と思わない</li> <li>2. 健康に自信がある</li> <li>3. 受けに行く時間がない</li> <li>4. 検診対象かどうか分からない</li> <li>5. 手続きが難しい</li> <li>6. 家庭の事情(育児・介護など)により受けられない</li> <li>7. 検診に苦痛が伴うから</li> <li>8. 結果を知るのが不安</li> <li>9. 検診で病気が見つかって治療費が払えないから</li> <li>10. 医療機関で治療している(経過観察中)</li> <li>11. 面倒だから</li> <li>12. 待ち時間が長いから</li> <li>13. その他( )</li> </ol>
---

(同様に、問14で「3. 受けていない」とお答えの方に)

問14-3 どのような検診であれば受けようと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1. 検診結果に関する詳しい説明がある
- 2. 手続き(受診券の請求)がインターネット上でできる
- 3. 検診の受け方や手続きなどの説明が事前に受けられる
- 4. 病気の予防に関するアドバイスがある
- 5. 土日に受けられる
- 6. 夕方に受けられる
- 7. 近くの公民館などで受けられる
- 8. 近くの病院・医院で受けられる
- 9. 待ち時間が少ない
- 10. その他( )
- 11. 特にない

ここからは、再びすべての方におうかがいします。

問15 あなたは健康診断を受けていますか。(〇は1つだけ)

- 1. 毎年受けている
- 2. たまに受けている
- 3. 受けていない

(問15で「1. 毎年受けている」、または「2. たまに受けている」とお答えの方に)

問15-1 あなたが普段受ける健康診断は、次の中のどれですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1. 市が実施する健康診断
- 2. 職場が実施する健康診断
- 3. 個人で受ける健康診断(人間ドックなど)
- 4. 健康保険組合等が実施する健康診断
- 5. 学校が実施する健康診断
- 6. 農協、商工会議所などの民間機関で実施している健康診断
- 7. その他( )

問15-2へ



(問15で「3. 受けていない」とお答えの方に)

問15-2 健診を受けていない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 必要と思わない
2. 健康に自信がある
3. 受けに行く時間がない
4. 検診対象かどうか分からない
5. 手続きが難しい
6. 家庭の事情(育児・介護など)により受けられない
7. 検診に苦痛が伴うから
8. 結果を知るのが不安
9. 検診で病気が見つかって治療費が払えないから
10. 医療機関で治療している(経過観察中)
11. 面倒だから
12. 待ち時間が長いから
13. その他( )

(同様に、問15で「3. 受けていない」とお答えの方に)

問15-3 どのような健診であれば受けようと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 検診結果に関する詳しい説明がある
2. 手続き(受診券の請求)がインターネット上でできる
3. 検診の受け方や手続きなどの説明が事前に受けられる。
4. 病気の予防に関するアドバイスがある
5. 土日に受けられる
6. 夕方に受けられる
7. 近くの公民館などで受けられる
8. 近くの病院・医院で受けられる
9. 待ち時間が少ない
10. その他( )
11. 特にない

ここからは、再びすべての方におうかがいします。

### 3. 運動について

問16 日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために、意識的に身体を動かしていますか。  
(○は1つだけ)

- 1. いつもしている
- 2. 時々している

- 3. 以前はしていたが現在はしていない
- 4. まったくしていない

(問16で「1. いつもしている」、または「2. 時々している」とお答えの方に)  
問16-1 どのように身体を動かしていますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 通勤・通学・買い物等でよく歩くようにしている
- 2. サークル等に通っている
- 3. 個人でスポーツ施設等に通っている
- 4. テレビ体操等、自宅のできる体操をしている
- 5. ジョギング・ウォーキングをしている
- 6. 病院や施設でリハビリに通っている
- 7. その他 ( )

(同様に、問16で「1. いつもしている」、または「2. 時々している」とお答えの方に)  
問16-2 頻度は、どれくらいですか。(○はもっとも近い頻度1つだけ)

- 1. 毎日
- 2. 週5~6日
- 3. 週3~4日
- 4. 週1~2日
- 5. 月に2~3日

(問16で「3. 以前はしていたが~」、または「4. まったくしていない」とお答えの方に)  
問16-3 身体を動かすことができる条件は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1. 時間があればできる
- 2. 経済的に余裕があればできる
- 3. 公民館等で入りたいサークルがあればできる
- 4. 近くにスポーツ施設があればできる
- 5. 夜でも歩ける等、環境が整備されていればできる
- 6. 仲間がいればできる
- 7. 維持継続のための特典があれば(ポイント制など)できる
- 8. 運動の具体的な方法を教えてもらえばできる
- 9. 身体機能に応じたリハビリの方法について教えてもらえばできる
- 10. その他 ( )
- 11. 特に身体を動かそうとは思わない

ここからは、再びすべての方におうかがいします。

問17 一日の平均的な歩数はどれくらいですか。(いちばんあてはまると思うところに○をつけてください)

- |                   |                    |              |
|-------------------|--------------------|--------------|
| 1. 3,000歩未満       | 5. 6,000～7,000歩未満  | 9. 10,000歩以上 |
| 2. 3,000～4,000歩未満 | 6. 7,000～8,000歩未満  | 10. 意識していない  |
| 3. 4,000～5,000歩未満 | 7. 8,000～9,000歩未満  |              |
| 4. 5,000～6,000歩未満 | 8. 9,000～10,000歩未満 |              |

例) 体重60Kgの人が、時速4km(分速70m)、歩幅70cm、10分歩くと700m、1000歩になります。

問18 あなたは、健康の面から見て、ご自身のふだんの生活習慣をどう思いますか。(○は1つだけ)

1. 良いと思う    2. まあまあ良いと思う    3. あまり良くないと思う    4. 良くないと思う

問19 ロコモティブシンドロームという言葉と、その意味を知っていますか。(○は1つだけ)

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 言葉も意味もよく知っている        | 4. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない |
| 2. 言葉も知っていたし、意味も大体知っている | 5. 言葉も意味も知らない           |
| 3. 言葉は知っていたが、意味はあまり知らない |                         |

ロコモティブシンドロームとは、運動器(身体運動に関わる骨、筋肉、関節、神経などの総称)の障害による要介護の状態や要介護リスクの高い状態を表す新しい言葉で、「運動器症候群」ともいいます。

問20 あなたの身長・体重はどのくらいですか。(数字を記入してください)

現在の身長は    .  cmくらい    体重は    .  kgくらい

問21 あなたの体重は、適正体重だと思いますか。(○は1つだけ)

1. 思う    2. 思わない

#### 4. 心の健康に関する意識について

問22 趣味や楽しみがありますか。(○は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問23 この1か月間に、不満、悩み、イライラ、ストレス等を感じたことがありましたか。(○は1つだけ)

- |          |            |             |
|----------|------------|-------------|
| 1. あった   | 3. あまりなかった | 5. わからない    |
| 2. 少しあった | 4. なかった    | (意識したことがない) |

(問23で「1. あった」、または「2. 少しあった」とお答えの方に)

問23-1 不満、悩み、イライラ、ストレスの原因はなんですか(○はあてはまるものすべて)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 自分の健康状態        | 10. 育児・子どもの教育      |
| 2. 家族の健康状態        | 11. 日常の家事          |
| 3. 環境の変化          | 12. 介護             |
| 4. 将来に対する不安       | 13. 職場や学校での人間関係    |
| 5. 生きがいがない        | 14. 異性との人間関係       |
| 6. 話相手がない         | 15. 近所付き合い         |
| 7. 自由にできる時間がない    | 16. インターネット上での人間関係 |
| 8. 職場や学校での仕事の量や内容 | (ブログ・SNS・掲示板など)    |
| 9. 家計・金銭面         |                    |

(同様に、問23で「1. あった」、または「2. 少しあった」とお答えの方に)

問23-2 不満、悩み、イライラ、ストレス等が解消できていますか。(○は1つだけ)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 十分解消できている   | 3. あまりできていない  |
| 2. だいたい解消できている | 4. まったくできていない |

(同様に、問23で「1. あった」、または「2. 少しあった」とお答えの方に)

問23-3 あなたは、十分な睡眠がとれていると思いますか。(○は1つだけ)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 十分とれている      | 3. あまりとれていない  |
| 2. 十分ではないがとれている | 4. まったくとれていない |

問24 身の回りに、困ったことや悩み事等を、打ち明けられる人がいますか。(○は1つだけ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

## 5. 歯の健康に関する意識について

問25 この1年間で歯科医院等に受診したことはありますか。(○は1つだけ)

1. 診てもらった	2. 診てもらいたかったが行けなかった	3. 診てもらわなければならない
-----------	---------------------	------------------

(問25で「1. 診てもらった」とお答えの方に)

問25-1 診てもらった理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 痛み等の自覚症状があった	4. 歯みがき指導を受けるため
2. 定期健康診査	5. その他
3. 歯石・歯の汚れをとるため	( )

(問25で「2. 診てもらいたかったが行けなかった」とお答えの方に)

問25-2 診てもらいたかったが行けなかった理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 忙しかった	4. どの歯科医院に行ってもよいのかわからなかった
2. 介助がないと受診できないため	5. その他
3. 子どもや介護の必要な家族がいるため	( )

ここからは、再びすべての方におうかがいします。

問26 かかりつけ歯科医がありますか。(○は1つだけ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問27 あなたにとって、かかりつけ歯科医とは、どのようなものですか。(○は1つだけ)

1. むし歯や歯周病の治療のために受診するところ	
2. 定期検診のために受診するところ	
3. 歯石除去等の予防のために受診するところ	
4. その他 ( )	

## 6. 食生活について

問28 普段、朝食をとっていますか。(栄養ドリンク剤、野菜ジュース等のみの場合は含みません。)  
(○は1つだけ)

- |             |               |          |
|-------------|---------------|----------|
| 1. 毎日とっている  | 3. 週4～5日とっている | 5. 週1日以下 |
| 2. 週6日とっている | 4. 週2～3日とっている |          |

問29 バランスのとれた食事(主食・主菜・副菜を組み合わせた食事)を、1日2回以上とっていますか。  
(○は1つだけ)

- |             |               |          |
|-------------|---------------|----------|
| 1. 毎日とっている  | 3. 週4～5日とっている | 5. 週1日以下 |
| 2. 週6日とっている | 4. 週2～3日とっている |          |

「主食」は米、パン、めん類などの穀類、「主菜」は魚、肉、卵、大豆料理など、「副菜」は野菜、きのこ、海藻料理などです。

問30 野菜を一日何皿分とっていますか。(○は1つだけ)

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 5皿分以上とっている | 3. 2～3皿分とっている | 5. まったくとっていない |
| 2. 4皿分とっている   | 4. 1皿分とっている   |               |

1皿の野菜料理の目安量：おひたしなどの小鉢1皿や具だくさんの味噌汁1杯。(一皿野菜70g程度)

問31 普段の食生活において、減塩に取り組んでいますか。(○は1つだけ)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない  |
| 2. ある程度取り組んでいる | 4. まったく取り組んでいない |

## 7. 喫煙について

問32 これまでにたばこを吸ったことがありますか。(○は1つだけ)

1. 過去に合計100本以上、または6か月以上吸っている(吸っていた)

2. 吸っている(吸ったことはある)が、過去合計100本未満で6か月未満である

3. まったく吸ったことがない

(問32で1または2とお答えの方に)

問32-1 現在(この1か月間)、たばこを吸っていますか。(○は1つだけ)

1. 毎日吸う      2. ときどき吸っている      3. 今は(この1か月間)吸っていない

(同様に、問32で1または2とお答えの方に)

問32-2 たばこをやめたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. やめたい      2. 本数を減らしたい      3. やめたくない      4. やめた      5. わからない

(同様に、問32で1または2とお答えの方に)

問32-3 医療機関での禁煙指導(禁煙外来)を受けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 受けたい                      2. 受けたくない                      3. 受けたことがある

問33 この1か月間に自分以外の人吸っていたたばこの煙に接した経験(受動喫煙)がありましたか。次のア~キの場所について、お答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

		あった	なかった
回答例	-----▶	①	2
ア. 職場		1	2
イ. 家庭		1	2
ウ. 飲食店		1	2
エ. 歩道		1	2
オ. 公園などの屋外施設		1	2
カ. 歩道		1	2
キ. その他(                      )		1	2

問34 分煙について、どう思いますか。(〇は1つだけ)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 積極的に進めるべき   | 3. あまり進めなくてよい |
| 2. できる範囲で進めるべき | 4. どちらでもよい    |

分煙とは、たばこを吸う場所をしっかり分け、たばこを吸わない人が煙を吸い込むことがないようにすることです。

問35 あなたの周囲では分煙が進んでいると思いますか。(〇は1つだけ)

- |          |            |              |          |
|----------|------------|--------------|----------|
| 1. 進んでいる | 2. 一部進んでいる | 3. あまり進んでいない | 4. わからない |
|----------|------------|--------------|----------|

問36 COPD (シー・オー・ピー・ディー) という病気を知っていますか。(〇は1つだけ)

- |                  |                |         |
|------------------|----------------|---------|
| 1. どんな病気かよく知っている | 2. 名前は聞いたことがある | 3. 知らない |
|------------------|----------------|---------|

COPDとは、セキやタン、息切れが主な症状で、「慢性気管支炎」と「肺気腫」のどちらか、または両方によって肺への空気の流れが悪くなる病気で、慢性閉塞性肺疾患ともいいます。長年の喫煙習慣が主な原因の肺の生活習慣病です。

## 8. 飲酒について

問37 どのくらいの頻度でお酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。(〇は1つだけ)

- |          |          |                   |
|----------|----------|-------------------|
| 1. 毎日    | 4. 週1~2日 | 6. やめた(1年以上やめている) |
| 2. 週5~6日 | 5. 月1~3日 | 7. ほとんど飲まない(飲めない) |
| 3. 週3~4日 |          |                   |

(問37で1~5とお答えの方に)

問37-1 お酒を飲む時は1日あたり、清酒に換算してどれくらいの量を飲みますか。(〇は1つだけ)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 1合(180ml)未満     | 4. 3合以上4合(720ml)未満 |
| 2. 1合以上2合(360ml)未満 | 5. 4合以上5合(900ml)未満 |
| 3. 2合以上3合(540ml)未満 | 6. 5合(900ml)以上     |

清酒1合(180ml)は、次の量にほぼ相当します。

ビール・発泡酒中瓶1本(約500ml)、焼酎20度(135ml)、焼酎25度(110ml)、焼酎35度(80ml)、酎ハイ7度(350ml)、ウイスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)

(同様に、問37で1~5とお答えの方に)

問37-2 飲酒が原因で周りの人に迷惑をかけたり、失敗したことがありますか。(〇は1つだけ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|





ここからは、再びすべての方におうかがいします。

## 9. 情報について

問43 あなたは健康に関する情報を、主にどこから得ていますか。(〇はあてはまるものすべて)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. テレビ・ラジオ          | 10. 成田市医療相談ホットライン     |
| 2. 新聞、本・雑誌          | 11. 健康福祉センター（保健所）     |
| 3. インターネット          | 12. 医師                |
| 4. 家族               | 13. 歯科医師              |
| 5. 友人・知人            | 14. 薬剤師（薬局）・ドラッグストア   |
| 6. 近所・地域の人          | 15. ボランティア・市民活動・NPO団体 |
| 7. 職場の人             | 16. その他               |
| 8. 市の保健師・栄養士・歯科衛生士等 | （                     |
| 9. 市の広報やチラシ         | 17. 特にない              |

問44 あなたが健康づくりを実践していくために、どのような内容の情報が必要ですか。

(〇はあてはまるものすべて)

- |                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 病気の知識          | 8. 適正飲酒について                  |
| 2. 休養・ストレス解消法     | 9. 仲間づくりのための情報・活動            |
| 3. 食事・栄養についての情報   | 10. 健康づくりのための国・自治体等の目標値などの情報 |
| 4. 運動の方法、体操などの方法  | 11. 環境問題等に関すること              |
| 5. 健康診断等に関する情報    | 12. その他                      |
| 6. 医療・医療施設についての情報 | （                            |
| 7. 禁煙・受動喫煙に関する情報  | 13. 特にない                     |

**10. 健康なまちづくりにつながる社会環境の整備について**

問45 あなたは「健康とは何か」と聞かれたら、どのように答えますか。(〇はあてはまるものすべて)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. 幸福なこと               | 9. 家庭円満であること      |
| 2. 仕事ができること            | 10. 規則正しい生活ができること |
| 3. 生きがいがあること           | 11. 長生きできること      |
| 4. 健康を意識しないこと          | 12. 人を愛することができること |
| 5. 病気でないこと             | 13. 前向きに生きられること   |
| 6. 快食・快眠・快便            | 14. 差別やいじめがないこと   |
| 7. 身体が丈夫で元気がよく、調子がよいこと | 15. その他           |
| 8. 人間関係がうまくいっていること     | ( )               |

(問45で複数に〇をつけた方に)

問45-1 回答した中で、あなたの考えに最も近いものの番号を1つだけ記入してください。

問46 あなたは健康に関するボランティア活動をしたことがありますか。(〇は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

(問46で「1. ある」とお答えの方に)

問46-1 ボランティア活動に参加している最大の理由は何ですか。(〇は1つだけ)

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. 自分の成長につながるから     | 4. 付き合いで仕方なく |
| 2. 身近な地域のために役立ちたいから | 5. その他       |
| 3. 楽しく、興味ある内容だから    | ( )          |

問47 あなたはボランティア活動をしたいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- |          |              |            |          |
|----------|--------------|------------|----------|
| 1. 活動したい | 2. できれば活動したい | 3. 活動したくない | 4. わからない |
|----------|--------------|------------|----------|

問48 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、誰（どこが）が取り組んでいくのが望ましいと思いますか。(〇は1つだけ)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 主に行政             | 3. 主に市民だが行政の取り組みも必要 |
| 2. 主に行政だが市民の取り組みも必要 | 4. 主に市民             |

問49 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、行政はどのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 健康診査や各種健（検）診       | 11. 健康づくりに関する指導者の養成  |
| 2. 健康相談               | 12. 地域ぐるみの健康づくり活動の支援 |
| 3. 適切な運動の普及・啓発        | 13. 子育て支援            |
| 4. 適切な食生活の普及・啓発       | 14. 思春期保健対策          |
| 5. 心の健康対策             | 15. 介護予防対策           |
| 6. 歯と口の健康の普及・啓発       | 16. 認知症対策            |
| 7. 禁煙・受動喫煙対策          | 17. 地域や学校での食育        |
| 8. アルコール対策            | 18. 医療体制の充実          |
| 9. 健康情報の発信            | 19. その他              |
| 10. 市民の自主的な健康づくり活動の支援 | ( )                  |

問50 市民が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、市民はどのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 自ら健康管理や健康づくりを实践する           |
| 2. 日頃から身近な地域の方と相互のつながりをもつ      |
| 3. 地域のグループや団体が行う、健康に関する活動に参加する |
| 4. 地域住民の健康のために役立つ活動を行う         |
| 5. 市の健康に関する事業に参加する             |
| 6. その他 ( )                     |

## 1 1. 在宅医療の推進について

問51 往診と訪問診療の違いを知っていますか。(〇は1つだけ)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 知っている          | 3. 知らない    |
| 2. 知っているが詳しくは知らない | 4. その他 ( ) |

往診とは、急変時その他、患者さんや家族の要望で不定期に行う診療のことです。  
訪問診療とは、主治医が計画を立て、患者さんの自宅を定期的に行う診療のことです。

問52 将来、あなたが在宅での治療が必要になった時に希望するサービスをお答えください。  
(〇は1つだけ)

- |   |
|---|
| 1. 定期的に医師に自宅へ診療に来てもらう(訪問診療) ※治療費以外に別途月々の費用がかかります。 |
| 2. 体調が悪い時のみ、医師に自宅に診療に来てもらう(往診)                    |
| 3. 在宅での医師の診療は望まない                                 |
| 4. その他 ( )  |

問53 問52の回答について、その理由をご記入ください。


問54 通院が困難になった方に対して、薬局が自宅に訪問して薬についての相談や管理をするサービスがありますが、必要時に利用したいと思いますか。(〇は1つだけ)

- |          |            |              |
|----------|------------|--------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用したくない | 3. どちらともいえない |
|----------|------------|--------------|

問55 問54の回答について、その理由をご記入ください。


## 12. 保健サービス等に関するご意見やご要望について

成田市の保健サービス等に関するご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。


以上で、健康に関する意識調査は終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。

このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに11月2日（月）までにご投函ください。

## 成田市健康増進計画策定に向けた健康意識調査

### ご協力のお願い

皆様には、日ごろから市政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

このたび、市民の皆様の健康観や、お子さんや保護者の方の健康づくり、生活習慣、個人の健康に影響を与える社会環境に関する状況や意識、健康格差の要因に関連すること等を把握するため、健康意識調査を実施することとしました。

市民の皆様の健康づくりに関する意識をお聞きし、今後の健康づくり事業に役立てるとともに、市民の健康づくりを総合的に支援する計画である「成田市健康増進計画」の策定を進めてまいります。

この調査は、10か月赤ちゃん相談、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査を受けるお子さんの保護者の方、約400人に対し、ご協力をお願いするものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成27年10月

成田市長 小泉 一成

### ～ ご記入にあたってのお願い ～

1. 回答にかかる所要時間は、およそ15分です。
2. 調査は、無記名方式です。お名前やご住所を書いていただく必要はありません。
3. 回答される方によっては記入が難しい内容があります。回答できる範囲でお答えください。
4. 結果は統計的に処理しますので、あなたやあなたのお子さんのお名前などが、特定されることはありません。また、調査結果を他の目的に使用することはありません。
5. 鉛筆、ボールペン、万年筆などのいずれをご使用されても結構です。

#### 【お問い合わせ先】

成田市健康こども部健康増進課

千葉県成田市赤坂1-3-1

電話：0476-27-1111 担当：畠、青野

FAX：0476-27-1114

お手数ですが記入された調査票は、  
相談、健診当日にご持参ください。





問3 妊婦健診時、医師や助産師などから日常生活の指導を受けたことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある	2. ない
-------	-------

(問3で「1. ある」とお答えの方に)

問3-1 指導内容はどのような事ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 体重増加について	3. 栄養について	5. 喫煙について
2. 安静(運動制限)について	4. 飲酒について	6. その他( )

問4 お子さんを妊娠中、歯の健診を受けましたか。(○は1つだけ)

1. 成田市の歯科医院で受けた	3. 成田市の母親学級で受けた	4. 受けなかった
2. 成田市以外で受けた		

(問4で「4. 受けなかった」とお答えの方に)

問4-1 歯の健診を受けなかった理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 必要ないと思ったから	2. どの歯科医院に行ってもよいのかわからなかったから	3. 忙しくて行けなかった
4. 体調が悪かったから	5. 他の子(兄弟姉妹)がいるから	6. その他( )

問5 妊娠中、特に気をつけたことは何ですか。(○は3つまで)

1. 栄養に気をつけた	6. アルコールをやめた	7. 歯の手入れを心がけた
2. 運動を心がけた	8. 無理しないようにした	9. その他( )
3. 医師の指示を守った	4. 体重増加に気をつけた	10. 特にない
5. たばこをやめた		

問6 妊娠中は朝食をとっていましたか。(栄養ドリンク剤、野菜ジュースのみの場合は含みません)  
(○は1つだけ)

1. 毎日とっていた	3. 週4~5日とっていた	5. 週1日以下
2. 週6日とっていた	4. 週2~3日とっていた	

問7 妊娠していることがわかったときの気持ちで、最もあてはまるものを選んでください。  
(○は1つだけ)

1. 嬉しかった	3. あまり嬉しくなかった	5. その他
2. まあまあ嬉しかった	4. 嬉しくなかった	( )

問8 マタニティマークを利用したことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある	2. ない
-------	-------



(問8で「1. ある」とお答えの方に)

問8-1 マークを利用してよかったと感じたことはありますか。(○は1つだけ)

1. あった	2. なかった
--------	---------

問9 妊娠中に悩みや不安がありましたか。(○は1つだけ)

1. あった	2. なかった
--------	---------

(問9で「1. あった」とお答えの方に)

問9-1 妊娠中に、悩みや不安を相談する人や手段がありましたか。(○は1つだけ)

1. いた(あった)	2. いなかった(なかった)
------------	----------------

(同様に、問9で「1. あった」とお答えの方に)

問9-2 相談相手や手段として、あてはまるものを選んでください。(○はあてはまるものすべて)

1. 配偶者・パートナー	7. かかりつけ医
2. 実父母	8. 市の保健師・栄養士・歯科衛生士
3. 義父母	9. 助産師
4. 兄弟姉妹	10. 成田市医療相談ホットライン
5. 友人・知人	11. インターネット(パソコン・携帯)のホームページや掲示板
6. 隣人	12. その他( )

問10 はじめて、お子さんと対面したときの気持ちで、最もあてはまるものを選んでください。  
(○は1つだけ)

1. 嬉しかった	2. まあまあ嬉しかった	3. あまり嬉しくなかった	4. 嬉しくなかった
----------	--------------	---------------	------------

問11 出産後、里帰りをしましたか。(〇は1つだけ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(問11で「1. はい」とお答えの方に)

問11-1 どのくらいの期間、里帰りをしましたか。(〇は1つだけ)

1. 産後2週間未満	4. 産後2か月以上4か月未満
2. 産後2週間以上1か月未満	5. 産後4か月以上
3. 産後1か月以上2か月未満	6. その他 ( )

(問11で「2. いいえ」とお答えの方に)

問11-2 里帰りをしなかった理由は何ですか。(〇は1つだけ)

1. 必要ないと思ったから	
2. 親や協力者が来てくれたから	
3. 同居しているから	
4. 実家が遠方にあるなど、里帰りが困難だから	
5. 里帰り先で育児支援が望めないから	
6. 他の子(兄弟姉妹)がいるから	
7. 里帰り先がないから	
8. その他 ( )	

ここからは、再びすべての方におうかがいします。

問12 産後に不安や負担を感じましたか。(〇は1つだけ)

1. とても感じた	3. あまり感じなかった
2. 時々、感じた	4. まったく感じなかった

↓  
問12-1、問12-2へ

(問12で「1. とても感じた」、または「2. 時々、感じた」とお答えの方に)

問12-1 どのような不安や負担を感じましたか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 出産や育児による体のトラブル	6. 育児の協力者が足りない
2. 育て方がわからない	7. 家族と育児方針が合わない
3. 育児に自信が持てない	8. 上の子への対応
4. イライラしたり落ち込んだりする	9. 経済的なこと
5. 相談できる人がおらず孤独感を感じる	10. その他 ( )

(同様に、問12で「1. とても感じた」、または「2. 時々、感じた」とお答えの方に)

問12-2 もっとも不安や負担を感じた時期はいつですか。(〇は1つだけ)

1. 出産直後(入院中)
2. 出産後1~4か月頃(首がすわる頃まで)
3. 出産後5~8か月頃(おすわりが出来る頃まで)
4. 出産後9~12か月頃(ハイハイが出来る頃まで)
5. 出産後1年以上(ひとり歩きが出来る頃)
6. その他 ( )

問13 産後1か月までの時期に家事・育児に関して協力してくれた人はいましたか。(〇は1つだけ)

1. いた	2. いなかった
-------	----------

(問13で「1. いた」とお答えの方に)

問13-1 協力してくれた人は誰ですか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 配偶者・パートナー	4. 兄弟姉妹	7. 民間ヘルパー等
2. 実父母	5. 友人・知人	8. その他
3. 義父母	6. 隣人	( )

問14～問25は、ご家庭のすべてのお子さんの育児についてお答えください。

## 2. 育児に関することについて

問14 市の保健師、栄養士、歯科衛生士、言語聴覚士に、個別で健康や育児の相談ができることを知っていますか。(〇は1つだけ)

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問15 育児について相談する人はいますか。(〇は1つだけ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

(問15で「1. いる」とお答えの方に)

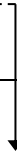
問15-1 相談相手や手段として、あてはまるものを選んでください。(〇はあてはまるものすべて)

- |              |                                 |
|--------------|---------------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 8. 市の保健師・栄養士・歯科衛生士・言語聴覚士        |
| 2. 実父母       | 9. 助産師                          |
| 3. 義父母       | 10. 成田市医療相談ホットライン               |
| 4. 兄弟姉妹      | 11. 保育士・幼稚園、こども園の先生             |
| 5. 友人・知人     | 12. インターネット(パソコン・携帯)のホームページや掲示板 |
| 6. 隣人        | 13. その他                         |
| 7. かかりつけ医    | ( )                             |

問16 配偶者やパートナーは、家事や育児にどのような形でかかわっていますか。

(○はあてはまるものすべて)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもを入浴させる</li> <li>2. 子どもを着替え（おむつ交換を含む）させる</li> <li>3. 子どもと一緒に遊ぶ</li> <li>4. 保育園、幼稚園等の送迎をする</li> <li>5. 洗濯をする</li> <li>6. 食事の準備・後片付けをする</li> <li>7. 買い物をする</li> <li>8. 掃除をする</li> <li>9. 話を聞いたり相談にのる</li> <li>10. 感謝の言葉やねぎらいの言葉をかける</li> <li>11. 気分転換の時間を作る</li> <li>12. その他（ <span style="float: right;">)</span></li> <li>13. 何もしない</li> </ol>
14. 配偶者・パートナーはいない



(問16で1～13をお答えの方に)

問16-1 配偶者やパートナーの協力の仕方に満足していますか。(○は1つだけ)

1. 満足している	3. あまり満足していない	5. わからない
2. まあまあ満足している	4. 満足していない	

問17 今のあなたの気持ちについて、お答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	はい	いいえ	どちらでもない
回答例 ----->	①	2	3
ア. 子どもがかわいいと感じる	1	2	3
イ. 育児は楽しいと感じる	1	2	3
ウ. 子育てに自信がもてない	1	2	3
エ. 普段の生活の中でイライラする	1	2	3
オ. 急にわけもなく泣きたくなる	1	2	3
カ. 眠れないことがある	1	2	3
キ. 「子どもを虐待してしまった」と感じるときがある	1	2	3
ク. 子どもと一緒に自分も成長していると感じる	1	2	3
ケ. 自分の自由な時間が欲しい	1	2	3
コ. 家計のやりくりが大変である	1	2	3
サ. 子育てはいろいろな人とコミュニケーションが大切であると感じる	1	2	3

問18 次の中で、あなたが虐待と感じるものを選んでください。(〇はあてはまるものすべて)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 言葉による脅かしや脅迫をする</li> <li>2. 子どもにわいせつなものを見せる</li> <li>3. 子どもに見える場所で、配偶者やほかの家族へ暴力をふるう</li> <li>4. 買物に行く等の短い間だけ、乳幼児を家に残し外出する</li> <li>5. しつけの一環として、冬などの寒い時期などに外に出す</li> <li>6. 子どものためと、体罰でしつけをする</li> <li>7. 子どもに必要な病気の治療を受けさせない</li> <li>8. 子どもが親に従うのは当然であるという言動をとる</li> </ol> |
|---|

問19 あなたは虐待について、身体的虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待があることを知っていますか。(○は1つだけ)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 知っている          | 3. 知らない    |
| 2. 知っているが詳しくは知らない | 4. その他 ( ) |

身体的虐待：殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束するなど

性的虐待：子どもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、ポルノグラフィの被写体にするなど

ネグレクト：食事を与えない、ひどく不潔にする、家に閉じ込める、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

心理的虐待：言動による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうなど

問20 あなたはお子さんにどのような関わりをしていますか。(○はあてはまるものすべて)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 一緒に外で遊んだり散歩をする | 4. 一緒にテレビやDVD等を見る |
| 2. 一緒におもちゃで遊ぶ     | 5. 絵本の読み聞かせをする    |
| 3. 一緒にお絵かきをする     | 6. その他 ( )        |

問21 お子さんがスマートフォンやタブレット等を見たり、触ったりして使用することはありますか。(○は1つだけ)

1. はい

2. いいえ

(問21で「1. はい」とお答えの方に)

問21-1 どのような目的で使用していますか。(○はあてはまるものすべて)

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 子どもが使いたがるため    | 5. 子どもの遊び道具として          |
| 2. ぐずっている時に、あやすため | 6. 子どもの教育のため            |
| 3. 家事等で手が離せないとき   | 7. 小さい時からデジタル機器に慣れさせるため |
| 4. 外出先等で静かになるから   | 8. その他 ( )              |

(同様に、問21で「1. はい」とお答えの方に)

問21-2 どのくらいの時期から、お子さんが見たり、触ったりして使用していますか。(お子さんが複数いる場合は、平均をお答えください。)

歳

か月



(同様に、問21で「1. はい」とお答えの方に)

問21-3 1日にどのくらい見たり、触ったりして使用していますか。(○は1つだけ)

1. 30分未満    2. 30分以上1時間未満    3. 1時間以上2時間未満    4. 2時間以上

(同様に、問21で「1. はい」とお答えの方に)

問21-4 スマートフォンやタブレットがお子さんの生活の中で役立っていると思いますか。  
(○は1つだけ)

1. はい                                  2. いいえ                                  3. わからない

### 3. お子さんの健康管理について

問22 かかりつけ医がありますか。(○は1つだけ)

1. ある    2. ない

(問22で「1. ある」とお答えの方に)

問22-1 かかりつけ医のいる医療機関はどこにありますか。(○は1つだけ)

1. 成田市内    2. 成田市外

問23 かかりつけ歯科医がありますか。(○は1つだけ)

1. ある    2. ない

(問23で「1. ある」とお答えの方に)

問23-1 かかりつけ歯科医のいる歯科医院はどこにありますか。(○は1つだけ)

1. 成田市内    2. 成田市外

(同様に、問23で「1. ある」とお答えの方に)

問23-2 お子さんにとって、かかりつけ歯科医とは、どのようなものですか。(○は1つだけ)

1. むし歯治療のために受診するところ  
2. 定期検診のために受診するところ  
3. フッ化物塗布等の予防のために受診するところ  
4. その他 ( )





問34 バランスのとれた食事（主食・主菜・副菜を組み合わせた食事）を、1日2回以上とっていますか。  
（○は1つだけ）

- |             |               |          |
|-------------|---------------|----------|
| 1. 毎日とっている  | 3. 週4～5日とっている | 5. 週1日以下 |
| 2. 週6日とっている | 4. 週2～3日とっている |          |

「主食」は米、パン、めん類などの穀類、「主菜」は魚、肉、卵、大豆料理など、「副菜」は野菜、きのこ、海藻料理などです。

問35 野菜を一日何皿分とっていますか。（○は1つだけ）

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 5皿分以上とっている | 3. 2～3皿分とっている | 5. まったくとっていない |
| 2. 4皿分とっている   | 4. 1皿分とっている   |               |

1皿の野菜料理の目安量：おひたしなどの小鉢1皿や具だくさんの味噌汁1杯。（1皿野菜70g程度）

問36 普段の食生活において、減塩に取り組んでいますか。（○は1つだけ）

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない  |
| 2. ある程度取り組んでいる | 4. まったく取り組んでいない |

問37 毎日お子さんと一緒に食事をとっていますか。（○は1つだけ）

- |       |         |         |            |           |
|-------|---------|---------|------------|-----------|
| 1. 毎食 | 2. 1日2回 | 3. 1日1回 | 2. 4. 休日のみ | 5. とっていない |
|-------|---------|---------|------------|-----------|

## 5. 保健サービス等に関するご意見やご要望について

成田市での保健サービス等に関するご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。


以上で、健康に関する意識調査は終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。  
相談、健診当日にご持参ください。

---

成田市健康増進計画策定に向けた健康意識調査 報告書

平成28年12月

発行：成田市健康こども部健康増進課  
千葉県成田市赤坂1-3-1（成田市保健福祉館内）  
電話 0476-27-1111

---